



BioCoherence マニュアル

Version 2025-03-20

一般目次

はじめに

1. BioCoherenceの簡単な歴史.....	3
2. 橋を架ける.....	5

3. バイオコヒーレンスの使用

3.1. モジュールの概要.....	16
この章の冒頭に詳細な目次があります。	
3.2. 各モジュールの詳細なマニュアル.....	40
この章の冒頭に詳細な目次があります。	

4. 付録

4.1. よくある質問.....	95
4.2. 医学研究と文献.....	104
4.3. 参考文献.....	116

BioCoherenceの簡単な歴史

2024年夏、BioCoherenceの最初の公にされたバージョンが発表されようとしています。私たちはどのようにここに辿り着いたのでしょうか。このソフトウェアは私の頭の中から生まれ、現在までに1400以上の独自のバイオマーカー、40の画面、心電図のスキャン分析、ライブバイオフィードバックを用いたテスト、そして再調整モジュールを特徴としています。

二つの交差する道を振り返ってみましょう。

私たちがエネルギー評価と治療装置に初めて接触したのは2011年のことです。クリスティーヌと私は結婚しており、3人の子供がいました。その年、私たちの二女アイシスは、当時グルテン不耐症であったため、義務教育を始めることになりました。私たちがフランス南部のピレネーにある小さな村スールニヤに住んでいる間、彼女が学校で昼食をとるための解決策を探していました。詳細は省きますが、専門医に行ったところ、彼は私たちに唯一の解決策は大腸内視鏡検査であると言いました。そして、それは彼女を治すことはできないとも言われました。そこで、私たちは別の解決策を探し始めました。友人が小さな村で働いている奇妙な男を指し示してくれました。この奇妙な男は、一回のセッションで完全な健康診断と再調整を行いました。彼は30分ほどで全ての問題を特定し、彼女は1か月後に治りました。

クリスティーヌと私は顔を見合わせ、医学に何か問題があることに気づきました。なぜ病院はこの解決策を私たちに提供できなかったのか？ なぜそれは明らかに非常に秘密だったのか？ しかし何よりも、このことは一体何だったのか？

2011年の終わりに、私たちはこの実践者とともに非営利団体を設立し、これらの実践を研究し検証しようとしてきました。それからケアセンターを設立し、さらに二つ目のケアセンターを設立しました。2012年の終わりには、この装置の製造元と連絡を取り、フランスでの流通を開始しました。私たちは他の人々とも出会い、しっかりとした流通網、実践者のネットワーク、そして学校を確立しました。

しかし、私にとって、科学者、エンジニア、ソフトウェアデザイナー、音楽家、作家、そして何よりも強迫的な創造者として、商業的または管理的な役割に留まることはできませんでした。私はすでにくいつかの会社を設立しており、それらのために常にコンピューターシステム全体をプログラムしてきました。実際、私は約10歳の時にソフトウェアの作成を始め、15歳の時に最初のを販売しました。その後、私は科学を学び、音響工学の学校に進学し、1996年にクリスティーヌとともにウェブエージェンシーを設立しました。そして、その後いくつかのスタートアップを立ち上げました。私たちが流通させるケア装置に戻ると、デザイナーとして、私はこれらの健康診断とケアシステムの設計に貢献したいと考えていました。これは私が多くの経験を持ち、よく理解しているものです。

この最初の道は、科学、情報技術、ビジネス、そしてそれらの医療への応用です。

しかし、これはBioCoherenceに至るための唯一の道ではありません。

もう一つの道は瞑想です。

11歳か12歳の時、私は魔法、あるいはむしろ手品に夢中でした。私はパリの魔法店で一日中過ごし、すべての客（ショービジネスのプロフェッショナル）に会っていました。実を言うと、私はお店にトリックを作り、作り、販売したこともあり、13歳の頃のことだと思います。そしてそこで、私は世界中で働くマジックプロのピエールに出会いました。私たちは親友になりました。ピエールは子供の頃から「離脱体験」や「アストラルトラベル」を行っており、私を魅了しました。私はそれを聞いたことがありませんでした。彼はそのテーマに関するいくつかの本を私に渡し、それを彼には完全に自然なものとして話しましたが、しばらくしてから連絡が途絶えました。

それ以来、私は表面的な現象の背後にははるかに大きな世界が存在することが自然に思っていました。しかし、パリで、過度に物質主義的な時代に、何も知らない家族の中で、私はどのようにこの問題に深入りできるのでしょうか？

年月が経つにつれ、それは特権的で魅力的な議論のテーマであり続け、好奇心の源でありましたが、それ以上のものではありませんでした。私たちはティーンエイジャーの頃に瞑想を試み、そして大人になってからもそうしましたが、あまり成功しませんでした。それから、人生は今という瞬間の中で形を成し始め、そのすべての要求を伴ってきました。

2011年に戻ると、その年は重要な年であり、道が交差する年でした。アイシスが回復を始めると、私たちはペルピニヤンの家庭医に紹介されました。彼は物事を異なる視点で見えていました。もちろん、行きましょう。私は彼に何でも話し、瞑想の話が再び出てきました。私は彼に、体外に出ようと試みたがあまり成功しなかったと伝えました。彼は、耳の中で異なる周波数の音に基づいたテクニックを知っていると答えましたが、それ以上のことはあまり知らないようでした。しかし、音は私に響き、私はバイノーラルビートを探し出し、発見しました。そしてそれ以降、これまで面倒だった進展が大幅に加速しました。数ヶ月以内に、宇宙は内側にも外側にも広がっていきました。その重要な年以降、私たちの周りのすべてが再編成されています。

私は映画プロジェクト「現実において」のためのインタビューのシリーズを始めました。私は約40人の魅力的な人々に出会い、撮影しました。最終的には、彼らの本を翻訳するためにフランスの出版社を設立し、現在までに約20作品を出版しました。

クリステイヌは、彼女自身も驚くことに、靈感を持つようになりました。それは良いことです。ああ、私の娘もそうです。良い科学者のように、私はいくつかの検証プロトコルを実施しています。それはすべて非常にリアルに見えます、はい、認めましょう。その年、7年間の準自給自足の家族生活を経て（私たちは2004年にパリを離れ、クリステイヌが設計した家を自分たちで建てるために）、デイズニーランドがどっさりやってきました。そして、世界ははるかに広がります。家は存在する者たちで満ち、各々が前の者よりも幻想的です。狂っているが、逸話の連続の中で、この新しい現実を信じるのができないというのは不可能です。

これらは二つの道が交差するところです；一方では、エネルギー評価と癒しの装置とソフトウェア、その素晴らしい可能性と様々な制限とフラストレーション；もう一方では、瞑想、内面的な個人の発展、世界の境界の拡大、そして自己と自分の責任を意識する力の巨大さです。

したがって、2017年、私は二つの最初の提携を行い、クリエイターのためのプラットフォームとして意図された瞑想アプリプロジェクトを始めました；しかし、それはあまりにも複雑で、完成しませんでした。2018年、私は瞑想に伴うバイノーラルビートや他の音を生成するアプリを作成しました；しかし、これもあまりにも複雑で、完成しませんでした。繰り返されるパターンが見え始めています。これは私の初めての「複雑すぎて、完成しなかった」アプリケーションではありません。さて、すべてを再構築し、簡素化しましょう：ああ、勝ちました！2021年、私たちはクリステイヌの最初の2冊の本に基づいた33のガイド付き瞑想を持つ、より単純で完成したアプリを発表します。

一つの詳細が残ります：私はもっと提供したいと思っています。私は瞑想を選択し、適応させるための信頼できる測定システムを得たいと思っています。言ったように、これは最終的に私に3年かかりました。2022年、私は心電図の測定に基づく最初のツールを用いた年次マスタークラスを発表できます。2023年には、1年以上の作業の後、インターフェースは多くの視覚化で飾られ、新しい画面が作成されました。さらに6ヶ月の研究を経て、2024年4月には相互作用を求めるソフトウェアが完成しました...

この最初のバージョンに至るまで、私は実装するアイデアを大幅に（そして痛みを伴う、想像できるでしょうが）選定しました。しかし、私がほぼ40年間創造してきた中で、創造のために創造する意味はないことに最終的に気づきました；共有するために創造する必要があります。そしてこれを行うためには、このソフトウェアを理解しやすくするために、思っていた以上に多くの時間を費やさなければなりませんでした。私はそれを成し遂げましたが、まだ存在しないすべてのことに対してフラストレーションを感じています。私は引き続きアイデアやツールを取り入れ、共有することを約束します。そして、それらが常に美しく、簡単で、直感的であることを保証します。

Médéric Degoy、BioCoherenceソフトウェアのデザイナー。

ブリッジの構築

BioCoherenceは、いくつかの重要なコンセプトに基づいて設計されています。これらの概念は、基本的なロジックの指針となるため、一般的な知識を持つことが重要です。

私たちの仕事は、つながりのない領域間に橋を架けることです。例えば、サイバネティクス、システム理論、エネルギー、エントロピー、ネゲントロピー、創発、ヒューリスティック、シンクロニシティ、エルゴディシティ、リソース理論、カスケード理論、胚発生、プロロギー理論、共鳴の原理、コヒーレンスの原理、スケール波、時間結晶、身体と心との関係、物質とエネルギーと情報の意味の関係、物理的エントロピーと情報エントロピー、無意識とアーキタイプなどです。

特に断りのない限り、引用はウィキペディアより。

サイバネティクス

「自然および人工システムにおける制御とコミュニケーションに関する一般的な科学。

「サイバネティクスとは、複雑系における情報メカニズムの研究。サイバネティクスは、複雑なシステムにおける情報メカニズムを研究する学問。サイバネティクスの目的は、自動制御、エレクトロニクス、数学的情報理論という黎明期（1942年から1953年）の分野を、「動物と機械の両方における制御とコミュニケーションの理論全体」として統一したビジョンを提供することでした。

ノルベルト・ウィーナーによって定式化されたサイバネティクスは、とりわけパロアルト学派のシステム療法や、自己組織化の生物学的理論の源流となっています。

興味深いメモ:

- 「1894年、ルートヴィヒ・ボルツマンはエントロピーと情報との間に関連性を見だし、エントロピーは我々がアクセスできない情報と結びついていると指摘しました。
- 「生理学もまた、ボルツマンに多くの要素を与えました。例えば、クロード・ベルナルによって強調されたホメオスタシスの原理。」
- "サイバネティクスは、現象を聴診して、その自律性と特殊性を、特に形態を通して把握し、その後、別のタイプの分析、すなわちモデリング、力学に進むという点で、現象学の延長でもあります。"
- "フィードバックは、自己調整的な論理を設計するために不可欠であるため、このアプローチによって強調されます。こうして、システムを強調する循環メカニズムであるフィードバック・ループが出現するのです。"
- "創発"という用語は、新しい形態だけでなく、システムの自発的な再編成の間に現れる新しい特性やプロセスを指定するためにすぐに使用されます。この種の現象は、システムの再編成以上に、より高度に複雑な組織化を伴うこともあります」。
- 「二次サイバネティクスでは、観察者は観察されたシステムの中に自分自身を含みます。

サイバネティクスは、生態学、精神分析学、情報科学、システムクス、認知科学、人工知能、インターネットの根底にあります。

バイオコヒーレンスへの応用

最も深いレベル（コンピュータの存在そのもの、オペレーティング・システム、インターネット）から最もフラッシュなレベル（システム論理、レベル1、2、3の分析と新しい特性の出現、すべての要素のリンク、リンクと共鳴の計算）に至るまで、あらゆるレベルのソフトウェア全体において。

特にバイオフィードバック測定では、フィードバックの原理がソフトウェアの中心にあります。

興味深いことに、サイバネティクスはシステムの制限と制約に焦点を当てています。これは、可能な選択肢を示すものです。しかし、等質性の原則は、多くの異なる経路を経てゴールに到達することが可能であることを規定しています。

システム理論

「システム理論とは、あらゆる種類の現象を定義、研究、説明する方法であり、何よりもこの現象をシステムとして考えることから成り立ちます。従来のアプローチとは異なり、全体、つまりシステム自体の機能や活動を考慮することなく、システムを部分に分解することに重点を置いています。

システム思考は、大局的、巨視的、全体的、総合的なアプローチを好みます。システムをさまざまな視点や組織レベルから観察し、研究します。

システムクスは、20世紀半ばに徐々に台頭し、デカルト的な分析的伝統や、全体を独立した部分に切り分けようとする傾向があり、現実を理解する上で限界を示した還元主義の他の形態と対立する形で構築されました。"

興味深い注釈:

- ・「相互作用（または相互関係）とは、非線形の因果関係を意味します。この概念は、生物学における共進化や共生を理解するために不可欠です。相互作用の特殊な形態は逆作用（またはフィードバック）であり、その研究はサイバネティクスの研究の中心となっています"
- ・「全体性。システムがまず第一に要素の集合であるならば、それをこれに還元することはできません。諺にもあるように、全体は部分の総和以上です。
- ・「組織とは、システムとは何かを理解するための中心的な概念です。組織化とは、その要素の階層的なレベルへの分割に従って全体を配置することです。組織化の度合いによって、全体が同じ性質を持つことはありません。したがって、全体性の特性は、それが含む要素の性質や数よりも、それらの要素の間に確立される関係に依存するという考えに達します:「開放系とは、物質、エネルギー、情報の交換を通じて、自己組織化能力を発揮する系のこと。
- ・オープンシステムとして、生物はネグントロピーループ（エントロピーを減少させ、より高い秩序を作り出すこと）を作り出すことができます。
- ・「ダイナミック・システム」に関して、この分野を特徴づける第一の考え方は、見かけの無秩序の背後には、目に見える秩序よりも複雑な秩序があるということです。第二の考え方は、この秩序は自己組織化によって生じ、以前にはなかった新しい特性や性質が出現するというものです。"

バイオコヒーレンスへの応用

- 要素そのものの評価と同じかそれ以上に重要な要素間のつながりを強調すること。

創発

"創発 "とは、"全体は部分の総和以上である "という格言に要約される哲学的概念です。還元主義や二元論（二元論や生命論）とは対立します。

特性は、より基本的な特性から "続く "場合、"新しい "またはそれらに "還元できない "まま、"創発 "として修飾することができます。このように、ジョン・スチュアート・ミルは、水の性質は水素や酸素の性質には還元できないと述べています。

興味深い点

- ・「システムのミクロレベルとマクロレベルの関係という文脈で、"同期的創発 "と言うことがあります。この場合、"創発 "は概念的な還元不可能性を意味します。"創発的な特性や法則は、より小さなスケールの構成要素間の関係を規定する法則には還元できない法則によって支配される複雑なシステムのシステムの特徴なのです。"

バイオコヒーレンスへの応用

- 創発の論理: 分析はいくつかの段階を経て行われ、それぞれの段階で下位レベルには存在しない上位レベルの特性が明らかになります。最終段階では、資源が発見されます。

エネルギー

"エネルギーとは、作用、力、持続時間に関連する概念です。"ある作用を実行するには、この変化に反対する慣性力や抵抗力に打ち勝つために、ある力を十分な時間維持する必要があります。

バイオコヒーレンスへの応用

バイオマーカーのエネルギーは、バイオマーカーの種類によって異なる方法で測定されます。各バイオマーカーに固有の最小/最大スケールで配置され、花の縦軸になります。

エントロピー

これは明確かつ複雑な概念ですが、何よりも分野によって全く異なることを説明する用語です。

- 物理学者にとって、エントロピーとは攪拌、無秩序のこと。
- 情報理論にとっては、エントロピーはさまざまなタイプの情報の可能な生の量の尺度です。
- コンピュータサイエンスでは、エントロピーは可能な情報の範囲、つまり空間の大きさです。

エントロピーの概念を要約すると、システムの無秩序に比例し、その反対のネグエントロピーはシステムの秩序の程度に比例します。

バイオコヒーレンスへの応用

バイオマーカーの異なるレベルでの変化を測定し、花の横軸を構成する攪拌因子を推測します。

リソース理論

クリスティン・デゴイによって開発された資源理論は、あらゆる生命システムにおいて、他の部分を養う完璧に達成された部分が存在することを仮定しています。システム・ロジックでは、これらはリソース・パーツであり、必要とする他のサブシステムと積極的にリンクしています。

クリスティンは、有機的、心理的、エネルギー的、非物理的（すなわち、システム全体と相互作用する物質で構成されるが、通常の物質と同じ物理法則に従わない）など、あらゆるレベルのリソースを特定しました。

バイオ・コヒーレンスへの応用

最高レベルの創発的要素として、リソースの特定によって、対処すべき優先事項の首尾一貫した計画を構築し、それを用いてシステム全体を最適化することができます。

カスケード理論

ポール・シュミットが提唱し、後にフィリップ・マツツアが発展させた、疾病の元となる原因を探索する原則の流れを汲むカスケード理論は、システム論理の一部です。これは、苦しんでいる器官やシステムは、因果関係やエネルギー的な相互関係の連鎖の一部であり、効果的な治療のためにはこの連鎖をたどる必要があると仮定しています。

バイオコヒーレンスへの応用

リンクと首尾一貫したシステムを特定することで、バイオコヒーレンスは完全な因果関係の連鎖を再構築し、障害の発生源に作用することができます。しかし私たちは、因果の連鎖の概念を複数の連鎖に拡張し、要素が首尾一貫しているシステムは、その要素のバランスを持続的に調整するために、すべてのレベルで同時に介入する必要があるという事実に着目しています。

胚発生

「胚の形成過程において、細胞は異なる細胞層に組織化されます。中間層は中胚葉と呼ばれる組織を形成します。内胚葉は消化管とそれに付随する腺（膵臓）を作り、中胚葉は筋肉、骨格、血管を作ります；

外胚葉は表皮と神経系を作ります。

バイオコヒーレンスへの応用

私たちは、これらの要素は成体においても特定の共鳴によってつながったままであると仮定し、クリスティン・デゴイによって開発された8つのコーパスを考慮に入れます。これらの関係は、結果の解釈に統合されます。

プロロジ理論

Christine Degoy著『*Prologie, rediscovering the meaning of life*』より抜粋：

「ケアと充足の両方に対する統一されたアプローチ。統合的で横断的な性質を持っており、システムの、その人のすべての構成要素の共鳴を指向し、多くの利用可能なリソースが相乗効果をもたらすものです。”

プロロギーは、完全なパラダイムシフトを提供し、病気の最中であっても、充実感を得るための強力なテコとして身体を統合します。プロロギーの強力な原則は、システム理論のアプローチと組み合わせたライフプロジェクトに基づいています。

発生学は、個人的なプロジェクトのサポートという観点から人体をマッピングすることを可能にし、成熟の成長と人生の習得における連続的な範囲の時間的組織を発見することを可能にします。

発生学に基づくマッピングは、人間の本性の3つの柱である意志、愛、知恵と組み合わせられ、病気に対する新しい理解を生み出します。実際、プロロジカルな解釈では、病気は故障ではなく、システムの変容と見なします。人間の物質・エネルギー・情報システムが前進し続けるために改善を必要とするとき、その人はあらゆる進化の機会を利用して、スキルや行動、ニーズや欲求、さらには人生や自分を取り巻く世界についてのビジョンを修正し、発展させていくのです。

それぞれの臓器は、個人のライフプロジェクトの成就に役割を果たし、進化に必要な変容の度合いに応じて、さまざまな裁量で自らを更新していきます。

プロロジック・アプローチの目的は、全人的な充足を達成するために、自分のライフプロジェクトを尊重しながら、バランス、エネルギー、快適さを回復することです。

バイオコヒーレンスへの応用

このソフトウェアは、ライフ・プロジェクトと共鳴しながら進行中の問題と変容の完全な評価と識別を可能にします。これは、対立や障害に基づく生物学的解釈とは対照的に、目的とエネルギー解放に基づくポジティブなリーディングです。

共鳴の原理

「共振とは、特定の物理システム（電氣的、機械的など）が特定の周波数に敏感に反応する現象です。共振するシステムは、周期的な形で、"共振周波数"として知られる周波数に近い周波数が印加されると、エネルギーを蓄積することができます。」

バイオコヒーレンスへの応用

オーディオ瞑想中、特定の周波数で発せられる音や音の連続は、特定の器官や精神構造にエネルギーを与えます。

コヒーレンスの原理

「物理学におけるコヒーレンスとは、波動系の相関特性の集合です。2つの波の間のコヒーレンス、2つの異なる瞬間における同じ波の値の間のコヒーレンス（時間的コヒーレンス）、2つの異なる場所における同じ波の値の間のコヒーレンス（空間的コヒーレンス）があります。コヒーレントビームの例：レーザー光」

バイノーラル・ビート

「バイノーラル・ビートとは、特定の物理的刺激的の結果として脳内で知覚される明らかな音のことです。この効果は1839年にハインリッヒ・ヴイルヘルム・ダヴによって発見されました。

被験者のそれぞれの耳に、わずかに異なる周波数の2つの音が独立して提示されると、脳は音の大きさが低周波のパルスとして知覚される現象を生じます。2つの周波数の差が4ヘルツの場合、被験者には1秒間に4回の拍動が聞こえます。」

バイオコヒーレンスへの応用

オーディオ瞑想では、対処すべき優先事項に従って特定のバイノーラル・ビートが統合されます。これらはアルファ、ベータ、ガンマ、シータの特定の周波数で脳を訓練します。

スケール波

マーク・ヘンリーは¹、「3つの空間的次元と時間的次元から独立した、5番目の次元のスケールが存在する」と説明しています。この新しい次元によって、観測または測定された時空間現象が作用するスケールを決定することが可能になります。しかし、新しい次元があれば、その中を伝播する波が必ず存在します。もちろん、これがスケール波です。その役割は、同じ物理的対象物の異なるスケールの記述と発現の間の一貫性を保証することです。このスケール波は、量子物理学や相対論物理学の学術書には出てきません。しかし、私たちにとっては非常に身近なものです。私たちがしなければならないのは、個人が自分を構成するさまざまな部分をどのように認識できるかという問題を受け入れることです。スケール波のおかげで、同じ個人が自分自身を表現するためにどのようなスケールを使おうとも、自分の統一性を感じることができるのです」。

1. <https://marchenry.org/2014/09/15/ondes-dechelle/>

鱗片波はジョエル・シュテルンハイマーによって理論化され、彼はそれをプロテオデイズで実用化しました。

時間結晶

「時間結晶とは、時間と空間における周期的な構造のこと。このような構造のアイデアは、2012年にフランク・ウィルゼックが提唱しました。ウィルゼックによると、移動しながら周期的に元の状態に戻る粒子群からなる構造を考えることが可能で、それが「時間結晶」を形成すること。この表現は、原子構造が空間のさまざまな方向に繰り返しパターンを示す「古典的」結晶で観察されることに由来する造語。一方、時間結晶では、パターンは発振器のように時間的に周期的に繰り返されます。外部からの周期的な励起によってのみ、エネルギーを吸収する時間的結晶を出現させることができます。」

バイオコヒーレンスへの応用

要素間のリンクが特定されれば、繰り返されるパターンを特定することができます。これらのパターン（思考、動作、痛み、様々な不調の連続である可能性があります%u2026）は、その動きを永続させるために、一般的なシステムから絶えずエネルギーを吸収する構造を形成するという考え方です。ソフトウェアのアルゴリズムは、その繰り返しを断ち切るための特定の結節点を見つけることができます。

心と体の関係

「発生という概念は、1960年代にドナルド・デビッドソンによって心の哲学の分野に導入されました。あるタイプBの性質（例えば心的性質）があるタイプAの性質（例えば身体的性質）の上に生じるとき、タイプBの変化はすべてタイプAの変化と等価です。したがって、これら2つのレベルの間には共分散の関係があります。」

"サイモン・ブラックバーンによれば、現代の物理学的な自然観には、色や痛みなど、私たちの世界体験の質的側面を構成するあらゆるもののような質的特性が欠けています。"

"ガレン・ストローソンのような汎心論哲学者の中には、この観点から、すべての物理的対象は、実際には、生活経験の特性に類似した精神的特性であると主張する者もいます。"

物質-エネルギー-情報の重要性の関係；物理的、エネルギー的、情報と重要性のエントロピー

世界の経験の質的側面」に戻るために、物質を見てみましょう：

- 物質は波と粒子の両方で構成されています。物質的（粒子）ともエネルギー的（波動）とも表現できます。現実には、ギターの弦を折り曲げたような磁場を作り出す、自己完結型の静止波について話しているのです。このようにして、波動は%u2026
- エネルギーを生み出します。エネルギーは交換することができますが、それ自体はマイナスでもプラスでもありません。しかし、それは%u2026
- エネルギーや物質に符号化され、...の記号を表す情報。
- それは究極的には、意識の存在である私たちにとって重要な唯一のもので。

このことは、「エントロピー」という概念に視点を戻します。物質のレベルでは、エントロピーは攪拌であり、エネルギー・ポテンシャルです。情報のレベルでは、エントロピーは媒体（エネルギーまたは物質）上で伝達される情報の可能な量です。しかし、究極的な意味のレベルでは、エントロピーは実際に伝達される重要な情報の量です。

例えば、核爆弾を作動させるボタンを想像してみてください。情報レベルでは、1ビットの情報で十分です。物質とエネルギーのレベルでは、その効果は巨大ですが局所的で、また、重要性という点では、対象によって異なります。都市（空間と時間における巨大な効果）か、実験トンネル（実験結果に限定された効果）か。このように、エントロピーの量は、同じ作用に対して、異なるレベルで根本的に異なることがあります。

シンクロニシティ

「一見信じられないような偶然の一致が起こると、宇宙が私たちにサインを送っていると思うことがあります。しかし、ユングにとってこれはシンクロニシティ（共時性）であり、偶然ではない意味によって結びついた異なる出来事の同時性と定義することができます。言い換えれば、この特異な科学は、一連の出来事（2つ以上）の時間的な偶然の一致として要約することができます。しかし、内容的なつながりはあります。

「ユングによれば、私たちがシンクロニシティについて語る時、私たちは内的な出来事と外的な出来事の結合を指しています。したがって、これらの出来事を経験する個人は、それらの統合に意味を見出します。ユングは、認識可能なパターンの探索としてシンクロニシティまたはハプニングを確立しました。」

バイオコヒーレンスへの応用

パターン認識は、私たちが世界を理解するための不可欠な要素です。シンクロニシティは、先験的な無関係な出来事の間を通じた意味が現れることとして理解されています。情報の意味を引き出すのは、この意味を通してのつながり、意義を通してのつながりなのです。このような関係の出現は、バイオマーカー間のリンクの計算によって強調されます。極端に言えば、コヒーレントなシステムは、シンクロニシティに相当するもの、すなわち、より高いレベルの意味の出現を示します。

一般的意味論

「一般意味論は、アルフレッド・コージブスキーによって開発された、すべての人のための非アリストテレス的な思考形態を提案します。

一般意味論は古典的意味論（語彙の意味とその変化の研究）の枠組みを拡張しようとするもの。コージブスキーの目的は、アリストテレスやアカルト、アリストテレス物理学やニュートン物理学の以前の論理学よりも効果的に人間の問題を解決できるように、彼の時代の科学的進化のレベルにも対応する論理学を概念化することでした。古代から17世紀にかけて概念化されたこれらの論理学は、コージブスキーの世紀の発見に特有の問題を説明し、対処するためには、もはや有効なものではありませんでした。コージブスキーは精神医学に、アンリ・ラボリットは生物学（行動抑制の理論）と攻撃学（攻撃条件下での生物の反応の研究）に適用しました。

『科学と正気』の中でコージブスキーは、この非アリストテレス的論理と20世紀の2つの科学革命、量子物理学と相対性理論との間に対応関係があると説明しています¹。前者は通常の理性の範疇を覆し、後者は「非ニュートン」物理学と「非ユークリッド」²幾何学を導入したと指摘。後者のように、非アリストテレス的の「否」は否定として理解されるのではなく、アリストテレス論理学の一般化と克服として理解され、後者を含みながら、「一般」という言葉は一般相対性理論と同じ意味で理解されます³。量子物理学との類推により、コージブスキーは、観察者は現実の表現に不可欠な部分であり、一般意味論ではこれを考慮しなければならないと主張しています。

バイオコヒーレンスへの応用

すべては意味。これは、物質-エネルギー-情報-意味の連鎖を抽象化した究極のレベルです。BioCoherenceのために開発されたアルゴリズムは、この点を強調しようとしています。

ヒューリスティクス

"ヒューリスティクス"とは、不完全な知識に基づいて問題を解決することで、"発明や発見をする技術"です。この種の分析は、限られた時間内に許容可能な解決策を導き出します。これらは最適解から逸脱する可能性があります。ダニエル・カーネマンにとっては、困難な問題に対して、しばしば不完全ではあるものの、適切な答えを見つけるのに役立つ手順。"

バイオコヒーレンスへの応用

ヒューリスティクスは「ルールを見つける学問」です。ここでもまた、パターンを認識することが問題であり、リンクを強調することで、システム内の1つの要素の特定の状態でなく、一般的な組織を見ることができます。

エルゴディティ

「エルゴディティとは、同じ対象について複数の異なる別々の統計分析が十分に比較可能な結果をもたらす場合に存在するもの。この理論は、力学系理論やカオス理論と密接に関連しながら、数多くの発展を遂げてきました。

バイオコヒーレンスへの応用

最近のディープラーニングやニューラルネットワークの進歩により、パターン認識は分析に不可欠な要素となっています。

計算不可逆性

計算不可能性とは、ステイブン・ウルフラムが著書『*A New Kind of Science*』（2002年）の中で提唱した主要な考え方の一つです。

多くの物理システムは非常に複雑で、効率的に測定することができません。最も単純なプログラムでさえ、多様な振る舞いを示します。そのため、実験を行う前に、ある物理系で何が起こるかを初期条件だけで正確に予測できるモデルはありません。Wolframでは、このような計算機科学の形式言語における還元不可能性の問題から、システム（または「プログラム」）を「ショートカット」したり、その振る舞いを簡単な方法で記述したりすることができないことを「計算機的還元不可能性」と呼んでいます。この考え方は、理論の予測が事実上不可能な場合があることを示しています。Wolframは、多くの現象は通常計算不可能であると主張しています。

計算不可説は、既存の主流科学の限界を説明するものです。計算不可能な場合には、観察と実験しかありません。"

バイオコヒーレンスへの応用

この概念は、例えば、なぜ生命がそのように展開するのかを説明します。私たちがシミュレーションの中で生きているとしましょう。まるでビデオゲームのキャラクターのように。なぜ結論に飛びつかないのでしょうか？なぜなら、この原則によれば、結論に飛びつくことは不可能だからです。エピソードを知るためには、出来事のすべての段階を経なければならないのです。ゲームをプレイ」する必要があります。なぜなら、ゲームをプレイすることなく、その結末を語ることは誰にもできないからです。

私の考えでは、神秘主義や実存的な疑問が提起する複雑な疑問のほとんどは、これで説明できます。仮に輪廻転生が真実だとしましょう。ではなぜカルマなのでしょう？単純に、可能性のあるすべての選択肢を計算することが重要であり、その選択肢を計算するための最良のシステムは、選択肢を認識できるものだからです。この観点からすると、カルマは復讐のための道具ではなく、ある出来事がもたらす可能性のある結果（予測は不可能）を横断的に知るための道具なのです。そして、人生は私たちに同じような状況を提示しますが、それは異なる視点から見たものであり、私たちが意識的に段階を踏んで結果を観察すること次第なのです。このビジョンでは、運命や避けられない出来事というものは

存在しません。唯一の現実、提示された出来事に直面して私たちが下す決断だけであり、その結果は私たちが決断を下すまで予測することは不可能です。現実には、私たちの人生はすべて私たち自身の手の中にあるのです。

無意識、集合的無意識、アーキタイプ

「アーキタイプとは、スイスの精神科医カール・グスタフ・ユング（1875-1961）によって開発された分析心理学の概念で、ユングはそれを、すべての文化に共通するが、さまざまな象徴的な形で表現される、精神を構造化する普遍的なテーマを含む同じ「先験的に与えられた表現形式」を使用する人間の傾向であると定義しています。

ユング心理学にとってアーキタイプとは、ユングのもうひとつの概念である集合的無意識と結びついて、歴史を通じて人間の経験から生まれた行動や表象の基本的なパターンを表現するものであり、人類文化の創始的な精神的プロセスなのです。

無意識といえば、ある朝、夢の後に見たと著者が主張する発明や発見のリストです：

- デカルトは、1619年11月10日に見た3つの夢が、新しい哲学、科学的方法の基礎を明らかにしたと主張しました。なるほど、科学的方法そのものが「夢」に由来するのですね。
- E.現代のロックミシンの針を夢見たと言われるE.ハウ。
- 科学者F.A.ケクレは、蛇の一团が尾を飲み込む夢を見たとき、一見不可能に見えるベンゼン（C₆H₆）の化学構造を発見しました。
- ニールス・ボーアは原子の構造を発見し、1922年にノーベル物理学賞を受賞。太陽系のように原子核の周りを回る電子が夢の中に現れたと回想。
- ロシアの化学者ドミトリ・メンデライエフは、56の元素を分類するのに3日間もかかって疲れ果て、眠ることにしました。「夢の中で私は、すべての元素があるべき場所に収まっている表を見ました。目が覚めると、すぐにそれを紙に書き留めました」とメンデレーエフは日記に書いています。「後で訂正が必要だとわかったのは一箇所だけでした」。
- インドの数学者スリニヴァーサ・ラマヌジャンは、整数論、解析学、その他の純粋数学の分野に多大な貢献をしたことで知られていますが、ヒンズー教の女神ナマギリ・ターヤルが夢の中で数学的な洞察を与えてくれたと主張しています：「突然、手がスクリーンに書き始めました。私はとても注意深くなりました。この手は楕円積分をいくつも書きました。それが頭にこびりついて。目が覚めてすぐに、それを書き留めました」
- アルベルト・アインシュタインの相対性理論にインスピレーションを与えた牛の野原。アインシュタインは夢の中で、ある農夫に牛が電気柵に囲まれていると言ったのですが、農夫は違うものを見たのです。アインシュタインは目が覚めたとき、同じ出来事でも視点が違えば変わるということに気づき、相対性理論が形作られ始めたのです。
- 進化論といえばチャールズ・ダーウィンが脚光を浴びていますが、科学者アルフレッド・ラッセル・ウォレスも負けてはいません。ウォレスは現在のインドネシアを8年間探検し、何千もの動物標本を集めて研究しました。1855年、ウォレスは生物は進化すると結論づけましたが、1858年に熱にうなされる夢を見て、「動物は環境に適応することで進化する」という啓示を受けるまで、その方法を理解していませんでした。
- オットー・ローウイの研究以前は、神経伝達が本質的に化学的なものなのか、電気的なものなのか問題でした。イースターサンデーの前夜、ローウイは完璧な実験装置を夢想しました。心臓の鼓動する部屋を2つ用意し、一方には神経を残したまま、もう一方には神経を残したまま。実験者は最初の心臓を電氣的に刺激し、鼓動を遅くします。神経伝達が基本的に電気的なものであれば、2番目の心臓が遅くなる理由はありません。しかし、神経伝達が化学的なものであれば、理論的には化学物質がチューブを伝わって、もう一方の部屋にある2番目の心臓の鼓動を遅くすることができるのです。ローウイはこの考えに注目しますが、朝起きたときに自分の筆跡を解読することはできません。翌日の夜、夢は彼の脳裏によみがえります。ヘンリー・デールと共同で、ローウイはこの実験装置を用いて化学的神経伝達を実証し、1936年にノーベル賞を受賞。
- フランシス・クリックとともに生命の構成要素であるDNAの二重らせん構造を発見したジェームズ・ワトソンは、らせん階段の夢を見たらしい。別の情報源によると、彼は2匹の蛇が絡み合い、その頭が反対側の端にある夢を見たらしい。
- ある朝、作者のアイデアが明らかになった歌、本、ビデオゲーム、映画は数知れず。

理性的な頭脳（その理性は夢からきていることを忘れてはなりません）は、ここからいくつかの結論を導き出すことができます：

1. 夢は、発明家が心とは異なる方法で思考を統合することを可能にします。結論：私たちの中には別の思考プロセスがあり、それは私たちがすでに自分の中に持っているものすべてを糧とし、原型の中に表現されるものです。無意識は私たちに興味深い情報をもたらしてくれます。
2. 夢は異なる次元の知識への入り口なのです。結論：夢は、おそらく他の現実や他の意識的存在から、これまでアクセスできなかった情報をもたらしてくれる言語なのです。

この2つの可能性は互いに排他的ではありません。無意識の原型である夢の言語は、私たちの意識的な問題に対する有効な情報源であり、進化なのです。

瞑想を10年以上続けてきた私たちの個人的な経験では、瞑想によって無意識が意識とよりうまくコミュニケーションできるようになります。瞑想は、そうでなければ夢の奥底でしか表現しない「小さな声」に耳を傾けるよう、意識を訓練します。私たちは、無意識により多くのスペースを与えることのパワーを見てきました。この2つの側面は、まったく異なる分野の知識にアクセスできるため、よりよい問題解決のために協力し合うのです。

もうひとつの個人的な結論は、内的コミュニケーションは筋肉のように鍛える必要があるということです。クリスティンの最初のビジョンは非常にぼやけていて、確信が持てないものでしたが、何年ものトレーニングの結果、彼女は通常の五感と同じくらい具体的な新しい "感覚" を身につけました。この情報の起源がどのようなものであれ、他の感覚と同じように現実的なものであることは何千回となく証明されています。しかし、訓練を積み重ねれば、幻想と現実を切り離すことは非常に難しい。結局のところ、私たちは5つの身体感覚をマスターし、信頼するまでに何年もかかるのです。これらの5つの感覚は、外界からの現実を反映する刺激を、私たちのニューロンのパターンに変換しているだけなのです。私たちが理解するようになったのは、具体的な外界の現実を翻訳する「微妙な」感覚も存在し、それを訓練する必要があるということです。

バイオコヒーレンスへの応用

ガイド付き瞑想は、問題解決や内なる自己開発において、無意識と意識を作用させるために、さまざまなアーキタイプを呼び出します。

真の心臓コヒーレンス

ダン・ウインターは、真の心臓コヒーレンスを、分析（すなわち2次FFT）の "調和" 部分にピーク・カスケードが現れることで定義しています。FFTまたはフーリエ変換は、信号から周波数を抽出するために使用されます。2次FFTは音楽的に調和のとれた周波数を抽出します。この数学的操作によって、心電図に存在する周波数の明らかな大部分が互いに調和していることを検出することができます。

この「調和」部分のピークはいくつかの周波数で見つけることができ、記録時の基本的な感情に対応するこのピークの周波数帯が特定されています。

フラクタル、圧縮、位相共役

「周波数間の比が黄金比のべき乗であるとき、無限の状態が最大に圧縮される」 ([gsjournal](https://www.gsjournal.net)²)

ここで圧縮とは、周波数がそれらの間のd'または数の倍数である場合に得られる、周波数の最大加算（したがって、それらの間に構成的な-共役な-位相を持つ）として定義されます。

フラクタル性とは、類似した構造が異なるスケールで見られるという事実のことです。

2. <https://www.gsjournal.net/Science-Journals/Research-Papers-Quantum-Theory/Particle-Physics/Download/4543>

エルフィーの測定

ダン・ウインターは、再び、最適エネルギー「インプロージョン」の基本方程式を理論化しました。この方程式は、宇宙で見られる共鳴周波数の多くを予測します。この方程式は、宇宙で見られる多くの共振周波数を予測するものです。私は、対応する量を、一方ではエルフ族（特にエルフ建築）に、他方では方程式そのものに敬意を表して「エルフィー」と名付けました。

このように、エルフィーのスケールはエルフィーの数に比例するだけでなく、エルフィー全体の値も含まれます。これらの整数値には、長さ、時間、周波数など、多くの既知の量が含まれます。詳しくは[Elfie.link](https://elfie.link)を³ご覧ください。

3. <https://elfie.link>

3.1.

モジュールの概要

- **BioCoherence Scan** は、生の心電図から数十のマツプ、グラフ、バイオマーカーを計算し解釈する明示的な方法までの完全な分析モジュールです。
- **BioCoherence Test** は、パルスのライブ進化からアイテムリストを評価するオープンな方法です（バイオフィードバック）。
- **BioCoherence Balance** は、リソースを特定し優先順位を選択し、それに基づいてPDFレポートやカスタム瞑想を作成します。

Contenido

1.	スキャン: バイオマーカーと技術分析	20
1.1.	時間グラフモジュール.....	20
1.2.	バイオマーカーモジュール.....	21
2.	スキャン: 器官マップ	22
2.1.	注目すべき原因: エネルギー.....	22
2.2.	注目すべき原因: エントロピー.....	23
2.3.	著名なシステム: コヒーレンス.....	23
2.4.	脳.....	24
2.5.	心血管系.....	24
2.6.	消化器系.....	24
2.7.	膜.....	25
2.8.	椎骨.....	25
2.9.	神経系.....	25
2.10.	歯.....	26
2.11.	運動器系.....	26
2.12.	呼吸器系.....	26
2.13.	女性生殖器.....	27
2.14.	男性生殖器.....	27
3.	スキャン: TCM 経絡、ポイント、レシピ	28
3.1.	膀胱経絡とリンク.....	28
3.2.	エネルギーによる経絡と一般的な関連問題.....	28
3.3.	TCM ポイント.....	29
3.4.	TCM レシピ、コヒーレンスによる.....	29
4.	スキャン: エネルギーモジュール	30
4.1.	アーユルヴェーダ: ドーシャとサブドーシャ.....	30
4.2.	エネルギーグラフ: チャクラ、プレーン、時計、モーメント.....	30
4.3.	エネルギーグラフ: 微小世界.....	31
5.	スキャン: マインドモジュール	32
5.1.	シャドウモジュール.....	32
5.2.	シャドウ: ドライブ.....	32
5.3.	スピリットモジュール.....	33
6.	バランスモジュール	34
6.1.	リソース.....	34
6.2.	優先事項.....	34
6.3.	PDF レポート.....	35
6.4.	バランス: カスタム瞑想.....	35

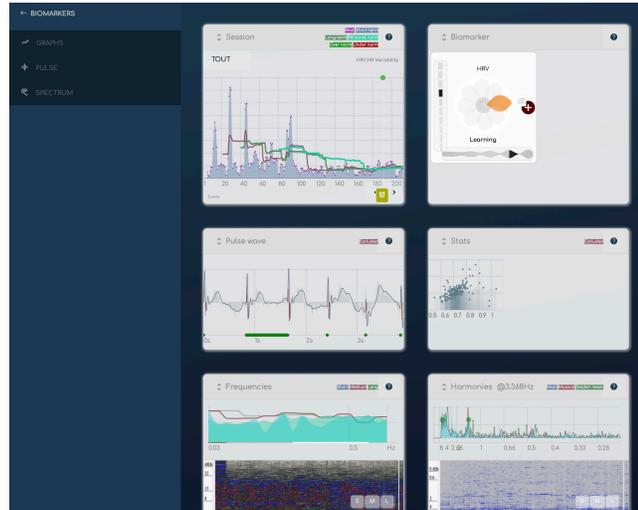
7.	テストモジュール	37
7.1.	ライブ評価後のテストリスト	37
7.2.	A テストリスト	37
7.3.	テストリスト	37
7.4.	テスト: バイオフィードバックライブ評価	38
7.5.	テスト: 編集	38
8.	モジュールを理解する	39

1. スキャン: バイオマーカーと技術分析

ECGパルス、バイオマーカー、およびスペクトルに取り組む。

BioCoherenceは、生の記録されたECGパルスに対する数学的操作を通じて、バイオマーカーを独自に構築します。

- このモジュールでは、生の記録にアクセスしたり、測定エラーがあった場合にビートを無効にしたりできます（アプリは自動品質検出アルゴリズムに基づいてビートを自動的に無効にします）し、時間的事件に取り組むことができます。
- また、バイオマーカーに関する1次、2次、3次の情報を確認し、カテゴリ別にブラウズすることもできます（1400以上のバイオマーカーがあります...）。

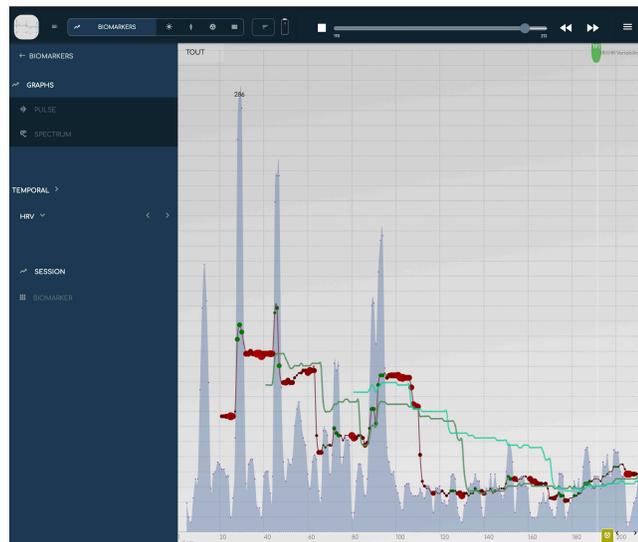


1.1. 時間グラフモジュール

バイオマーカーが時間とセッションを通じてどのように進化するかを確認してください。

BioCoherenceは、バイオマーカーと非常にダイナミックに連携し、いくつかのタイムフレームにわたってその進化を評価し、タイムフレーム間で比較します。

- このグラフでは、各バイオマーカーがビートレベルで表示され、短期、中期、長期の移動平均と比較されます。
- 録音内を移動するには、上部のスクロールを使用します（再生ボタンを押して表示し、停止ボタンを押してセッション間で比較します）。グラフ内をクリックして現在のマークを移動することもできます。
- 左上の範囲セレクターでズームスケールを変更できます。
- このモジュールでイベントを操作できます：イベントはグラフの下部に表示されます。イベントを作成または編集するには、グラフの下部にあるボタンをクリックします。

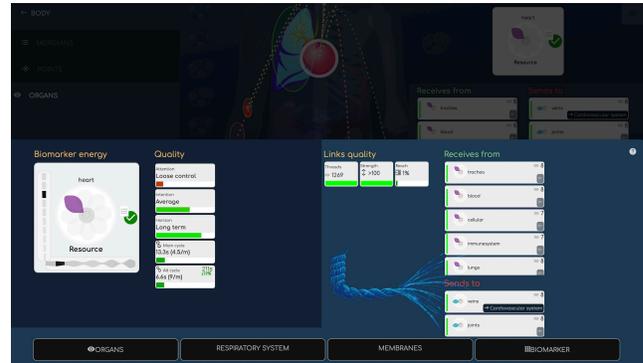


1.2. バイオマーカー モジュール

バイオマーカーの幅広い情報への深い掘り下げ。

各バイオマーカーは、バイオマーカーパネルからワンクリックでアクセスでき、ダイナミクスに関するすべての情報をコンパクトで便利な方法で表示します。

- 主な情報はバイオマーカーの花びらであり、これによりその主な質を即座に評価できます。花びらは、主なエネルギーと主なエントロピー（または動揺）の複合体です。9つの異なる花びらがあり、それぞれはその主な質を理解するための簡単な言葉が付いています。
- ダイナミックな質は2番目の列に表示されません。注意、意図、地平線はその長期的なダイナミクスに関する情報です。
- 主なサイクルと代替サイクルもこの列に表示されます。これはバイオマーカーの主な呼吸です。サイクルは期間（秒）と周期（分あたり）で表示されます。サイクルが整数Elfie値¹と一致する場合、これは良いエネルギーのインプロージョンとの共鳴を示し、Elfieテーブルへのリンクが強調表示されます。
- リンクパネルは、他のバイオマーカー（ここでは他の臓器）との関係を示します。リンクの質は、主なロープの複合体です（スレッドはすべてのリンクの数、強度はその堅牢性、リーチはこのバイオマーカーにリンクされているファミリー内のバイオマーカーの数を示します）。受信元と送信先は、他のバイオマーカーをリストします。これをクリックすると、それらの情報ページが開きます。
- 下部には、マップとグラフのボタンがあり、関連ページへの直接アクセスを可能にします。



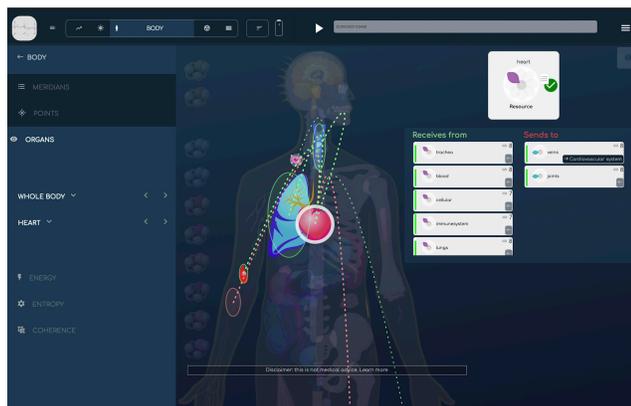
1. <https://elfie.link>

2. スキャン： 器官マップ

*BioCoherence*のために、ナビゲーションとリンクが見やすく、理解しやすくなるように、数十枚の独占的で美しく描かれた体のマップがデザインされています。

500近くのバイオマーカーが臓器システム、臓器、または臓器の部分に特化しているため、私たちはすべてをマッピングして理解する必要があると感じました。

- 歯、椎骨、神経、脳などを一般的に見るための12の美しく作成されたマップやズームイン
- *BioCoherence*のコア機能の1つは、バイオマーカー間のリンクである3次情報です。各マップは、マップ上の臓器間のリンクを美しくハイライトし、他のマップの臓器へのリンクを1クリックで表示します。
- 視覚的なリンクと2つの列により、他の臓器とのエネルギー関係（受け取る、または送る）を即座に評価できます。
- 左側のセレクターには、このマップ上のすべての臓器とそのバイオマーカー評価がリストされています。



モジュールの開き方

「体」をクリックし、その後「臓器」を選択すると、モジュールが開き、体の一般的な概要が表示されます。この概要には、主要な臓器、主要なホルモン、運動器系の主要な部分、血液、細胞などの最も重要なバイオマーカーの選択が含まれています。

臓器をクリックするか、メニューリストから選択すると、その臓器が白いハローに囲まれ、他の臓器との主なリンクがこの画面に表示されます（選択された臓器からエネルギーを受け取る場合は赤で円が描かれ、エネルギーを送る場合は緑で円が描かれます）。

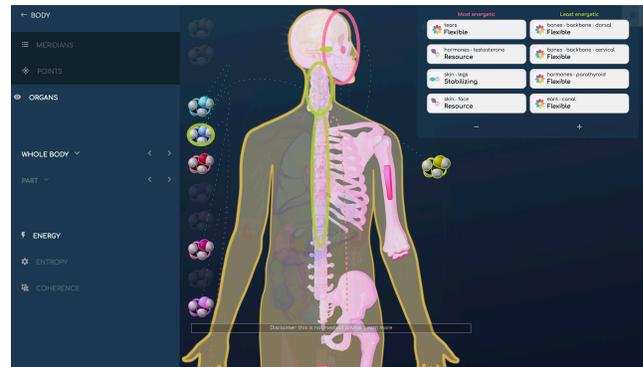
他の体のマップに詳細がある臓器とのリンクが存在する場合、それらは黒い背景にそのマップの名前で識別されます。それをクリックすると、その詳細なマップが開きます。

2.1. 注目すべき原因： エネルギー

すぐに最もエネルギーのある部分と最もエネルギーのない部分を強調します

各 ボディマップには、エネルギー、エントロピー、コヒーレンスのサブメニューがあり、マップメニューとパーツメニューの下にあります。

- エネルギー モジュールは、このマップの最もエネルギーの少ない要素と最もエネルギーの多い要素を表示し、それらの関係リンクも示します。リストの下にある ボタンと-ボタンをクリックすることで要素の数を変更でき、任意のバイオマーカーをクリックするとその情報が表示されます。



2.2. 注目すべき原因：エントロピー

直ちに最も興奮している部分と最も静止している部分を強調表示します

各 体のマップには、エネルギー、エントロピー、コヒーレンスのサブメニューがあり、マップメニューとパーツメニューの下にあります。

- このエントロピー モジュールは、このマップの最も動揺した要素と最も静的な要素を表示し、それらの関係リンクを示します。リストの下にある および-ボタンをクリックすることで要素の数を変更でき、任意のバイオマーカーをクリックしてその情報を表示できます。



2.3. 著名なシステム：コヒーレンス

すぐに最も共鳴しているシステムをハイライトします。

各 ボディ マップには、エネルギー、エントロピー、コヒーレンスのサブメニューがあり、マップメニューやパーツメニューの下にあります。

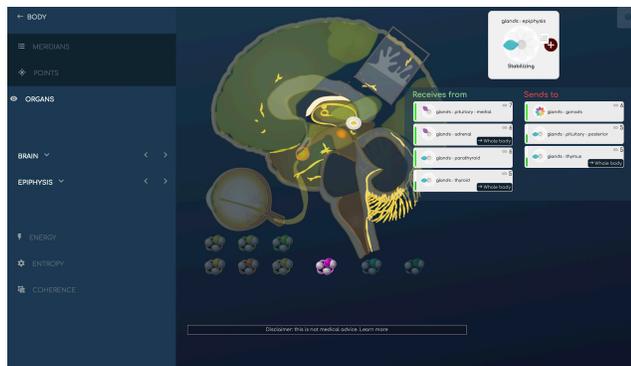
- このコヒーレンスモジュールは、最も位相が一致しているシステム、共鳴しているシステム、およびそれらの関係リンクを表示します。任意のバイオマーカーをクリックすると、その情報が表示されます。



2.4. 脳

脳の構成要素とそれに関連するホルモンのリンクがここでグラフィック的に強調されています。また、エネルギー的な観点から最も注目すべきもの、よりまたは少し興奮しているもの、そしてコヒーレンスにあるものを表示することも可能です。

この地図には、目とその構成要素も追加しました。



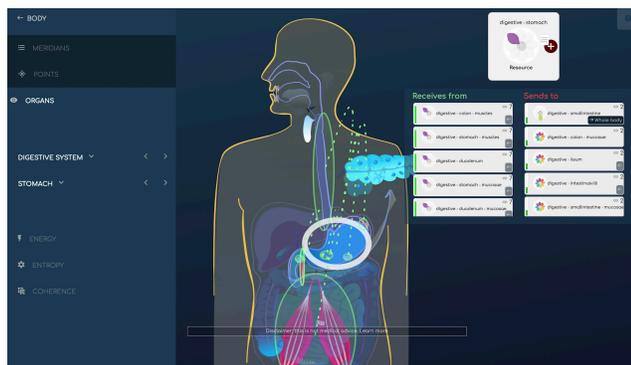
2.5. 心血管系

心血管系の要素間のリンクはここにグラフィカルに強調表示されており、エネルギー的な観点から最も顕著なもの、最もまたは最も不安定なもの、そして調和の取れたものを表示することも可能です。心血管系の解剖学的ボードには、心臓とそのすべての詳細、血液系（静脈、動脈... 循環と血圧の交感神経制御を含む）、血液（血漿、ヘモグロビン）およびホルモン（アドレナリンとノルアドレナリン）が含まれています。



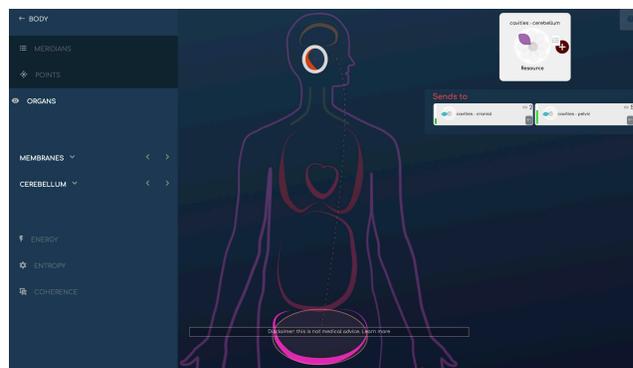
2.6. 消化器系

消化器系の要素間のリンクは、口から肛門までここでグラフィック的に強調表示されています。また、エネルギー的な観点から最も顕著なもの、最もまたは最も静かなもの、そしてコヒーレンスにあるものを表示することも可能です。



2.7. 膜

膜の解剖学的配置は少し異常です。私たちはこれらの大きな空洞間の共鳴リンクを強調したいと考えました。実際、これらは全体的なバランスにおいて重要な部分であり、ホリスティックな観点からは通常あまり考慮されていません。これらは半グローバルな読み取りレベルを提供し、プロロジカルな解釈の観点からも重要です。



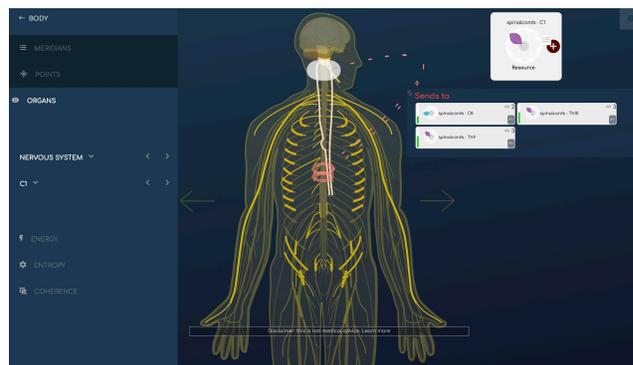
2.8. 椎骨

ここでは椎骨間のリンクがグラフィカルに強調表示されています。また、エネルギーの観点から最も注目すべきリンク、より活発または静かなリンク、そして調和の取れたリンクを表示することも可能です。



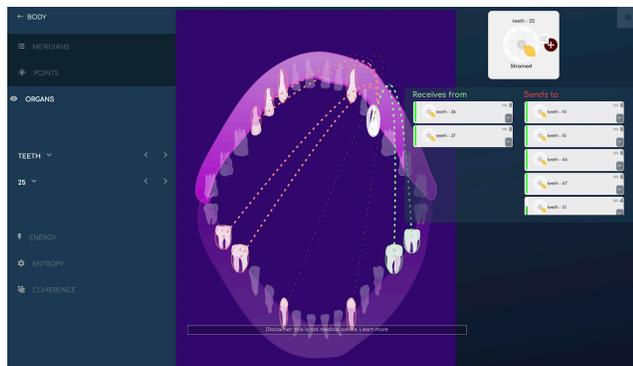
2.9. 神経系

神経系の要素間のリンクはここでグラフィカルに強調されており、エネルギー的な観点から最も注目すべきもの、よりまたは少し興奮したもの、そしてコヒーレンスの中にあるものを表示することも可能です。神経系には脳と脳の詳細、神経と特定の神経の詳細、そして脊髄にリンクされた神経が含まれます。



2.10. 歯

歯と歯茎のリンクはここでグラフィカルに強調表示されており、最もエネルギー的に重要な歯、よりまたは少し動揺している歯、そして調和のとれている歯を表示することも可能です。



2.11. 運動器系

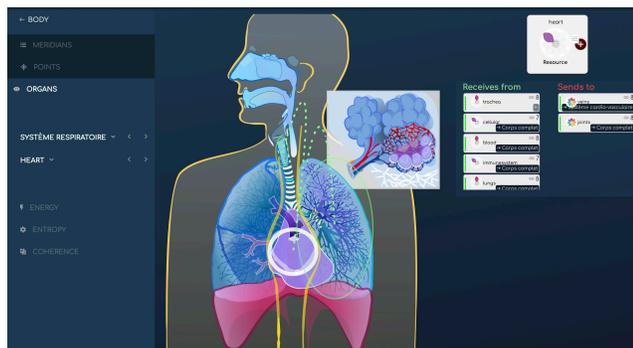
筋骨格系（骨、筋肉、さらにはホルモンやいくつかの臓器）の要素間のリンクがここでグラフィカルに強調されています。また、エネルギー的な観点から最も注目すべきもの、最も活発または静的なもの、そして調和しているものを表示することもできます。

各解剖学的プレートで行った選択は、要素間の関連性を強調するように設計されています。この画面では、脊椎、骨髄、骨格、軟骨、筋肉、筋膜、カルシウム代謝の部分に加えて、副甲状腺、hdh、ノルアドレナリン、髪、皮膚、歯などの興味深いホルモンや臓器を追加しました。



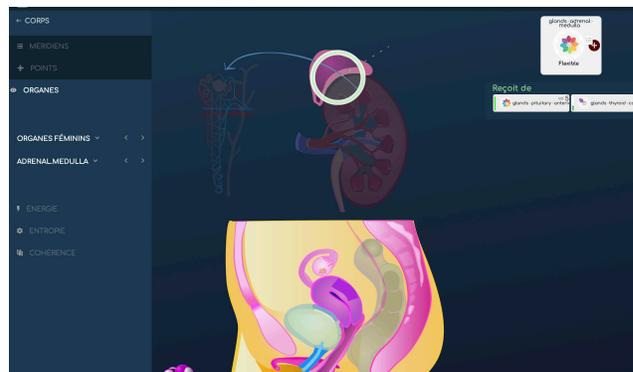
2.12. 呼吸器系

呼吸器系の要素間のリンクはここでグラフィカルに強調されています。また、エネルギー的な観点から最も顕著なもの、より活発なもの、そしてコヒーレンスのあるものを表示することも可能です。この画面では、前頭洞、聴覚管、そして心臓も見られます。



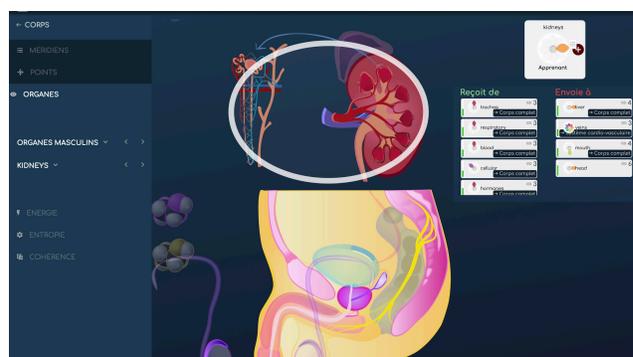
2.13. 女性生殖器

女性生殖器および関連する臓器（腎臓、膀胱、仙骨、副腎、および関連ホルモンであるプレグネノロンなど）間のリンクはここにグラフィカルに強調表示されています。また、エネルギー的な観点から最も顕著なもの、より活発または静かなもの、そしてコヒーレンスを持つものを表示することも可能です。



2.14. 男性生殖器

男性生殖器と関連する臓器（腎臓、膀胱、仙骨、副腎、さらにはテストステロン、DHEA、HGHなどの関連ホルモン）との関係はここでグラフィックに強調されています。また、エネルギー的な観点から最も顕著なものを表示し、より多かれ少なかれ興奮しているもの、そしてコヒーレンスのあるものを表示することも可能です。



3. スキャン: TCM 経絡、ポイント、レシピ

経絡、鍼灸ポイント、中医学レシピ

マスターズ オブ ザ エネルギー エバリュエーション シンシス 5000 イヤーズ、トラディショナルチャイニーズ メディシン イズ エクステンシブリー ユーズド アンド ドラマテイカリー エクステンデッド イン BioCoherence.

- 経絡は 12 または 20 パーツで表示されます。体の主要なエネルギーチャネル、グラフは彼らのリンクと地図は彼らのパスを示しています。
- 鍼灸ポイントは 地図上で動的にアニメーションされています。私たちの独自のアルゴリズムによって 350 以上のポイントが計算されています。
- レシピ は エネルギーの問題に対処するための伝統的な方法で、TCMの方法です。私たちはこの原則を劇的に拡張し、エネルギー、エントロピー、および数百のレシピのコヒーレンスを計算して、現在の評価におけるそれらの有用性を評価し、したがってそれらの可能な必要性を示しています。診断の問題に役立つ評価の形です。



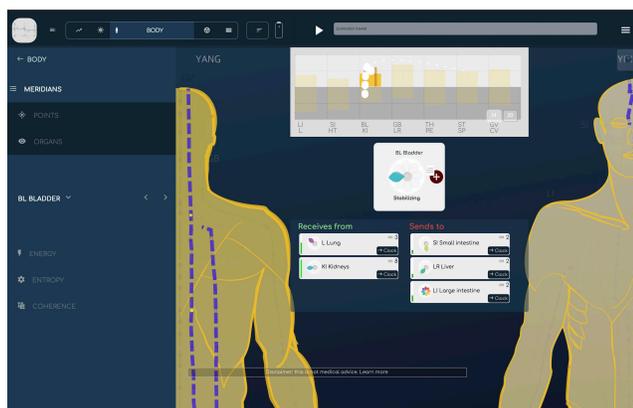
3.1. 膀胱経絡とリンク

経絡をクリックして情報を取得します。

経絡をクリックすると、グラフには他の経絡との関係が表示され、バイオマーカーにはその主な特性が示され、他の経絡とのリンク（受け取る、または送る）が表示されます。

- 左側のメニューで経絡を閲覧でき、ドロップダウンメニューでそれらのバイオマーカーを持つすべての経絡を表示できます。

3.2. エネルギーによる経絡と一般的な関連問題



一回のクリックでエネルギーの最良と最悪を特定する

エネルギーのメニューは、最もエネルギーが強い経絡と最もエネルギーが弱い経絡を直接表示し、問題を特定するのに役立ちます。

- 経絡をクリックすると、経絡の現在のエネルギー状態に関連する追加の結論が表示され、他の経絡の状態と関連付けられる可能性のある条件が表示されます（TCMの知識に基づく）。

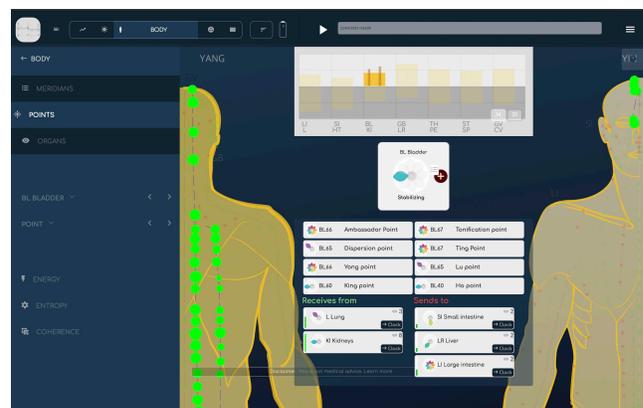


3.3. TCM ポイント

350以上のポイントが計算されます

The ポイント モジュールは、TCMの鍼灸ポイントを表示します。

- 経絡をクリックすると、この経絡内のすべてのポイントと、経絡の重要なポイントに関する伝統的な情報が表示されます。
- ポイントをクリックすると、そのバイオマーカーを見ることができます。

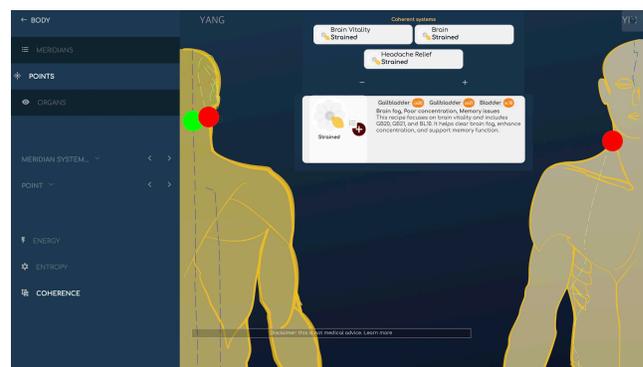


3.4. TCMレシピ、コヒーレンスによる

コヒーレンスは、完全に位相が一致しているレシピを見る方法です。

私たちは、鍼灸のレシピを逆エンジニアリングして、評価ツールにしました。

- 「Coherence」をクリックすると、すべてのポイントが完全に同調しているレシピ（つまり、それらのポイントが共鳴し合い、単一のポイントのように一緒に動いている状態）が表示されます。レシピをクリックすると、地図上のポイントを見ることができ、道順を取得できます。優先順位に追加されると、そのレシピはバランス部分で使用され、効果を再調整するのに役立ちます。



4. スキャン: エネルギーモジュール

エネルギーレベルで評価するために必要なすべてのもの

これらのグラフは、チャクラ、時計、平面、運動量、原子、影響、そして生物のような情報を見ることを可能にします。

4.1. アーユルヴェエダ: ドーシヤとサブドーシヤ

身体のエネルギーのアーユルヴェエダ評価。

アーユルヴェエダの実践者は、身体のエネルギー体質とどのように働くかを知っています。3つの主要な体質は、ヴァータ、ピッタ、カパであり、それぞれに5つのサブドーシヤがあります。

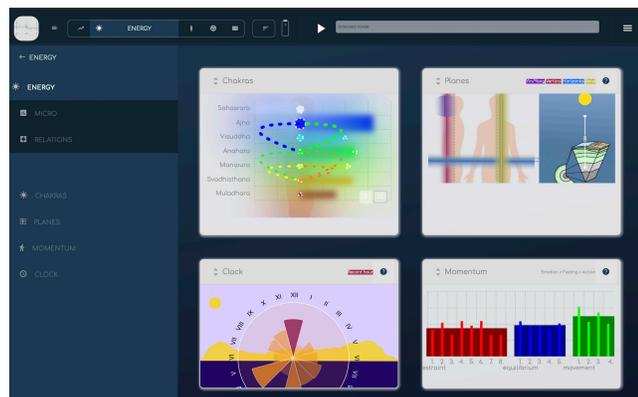
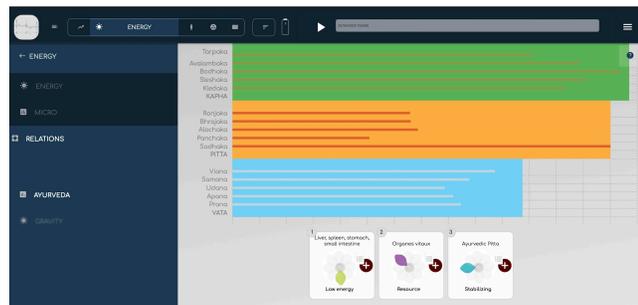
BioCoherence分析では、時間カーソルを動かすと、各ドーシヤとサブドーシヤの動きを見ることができます。これらのシステムはすべて動的です。彼らの動き方は、私たちの評価の一部です。

4.2. エネルギーグラフ: チャクラ、プレーン、時計、モーメント

身体の主なエネルギー源

これらの4つのグラフは、身体の主要な機能の適切なエネルギー評価を可能にします。

- チャクラは、7または12のチャクラ、全体のオーラ、およびそれらの間の関係を示すことができます。
- 平面は、身体の主要なエネルギー均衡を強調します: 水平、垂直、軸方向の平面が示され、深い地球の場との関係と天の場とのリンクが示されています。
- 時計は、経絡とその主要な機能時間との関係を示し、適切な時間の整合性を評価するための記録時間が含まれています。



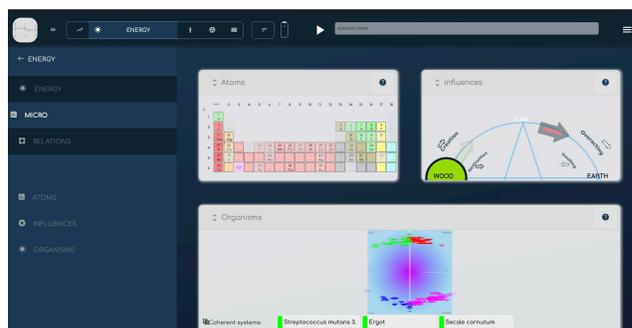
- モメンタムは、3つの主要な慣性とその構成要素を示すために作成したグラフです： 制約のあるもの、均衡を取るもの、そして動きを助けるもの。

4.3. エネルギーグラフ： 微小世界

非常に小さいですが、非常に便利です

この3つのグラフは、グローバルシステムに影響を与える可能性のある微量元素を示しています。

- 原子は、周期表と元素間の共鳴を示しています。
- 影響は、TCM 5元素の星であり、それぞれの建設的または破壊的な影響が計算され、矢印を通じて強調表示されています。
- 生物は、200の外部生物（ウイルス、バクテリア、真菌、寄生虫）の評価とそれぞれのリンクを示しています。

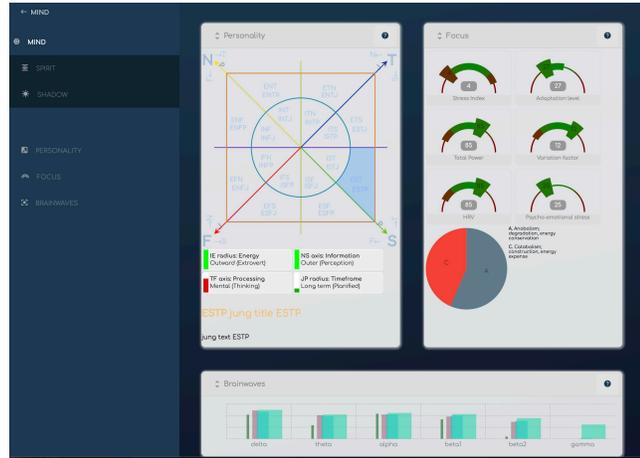


5. スキャン: マインドモジュール

心、精神、そして影がこのモジュールの焦点です。

300以上のバイオマーカーが私たちの思考の中で起こっていることに専念している中で、Mindモジュールはそれらの読み取りを便利な方法で整理することを目的としています。

- **Mind**は、人格、集中、および脳波に関するものです。
- **Personality**は、ユングの人格タイプ（後にマイヤーズ・ブリッグスまたはMBTIとして普及）を再構築します。この画面のために、私たちは人格評価で発見した4つの軸に基づいたユニークで新しい論理的ビジュアライゼーションを作成しました。
- **Focus**は、従来のHRV学術指標と、建設的/破壊的のバランスビジュアライザーを再編成します。
- **Brainwaves?** はい、私たちのセンサーは心臓だけでなく、全身の電気を最大64Hzまで読み取ることができます。私たちは、脳波の特定の情報を抽出して、心の最も活発な集中状態を把握するためのアルゴリズムを設計しました。

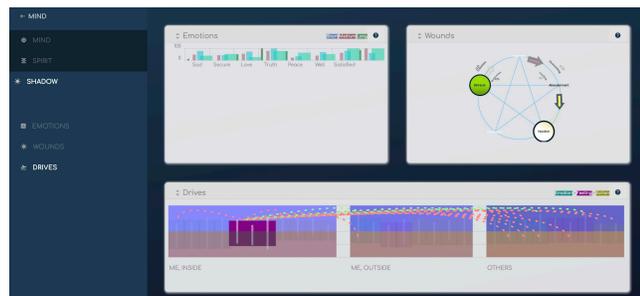


5.1. シヤドウモジュール

感情、傷、そして衝動

影、または潜在意識は、私たちの行動において不可欠な部分です。

- 感情は、ECGの主要なリズムから抽出されます。
- 傷は、TCMの影響に関連しています。5つの傷（または元々設計された8つの傷）は、30年以上にわたり一般的に使用されています。BioCoherenceでは、それぞれの建設的または破壊的な関係を追加することで、その意味を拡張します。
- ドライブは、感情を意味のある方法で整理するまったく新しい方法です。

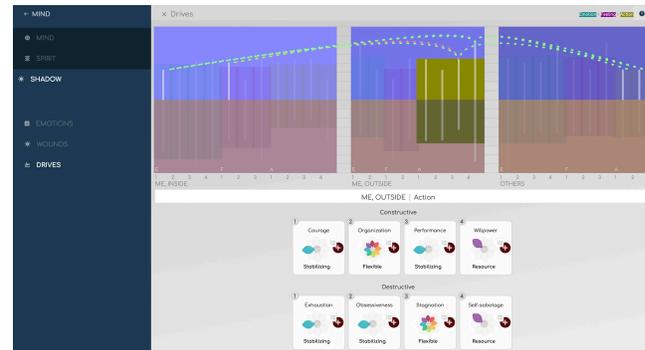


5.2. シヤドウ: ドライブ

感情を整理する新しい方法。

Drives は、28の対立するグループに意味のある方法で感情を整理する全く新しい方法です。これらは、3つの主要なグループ（ME Inside、ME Outside、OTHERS）にきれいに配置され、それぞれが3つのサブグループ（Emotion、Feeling、Action）で構成されています。

- **ME inside** は、私の内面的な機能に関する感情に対処します。
- **ME Outside** は、私の内面的な働きと周囲で起こることに関連する感情に対処します。
- **OTHERS** は、周囲の他の人々に関連する感情に対処します。
- **Emotion** は、それらの起源の根源です。
- **Feeling** は、それらをどのように解釈するかです。
- **Action** は、それらをどう扱うかです。



瞑想技術（観察的思考など）を使用することで、発生する感情の明確化とその影響をよりよく理解できます。感情間の共鳴リンクは、グラフをクリックすると表示され、何が起きているのかを理解するのに役立ちます。

5.3. スピリットモジュール

音楽とスケールの調整

精神は、私たちの中で空間と時間を超越する部分です。

- 音楽は、ECGの主要周波数の読み取りであり、多くの音楽理論と結びついています。音階と主要和音は、短期（1小節）、中期（2小節）、長期（3小節）、および非常に長期（4小節）で計算されます。それらは、あなたがいる場所から、行ける場所へ音楽的に連れて行くためのカスタム瞑想を構築する際に使用されます。
- アライメントは、ダン・ウインターの方程式とエルフィ整数値²に基づいています。
- アライメントの中で、集中コヒーレンスは、ダンが言うように、「リアルハートコヒーレンス」です：これは、セプストラム（2次FFT）を通じて焦点の量を計算します。つまり、ECGに見つかったグローバル周波数がどれだけ音楽的に調和し、位相が一致しているかを計算します。
- アライメントの中で、リアルハートコヒーレンスは、同様の計算を行います。それはそれらの間の黄金比の倍数である周波数に対して行われます。
- アライメントの中で、埋め込まれたインプレーション%は、整数エルフィ値に近い周波数の部分を示し、現在最良のエネルギーインプレーションサイクルに埋め込まれているエネルギーの量を示します。



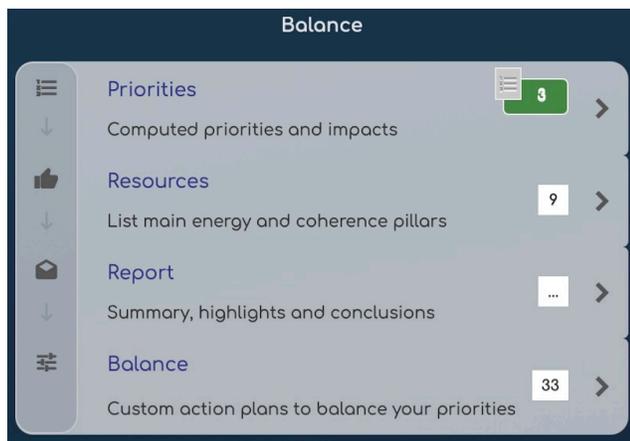
2. <https://elfie.link>

6. バランスモジュール

優先事項、リソース、レポート、ガイド付き瞑想。

バランスは、最大の品質を達成するためのツールのコレクションです。

- 優先事項は、今注意が必要なことです。
- リソースは、信頼性を持って構築できるものです。
- レポートは、分析のすべての重要な部分のためのPDF文書です。
- バランスは、ガイド付き瞑想、周波数、バイノーラルビート、再評価の生成であり、すべてはバイオフィードバックを介してリアルタイムで最適化されています。

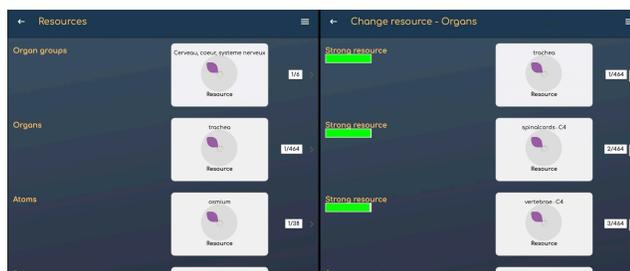


6.1. リソース

リソースの力: それらはすでにあなたのものであり、すでに助けるために利用可能です

リソースはこの記録の主要な柱であり、主要なエネルギードライバーです。バランスモジュールは、関連する周波数、バイノーラルビート、オーディオガイダンスの音を選択するために主にリソースに基づいて構築されており、優先事項の作業を開始する前にエネルギーを蓄積します。

- リソースは自動的に特定されますが、必要に応じて変更できます。リソースを変更するには、それをクリックし、このカテゴリーで最も重要な別のリソースを選択します。

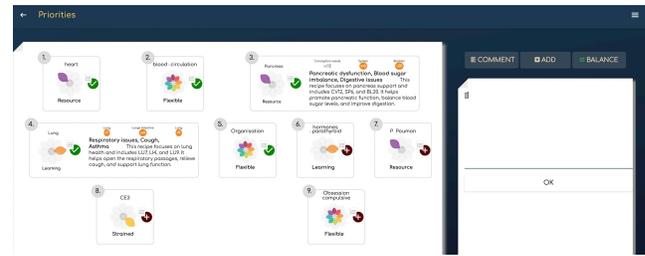


6.2. 優先事項

何に注意が必要ですか。

優先順位は、注意が必要なバイオマーカーです。記録後に自動的に計算されますが、優先順位を追加または削除するのはユーザーの自由です。

- 優先順位は、任意のバイオマーカーのフラワー、任意のページ、または優先順位モジュールから追加または削除できます。 ボタンをクリックするだけです！
- 優先順位の下にあるコメントボタンは、ユーザーが任意のテキストを追加できるようにします。
- バイオマーカーに関連する追加の優先順位のリストを表示する追加ボタンがあります。必要に応じて、臓器、経絡、経穴、漢方レシピ、チャクラ、ドライブ、運動...から選択できます。



6.3. PDFレポート

すべての重要な情報をPDFとして1クリックでエクスポート

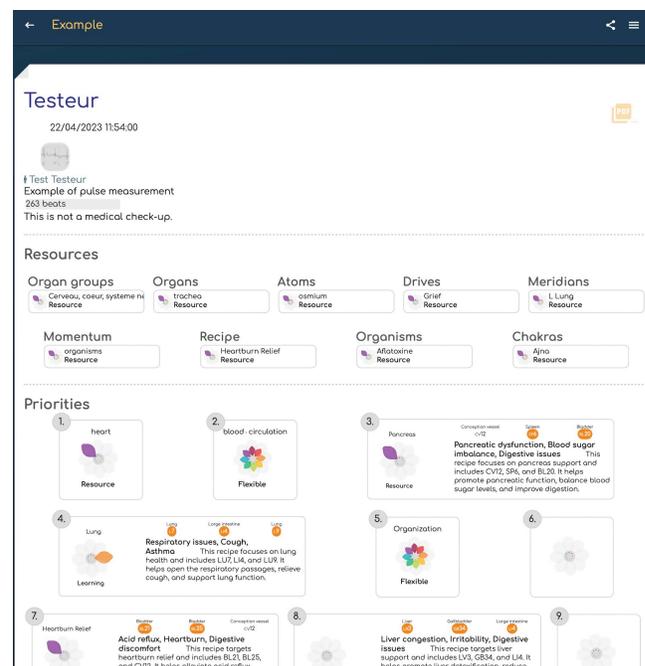
PDFレポートは、1回のクリックで印刷、保存、または送信できます。内容は以下の通りです：

- クライアント情報
- 記録情報
- 注釈
- パーツとセッション
- リソースと優先事項
- 主要経絡（エネルギー、エントロピー、一貫性）
- 主要臓器（エネルギー、エントロピー、一貫性）
- 主要MTCレシピ（エネルギー、エントロピー、一貫性）

プロによってカスタマイズ可能です。

6.4. バランス： カスタム瞑想

今こそ行動を起こす時です。



バランスはカスタム瞑想を作成するための全体モジュールです。

- ユーザーは、自分に関連するスタイルを選択でき、これにより異なるガイド付き瞑想シリーズからカードが選ばれます。
- 新しい瞑想の前に毎日再評価することが推奨されます：すべてのバイオマーカーは進化し、瞑想はそれに応じて再計算されます。
- 主要なパラメータ（ダイブ速度、個性、音楽、リソース）は、計算されたバイオマーカーの主な特徴から計算されます。音楽は、ユーザーの現在のメロディとコードから、望ましい状態へ、和音の進行で生成されます。
- 優先順位は、ユーザーの周りを周回する惑星として表示され、瞑想がそれらに近づくように、ますます遠くへと離れていきます。
- 追加のツールは、タイムクリスタルメーターで、これは整数時間-エルフィー値の周りで計算され、適切な瞬間にユーザーに決定と進行中の作業を思い出させます。特定の時間ノードで自分自身のためのマイクロ瞑想、5秒から30秒のことを考えてください。目標は、習慣のタイムクリスタルを溶解し、21日間で全体のシステムを再プログラムすることです。
-

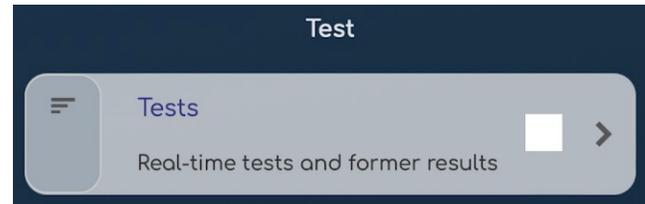


7. テストモジュール

バイオフィードバックを使用して、任意の情報のリアルタイム評価を取得する

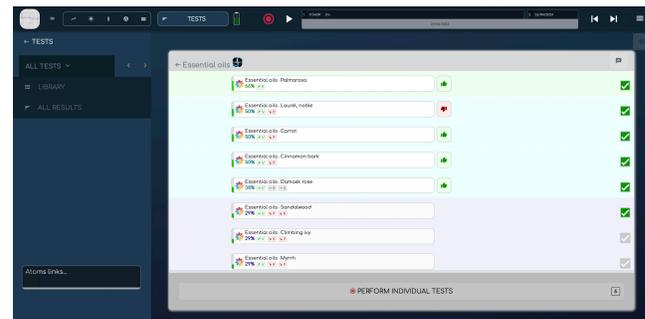
テストはあらゆる種類の情報を評価するためのユニークな方法です。

- リアルタイムでのバイオフィードバックを使用して、テストは互換性の個別評価です。
- テストは要素のリストで構成されています。各要素はスキャンから事前に計算され、体の反応に対してライブでテストされます。



7.1. ライブ評価後のテストリスト

ライブ評価の後、リストに表示される2つの情報を確認できます。1つは、自動事前評価（該当する場合）で、これはバイオマーカーのニーズと各リスト要素の明示された効果に基づいています。もう1つは、テスト中の生体反応に基づくバイオフィードバック応答で、サムズアップまたはダウンの形で示されます。

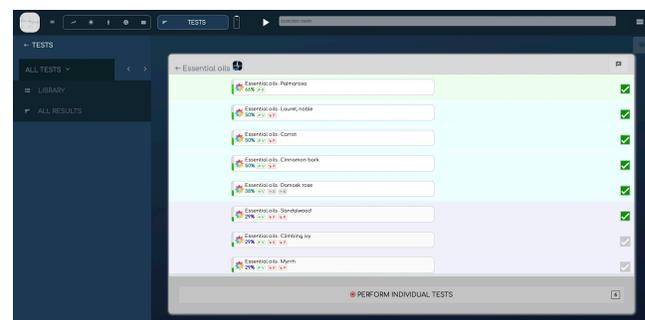


7.2. A テストリスト

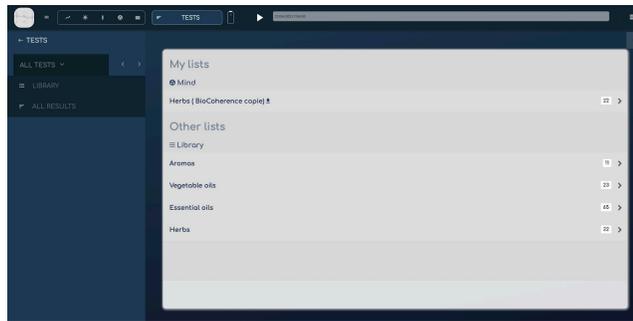
A test is made of a list of elements to be evaluated and ordered.

7.3. テストリスト

検索、編集、共有、テストの選択



Testsは、作成者がリストを作成し共有できるオープンプラットフォームです。キーワード、作成者、またはテストタイプで検索したり、既存のテストを複製して自分のものを作成したり、現在のレポートのすべてのテスト結果をワンクリックで表示したりできます。



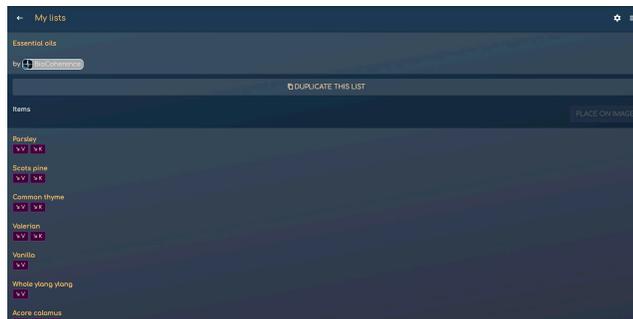
7.4. テスト: バイオフィードバックライブ評価

テストを開始すると、情報がユーザーに送信され、身体的な応答が評価されます。



7.5. テスト: 編集

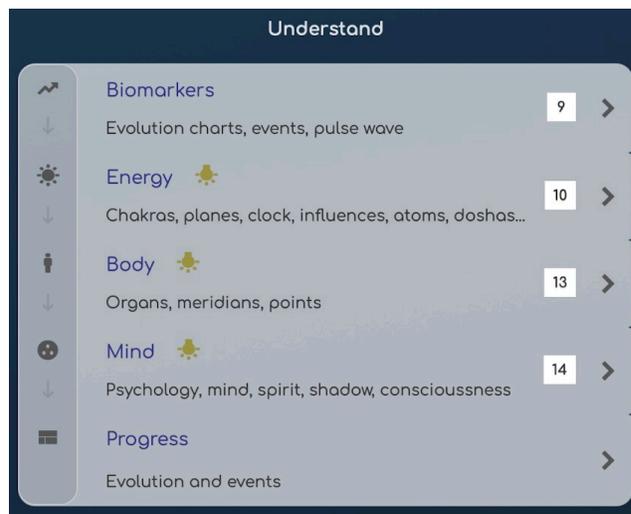
誰でもプロは、自分自身のためにテストを作成したり、後で共有するためのテストを作成することができます。テストリストの各要素について、バイオマーカーに対する自動評価のアクションを指定したり、バイオフィードバック評価のために任意の情報を追加したりできます。



8. モジュールを理解する

このモジュールの下にスキャン結果が表示されます。

異なるスキャン章を確認して、詳細を取得してください。



3.2.

詳細ガイド

このマニュアルでは、アプリケーションのすべての側面をカバーしており、各章にはスクリーンショットやビデオが掲載されているため、最適な使用方法を理解するのに役立ちます。

ビデオやフォーラムに章ごとにアクセスするには、biocoherence.net/tutorials にアクセスしてください。

Contenido

9.	紹介	44
9.1.	ソフトウェアインターフェースの概要	44
9.2.	レポートを開く	46
9.3.	センサーでの録音	47
9.4.	顧客管理	47
9.5.	マルチパートレポート	50
10.	理解する: バイオマーカー	51
10.1.	バイオマーカーの詳細	51
10.2.	パルス波の編集と検証 (生データ記録)	54
10.3.	セッションの過程におけるバイオマーカーの変化の監視	54
10.4.	周波数と調和解析	55
10.5.	因果連鎖	56
10.6.	有病率	59
10.7.	ポリグラフ	59
11.	理解する: エネルギー	60
11.1.	原子	60
11.2.	アーユルヴェーダエネルギー評価	60
11.3.	チャクラの視覚化	62
11.4.	影響	62
11.5.	モーメンタム	62
12.	理解する: 体	64
12.1.	TCM経絡	64
12.2.	器官マップ	66
12.3.	鍼灸ポイント	66
13.	理解する: 心理	68
13.1.	整合	68
13.2.	脳波	68
13.3.	ドライブ	69
13.4.	感情	71
13.5.	焦点	72
13.6.	音楽	73
13.7.	2016年の性格タイプ	74
13.8.	その5傷	75
14.	テスト	77
14.1.	テストリスト	77
15.	BioCoherenceにおけるAI	81
15.1.	AI ヘルパー	81

16.	バランス	84
16.1.	優先事項	84
16.2.	リソース	85
16.3.	PDFレポート	87
16.4.	バランス: 瞑想、音、ツール	88
16.5.	ハーモニックブースト	92

9. 紹介

このガイドの一般的なプレゼンテーション

この紹介では、既存のレポートを開く方法、HealthからECGをインポートする方法、またはSensorを使って新しいレポートを作成する方法について見ていきます。また、アプリケーションの初期コンセプトについても見ていきます。

9.1. ソフトウェアインターフェースの概要

コンピュータ、タブレット、またはスマートフォン上のインターフェース; フォーラム、コンテキストに応じたマニュアルアクセスおよびコンテキストに応じたヘルプリクエスト。

記録後にレポートを開くと、データを効率的にナビゲートし分析するためのいくつかのインターフェース要素があります。

インターフェースの上部には、レポートのさまざまな部分へのアクセスを提供するメニューがあります。ナビゲーションバーを使用すると、記録内を移動できます。メインメニューは、いくつかのセクションに分かれています。要約に戻るには、提供されたボタンをクリックするだけです。

主なセクションは次のとおりです:

- **スキャン分析:** このセクションでは、身体、エネルギー、バイオマーカー技術分析、マインド分析、記録を通じた進行など、さまざまな画面が表示されます。
- **テスト:** 現在、このセクションには1つのエントリしかありませんが、さらに多くのオプションが追加される予定です。リストテスト、周波数テスト、ライブテストが含まれます。
- **センサー接続:** バッテリーアイコンをクリックすると、センサーへのBluetooth接続を開始し、直接録音を開始できます。

記録内のナビゲーションは、コンピューターの画面の上部または電話の画面の下部にあり、画面サイズによって異なります。セッション前、セッション後などのセクション間をナビゲートでき、特定のクライアントに対して実行されたすべてのアクションを確認できます。インターフェースは、詳細なリアルタイム分析のためのビートごとのナビゲーションも可能にします。

レポートの保存には、顧客情報、レポートタイトル、クラウドにレポートを保存する能力が含まれます。これにより、複数のデバイスからのアクセスが可能になり、データがローカルコンピュータから安全に保護されます。録音が誤ったプロファイルで開始された場合は、クライアントを変更することもできます。

インターフェースの上部にある一般メニューは、いくつかのオプションを提供します:

- ホームページに戻る
- テストリストの編集
- コンタクト管理
- 連絡先詳細およびアカウントの修正
- サブスクリプションの変更
- アプリケーションデータの更新
- Elfie計算機の使用



最近のニュースやヘルプリクエストオプションは、すべてのページからアクセス可能です。技術的な問題が発生した場合は、「意見と提案」を入力したり、質問をしたり、スクリーンショットを添付してサポートリクエストを送信することができます。

ヘルプリクエスト、フォーラム、オンラインマニュアル

アプリケーションは、各項目の文脈に応じたヘルプや統合ビデオも提供しています。疑問符のシンボル (?) が表示された場合、それをクリックすると小さなヘルプテキストが開きます。このテキストは、動画やマニュアルページへのアクセスを提供する場合があります。また、共同フォーラムへのアクセスも提供します。特定の問題がない場合や、この時点でコメントをしたい場合、または実務者間での明確化が必要な場合は、疑問符をクリックしてこの共同フォーラムを開くことができます。そこで質問をしたり、他のユーザーの質問に回答したりできます。

「アドバイスと提案」機能を使用してヘルプをリクエストする

「お知らせと提案」機能は、インターフェースの任意のページからアクセス可能で、技術的な問題が発生した場合にヘルプを要求することができます。効果的に使用する方法は次のとおりです：

1. 右上隅のメニューを開き、「お知らせと提案」メニューにアクセスします。
2. テキストボックスに質問や問題を記入します。
3. システムが知識ベースを検索し、質問に対する回答を探します。
4. 回答が見つければ、画面に直接表示されます。
5. 回答が見つからない場合は、サポートリクエストを送信できます。

サポートリクエストを送信するには、2つのオプションがあります：

- スクリーンショットを取る：これにより、画面上で何が起きているかをよりよく理解できます。スクリーンショットを取ったら、上部のツールを使用して画像に注釈を付けることができます。たとえば、問題のある領域を円で囲み、説明的な吹き出しを追加できます。
- チケットを書く：スクリーンショットを取ることなく、問題の説明を単に記述することもできます。

スクリーンショットに注釈を付けたり、説明を記述したりした後：

- 「検証」をクリックします。
- 必要に応じて、最初の検索を明確にするために少しテキストを追加します。
- メッセージを送信します。

リクエストは、その後、サポートチームができるだけ効果的に支援できるように、必要な情報をすべて含むチケットに変換されます。特定の質問や解決すべき問題がある場合は、常に「アドバイスと提案」メニューを使用してください。

リクエストのフォローアップ

「アドバイスと提案」メニュー内には、3番目のボタン「チケットを追跡」があり、すべての現在のリクエストを表示し、情報を追加したり、私たちの返信を表示したりできます。

ホームページに戻る

ホームページに戻ると、最後に開いたレポートが表示され、迅速にアクセスできます。インターフェースには、スキャン分析、ライブテスト、スキャン結論、結果を共有する機能など、重要なセクションが含まれています。

インターフェースは、スムーズなナビゲーションと、記録を分析し共有するための包括的なツールを提供するように設計されています。

9.2. レポートを開く

アプリを発見する

はじめに

この章は、スマートフォンとコンピュータで利用可能なBioCoherenceアプリケーションに捧げられています。このアプリケーションを使用することで、さまざまなバイオマーカーを追跡・分析し、心身のバランスを向上させることができます。

ホーム画面

アプリケーションを開くと、ホーム画面に移動します。新しい測定を開始するか、サンプルレポートを開くかの2つの選択肢があります。最初にサンプルレポートを開いてインターフェースに慣れることをお勧めします。このホーム画面には、さまざまな情報を提供するメニューもあり、次のセクションで詳しく説明します。



biocoherence.net/n82.2

サンプルレポート

サンプルレポートを開くと、計算がすぐに始まることに気づきます。これにより、以下のセクションに分かれたメインメニューに移動します。

- バランシング: 優先事項、リソース
- レポート: PDFレポート、ガイド付き瞑想
- 詳細分析: バイオマーカー、エネルギー、身体、心、進行状況

コンピュータアプリケーション

コンピュータアプリケーションはスマートフォンと似た体験を提供し、ナビゲートするためのスペースが広がっています。メニューやセクションは同じですが、ディスプレイは大きな画面に最適化されています。

ナビゲーション

スマートフォンやコンピュータを使用している場合、画面の上部または下部にナビゲーションエリアが用意されています。これにより、セクション間を移動でき、特にワークアウト前後の記録を比較したり、特定の期間にわたる日々の進行状況を追跡したりできます。記録を戻したり進めたりするには、「再生」を押して記録をナビゲートします。

バイオマーカー分析

「バイオマーカー」セクションを選択すると、脈波などのデータを調べることができます。この分析は、マーカーの種類や記録時間によって異なる場合があります。コンピュータでは、「テスト」や「進行状況」といった追加のタブが利用可能で、セッションの進行に伴うバイオマーカーの進化を詳細に確認できます。

結論

この章では、BioCoherenceアプリケーションの一般的な概要を提供しました。各画面や機能についてさらに深く理解するために、補足的なビデオをご覧ください。ことをお勧めします。

9.3. センサーでの録音

BioCoherenceを使用してクリーンなECG記録を作成するためのいくつかの方法があります。ホームページから新しい記録を開始し、「記録」をクリックすることから始めることができます。もう一つのオプションは、「進行状況」ページから開始するか、画面の上部にあるバッテリーアイコンをクリックすることです。これらのアクションは、自動的にアプリケーションをBluetoothセンサーに接続し、記録を開始します。

記録中は、期待される結果を示すアニメーションが表示されます。ただし、このアニメーションは測定値とリアルタイムで更新されません。データは記録の終了時に計算されます。アニメーションは、良好な記録を取得するために必要な時間を過ごすのを助けます。理想的には、少なくとも2分間はかかります。

画面の上部には「エネルギー」、「活動」、「リンク」とラベル付けされた3つのスライダーがあり、徐々に満たされます。これらのカーソルは、収集された情報がすべての必要な変数を計算するのに十分であることを保証するために完全に満たされる必要があります。これらのカーソルが100%に達すると、記録は十分と見なされます。

記録の品質を確保するために、各センサーに親指を置いてください。信号の質が良くない場合は、電極ジェルを使用するか、指を少し湿らせてください。信号の質は自動的に評価されます。たとえば、指を外すと、記録はすぐに停止します。指を戻すと、再接続には約1秒かかりますが、再キャリブレーションが必要になる場合があります。

十分な圧力をかけずに動いたり急な動きをしたりすると、画面が赤い背景に変わり、データが考慮されていないことを示します。デバイスは再キャリブレーションを待機し、緑の点が戻り赤い背景が消えることで示されます。その後、良好な品質のデータの記録を再開します。

カーソルが100%満たされたら、「停止」をクリックしてください。アプリケーションはその後、すべてのデータを計算し、スキャン記録のさまざまな主要章を確認できるようになります。



biocoherence.net/n82.13

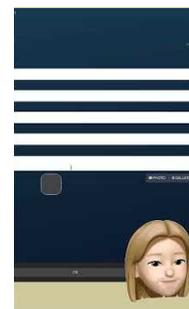
9.4. 顧客管理

概説

BioCoherence Proは、無制限の顧客とネットワークを構築でき、各顧客は自分専用のアプリケーションを介して接続できます。この章では、顧客との情報の管理と共有に関する手順をガイドします。

顧客選択

顧客を選択する必要があるすべてのページでは、この選択を行うためのボタンが右上隅にあります。顧客を見つけるには、検索フィールドにその顧客の名前を入力するだけです。システムは、対応する顧客と各顧客の利用可能な記録の数を表示します。



biocoherence.net/n82.15

記録管理

顧客を選択すると、その顧客の利用可能な記録が表示されます。記録は異なるピクトグラムで識別できます：

- ピクトグラムは、その記録がローカルコンピュータに保存されていることを示します。
- 別のピクトグラムは、記録がクラウドにあることを示します。
- 3番目のピクトグラムは、顧客がこの記録にアクセスできることを示します。

レポートの共有

レポートを開くと、顧客とアクセスを共有したいかどうかを選択できます。ホームページには、性別、メールアドレス、写真など、顧客の情報を変更するためのボタンがあります。この情報は、性器やチャクラに特有の視覚化にとって重要です。

招待状の送信

顧客に招待状を送信するには、彼らのメールアドレスを入力し、「メールを送信」をクリックします。また、招待リンクやテキストをSMS、WhatsApp、またはデバイスで利用可能な他のアプリケーションを介して共有することもできます。メッセージは、言語をフラグセレクターで変更することで、英語またはフランス語で送信できます。

これらの機能を使用することで、BioCoherence Pro上で顧客との情報を簡単に管理および共有し、効率的かつ安全なコミュニケーションを確保できます。

BioCoherenceにおけるユーザーおよびクライアント管理の詳細

BioCoherenceアプリは、ユーザーが自分のプロフィールとクライアントのプロフィールを管理できる包括的なユーザーおよびクライアント管理機能を提供します。このセクションでは、アプリ内でユーザーとクライアントを管理するための機能、つまり新しい連絡先の作成、ユーザー間の切り替え、ユーザーデータの管理について詳しく説明します。

現在のユーザー表示

- **ユーザー表示:** 現在のユーザーは、アプリインターフェースのホーム画面の上部に表示されます。これがあなた（主要ユーザー）であるか、任意のクライアントまたは連絡先である可能性があります。
- **プライバシー機能:** ユーザーは、ぼかしアイコンをクリックすることで、すべての名前と写真をぼかすことができ、他の人が画面を見ている場合でもプライバシーを確保します。

ユーザー分析

- **分析表示:** 「分析を開く」または「すべての分析を見る」をクリックすると、現在のユーザーに関連する分析のみが表示されます。
- **ユーザーの切り替え:** ユーザーを切り替えるには、二つの矢印アイコンをクリックしてユーザーディレクトリにアクセスします。主要ユーザーは常にこのリストの最上部に表示されます。

ユーザーディレクトリ

- **ユーザーディレクトリへのアクセス:** 二つの矢印アイコンをクリックしてユーザーディレクトリを開きます。
- **ユーザーの検索:** ページの下部にある検索アイコン（虫眼鏡）を使用して、キーワードを入力してユーザーをフィルタリングします。
- **新しい連絡先の作成:** メニューを介して連絡先リストにアクセスし、「新しい連絡先を作成」をクリックして新しいユーザーを追加します。正確な画面表示のために性別を指定します。招待する場合やレポートを共有する場合は、メールアドレスを追加します。また、彼らのアプリでレポートにアクセスできるようにします。

連絡先管理

- **連絡先の編集:** 現在の連絡先の詳細（名前、メールアドレス、性別を含む）を編集します。性別の選択は、特に性別特有の分析に対する画面表示に影響します。
- **メール統合:** メールを追加すると、PDFレポートを直接送信でき、ユーザーのサーバー上にアカウントが作成されます。
- **追加情報:** オプションのフィールドには、生年月日、体重、個人的なメモが含まれます。生年月日は現在の計算には使用されていませんが、将来的には生物学的年齢比較などの機能に使用される予定です。

ユーザーファイル管理

- **ファイル保存:** 分析はユーザーファイルに保存されます。混乱を避けるために、分析が正しいユーザーの下に保存されていることを確認してください。異なるユーザーの下で記録を開始した場合など、間違いがあった場合は、この段階でユーザーを変更できます。
- **クラウドアップロード:** 分析は共有するためにクラウドにアップロードできます。これは、クライアントとのアクセスを共有するために必要です。

ユーザーの招待と共有

- **ユーザーの招待:** ユーザーにメールやテキストで招待を送信し、彼らがレポートにアクセスし、アプリを使用できるようにします。
- **レポートの共有:** クライアントとPDFレポートを共有します。レポートは、含めるセクションを選択することでカスタマイズできます。

デバイスの互換性と更新

- **デバイスの互換性:** アプリはさまざまなプラットフォームと互換性があり、機能を向上させるために定期的に更新がリリースされます。
- **アプリの更新:** ユーザーは、最新の機能と修正を確保するために定期的に更新を確認する必要があります。

追加機能

- **マルチビュー分析:** 複数の変数をリアルタイムで記録間で比較します。研究や詳細な分析に役立ちます。特定の連絡先の履歴を表示し、比較できます。
- **Apple Health統合:** Apple Healthからの記録をインポートします。デバイス上のインポートは、主要ユーザーのApple Healthアカウントからのものです。自分のApple Watchで記録を行った場合、そのデバイスからのみインポートできます。したがって、クライアントのApple Watchで記録が行われた場合、インポートは彼のデバイスで、彼のアプリと彼のログインを使用して行う必要があります。彼はその後、あなたと共有できます。

プライバシーとデータ管理

- **ローカルデータストレージ:** すべての計算およびデータはデバイス上にローカルで保存されます。クラウドストレージはオプションであり、共有目的でのみ使用されます。
- **データセキュリティ:** アプリはインターネットアクセスなしで機能でき、データセキュリティとプライバシーを確保します。

将来の開発

- **シンプル版アプリ:** 記録、周波数再生、およびレポート読み取りに焦点を当てた簡略化されたバージョンのアプリが利用可能になります。

この包括的なガイドは、BioCoherenceアプリにおけるユーザーおよびクライアント管理を通じて、ユーザーが自分のプロフィールとクライアントのプロフィールを効果的に管理できるようにし、全体的なユーザー体験を向上させます。

9.5. マルチパートレポート

レポートの詳細を調べるには、まず問題のレポートを開きます。その名前をクリックして開くと、含まれているさまざまな要素が表示されます。コンピュータの画面の上部、または電話の下部に、レポートのさまざまなセクションが表示されます。デフォルトでは、全レコードが表示されますが、たとえば最初または2番目のセクションのみを表示することもできます。

セクションの詳細は、「Progression」タブを介してアクセスできます。このタブは、ホームページインターフェースの中央にもあります。このタブは、記録の過程におけるさまざまな変数の進化を示します。たとえば、5分間隔で記録されたものや、4分30秒のもの、40秒および20秒などさまざまな長さの記録を見ることができます。

これらの記録にコメントを追加することも可能です。この機能により、セッションの開始と終了を文書化したり、特定のアクションに注釈を付けて、セッションの過程におけるマーカーの進化を観察することができます。

さまざまな記録は直接アクセス可能であり、バイオマーカーの状態をセクションごとに比較し、モメンタム、チャクラなどの変化を観察することができます。これらの機能は、レポートの異なるセクションの詳細で比較的なビューを提供します。



biocoherence.net/n82.6

10. 理解する： バイオマーカー

脈波技術分析

これらのスクリーンは、脈波の技術分析を可能にし、周波数と調和の抽出、録音の編集、波の直接分析、バイオマーカーの進化グラフなどを行います...

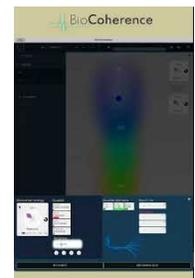
10.1. バイオマーカーの詳細

イントロダクション

この章では、ユーザーインターフェースにおけるバイオマーカーの詳細を探ります。チャクラの例を取り上げて、それらがどのように機能し、関連情報がどのように表示されるかを説明しましょう。

チャクラへのアクセス

チャクラに特化したページにアクセスすると、さまざまなチャクラが表示されます。特定のチャクラをクリックすると、関連するバイオマーカーが画面の右側に表示されます。



biocoherence.net/n82.8

エネルギーと動揺

最初の重要な要素はエネルギーであり、エネルギーレベルと動揺に応じて評価されるリソースです。画面の左側にはエネルギーが視覚化され、下部には動揺が表示されます。両方の側面は、エネルギーと動揺の状態を表す9つの異なる花びらで表現されています：

- ここでは、高エネルギーと低動揺はリソースを示します。

追加情報

他の情報も表示されます：

- 注意レベル
- 意図レベル
- 時間の視野（短期、中期、長期）
- 要素の主なサイクル

進化と平均

バイオマーカーの進化をセッションの過程で追跡することが可能で、これには4つの部分があります。例えば、エネルギーの変動を観察することができ、上昇と下降のフェーズがあり、全体の平均を評価することができます。

優先順位

各バイオマーカーのページでは、1,400以上の異なるバイオマーカーが提供されています。ボタンを使って、バイオマーカーを優先順位に自動的に追加することができます。「優先順位に追加」をクリックすると、この項目はさらなる治療（瞑想や再調和周波数など）のためにマークされます。追加と削除のプロセスは簡単なクリックで行えます。

リンクの質

同じファミリーの要素間のリンク（例：チャクラ）が示されます：

- 繊維の数（リンク）
- 共鳴ポイント
- 拡散の割合（例：リンクされたチャクラの33%）

ダイレクトアクセスボタン

ナビゲーションを容易にするために2つのボタンがあります：

- チャクラへのダイレクトアクセス
- フルスクリーンのバイオマーカー分析ページへのダイレクトアクセス

ヘルプと情報

各ページには疑問符があり、花びらやさまざまな共鳴や調整の意味に関する追加情報を提供します。

要するに、このインターフェースはバイオマーカーの詳細で個別化された管理を可能にし、チャクラや他の関連要素の分析と最適化を促進します。

バイオマーカーのエネルギーと動揺情報

エネルギー

左側の垂直スケールは、バイオマーカーの平均エネルギーを示します。低い値（下）は低エネルギーバイオマーカーを示し、高い値（上）は高エネルギーバイオマーカーを示します。いくつかのバイオマーカー（例：鍼灸ポイント、感情...）では、エネルギーが負または正であり、全体の均衡に影響を与える可能性があります。この場合、低エネルギーはスケールの中央で示されています。

動揺

下部の水平スケールは、バイオマーカーの平均動揺を示します。低い値（左）は主に静的なバイオマーカーを示し、高い値は主に動揺しているバイオマーカーを示します。

バイオマーカーの花びら

8つの花びら（開いた花を含む、すべての花びらが均衡にある）は、バイオマーカーの主なエネルギー/動揺ゾーンを示します。

静的

低エネルギー、低動揺。これはバイオマーカーにとって可能な限り最低の活動です。通常、慢性の長期的な状態に関連しています。

低エネルギー

低エネルギー、通常の動揺。このバイオマーカーは低いが機能的な活動を持っています。

緊張

低エネルギー、高動揺。これは苦痛の兆候です。

安定化

通常エネルギー、低動揺。このバイオマーカーは安定した柱です。

柔軟

通常エネルギー、通常の動揺。開いた花は最適な機能状態を示します。

学習

通常のエネルギー、高動揺。これは学習過程を示し、通常は外部情報に反応して行われます。

リソース

高エネルギー、低動揺。これは主なリソースの特徴です。

適応

高エネルギー、通常の動揺。これは通常、外部刺激に反応して行われる適応プロセスを示します。

不安定化

高エネルギー、高動揺。これは急性で解決が難しい状況を示します。

バイオマーカー調整情報

これはバイオマーカーの非線形分析です。

注意

バイオマーカーの管理の強さを示します。

意図

低い値は分散を示します（多くの同時バイオマーカー調整の存在）。高い値は焦点を示します（強く存在するバイオマーカーの主要な調整）。負の値は混乱を示します（明確な調整がない）。過剰値は過敏を示します（調整が強すぎる）。

時間の視野

低い値は短期的な動揺を示します（バイオマーカー調整における短期的な管理が長期よりも多い）。高い値は長期的なリラックスを示します（バイオマーカー調整における長期的な管理が短期よりも多い）。

バイオマーカー共鳴情報

これは同じグループ内のバイオマーカー間の共鳴の非線形分析です。

スレッド

グループ内の他のバイオマーカーとの共鳴の総数を示します（主要なロープのスレッド数）。

強度

グループ内の他のバイオマーカーとのリンクの総強度を示します（主要なロープの幅）。

リーチ

このバイオマーカーが同じカテゴリの他のマーカーとどのくらいの割合でリンクしているかを示します（主要なロープが個々のロープに分かれる）。

リソース

リソースは他のバイオマーカーとの強いリンクです。リソースは、2つのシステム間のエネルギー交換を示します。エネルギー交換の主な方向が示されます（受け取る、または送る）。リソースは、最も強力なリソースから受け取ったもの、または最もニーズのあるリソースに基づいて最初に順序付けられます。

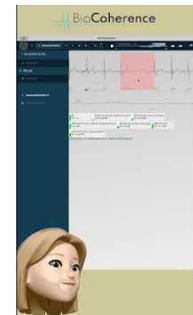
10.2. パルス波の編集と検証（生データ記録）

このセクションでは、記録の問題が発生した場合の脈波の編集方法と、生の波形を確認する方法について見ていきます。始めるには、「バイオマーカー」セクションに移動し、「脈波」を選択してください。そうすれば、各心拍の波形をポイントごとに見ることができます。このビートごとの可視化は、各波の進化を比較し観察するのに役立ちます。

平均波に加えて、私たちが見慣れているものですが、実際の波形はこの平均周辺でしばしば非常に揺れていることに注意することが重要です。例えば、記録中に問題が発生した場合、波の一部が検出されない場合、ソフトウェアは自動的にこのセクションを無効にします。ただし、考慮に入れるべきだと判断した場合は、このセクションを再度有効にすることができます。

そのためには、対応するセクションをクリックするだけです。また、単一のクリックで個々のビートを有効または無効にすることもできます。無効にされたビートは、花の計算やグラフにおいて考慮されなくなります。

最後に、脈波の下にはRR間隔、PR間隔、QRS間隔などの技術統計のセットがあります。これらのデータは、さらなる分析に貴重な情報を提供することができます。



biocoherence.net/n82.9

10.3. セッションの過程におけるバイオマーカーの変化の監視

バイオマーカーの時間による進化を分析するには、「バイオマーカー」タブにアクセスし、「セッション」を開いてから「ダイナミクス」を選択します。バイオマーカーの時間に対する完全な進化が表示されます。

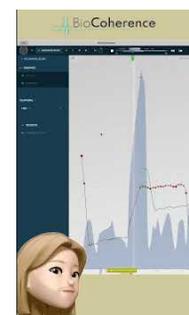
再生モードでは、カーソルをポイントごと移動させて進化の異なる部分を観察できます。画面の下部には、セッションの各部分間の区切りを示すマークがあります。より正確な分析のためにズームを調整し、セッションの異なる部分（第2、第3など）をナビゲートできます。

イベントは、希望する場所をクリックすることで追加できます。たとえば、注目すべきアクションを実行した場合、このイベントをマークできます。追加後、イベントは画面の下部にマークとして表示され、クリックすることで再度アクセスできます。また、イベントを編集して新しい位置を確認することで移動させることもできます。

イベントは、実践の重要な側面を記録するために使用され、さまざまな部分の概要にも表示されます。進化グラフは、非常に短期（瞬時の進化のための青い背景）、中期、長期、非常に長期のいくつかのセグメントに分かれています。非常に長期は、より長い期間の平均を提供し、計算には約90回の拍動が必要です。

非常に短期と中期の関係の分析は重要です。時には、非常に短期の曲線が中期の曲線の上または下にあり、曲線が下にあるときは赤でマークされ、上にあるときは緑でマークされます。これらの指標は、テスト中の瞬時のトレンドを評価するための重要な情報を提供します。

最後に、情報の統合が「花」の形で提供され、エネルギーと動揺レベルを示します。この概要は、さまざまなセッションにわたる進化を観察するために部分ごとに分析することもできます。



biocoherence.net/n82.16

10.4. 周波数と調和解析

FFTと呼ばれる数学的操作のおかげで、波は周波数に変換され、次にこれらの周波数が分析されてその高調波が見つかります。

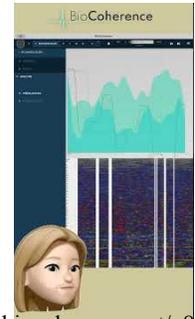
この章では、波形から計算された周波数と調和について見ていきます。私たちはバイオマーカーの領域、すなわち技術的なリストの中に留まります。

まず、周波数を開いてください。0 Hzから60 Hzの間に表示されるのが見えます。この表示の上部には、最も低い周波数、すなわち0.03 Hz未満の非常に低い周波数、低い周波数、そして0.4 Hz前後の高い周波数があります。これらの周波数範囲には、一般的に非常に興味深い情報が含まれています。

まず0-3 Hzの範囲を見ますが、他の周波数帯域に関する情報を見つけることも可能です。

次に、ハーモニックセクションに進んでください。このセクションでは、周波数に対して計算を行い、どれが最も強いかを判断します。ここで得られる情報は、さまざまなバイオマーカーにも関連しています。この技術的な分析により、録音をスキャンし、優勢な周波数を特定することができます。これらの表示では肉眼で関連情報を区別することは難しいですが、アプリケーションがバイオマーカーを計算するために使用する基礎の一つです...

FFT（高速フーリエ変換）は、フーリエ変換を迅速かつ効率的に計算するアルゴリズムです。信号処理、スペクトル分析、データ圧縮で広く使用されています。フーリエ変換は、関数または信号を異なる周波数の正弦波の和に分解する数学的ツールです。信号を時間領域から周波数領域に変換します。



biocoherence.net/n82.7

10.5. 因果連鎖

BioCoherenceにおける因果連鎖機能は、異なるバイオマーカー間の相互関係を包括的に分析する方法を提供し、ユーザーが不均衡の根本原因を特定し、最も効果的な介入を決定できるようにします。以前の手法とは異なり、同じカテゴリー内の関係のみを表示していたのではなく（例：他の臓器に関連する臓器）、因果連鎖はこの分析をすべてのバイオマーカーカテゴリー（経絡、チャクラ、原子、病原体など）を含めるように拡張します。この機能により、ユーザーは次のことができます：

- 不均衡の根本原因を特定する。
- 互いに共鳴しているバイオマーカーを特定する。
- バランスを回復するための最良の補助者を見つける。
- 調和のためのカスタマイズされた優先リストを作成する。

因果連鎖へのアクセス

因果連鎖にアクセスするには：

1. 分析を開き、バイオマーカーセクションに移動します。
2. 興味のあるバイオマーカー（例：臓器、経絡、またはドライブ）を選択します。
3. 関係メニューの下にある因果連鎖サブメニューをクリックします。

これにより、選択したバイオマーカーと共鳴しているすべてのバイオマーカーを表示する新しいインターフェースが開きます。

因果連鎖インターフェースの理解

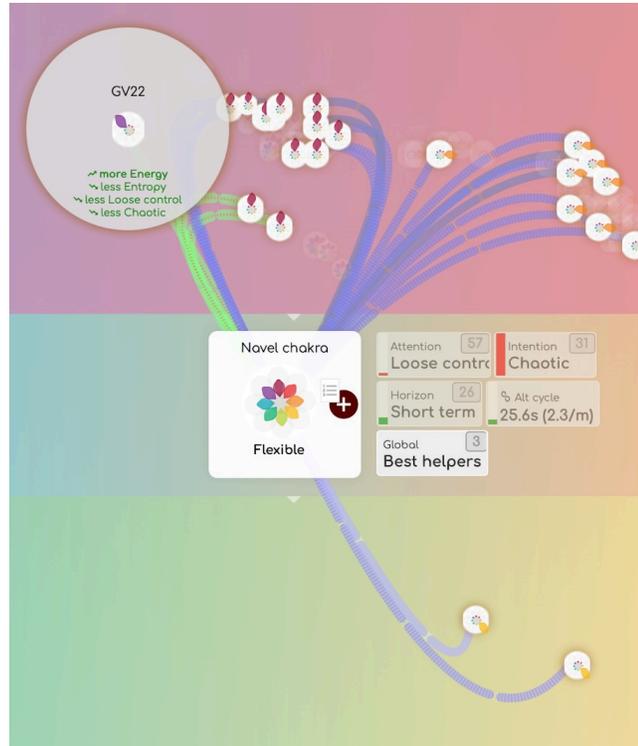
因果連鎖インターフェースは、相互接続されたバイオマーカーのネットワークマップを表示します。主要な要素は次のとおりです：

1. 中心バイオマーカー

- 選択したバイオマーカーはマップの中心に配置されます。
- それと共鳴している他のすべてのバイオマーカーがその周りに表示されます。
- 周囲の任意のバイオマーカーをクリックすると、それを中心に配置し、その周りで再計算できます。

2. 共鳴バイオマーカー

- 現在中心バイオマーカーと共鳴しているバイオマーカーのみが表示されます。
- これらは臓器、経絡、チャクラ、原子、病原体など、異なるグループに分類されます。グループは画面の下部に表示されます。グループ名をクリックすると、関連するバイオマーカーが表示されます。各グループは1つまたは2つの数字を表示できます：



- 常に、このグループ内の関連バイオマーカーの数
- ある場合のみ、白い円の中にある数：このグループ内の大きなリンク（最良の補助者）の数。

3. 関係の強さ

バイオマーカー間の各接続は色分けされています：

- 大きなリンク（白、緑、または青）：最強の共鳴を持ち、最も助ける能力がある最良の補助者（エネルギー、興奮、質の最良の改善）
- 緑：中心バイオマーカーに対するポジティブな影響（例：エネルギーの増加、エントロピーの減少）。
- 青：中心バイオマーカーがそれにエネルギーを送ります。
- 微細なリンクは注意、意図、視野に関連する特定の関係を示します。上部の凡例にその意義が示されています。

4. エネルギーとエントロピーのマッピング

- バイオマーカーは、エネルギーレベル（低から高）および興奮（エントロピー）（低から高）に基づいてグラフィカルマップ上に配置され、花の花弁のように整理されます。
- これにより、ユーザーはどのバイオマーカーが安定性または不均衡に寄与しているかを視覚的に評価できます。

5. フィルタリングと最良の補助者

ユーザーは、特定の特性に基づいて表示されたバイオマーカーをフィルタリングできます：

- 注意を高める
- 意図を高める
- 視野を広げる
- 主要なサイクルと整合する
- 最良の補助者（最も有益な影響を提供するバイオマーカー）

6. ナビゲーションと履歴

- 任意のバイオマーカーをクリックすると、それが分析の中心に配置され、ユーザーはその因果連鎖を探索できます。
- 履歴パネルは探索の経路を追跡し、ユーザーが以前のバイオマーカーに戻ることを可能にします。
- ユーザーは元のバイオマーカーに戻るか、関連するバイオマーカーをさらに探索できます。

詳細ガイド：因果連鎖を使用した分析

ステップ1：根本原因の特定

- 優先リストに表示されるバイオマーカーから始めます。
- 因果連鎖を開いて、その影響を与えているバイオマーカーを確認します。

ステップ2：最良の補助者を見つける

- 最良の補助者フィルターを使用して、中心バイオマーカーにポジティブな影響を与えるバイオマーカーを特定します。
- 緑の接続を探します。これらはそれに対する最も強力な有益な関係を示します。
- 青の接続は、このバイオマーカーによって助けられ、エネルギーを受け取る他の要素を示す可能性があり、現在の状態を説明できる因果リンクを明らかにします。

ステップ3：カスタム優先リストの作成

- バイオマーカーをクリックして、優先リストに追加します。
- 関連するバイオマーカーを探索し、関連するものをリストに追加し続けます。
- これにより、調和プロセスが症状だけでなく、根本的な原因にも対処することが保証されます。

ステップ4：発見の適用

- ハーモニクブースト機能を使用して、選択した周波数を再生します。
- 適用可能な場合は、TCMポイント、臓器、経絡、または原子を調和プロセスに統合します。
- 各バイオマーカーの上に選択したプロトコルを追加することで、ハーモニクブーストを改善します。
- 進捗を複数回のセッションにわたって監視し、改善を追跡します。

使用例

シナリオ：肺の不均衡に対処する

1. 優先リストから肺を選択します。
2. 因果連鎖を開いて関連するバイオマーカーを確認します。
3. 最良の補助者を特定します：例えば、臓器：胃、肝臓 - 経絡：腎臓、膀胱 - 原子：タンタル、オスミウム - ドライブ：信頼の欠如、過敏症
4. 最も関連性の高いバイオマーカーを優先リストに追加します。
5. 調和周波数（ハーモニクブースト）とプログラム（パーソナルガイド）を再生し、時間の経過とともに進捗を追跡します。

因果連鎖の利点

- 全体的な分析：異なるバイオマーカー間の相互接続の完全なビューを提供します。
- パーソナライズされたアプローチ：調和を個人のユニークなエネルギー状態に合わせ、特定の症状から始めて関連する因果連鎖項目を見つけることを可能にします。
- より深い洞察：実践者やユーザーが不均衡の根本的な原因を理解するのに役立ちます。
- 効率的な優先順位付け：迅速な結果を得るために最も影響力のあるバイオマーカーに焦点を当てます。

因果連鎖は、BioCoherenceにおける強力なツールであり、深いレベルでの不均衡を分析し対処する能力を向上させます。バイオマーカー間の関係をマッピングし、最良の補助者を特定することで、ユーザーは特定のニーズに合わせて作成された非常に効果的なハーモニクブーストおよびパーソナルガイドプログラムを作成できます。

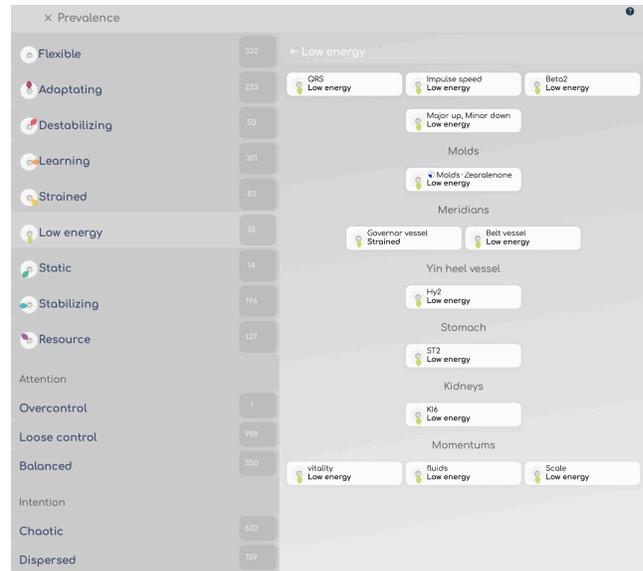
10.6. 有病率

この画面では、特定の状態にあるすべてのバイオマーカーを一目で見ることができます。

- 花びらの状態別（柔軟、適応、低エネルギー、リソース...）
- 質別（注意、意図、地平線）

メインページには、各状態にあるバイオマーカーの数が表示されます。それをクリックすると、関連するバイオマーカーのリストが表示されます。メニューのセクターを使って、バイオマーカーのカテゴリをフィルターできます。たとえば、臓器の有病率のみを表示したり、特定の経絡のポイントやドライブ（感情）を表示したりできます。

有病率は、迅速に概観を得るのに役立ち、記録内のいくつかの再評価にわたる進行状況を確認するのに役立ちます。



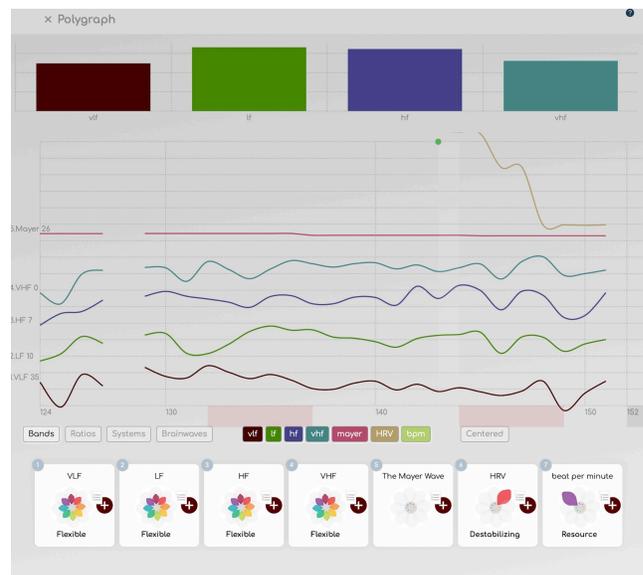
10.7. ポリグラフ

この画面は主に学術的バイオマーカーを使用しています。

一目で VHF、HF、LF および VLF の比率や、最大 7 の重要な曲線の線形グラフを見る便利な方法を提供します。

これは、すべての画面が（録音中に画面を切り替えるだけで）リアルタイムで使用できるため、録音中に使用できます。これらのマーカーはすべて、ECGに関する学術研究から来ています。最大 7 のバンドを選択して表示でき、平行または同じ線上にセンター配置できます。

- バンドモードでは、7 のラインは、Bpm、HRV、Mayer waves、VHF、HF、LF、および VLF です。
- 比率モードでは、7 のラインは、SDNN（総パワー）、SI（ストレス指数）、IC（中央化指数）、LF/HF（パワー、迷走神経-交感神経相互作用）、LF/VLF（リラックス）、VLF/HF（ストレス）、および VLF/HF（全体的な活動）です。
- システムモード: CNS、オルソ、シンバ、バラ、IRSA、免疫、HRV。
- 脳波: Delta、Theta、Alpha、Beta、Beta1、Beta2、Gamma。



グラフの下のカテゴリをクリックして、これらの項目を表示します。色付きの凡例の項目をクリックして、それらを表示または非表示にします。Centeredをクリックすると、同じベースライン上にすべてが表示されます。グラフの下の花をクリックすると、完全なバイオマーカーの詳細にアクセスできます。

このグラフを使用して研究を行うと、新しい洞察や新しいバイオマーカーの基盤になる可能性があります。さらに、バイオマーカーのタイムラインとバイオマーカー Dynamics 画面上のイベントを使用して、任意のバイオマーカーを分析できることを覚えておいてください。

11. 理解する：エネルギー

エネルギースクリーンは、生物時計、チャクラ、インパルス、原子、影響、アーユルヴェーダ、微生物に関するグラフィックスを特徴としています...

11.1. 原子

元素の周期表

原子ページでは、さまざまな原子に関する情報を得るために元素の周期表にアクセスできます。この表の原子をクリックすることで、他の原子との結合、つまり共通の共鳴を見ることができます。この情報は画面の下部でも表示されますが、表で直接見る方が直感的です。

現在、アプリケーションは各原子の共鳴に関する一般的な評価を提供しています。将来のバージョンでは、異なる原子間の結合に基づいて、全体の分子の共鳴を再構築できるようになるかもしれません。この機能は、特定の元素の過剰または不足を確認するために行っている健康診断の一環として特に役立つ可能性があり、比較可能なマルチパート記録のおかげで、ある元素が製品や療法の適用後に安定しているかどうかを確認することができます。



biocoherence.net/n82.114

11.2. アーユルヴェーダエネルギー評価

ドーシャとサブドーシャ

アーユルヴェーダは、伝統的な中国医学とは異なる伝統的な医学システムですが、特に12の経絡に相当する15のサブドーシャの形でいくつかの類似点があります。これらのサブドーシャは、カパ、ピッタ、バータの3つの主要な影響に分類されます。

これらの影響は一般的に認識され、私たちの通常の花の形をした視覚表現を使用してこれらの影響を示すことができます。また、サブドーシャと呼ばれる個々の要素を表示することも可能です。サブドーシャの1つをクリックすると、それに対応するグループを表示できます。たとえば、1つのサブドーシャは皮膚グループおよび四肢グループの皮膚に対応する場合があります。別のサブドーシャは異なるグループに対応する場合があります。



biocoherence.net/n82.98

アーユルヴェーダによる3つのドーシャ

1. バータ

- 説明：空気とエーテルに関連し、バータは体内の動きを支配し、血液循環、呼吸、神経インパルスを含みます。

2. ピッタ

- 説明: 火と水で構成され、ピッタは消化、代謝、エネルギー生産を制御します。

3. カパ

- 説明: 地球と水で構成され、カパは体の構造、安定性、関節の潤滑を担当します。

15のサブドーシャ

バータのサブドーシャ

1. プラーナ・バータ
 - 機能: 呼吸と心を制御します。
2. ウダナ・バータ
 - 機能: 発話と表現を制御します。
3. サマナ・バータ
 - 機能: 消化と食物の吸収を調節します。
4. ヴイヤーナ・バータ
 - 機能: 循環と体液の移動を監督します。
5. アパナ・バータ
 - 機能: 廃棄物の排出を調整します。

ピッタのサブドーシャ

6. パチャカ・ピッタ
 - 機能: 胃と腸での食物消化を制御します。
7. ランジャカ・ピッタ
 - 機能: 血液の形成を担当します。
8. サダカ・ピッタ
 - 機能: 感情や精神的機能に影響を与えます。
9. アロチャカ・ピッタ
 - 機能: 視覚と視覚的認識に影響を与えます。
10. ブラジャカ・ピッタ
 - 機能: 皮膚の健康を調節します。

カパのサブドーシャ

11. クレダカ・カパ
 - 機能: 胃壁を潤滑し、保護します。
12. アヴァランバカ・カパ
 - 機能: 心臓と肺を支えます。
13. ボダカ・カパ
 - 機能: 口と唾液の機能を調節します。
14. タルパカ・カパ
 - 機能: 脳と神経系を潤滑します。
15. シュレシャカ・カパ
 - 機能: 関節を潤滑します。

これらのドーシャとサブドーシャは、体と心のバランスと健康を維持するために協力しています。

11.3. チャクラの視覚化

この章では、エネルギータブを探索し、チャクラセクションから始めます。このセクションでは、チャクラ情報を詳細に表示し、対話することができます。

開始するには、専用ボタンをクリックしてチャクラを表示することを選択できます。画面の下部にある小さな「12」ボタンをクリックすることで、7つまたは12のチャクラを表示できます。

チャクラが表示されると、特定のチャクラをクリックすることで選択できます。このアクションにより、そのチャクラに関するすべての情報、エネルギーリンク、および関連する鍼灸点にアクセスできます。鍼灸点は、チャクラの入出力ポイントを示し、エネルギーレベルに応じてさまざまなサイズで画面に表示されます。

さらに、チャクラオーラも表示され、そのプレゼンテーションは選択したチャクラの一般的なエネルギーに応じて変わります。このようにして、各チャクラのエネルギー状態の正確な視覚的表現を得ることができます。



biocoherence.net/n82.14

11.4. 影響

5つの元素: 木、火、土、金属、水

別の重要なエネルギーの概念は「影響」の概念です。この画面は「影響」と呼ばれ、伝統中国医学（TCM）によって評価された五つの要素間の関係を視覚化します。これらの関係は、創造、破壊、侮辱、または過熱のものである可能性があります。

例えば、木は金属に圧力をかけることで影響を与えることができ、水は火を重くすることができます。一方で、木は火を生み出すのを助けます。これらの関係はTCMのルールと経絡評価に従って推論されます。

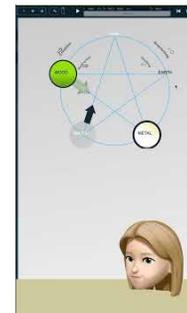
伝統中国医学（TCM）の五つの要素は次の通りです:

1. 木: 肝臓と胆のうに関連しています。
2. 火: 心臓と小腸に関連しています。
3. 土: 脾臓と胃に関連しています。
4. 金属: 肺と大腸に関連しています。
5. 水: 腎臓と膀胱に関連しています。

これらの要素間の主な関係は次の通りです:

- 生成の循環 (Sheng) : 木 > 火 > 土 > 金属 > 水 > 木。
- 制御の循環 (Ke) : 木 > 土 > 水 > 火 > 金属 > 木。

これらの循環は、体内のバランスと調和を確保します。



biocoherence.net/n82.116

11.5. モーメンタム

制約、バランス、および動き

このセクションでは、エネルギー管理の文脈におけるモメンタムについて見ていきます。この機能にアクセスするには、「エネルギー」メニューに移動し、「モーション」をクリックしてください。ここでは、20種類の利用可能なモメンタムが、制約、バランス、動きの3つの主要なカテゴリに分類されていることを発見するでしょう。



biocoherence.net/n82.97

モメンタムの原則

私たちの体は常に動いています；動きは生命です。しかし、私たちは無数の要素で構成されており、その中には私たちの一部であるもの、外部の制約であるもの、一般的な利益に逆らおうとするものが含まれています。私たちは、私たちを遅くするもの、私たちのバランスを取るもの、私たちを推進するものの3つのカテゴリにインパルスを分けました。

1. 制約

制約は、動きを妨げる要素です。これには以下が含まれます：

- 地理的ストレス（詳細情報はグラフ内の任意の要素をクリックしてください）。
- 地理的放射線。
- 地理的水：地下の電気的な流れを引き起こす水脈、断層など。
- 有害なエネルギー。
- 重金属。
- 病原体。
- ミアスマ。
- 毒素。

2. バランス

バランスのセクションでは、安定性を維持するのに役立つ側面をカバーしています。これには以下が含まれます：

- 感情的バランス。
- エネルギーバランス。
- 睡眠の質。
- テレイン（全体的な身体のバランス）。
- 垂直バランス。

3. 動き

動きは、あなたにダイナミズムを与える要素を包含しています。主要な要素は以下です：

- 身体。
- 活力。
- 血圧。
- 体液。

あなたはまた、一般的な動きを観察し、記録の異なる段階やセクションに応じてそれを比較することができます。

これらの要素間の関係に注目することは興味深い点です。たとえば、ここでは、身体が感情的バランスにリンクしており、血圧が異なる場所に情報を受け取り、送信することができ、分析全体の質に関する貴重な洞察を提供する可能性があります。

この情報を組み合わせることで、あなたのエネルギーと推進のさまざまな側面をよりよく理解し、管理することができます。

12. 理解する: 体

ボディスクリーンにおけるナビゲーションおよび評価方法の使用

体のスクリーニングには、3つの主要な分析タイプが含まれています: TCM経絡、関連するTCMレシピを持つ鍼ポイント、および臓器。

12.1. TCM経絡

14 または 20 経絡、リンクおよび関連症状

アプリケーションの「ボディ」セクションでは、経絡、経穴、および臓器に関する3つの主要な情報シートを提供しています。この章では、経絡のナビゲーションと評価に焦点を当てます。

1. 経絡表示:

- アプリケーションでは、14経絡または20経絡のいずれかを選択できます。
- 20経絡モードでは、標準経絡に加えて特異経絡が表示されます。
- 14経絡モードでは、主な12経絡に加えて、2つの経脈（督脈と任脈）が表示されます。

2. ナビゲーションと視覚化:

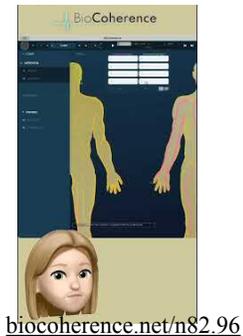
- 画面の上部をクリックすると、経絡の経路とその主な特性が表示されます。
- 花のアイコンをクリックすると、追加情報が表示されます。
- 経絡間をナビゲートし、彼らの間のリンクを視覚化するためにクリックします。
- セッションのさまざまな部分で経絡の進化を追跡できます。
- 左または上のメニューを使用して、携帯電話でナビゲートします。

3. 経絡評価:

- 経絡のリストをクリックすると、その評価が表示されます。
- サブメニューでは、エネルギー、エントロピー、およびコヒーレンスの3つの基準を提供します。
- これらの基準のロジックは、すべてのコアページに適用されます。

4. 評価基準:

- エネルギー
 - 2列で表示: 最もエネルギーのある経絡と最もエネルギーのない経絡。
 - クリックごとに表示される経絡の数を増やしたり減らしたりする可能性があります。
 - 現在のエネルギー状態と伝統的中国医学 (TCM) の症状に基づく追加情報。
 - 他の経絡との情報を相互参照して、より正確な詳細を得ます。
- エントロピー
 - 最も興奮した経絡と静的な経絡を表示します。
 - 各状態に関連する可能性のある症状を提供します。
- コヒーレンス
 - 共鳴している経絡を表示します。
 - コヒーレンスのある経絡は、同じリズムで共鳴するシステムを形成します。



5. 情報の使用:

- エネルギー-エントロピー-コヒーレンスのロジックは、評価の主要要素を分類するために使用されます。
- これらの要素は、評価される人の機能を理解するのに役立ちます。

これらの指示に従うことで、アプリケーションを効率的にナビゲートし、評価基準を使用して経絡、エネルギー状態、エントロピー、およびコヒーレンスに関する詳細情報を取得できます。

TCMにおける経絡について:

伝統中国医学 (TCM) では、経絡は気 (生命エネルギー) が流れるエネルギーチャネルです。主な経絡は12本、特異経絡は8本あり、うち2本は調節経絡です。以下に説明します:

12本の主な経絡:

1. 肺 (LU) : 呼吸と免疫系を調節します。
2. 大腸 (LI) : 固体廃棄物を排出し、腸の機能を調節します。
3. 胃 (ST) : 食物を消化し、栄養素を吸収します。
4. 脾臓/膵臓 (SP) : 栄養素の変換と輸送、エネルギーのサポート。
5. 心臓 (HT) : 血液と血管を支配し、心を制御します。
6. 小腸 (SI) : 純粋な物質と不純物の分離、栄養素の吸収。
7. 膀胱 (BL) : 液体廃棄物を排出し、体液を調節します。
8. 腎臓 (KI) : 生命の本質を蓄え、水を調節し、骨と耳を制御します。
9. 心包 (PC) : 心臓を保護し、感情と血液循環を調節します。
10. 三焦 (TEまたはSJ) : 三つの温度 (上、中、下) を調節し、エネルギーと液体の循環を制御します。
11. 胆嚢 (GB) : 胆汁を蓄え、排出し、意思決定を助けます。
12. 肝臓 (LV) : 血液を蓄え、気の流れを調節し、腱と筋肉をサポートします。

8本の特異経絡:

1. 任脈 (Ren Mai) : 陰経絡を調節し、生殖を制御します。
2. 督脈 (Du Mai) : 陽経絡を調節し、中枢神経系を制御します。
3. 衝脈 (Chong Mai) : 血液と主要経絡のエネルギーを調節します。
4. 帯脈 (Dai Mai) : 垂直経絡を囲み、性器と腹部を調節します。
5. 陰交脈 (Yin Qiao Mai) : 陰陽のバランスを調節し、睡眠と覚醒を制御します。
6. 陽交脈 (Yang Qiao Mai) : 陰陽のバランスを調節し、四肢の動きに影響を与えます。
7. 陰維脈 (Yin Wei Mai) : 陰経絡を調節し、感情に影響を与えます。
8. 陽維脈 (Yang Wei Mai) : 陽経絡を調節し、身体の防御に影響を与えます。

2本の調節経絡:

1. 任脈 (Ren Mai) : すでに特異経絡の中で言及されています。
2. 督脈 (Du Mai) : すでに特異経絡の中で言及されています。

これらの経絡は、エネルギーバランスと全体的な身体の健康を維持するために協力します。

12.2. 器官マップ

10以上の詳細な器官チャートとリンク

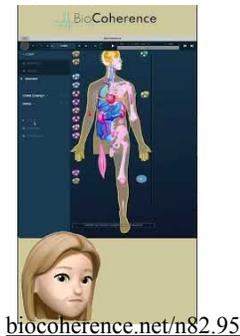
このセクションでは、私たちの体の評価アプリケーションにおける臓器の機能について探ります。臓器カテゴリにアクセスすると、まず全身の視覚化が表示されます。特定の臓器をクリックすることで一般的な評価に入ることができ、その臓器が体の他の部分との関係を示します。たとえば、強調表示されている臓器は興味のあるものです。心臓をクリックすると、さまざまな臓器とのつながりが表示され、これらの関係も地図上で確認できます。

特定のシステム、たとえば呼吸器系をクリックすることで、神経伝達物質、舌、口、およびさまざまな組織とのつながりを含む接続を簡単にナビゲートできます。口をクリックすると消化器系にズームインし、地図が口と消化器系の他の側面との関係を示すように修正されます。

脳の地図など、異なる地図を選択することもできます。この地図は脳のさまざまな部分を表示し、リスト形式で完全な評価を提供します。特定の部分を見つけたい場合、地図はそれを示します。たとえば、松果体をクリックすると、その位置と信号を受信し送信する腺が表示されます。セロトニンやプロラクチンなどの各要素は、他のホルモンとの接続や接続の欠如を確認するために探索できます。

臓器セクションでは、エネルギー、エントロピー、およびコヒーレンスを表示するオプションも提供されており、使用される画面によって変わります。全身画面では、これらのパラメータが最も関連性の高い要素に対して表示され、それらのエネルギー資源や動揺のレベルを示します。たとえば、歯や椎骨を調べることで、最もエネルギーがあるか動揺しているものを特定でき、完全な健康診断に役立つ貴重な情報を提供します。

最後に、関連する項目を特定した際には、専用アイコンをクリックすることで優先リストに追加できることをお知らせします。これにより、それらを次の調和のためのバランス選択に含めることができます。



12.3. 鍼灸ポイント

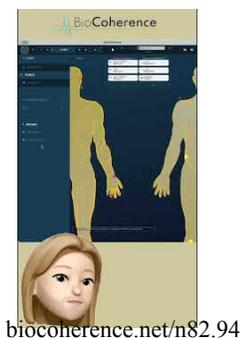
350以上の鍼灸ポイント进行评估し、数百の中医学レシピの関連性を調査します。

ポイントと経絡の探求

ソフトウェアで身体を探求する際、経絡、ポイント、臓器にアクセスできます。特定の経絡をクリックすると、表示が変わり、全体の経絡ではなく各経絡上のポイントの詳細が表示されます。この機能により、各ポイントの正確な評価が可能になります。

ポイントの選択と情報

各ポイントをクリックすることで、その特定のポイントに関する詳細情報を取得できます。また、経絡を選択して、そのポイントの状態を表示することも可能です。経絡を切り替えることで、異なるポイントとそれらの位置を地図上で確認でき、効率的なナビゲーションに特に役立ちます。



経絡のナビゲーションと追跡

画面上部のセレクターで経絡のタイトルをクリックすることで、経絡をナビゲートできます。また、セッションの過程でポイントの進化を表示することもできます。この機能は、特定のポイントの時間経過に伴う進化を追跡するのに非常に貴重です。

経絡特有の情報

経絡を選択すると、経絡タブで利用可能な情報とは異なる情報にアクセスできます。ここでは、伝統的中国医学（TCM）で重要な大使ポイント、拡散、噴出、川など、8つの主要なポイントが見つかります。また、経絡の電力供給と接続に関する情報も利用可能です。

地図上のポイントの表示

ポイントをクリックすると、その正確な位置が地図上に表示されます。左側のメニューでは、エネルギー、エントロピー、コヒーレンスなどのオプションが提供されます。エネルギーを選択すると、最もエネルギーがあるポイントと最もエネルギーがないポイントがそれぞれ紫色と黄色で表示されます。

TCMレシピ論理

このアプリケーションは、いくつかのポイントを組み合わせることで症状を修正するTCMレシピ論理を使用しています。たとえば、特定のポイントが一緒に共鳴し、エネルギーレベルが低すぎるか高すぎる場合、これは不均衡を示しているかもしれません。何千年にもわたって発展したTCMレシピは、逆流性食道炎などの特定の症状を治療するために適用されます。このアプリケーションでは、逆の論理を適用しています。特定のポイントが一緒に共鳴し、エネルギーレベルが低すぎるか高すぎる場合、これが貴重な洞察を提供する可能性があるかと仮定しました。たとえば、非常にエネルギーが高いか非常に低いエネルギーのポイント、またはあまりにも動揺しているかあまりにも静的なポイントは、通常、逆流性食道炎や胸焼けなどの状態を治療するために使用されるコヒーレントシステムに不均衡を示す可能性があります。ある個人の特定の3つのポイントが非常に静的であるケースを考えてみてください。これは、これらのポイントに関連するレシピや治療がその人に必要であることを示すかもしれません。このアプローチは、診断のための追加のアイデアを提供することができます。

レシピの適用

レシピは、鍼灸やバランス調整フェーズ中に音や電気周波数を使用して適用できます。ポイントが一緒に共鳴するコヒーレントシステムは、正確な診断に特に関連しています。ポイントの同期は、分析されている人に対するTCM治療の関連性が増すことを示唆しています。

結論

この章では、TCMソフトウェアにおけるポイントと経絡の使用について詳細に説明し、ナビゲート、選択、解釈する方法を説明して、正確な診断と効果的な治療を可能にします。

13. 理解する: 心理

心、精神、影

これらの画面は、分析の精神的、精神的、無意識の部分に専念しています。それらには、性格、音楽の調和、感情、アライメント、傷、モーターが含まれています。

13.1. 整合

エルフィー波管理における整合性とコヒーレンス

アライメントは心の重要な要素であり、特にエルフィー波を扱う際に重要です。アライメントはこれらの波の異なるスケールに現れ、それを理解するためには視覚化ツールの使用が役立ちます。例えば、心臓のコヒーレンスは視覚的に表現でき、個人のエネルギー状態に関する視点を提供します。

インターフェースでは、下部にある3つのスライダーでパラメータを視覚化できる一方、上部にはインプロージョンスパイラルの視覚化が表示されます。エルフィー波スケールは、値205、206、および214で示され、現在のスケールレベルを示しています。特定の値（例えば214エルフィー）に関する詳細情報を得るには、単にクリックしてその特性と影響の詳細を表示します。

各スケールは特定の波長において顕著な値を示し、エネルギー相互作用に関する貴重な情報を提供します。これらのスケールを観察することで、他のスケールレベルとの接続の度合いを判断することが可能です。例えば、分析により、個人がマクロスケールよりもマイクロスケールでよりエネルギーが充実していることが明らかになる場合があります、これは小さな構造内でより集中したエネルギーを示唆しています。

スパイラルの視覚化により、異なるスケールを通じてエネルギーの経路を追跡できます。スパイラルを下に移動し、各レベルでの値を観察することで、エネルギーが時間とともにどのように進化するかを理解することが可能です。これは、異なるスケールでの進化を研究できる拡張記録において特に関連性があります。

この分析の重要な側面は、ターゲットコヒーレンス、特に心臓のコヒーレンスであり、これは個人のエネルギーがエルフィー値とどの程度同期しているかを測定します。これらの値は、すべてのスケールでエネルギー伝送に最も適合したものと見なされます。カーソルは、これらのパラメータを調整して最適なコヒーレンスを達成する上で重要な役割を果たします。

結論として、エルフィー波管理におけるアライメントとコヒーレンスは、異なるスケールでのエネルギーを理解するための複雑でありながら基本的な概念です。視覚化ツールとカーソルは、これらのパラメータをナビゲートし最適化する上で貴重な支援を提供し、より良いエネルギー管理と伝送に貢献します。

詳細情報は<https://elfie.link>またはソフトウェアの「エルフィー」メニューをご覧ください。



biocoherence.net/n82.103

13.2. 脳波

一般的な脳波活動の分析

このセクションでは、「メンタル」インターフェースの最後のタブ、脳波に関するものを見ていきます。この機能はまだ実験段階にあります。ECGで脳波を読み取ることができると言うのは大胆なことで、さまざまな脳波に対応するECGの分析スペクトルを検査し、時間の経過に伴うその進化を観察することを可能にします。結局のところ、私たちのデバイスは全身の電気活動を測定しますが、脳波はECGよりも100倍弱いレベルであるため、まだ実験的なアルゴリズムです。

脳波の表示は動的です。再生モードのとき、マルチバンド表示が目に入ります。この表示のロジックは、バンドが広いほど、表す時間の期間が長くなるということです。逆に、バンドが細いと、より短い期間を示します。

ここでは異なるバンドの説明をします：

- 最も短いバンドは、拍動や数拍のレベルで測定された非常に短期の測定に対応します。
- バンドが広がるにつれて、ますます長い期間を表します。

短期の要素は非常に迅速に動くのに対し、長期の要素は遅い変動を示すことに注意することが重要です。

バンドをクリックすると、画面の下部に評価が表示され、あなたが知っている花の表現が表示されます。この評価を使用して、アイテムを直接優先リストに追加し、脳波を追跡および分析しやすくなることができます。

詳しく知るために

脳波は、異なる精神状態および覚醒レベルに関連付けられた複数のカテゴリーに分けられます：

1. デルタ波 (0.5-4 Hz)：深い睡眠と再生に関連しています。
2. シータ波 (4-8 Hz)：深いリラクゼーション、瞑想、および軽い睡眠の段階に関連しています。
3. アルファ波 (8-12 Hz)：穏やかなリラクゼーション状態と覚醒瞑想に相関しています。
4. ベータ波 (12-30 Hz)：集中、警戒、および認知活動に関連しています。
5. ガンマ波 (30-100 Hz)：学習や記憶などの高度な認知プロセスに関連しています。

これらの波は、個人の活動や精神状態に応じて変動します。

13.3. ドライブ

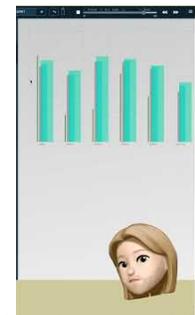
51 感情、気持ち、行動を対面で、3つの主要なグループとそれぞれ3つのサブグループに分けて。

心のエンジンと無意識の理解

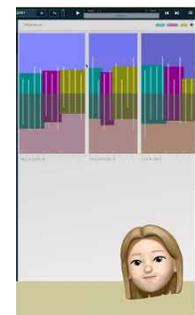
心とスキヤンの無意識部分の最終要素は、モーターに関するものです。ドライバーは約60の感情で構成されており、それらは建設的または破壊的である可能性があります。これらの感情は、内なる自己、外なる自己、他者の3つのカテゴリーに分類されます。

1. 感情のカテゴリー：

- 内なる自己：私たちの内なる世界に関連するすべての感情を含みます。
- 外なる自己：私たちの外の世界に関連するすべての感情を含みます。
- 他者：他者との相互作用に関連するすべての感情を含みます。



biocoherence.net/n82.105



biocoherence.net/n82.104

2. 感情の構造:

- 各感情カテゴリーは、感情、感覚、行動の3つの下位区分に分かれています。
- 感情: すべての気づきの基盤であり、その後、感覚を生み出します。
- 感覚: 感情から生じ、行動につながります。
- 行動: 感情-感覚プロセスの最終結果です。

3. 水平的組織:

- 感情は水平方向にも分類されます。上部には建設的な感情があり、下部には破壊的な感情があります。
- 例えば、抑うつは手放すことに対立し、健康不安は瞑想状態に対立し、心の痛みは喜びに対立し、自己妨害は満足に対立します。

4. 相互接続:

- 感情はさまざまな場所で相互接続されることがあります。例えば、冷静さは強迫的な執着に対立し、反省は厳しさに対立します。
- これらの相互接続は、瞑想や自己理解に重要な情報を提供します。

5. カスタマイズ:

- 特定の感情を選択して取り組むことが可能です。例えば、組織が低エネルギー状態にある場合、それを強化することを決定できます。
- 高エネルギーの決定など、特定の項目を個人の作業リストに追加できます。

要するに、これらの感情のドライバーを理解し整理することで、私たちの感情や行動をより良く管理し、よりバランスの取れた意識的な個人の成長を促進することができます。

詳細を知るために

感情と感覚は、外部および内部の刺激に対する内的な反応です。

- 内なる自己は、自己認識、個人的な思考や感情を含みます。
- 外なる自己は、他者に対して投影するイメージや社会で示す行動に関係します。
- 他者の自己は、外の世界が私たちに示すすべてに対する反応の仕方に関係します。

他者との相互作用は、感情的な交換や社会的フィードバックを通じてこれらの2つの次元に影響を与えます。喜び、悲しみ、怒り、および恐れなどの感情は、私たちの経験や行動を形作り、それが私たち自身や他者に対する認識に影響します。これらのダイナミクスをよりよく理解することで、感情的知性や対人関係を改善できます。

以下は、各感情の詳細な説明です:

1. 敏捷性: 変化に迅速かつ効果的に適応する能力。
2. 健康不安: 自分自身や他者の健康についての過剰な懸念。
3. 善意: 他者に対する親切さと同情の態度。
4. 心の痛み: 喪失や失望後の深い悲しみと感情的痛み。
5. 冷静さ: 心の安らぎと内面的な静けさの状態。
6. カリスマ性: 他者を引きつけ、魅了し、影響を与える能力。
7. 集中力: 特定のタスクや目標に注意を維持する能力。
8. 自信: 自分自身の能力や他者の能力に対する確信と安心感。
9. 配慮: 他者の感情やニーズに対する配慮と尊重。
10. 勇気: 恐れ、痛み、危険、または不確実性に直面する能力。
11. 決断力: 決意と決定を持って選択を行う能力。
12. 抑うつ: 長期的な悲しみ、絶望、そして生活への興味の喪失の状態。
13. 意志力: 障害にもかかわらず目標を追求する決意。

14. 高揚感: 幸福感と興奮の強い感情。
15. 口才: 自分自身を明確かつ効果的に表現する能力。
16. 感情的な不安定さ: 感情の過剰で予測不可能な変動。
17. 共感: 他者の感情を理解し共有する能力。
18. 不安定な気分: 気分の頻繁で予測不可能な変化。
19. 疲労: 肉体的および感情的に極度の疲労感。
20. 悲嘆: 通常、喪失による強い感情的痛み。
21. 正直さ: 率直で誠実であることの質。
22. 希望: より良い未来へのポジティブな期待。
23. 絶望: 未来への希望と自信の完全な喪失。
24. 過剰感情: 刺激に対する過剰な感情反応。
25. 過敏性: 感情的または感覚的刺激への反応の増加。
26. 不整合な思考: 論理的、構造化された思考を維持するのが難しいこと。
27. 悲嘆の欠如: 分離感と感情的無関心の感覚。
28. 自信の欠如: 自分自身や他者の能力についての疑念。
29. 学習障害: 知識やスキルを習得する能力に影響を与える障害。
30. 手放すこと: コントロールを手放し、物事があるがままに受け入れる能力。
31. 忠誠心: 人、グループ、または目的に対する忠実さと献身。
32. 瞑想状態: 深いリラクゼーションと高まった意識の状態で、通常は瞑想を通じて達成されます。
33. 記憶: 情報を保持し、思い出す能力。
34. 長期記憶: 長期間にわたって情報を保存し、呼び出す能力。
35. 短期記憶: 短時間の情報を保持する能力。
36. 強迫性障害: 反復的で制御できない思考や行動。
37. 執着: アイデアや人への過剰で持続的な執着。
38. 組織力: 活動を秩序正しく効率的に構造化する能力。
39. パフォーマンス: タスクや活動を成功裏に完了する能力。
40. 喜び: 満足感と充実感の感覚。
41. 先延ばし: 重要なタスクを後回しにする傾向。
42. 硬直性: 思考や行動における柔軟性の欠如。
43. 無礼: 他者に対する厳しいまたは無神経な行動。
44. 自己妨害: 自分自身の成功を故意に妨げる行動。
45. 空間認識: 周囲の空間やそこに含まれる物体を認識すること。
46. 停滞: 進展や発展の欠如。
47. 驚き: 予期しない出来事に対する感情的反応。
48. 反省: ある主題や状況についての深く、注意深い思考。
49. 内気: 社会的相互作用における控えめさや不安。
50. 寛容さ: 他者の違いを受け入れ、尊重すること。
51. 意志力: 目標を達成するための決意、しばしば困難にもかかわらず。

13.4. 感情

悲しみ、安心、愛、真実、平和、幸福感、満足

無意識に関する章は、感情、傷、モーターの3つの主要な領域に分かれています。最初に感情について始めましょう。

このページでは、7つの主要な感情を評価できます：悲しみ、安全、愛、真実、平和、幸福感、満足感。これらの進化も追跡できます。バーをクリックすることで、バイオマーカーを花の形で視覚化し、その内部ダイナミクスやこれらの感情間のリンクを示すことができます。ここでも、グラフは異なる地平線での評価を表しており、最も広いバーは最長期間のものであり、最も細いバーは最短期間のものです。

この分析は技術的に非常に異なり、Drivesに見られるデータとは異なるデータに基づいています。したがって、これらと比較することは興味深いです。

これらの主要な感情は、2次調和分析および一般的な深い心のリズムに依存しています。これらは次のように説明できます：

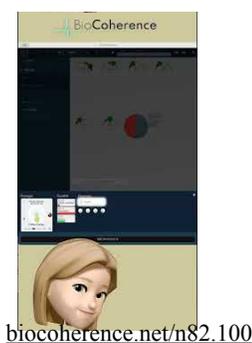
1. 悲しみ: 喪失、失敗、または失望によって引き起こされる苦痛または憂鬱の感情。しばしば涙、エネルギーの欠如、引きこもりとして現れます。
2. 安全: 保護と危険の不在の感情。自信と静けさを生み出し、身体的または感情的な脅威から安全を感じることを可能にします。
3. 愛: 人、動物、または活動に対する深い愛情と愛着の感情。それは、優しいジェスチャー、ポジティブな思考、そして親密さへの欲求に翻訳されます。
4. 真実: 誠実さと真実性の感情。真実は、関係や状況に明確さと透明性をもたらし、混乱や欺瞞を避けます。
5. 平和: 静けさと内なる調和の状態。平和は、対立、ストレス、不安の不在として現れ、リラクゼーションと一般的な幸福感を促進します。
6. 幸福感: 健康、快適さ、身体的および精神的満足の一般的な感情。健康、感情的バランス、個人的な充足感などの側面を含みます。
7. 満足感: 欲望、ニーズ、または目標の充足から生じる満足と喜びの感情。それは充足感と達成感をもたらします。

13.5. 焦点

ストレス指数、HRV...

このセクションでは、先進的な心電図分析に不可欠な情報を豊富に提供するFocus画面を探ります。この情報は一般的に学術および研究の文脈で使用され、さまざまな科学的マーカーが含まれます。

1. ストレス指数: この指数はロシアの研究者Bevskiによって開発されました。特定のパラメータを使用して身体のストレスレベルを測定します。
2. 適応レベル: ロシアで開発された別の指数で、身体がさまざまな刺激や条件に適応する能力を評価します。
3. 総合力、変動因子および心拍変動: これらのマーカーは心臓病学の分野でよく知られており、心臓の機能やストレス反応のさまざまな側面を測定するために使用されます。
4. 心理的・感情的ストレス: この指標は心臓系に対する感情のおよび心理的な影響を評価します。



Focus画面によって提供されるデータは、迅速な視覚化のためにカーソルとして表示できます。あるいは、ノート、花、品質の形で提示され、より詳細な分析を可能にします。

Focus画面には、注意、意図、ホライズンコントロールの質に関する情報も含まれています。これらの指標は、ユーザーの精神的および感情的な状態に関する追加情報を提供します。

この画面の興味深い側面は、構築（カタボリズム）と破壊（アナボリズム）の関係です。カタボリズムはエネルギー支出を表し、アナボリズムはエネルギーの保存に対応します。この比率は動的であり、記録中に変化する可能性があり、生物システムの一般的な呼吸を反映します。私たちは全体的存在であり、破壊は圧縮-膨張、破壊-再構築、分離-再統合、複雑化-単純化の一般的な動きの一部であることを考慮してください。健康な複雑な生物は、これらの状態の間で常に振動しているべきです。

これらの動的な変化を観察することは重要です。なぜなら、それらは構築と破壊の比率の進化を示すからです。この進化的要因の追加は、生物システムの呼吸をよりよく理解するための手助けとなります。

最後に、Focus画面はアナボリズムとカタボリズムを表す2つの花を示し、これらのプロセスに関する視覚情報を提供します。これらのデータは、セクションごとにまたは全体の記録で分析でき、ユーザーの生理的および心理的状态の全体像を提供します。

13.6. 音楽

音楽分析と整合性

このセクションでは、心の概念の第二部、すなわち心、精神、無意識について見ていきます。主に心に集中し、特に音楽とアライメントの要素について詳しく見ていきます。

録音における音楽

心を分析する際、最初に録音に存在する音楽的要素を特定します。目的は、関連する音楽的対応を見つけることです。選択肢は二つあります：すべての音楽的要素を視覚化するか、それらを再生して時間の経過に伴う進化を観察することです。

細いバーは短期的な要素を表し、広いバーは長期的な要素を示します。もう一つの興味深い指標は、録音における音楽的ハーモニーの一般的なレベルです。約100ビート後、特定の短期、中期、長期、非常に長期的な音楽的和音を特定し始めることができます。

これらの和音は2、3、または4つの音から成り、異なるスケールに広がる可能性があります。この情報が常に直接的に役立つわけではありませんが、ガイド付き瞑想を再構築する際には重要になります。これは、参加者の現在の状態、すなわち彼らの録音に存在する音楽を理解し、音楽的に彼らをどこに導きたいかを決定するのに役立ちます。

音楽的アライメントと調整

音楽的アライメントは、瞑想の目的に合わせてスケールや和音の種類を調整することを含みます。例えば、現在の和音がマイナー7和音であり、メジャー和音に移行したい場合、この移行は瞑想全体を通じて徐々に行われます。同様に、存在しない特定の周波数を目指す場合、その目標周波数に向かって徐々に進化する音楽を構築します。

アイデアは、参加者を現在の音楽的状态から取り込み、彼らの身体に存在するメロディを使ってより深い瞑想の状態に導くことです。このアプローチは、参加者の音楽的言語に直接話しかけることによって瞑想への入り口を促進します。



biocoherence.net/n82.102

要するに、音楽的分析とアライメントはガイド付き瞑想のパーソナライズを可能にし、各個人にとって体験をよりアクセスしやすく、効果的にします。

13.7. 2016年の性格タイプ

ユングのタイプ、またはMBTIまたはマイヤーズ・ブリッグスとして知られる、まったく新しい地図で

ユングのタイプに基づく性格の評価

このセクションでは、ユングのタイプに基づく性格の一般的な概要を知るために「精神」タブを探ります。性格は4つの主要な軸を通じて分析されます。

性格軸

ユングのタイプは、4つの軸を使用して計算され、私たちはそれを論理的なグラフに初めて配置しました:

1. **NS (感覚/直感):** この軸は、個人が情報を処理する方法を決定します。
2. **FT (思考/感情):** この軸は、個人が情報を処理する方法を評価し、心や思考に焦点を当てます。
3. **IE (内向性/外向性):** この軸はエネルギーを測定し、個人が外向的（外向性）であるかどうかを示します。
4. **JP (判断/知覚):** この軸は時間的空間に関係し、個人が短期指向（自発性）であるかどうかを示します。

各軸はセグメントに分かれており、詳細な評価を可能にします。たとえば、IE軸上では、個人は外向的または内向的として評価されることがあります。

ユングのタイプと評価

ENTP、ENTJ、ESTJ、ESTPなどのユングのタイプは、これらの4つの軸上の位置に基づいて決定されます。たとえば、評価の結果、支配的なESTJタイプが明らかになることがあります。

性格タイプのダイナミクス

静的な質問票による評価とは異なり、この方法では個人の無意識的で動的な反応を観察することができます。軸間を移動する際に、評価が動くことがわかり、性格タイプが動的であることを示しています。これは、個人が状況に応じて異なる隣接のタイプの間で振動することができることを意味します。

この静的でないアプローチは、ユングのタイプに対する行動と性格の理解に興味深い視点を開きます。

詳細な性格タイプ

ユングの性格タイプは、思考、感情、感覚、直感の4つの主要な心理的機能に基づいており、外向性と内向性の態度と組み合わせられています。これにより、8つの性格タイプが生まれます:

1. 外向的思考: 論理的、客観的、事実重視。
2. 内向的思考: 反射的、分析的、独立的。
3. 外向的感情: 社交的、温かい、社会的価値重視。
4. 内向的感情: 控えめ、深い、自分の価値観によって導かれる。



biocoherence.net/n82.101

5. 外向的感情: 実用的、現実的、具体的指向。
6. 内向的感情: 芸術的、敏感、主観的経験に向けられる。
7. 外向的直感: 革新的、機会主義的、未来指向。
8. 内向的直感: ビジヨナリー、内省的、洞察に導かれる。

これらのタイプは、個人が世界をどのように認識し、意思決定するかの異なる方法を理解するのに役立ちます。

ここでは、16のマイヤーズ・ブリッグス・タイプ指標 (MBTI) 性格タイプの簡単な説明を示します:

1. **ISTJ (検査官)** - 信頼性が高く、組織的、現実的、実用的。
2. **ISFJ (保護者)** - 献身的、思いやりがあり、忠実で、詳細に注意を払う。
3. **INFJ (アドバイザー)** - 理想的、共感的、洞察力があり、インスパイアリング。
4. **INTJ (建築家)** - 戦略的、独立的、分析的、決断力がある。
5. **ISTP (職人)** - 実用的、観察力があり、適応力があり、論理的。
6. **ISFP (アーティスト)** - 敏感、控えめ、自発的、調和的。
7. **INFP (理想主義者)** - 創造的、情熱的、利他的、内省的。
8. **INTP (論理学者)** - 革新的、好奇心旺盛、客観的、独立的。
9. **ESTP (起業家)** - エネルギッシュ、直接的、実践的、社交的。
10. **ESFP (通訳者)** - 熱心、自発的、温かい、楽しませる。
11. **ENFP (インスパイア)** - 想像力豊か、社交的、エネルギッシュ、ビジヨナリー。
12. **ENTP (革新者)** - 独創的、エネルギッシュ、資源豊富、知的。
13. **ESTJ (監督者)** - 組織的、実用的、現実的、決定的。
14. **ESFJ (相談役)** - フレンドリー、誠実、協力的、社交的。
15. **ENFJ (教師)** - カリスマ的、利他的、共感的、モチベーションを高める。
16. **ENTJ (指揮者)** - ビジヨナリー、主張的、戦略的、効率的。

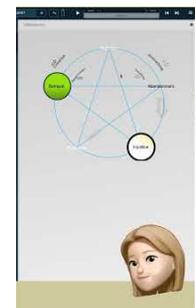
これらの簡単な説明は、各MBTI性格タイプの一般的な概要を提供します。

13.8. その5傷

放棄、拒絶、屈辱、裏切り、不正

人間の無意識は、主に心理的な傷によって影響を受けます。これらの中には、拒絶、放棄、裏切り、屈辱、不正の5つの主要な傷があります。これらの5つの傷は、最初の8つの傷のモデルから派生しています。それらは、伝統的な中国医学における5つの要素のように相互に影響し合う複雑なネットワークを作り出します。

現在私たちの内にどの傷が活動しているかを理解することは、有益な洞察を提供することができます。拒絶、裏切り、不正がどのように相互に影響し合っているかを観察することで、私たちの心理状態についての動的な洞察を得ることができます。この理解は、より大きな自己認識と自己改善への鍵となることがあります。



biocoherence.net/n82.113

5つの傷の起源

ジョン・ピエラコスは、1956年にバイオエネルギー分析研究所を共同設立し、存在的傷（または自己愛的傷）についてのウィルヘルム・ライヒの研究を引き継ぎ、放棄、拒絶、屈辱、裏切り、不正、侵入、無力感、不安定の8つを定義しました。

リズ・ブルボーはその後、この理論を5つの感情的な傷に適応させ、私たちが自分自身でいることを妨げるものとなりました。彼女によれば、これらの傷は多くの感情的な問題や機能不全な行動の根底にあり、子供の頃に始まり、しばしば生まれてから7歳までの間に発生しますが、癒されないまましていると大人の生活にも影響を与え続けます。

1. 拒絶の傷：この傷は通常非常に早い段階で形成され、時には出生前から存在し、欲されていないという感情にしばしば関連しています。この傷を持つ人々は愛を受ける価値がないと感じ、拒絶される可能性のある状況を避けます。自己主張や自分の場所を取ることが難しいです。
2. 放棄の傷：これは、子供が身近な人から放置されたりサポートされていないと感じるときに現れます。この傷を受けた人々は、孤独を強く恐れ、他人の注意と承認を常に求めます。彼らは感情的に依存するようになることがあります。
3. 屈辱の傷：これは、子供が親や愛する人から自分の行動や行為について小馬鹿にされたり批判されたと感じるときに発生します。この傷を持つ個人は、恥ずかしさを感じやすく、尊厳を欠く傾向があります。彼らはまた、他人がそうするのを防ぐために自分自身を屈辱的に扱うことがあります。
4. 裏切りの傷：この傷は、子供が信頼していた誰か、しばしば約束を守らない親から裏切られたと感じるときに発生します。この傷を持つ人々は他人を信頼するのが難しく、すべてをコントロールしようとします。彼らは嫉妬深くなったり、所有的になることがあります。
5. 不正の傷：これは、子供が不当に扱われていると感じるとき、しばしば過度に権威主義的または批判的な親から形成されます。この傷を持つ人々は完璧を求め、硬直で不寛容になることがあります。彼らはしばしば自分の感情を表現するのが難しいです。

リズ・ブルボーは、これらの傷が私たちの行動や世界の認識に影響を与えることを説明しています。癒すためには、これらの傷を認識し、その起源を理解し、それを克服するために取り組むことが不可欠です。

14. テスト

このモジュールは、ライブバイオフィードバックテストおよび既存の録音からのテストリストの評価に専念しています。

テストモジュールは、あらゆる種類のライブテストを実行でき、その結果は特定のバイオマーカーの瞬間的な変化に基づいて評価されます。また、現在のスキャンにおける特定のバイオマーカーの値に基づいて、任意のテストリストを事前評価することもできます。

リストの事前評価

新しいリストを作成したり、他のユーザーによって作成された既存のリストを使用したりできます。リストを開くと、そのすべての項目が現在開いているレポートに関連して優先順位付けされます。そして、ライブテストを行いたい項目にチェックを入れることができます。

ライブテスト

項目が選択されたら、ライブテストにより、これらを顧客に表示し、センサーを使用して彼のシステムのバイオフィードバック応答を測定できます。結果は、システムを強化する、システムを弱める、または中立の3つの可能な応答に分類されます。

無限のオープンテストオプションもあり、これにより、クライアントまたは自分自身に対して任意の治療アプローチを直接テストし、バイオフィードバックを使用して結果をライブで測定することができます。

14.1. テストリスト

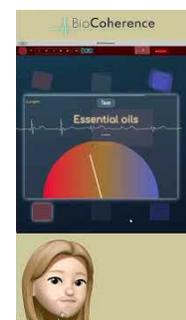
*Biocoherence*でのリストを使用したテスト

アプリケーション内のリストの管理と編集

リストを操作する際は、キーワード検索機能が手元にあります。現在リストの数は限られていますが、将来的には何百、さらには何千のリストに拡張できるよう設計されています。これにより、自分自身のテストを編集および管理することが可能になります。

テスト編集モード

1. **編集モードへのアクセス:** 自分のテストにいる場合、小さな鉛筆のアイコンがテストの隣に表示されます。それをクリックすると、編集モードに入ります。
2. **項目の編集:** 編集モードに入ると、各項目をクリックしてテキストや関連するアクションを変更できます。たとえば、アーユルヴェーダ、臓器、ヴァータ、ヴァータなどのカテゴリに対するアクションを定義できます。
3. **アクションの定義:** VPKのようなカテゴリをクリックして、特定の要素（例：アミノ酸、膀胱、血液、脳、目）の増加または減少の効果を指定します。



biocoherence.net/n82.112

自動評価

自動評価は、ユーザーの要素レベルとテストで定義されたアクションの一致に基づいています。これにより、リスト内の項目を期待される結果に応じてランク付けすることが可能になります。

追加ツール

1. 追加とインポート: 新しいツールを追加したり、項目を行ごとに貼り付けてリストをインポートできます。
2. リストの削除: リストを完全に削除するオプションがあります。
3. **2D**ロジックマップ: やがて、項目を2次元の画像に配置できるようになり、テストを視覚化し整理しやすくなります。

一般的なリストのプロパティ

インターフェースの上部で、一般的なプロパティを変更できます:

- リストのカテゴリ
- 可視性 (公開または非公開)
- アクセス (無料または有料)

有料リストは公開にして、他のユーザーが手数料でアクセスできるようにすることができます。これにより、自分の知識を共有し、報酬を得ることができます。

所有していないリストの管理

自分が所有していないリストを操作している場合、それを複製できます。複製は、タイトル、説明、およびアクションを変更できる編集可能なコピーを作成することを可能にします。

リストへのアクセス

画面の右側にある一般メニューから、「マイリスト」に移動して、既存のリストを編集したり、新しいリストを作成したりできます。この機能は、ホーム画面を含む任意の画面から利用可能です。

これらの手順に従うことで、リストやテストを効率的に管理し、アプリケーションが提供するさまざまな編集および整理オプションを活用することができます。

リストベースのテストへの導入

BioCoherenceにおけるリストベースのテストは、完全にオープンなシステムであり、ユーザーが既存のリストを選択したり、新しいリストを作成したり、既存のリストを複製して他のユーザーと共有することができます。

リストとは何ですか?

テストリストは、アロマハーブやエッセンシャルオイルなどのエントリーのコレクションです。リストがレポートで開かれ、利用可能な記録がある場合、各エントリーが評価され、優先順位が付けられます。パーセンテージは、エントリーと記録との互換性を示し、0%から100%の範囲です。

色コード

- 緑: 非常に関連性が高く、高い互換性 (例: 85%)
- 他の色: 互換性の異なる段階 (例: 中間シリーズに対して40%)
- 紫: 低い互換性 (20-30%)
- 灰色: 中立またはほぼゼロの互換性 (約0%)

- 赤: 不適合または否定的な反応

ライブテスト

事前評価の後、第二部はライブテストで構成されます。以下は、従うべき手順です:

1. 項目の選択: テストする項目を個別に選択します。
2. センサーに接続: キャリブレーションのためにセンサーを接続します。
3. テストの実行: テストは一つずつ実行され、視覚、音声、または他の情報がテストを受ける人に送信されます。
4. 観察: 正確な評価のために、テストを受ける人は提示された情報を見たり聞いたりしなければなりません。
5. 評価: システムは、提示された情報に基づいて身体の反応を分類します。

結果の表示

テストの終了時に、結果が再表示され、次のように分類されます:

- 成功したテスト: 良い身体反応
- 平均的なテスト: 混合反応
- 不確実なテスト: 否定的または一貫しない反応

提示された情報の重要性

テストされた要素（例: 写真、エッセンシャルオイルが作用するシステムの詳細）に関する情報をできるだけ多く提示することが重要です。これにより、バイオフィードバックシステムを通じて身体から直感的で測定可能な反応を得ることができます。

レポートへの結果の統合

テスト結果はレポートに表示され、良好または平均的な反応を示す項目のみが表示され、拒否された項目は除外されます。レポートには以下が含まれます:

- 互換性のパーセンテージ: 初回スキャンに基づく計算
- 無意識の身体反応: 情報が提示されたときに測定される

将来の発展

周波数テストや任意の情報のライブテストなどの新しいテスト機能が、すぐに利用可能になります。

テスト編集モード

自分のテストにいと、小さな鉛筆が表示されます。この鉛筆をクリックすることで、テスト編集モードに入ります。その後、各項目をクリックして関連するテキストやアクションを変更できます。たとえば、アーユルヴェーダや臓器などの項目に対するアクションを設定できます。やがて、他のタイプのアクションも利用可能になります。

アクションの編集

アクションを変更するには、関連する要素（例: VPK）をクリックし、特定の側面（例: ヴァータやヴェータ）を増加または減少させる影響を定義します。また、アミノ酸、膀胱、血液を増加させたり、脳や目を減少させるなど、臓器に対する効果を指定することもできます。これらの変更は、この入力の具体的なアクションを定義し、自動評価にとって重要です。

自動評価

自動評価は、ユーザーレベル（花の形で）を定義されたアクションと比較することによって行われます。このマッチングにより、得られた結果に応じてリスト内の項目をランク付けできます。

利用可能なツール

画面の下部にはさまざまなツールが表示されます。ツールを追加したり、項目を行ごとに貼り付けてリストをインポートしたり、リストを削除したりできます。やがて、これらの項目を2次元の画像に配置できるようになり、写真を撮ったり、画像をインポートして論理マップ上に配置することができるようになります。これにより、選択した項目に応じてテストがマップ上を移動できるようになります。

一般的なリストのプロパティ

一般的なリストのプロパティは画面の上部にあります。それをクリックしてカテゴリ、可視性（公開または非公開）、および料金モード（無料または有料）を定義することができます。有料リストは準備が整ったら公開にし、ユーザーがその使用に対して都度支払うか、月額料金で支払うことを可能にします。

共有と報酬

このシステムは、自分の知識や評価の種類を共有し、それに対して報酬を得ることを可能にします。自分が所有していないリストを操作している場合、それを複製できます。直接編集することはできませんが、複製することで、タイトルや説明を含む完全に変更可能なコピーを作成します。

リストへのアクセス

画面の右側にある一般メニューから、「マイリスト」にアクセスできます。ホーム画面などの任意の画面から、自分のリストを編集することができます。このインターフェースから新しいリストを簡単に作成することも可能です。

結論

このシステムは、テストリストを管理および共有するための大きな柔軟性と自律性を提供し、編集および評価のための強力なツールを提供します。

15. BioCoherenceにおけるAI

BioCoherenceは、最新の最先端人工知能（AI）技術を利用して、理解、使用、分析をシームレスかつ完全に統合された方法で促進します。

- AIヘルパーは、優先事項に対して説明、分析、テスト、および行動を起こすことができます。30以上の専門アシスタントがバイオマーカー値を受け取り、ユーザーやプロとの簡単なチャットを開くことができます。
- プロにとって、リストアイテムの作成は、瞑想部分の執筆支援、自動アクションの特定、製品成分の検索などのおかげで加速されます。
- BioCoherenceは、BioFeedbackやバイオマーカーに関連する数千の独自のアルゴリズムを統合しており、その中にはディープラーニングや人工知能の支援を受けて取得されたものもあります。

15.1. AI ヘルパー

BioCoherenceにおける最もエキサイティングな開発の1つは、AIヘルパーの導入です。これらのAI駆動のアシスタントは、アプリ内の膨大な情報をユーザーがナビゲートするのを助けるように設計されており、バイオフィールドボックスからのデータを理解し活用するのが容易になります。

BioCoherenceのAIヘルパーは、ユーザーデータに基づいて個別のガイダンス、説明、およびプログラム作成を提供することで、ユーザーエクスペリエンスを向上させるように設計されています。これらのAIモジュールは、新しいユーザーの学習曲線を縮小し、専門家にクライアントとのインタラクションを効率化する方法を提供します。AIヘルパーは、使用の文脈に応じて2つの異なるモードで操作できます：

1. 録音なし：ユーザーはAIとチャットして、自分のニーズに基づいて基本プログラムを作成できます。ホームページから：ユーザーは特定のバイオマーカーにリンクすることなく、AIと一般的なガイダンスをやり取りできます。
2. オープン録音あり：AIヘルパーはユーザーのバイオマーカーを分析し、記録されたデータに基づいてインサイトや推奨を提供します。



主な機能

AIヘルパーは、一般ユーザーと専門家の両方のために看護師やサポートスタッフとして機能するバーチャルクリニックとして設計されています。これらのAIアシスタントは：

- スキャンからのバイオマーカーとクライアントのスキャンを読み取り、解釈します。
- 特定のバイオマーカーを表示し、その値を解釈します。
- エネルギーのバランスを助けるためにハーモニックブーストを再生します。
- 健康データとディスカッションに基づいて優先事項を修正します。
- 個別の癒しのためにハーモニックブーストリストに要素を追加します。
- リアルタイムで新しいテストをリクエストし、分析します。
- さまざまなバイオマーカーやテスト結果についての説明とアドバイスを提供します。
- 必要に応じてクライアントを専門的な相談にリダイレクトします。

これは、ユーザーがAIと対話して自分の健康についてより深い洞察を得たり、自分の結果について質問したり、行動可能な洞察、瞑想、ハーブ療法などの推奨を受け取ることができることを意味します：

- 個別の支援：各AIヘルパーは、自然療法、伝統中国医学（TCM）、エッセンシャルオイル、または瞑想などの特定のドメインに特化しています。現在、25以上のAIヘルパーが存在します。彼らは、自分の専門知識に関連するバイオマーカーのキュレーションされたサブセット、特定のプロンプト、特定の知識とトレーニング、特定のリストとリスト項目、特定の追加情報、および特定の能力を受け取ります。
- 基本プログラム作成：ユーザーは、AIとの対話を通じて個別のプログラムを作成できます。これらのプログラムは「基本プログラム」セクションに保存され、すぐに起動できます。
- 言語サポート：AIヘルパーは複数の言語をサポートしており、ユーザーは母国語で対話できます。システムは多言語のクエリを効果的に処理するように設計されています。
- カスタマイズ可能なアクセス：専門家は、クライアントがどのAIヘルパーにアクセスできるか、またどのデータにアクセスできるかを制御できます。これにより、AIは専門家が設定した範囲内で動作します。

AIは自らの限界を認識するように設計されており、必要に応じてユーザーが専門的なガイダンスを求めることを奨励します。

専門家向けのAIヘルパー

施術者にとって、AIヘルパーは以下のような知能アシスタントとして機能します：

- クライアントに複雑なバイオマーカーを説明するのを助けます。
- クライアントデータに基づいて追加のテストを提案します。
- 瞑想技術やハーブ療法を推奨します。
- クライアントに選択されたAIヘルパーを提供することによって、説明プロセスを軽減し、プロの決定を修正することなく説明できる能力を持たせます。

プロがクライアントの記録に取り組むとき、AIヘルパーはクライアントデータを受信し、プロのアシスタントとして機能します。

AIヘルパーへのアクセス

AIヘルパーには以下の方法でアクセスできます：

- ホームページ：一般的なガイダンスまたは基本プログラム作成のため。
- オープン録音：特定のバイオマーカーを分析し、説明するため、分析に関する詳細な洞察を提供します。

AIヘルパーの使用事例

基本プログラムの作成：

- ホームページからAIヘルパーセクションに移動します。
- AIヘルパーを選択します（例：スリープコーチ、瞑想ガイドなど）。
- 自分のニーズを説明するために会話に参加します（例：「ストレスを感じており、リラックスするための助けが必要です」）。
- AIは個別の基本プログラムを生成し、それを「基本プログラム」セクションに保存します。

バイオマーカーの説明：

- 録音を開き、「結論」の下にあるAIヘルパーセクションに移動します。
- 探求したいバイオマーカーに関連するAIヘルパーを選択します（例：経絡のためのTCM施術者）。
- AIは録音で計算されたバイオマーカーに基づいて詳細な説明と推奨を提供します。

例：カスタムティーまたはエッセンシャルオイルブレンド。ハーバリストまたはエッセンシャルオイルエキスパートAIヘルパーを使用します。AIは関連するバイオマーカーを分析し、カスタムティーブレンドまたはエッセンシャルオイルレシピを提案します。

AIヘルパーの制限

- AIヘルパーは録音や分析結果を修正することはできません。彼らは既存のデータに基づいて説明し、ガイダンスを提供するように設計されています。
- 各AIヘルパーに提供される初期のバイオマーカーセットは、その専門分野に制限されています。ただし、AIは必要に応じて会話中に追加のバイオマーカーをリクエストできます。

高度な機能

概要とレポート統合:

- 会話の最後に、AIヘルパーはディスカッションの要約を生成します。
- 専門家は、この要約をクライアントのPDFレポートに含めることを選択できます。

フィードバックと評価:

- 各インタラクションの後、ユーザーはAIヘルパーの有用性とクエリに対処する成功を評価できます。このフィードバックはAIのパフォーマンスの向上に役立ちます。

クライアント向けのカスタマイズ可能なAIアクセス:

- 専門家は、クライアントのために特定のAIヘルパーを有効または無効にすることができます。
- 彼らはまた、クライアントが個人的なガイド、ハーモニックブースト、または完全なレポートなどの機能にアクセスできるかどうかを制御できます。

技術的ノート

- AIヘルパーのデータ処理: 各AIヘルパーは、ドメインに応じてユーザーのバイオマーカーの5%から10%を受け取ります。これにより、集中した関連性のあるガイダンスが確保されます。
- AIヘルパーは大規模言語モデルに基づくツールであり、その応答は医療専門家によって検証されていません。回答の正確性は常に確認する必要があります。
- 現在26のAIヘルパーが利用可能ですが、システムが稼働しているため、新しいヘルパーを追加するのは非常に簡単です。AIヘルパーに追加したい分野があれば、ぜひご連絡ください。

結論

BioCoherenceのAIヘルパーは、専門家および個人ユーザーの両方にとって強力なツールです。高度なAI機能を活用することで、複雑な分析を簡素化し、行動可能な洞察を提供し、ユーザーのニーズに合わせた個別のプログラムを作成します。システムが進化するにつれて、新しい機能や改善がユーザーエクスペリエンスを向上させ続けるでしょう。

16. バランス

リソースと優先順位; レポーティング、瞑想生成、及び周波数。

これらの画面は、リソースと優先順位の自己識別と修正、PDFレポートの生成、ガイド付き瞑想や特定の周波数などのリバランシングツールの作成を可能にします...

16.1. 優先事項

分析後に対処すべき重要な要素を定義する

バランスセクションは、分析が完了し、目標が明確になった後、またはデバイスが自動的に要件を決定することが信頼される場合に取りべき行動に関するものです。

優先順位

定義と目的 優先順位は、アプリによって注意または介入が必要とされる要素として特定されたものです。これらは、ユーザーの健康が損なわれる可能性があり、特定されたリソースからのサポートが必要な領域です（リソースに関する次の章を参照）。

選択プロセス アプリは、さまざまなバイオマーカーを評価するアルゴリズムに基づいて自動的に優先順位を選択します。ユーザーは、各カテゴリ内の追加の潜在的な優先順位を探求し、必要に応じてそれらを追加できます。「探求」をクリックして興味のあるバイオマーカーの事前選択を取得するか、すべての画面をブラウジングして興味のある優先順位を選択できます。

カテゴリ リソースと同様に、優先順位は、臓器、感情、エネルギー点などのさまざまなグループに分類されます。ユーザーは、これらのカテゴリを探求して追加の焦点を特定できます。

カスタマイズ ユーザーは、リストから優先順位を追加または削除でき、自分の健康の旅に合わせたアプローチを可能にします。焦点と効果を維持するために、優先順位の数は管理可能（15-20）に保つことをお勧めします。



biocoherence.net/n82.107

システムを最適化するために再計算を実行します。

優先順位とリソースの計算を再起動するには、ホーム画面の右上隅にある適切なアイコンをクリックしてください。リソースを特定することから始め、これによりシステムは自動的にすべての必要なリソースを再特定できます。次に、対応するオプションをクリックして優先順位を特定します。これにより、システムによって特定された優先順位が自動的に追加されます。また、優先順位画面で「追加」と「優先順位を自動特定」をクリックすることもできます。これにより、現在の選択に新しい優先順位が追加されますが、削除はされません。

波形分析は論理的な進化における重要なステップです。ニーズに応じてバイオマーカー、リンク、優先順位を再計算し、リソースを特定できます。完全なレポートにアクセスする際に問題が発生した場合は、常に再計算することができます。

優先順位を表示および修正する

優先順位セクションでは、システムは関連するすべてのものを表示します。これらの優先順位を削除するか、新しいものを追加することで修正できます。優先順位を追加するには、「追加」をクリックし、臓器、経絡ポイント、TCM（伝統中国医学）レシピなど、提供されるさまざまなカテゴリから興味のある項目を選択してください。

必要なくなった優先順位を削除することで、優先順位のリストを整理することもできます。優先順位の編集は、システムのすべてのページで同じインターフェースを使用しますが、ここでは定義したすべての優先順位がグループ化されません。

最後に、優先順位にコメントを追加できます。これらのコメントは最終レポートに統合され、各特定された優先順位に追加の文脈を提供します。

任意のページから優先順位アイテムを追加または削除できます。関連するフラワーの右側にあるアイコンをクリックしてください。このアイコンが緑色であれば、そのバイオマーカーは優先順位に存在します。赤色であれば、存在しません。

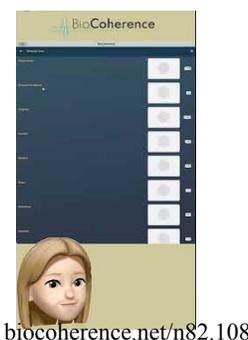
16.2. リソース

調和を確固たるものにするための柱

リソースを探る前に、クリスティーヌ・デゴイは彼女の研究に関するいくつかの洞察を共有します。これは重要な焦点です：

「私たちは問題のあるシステムに関与する新しいマインドセットを開発しました。10年間のセラピーの仕事とクライアントとの研究により、私は各存在の中に一貫性があることを初めて明らかにしました。この自然な共鳴は重要であり、問題の全スペクトルを探るのに役立ちます。これは深い内部のつながりを確立する最も簡単な方法であり、システム内の一貫性を高める**ポジティブな感染を促進**します。このアプローチは、個人が癒され、成長することを可能にし、彼らの身体**の自然な秩序を尊重**します。私たちはこれを「リソースの道」と呼び、それは可能性への開かれた扉です。

リソースは、私たちの存在の中で最も一貫しており、強力な部分であり、私たちが人生の中で発展させてきた超能力に似ています。生涯のリソースの概念は、最終的には私たちの人生の使命モジュールの一部になるでしょう。たとえ単一の臓器、経絡、鍼灸点、チャクラ、感情などでも、強力なリソースとなる可能性があり、私たちの人生と身体を調和させる**幸せな感染**に寄与します。」 -- クリスティーヌ・デゴイ



biocoherence.net/n82.108

優先事項 - その時々の人にとって必要な重要な要素を見た後、私たちはリソースに移ります。リソースは、小さなチェックマークアイコンと星で表現され、身体**の「星」要素**です。それらはエネルギーに溢れ、非常に安定しており、身体が治癒プロセスを通じて優先事項にエネルギーを分配するために頼ることができるものです。

アプリでは、各バイオマーカーのリソーススコアを計算するために洗練されたアルゴリズムを開発しました。このスコアは、最もエネルギーがあり安定した要素を特定し、改善のための優先事項を強調します。それは、要素の安定性、エネルギー、接続性などのさまざまな要因を考慮し、現在表示されているリソースページを生成します。

BioCoherenceアプリ内のリソースと優先事項の詳細な理解は、ユーザーが自らの内在的な強みを活用し、健康と幸福を改善するためのニーズのある領域に対処する明確な道筋を提供します。

リソースは、すべての利用可能な要素を考慮に入れるように開発されたアルゴリズムのおかげで、録音後に自動的に特定されます。しかし、必要に応じてこれらのリソースを手動で変更することも可能です。たとえば、臓器セクションに

アクセスする際に、神経伝達物質が主要なリソースとして特定された場合、それらをクリックして他の強力なリソースの選択肢を表示できます。

このファミリーの利用可能なリソースは、最も強力なものから最も弱いものへと重要性の逆順でランク付けされます。たとえば、神経伝達物質の代わりに舌、気管、またはニューロンの細胞核など、別のリソースを使用したい場合は、単に選択したいリソースをクリックして選択します。それぞれのリソースが何を表しているのかをよりよく理解するために、花のアイコンをクリックして接続を確認し、より情報に基づいた選択をすることができます。

これらのリソースは、その後、再ハーモナイゼーションのさまざまな段階で使用されます。

リソースの簡単な紹介

私たちのアプローチは、問題のあるシステムに対処するためのパラダイムシフトを導入します。治療的実践を通じて最初に発見されたこの方法は、個人の中の一貫性を強調します。この治療と個人の一貫性との間の自然な共鳴は、より広い問題に対処するための基盤となります。このアプローチは内部接続性を促進し、「幸せな感染」をもたらし、外部プロトコルなしで個人の癒しとエンパワメントを強化します。この方法論は「リソースの道」と呼ばれ、複雑なシステムを尊重し、シナジーを促進します。

リソースは、身体の中で最も一貫しており、力強い側面として特定され、内在的な超能力に似ています。個人の旅の理解をさらに広げるために、今後の更新では、クリステイヌの研究の拡張である人生の使命が含まれます。

特定の臓器は、たとえば、身体全体に力と一貫性を拡散させる重要なリソースとなる可能性があります。アプリは、各バイオマーカーのリソーススコアを計算するために高度なアルゴリズムを使用して、最適なリソースと優先事項を特定します。アルゴリズムは、エネルギー、安定性、他の要素との接続性を評価し、これらの接続の強さまたは弱さを考慮し、包括的なリソースページを生成します。

BioCoherenceにおけるリソースと優先事項

概要

BioCoherenceアプリは、詳細なスキャンを通じてユーザーの生理的およびエネルギー状態の包括的な分析を提供します。初期スキャンが完了すると、ユーザーはリソースと優先事項という2つの重要な要素を提示されます。これらの要素は、スキャン結果を解釈し、ユーザーを最適な健康と幸福へと導くために不可欠です。

リソース

定義と目的 BioCoherenceアプリのリソースは、ユーザーの身体内で最も一貫しており、安定しており、エネルギー的に強力な要素を指します。これらの要素は、ユーザーの内在的な強みまたは「超能力」として特定され、癒しとバランスをサポートするために活用されます。

計算: アプリは、各バイオマーカーのリソーススコアを決定するために洗練されたアルゴリズムを使用します。このスコアは、エネルギーレベル、安定性、他の要素との接続性などの要因を考慮します。最高スコアの要素がリソースとして特定されます。

カテゴリ: リソースは、以下を含む10のグループに分類されます:

- 臓器グループ (例: アーユルヴェエダに基づくグループ)
- 個々の臓器
- 原子
- 経絡
- モメンタム (動的状態)
- ドライブ (感情)

- 生物（共生または寄生）
- TCMポイント
- アーユルヴェーダのサブドーシャ
- チャクラ

カスタマイズ: ユーザーはアプリの自動選択によるリソースを受け入れるか、個人的な共鳴や治療目標に基づいて手動で調整できます。このカスタマイズにより、癒しに対する個別のアプローチが可能になります。

バランス機能との統合

- **周波数:** アプリはリソースと優先事項を使用して周波数プログラムを作成します。このプログラムには、特定の臓器、感情、またはエネルギー構造をターゲットにする主要な周波数が含まれます。ユーザーは、このプログラムを追加のプロトコルで強化し、効果を高めることができます。
- **バランス:** アプリは選択した優先事項を通じて最適な経路を計算し、ガイド付き瞑想またはバランスセッションを作成します。このセッションは、リソースを活性化することから始まり、その後各優先事項に順番に対処します。
- **PDFレポート:** ユーザーは、リソースと優先事項に関する詳細な情報を含むPDFレポートを生成でき、現在の状態と治療の焦点についての包括的な概要を提供します。

実用的な適用

使用のタイミング: アプリの瞑想および周波数プログラムは、個人の好みに応じて、日中のいずれの時間でも使用できます。一部のユーザーは、静かな瞬間、たとえば早朝や夜遅くにこれらの実践を行うと有益であると感じるかもしれません。

16.3. PDFレポート

生成、PDFをエクスポート、印刷、および結果を共有

章: Balanceを使用したレポートの生成と管理

Balanceの3つ目の重要な機能は、レポートの生成です。この機能により、アプリケーションの使用中に保持されたすべての情報を含むPDFファイルを作成できます。

PDFレポートの内容

生成されたPDFレポートには以下が含まれます:

- プロジェクトのセクションと期間
- 記入されたコメント
- 特定されたリソース
- 定義された優先事項
- 最もエネルギーのあるまたは最もエネルギーの少ない臓器
- 最も興奮したまたは最も興奮していない臓器
- コヒーレンスのある臓器
- 経絡
- 伝統中国医学 (TCM) のレシピ
- その他



biocoherence.net/n82.109

レポートのカスタマイズ

レポートからセクションを追加または削除できます。これを行うには、セクションタイプにアクセスし、利用可能なツールを使用してレポートをニーズに合わせてカスタマイズします。

レポートの共有と保存

PDFレポートは、いくつかのチャネルを介して直接共有できます：

- **直接共有:** 共有ボックスを使用して、WhatsApp、SMS、またはメッセンジャーでレポートを送信します。
- **保存:** 「PDFファイル」をクリックしてレポートを保存します。コンピュータでは、ハードドライブに直接保存できます。電話やタブレット (iPad) では、ファイルに保存されます。
- **印刷:** 「印刷」をクリックしてレポートを印刷します。コンピュータでは、これにより印刷ダイアログボックスが開きます。電話では、ネットワーク上に互換性のあるプリンターがある場合、印刷オプションが表示されます。

PDFレポートは、さまざまなセクションに追加されたコメントを含む、入力されたすべての情報を保持します。この機能により、すべての重要なデータが集中され、将来の利用のために簡単にアクセスできるようになります。

16.4. バランス：瞑想、音、ツール

ガイド付き瞑想、周波数生成、時間の結晶の溶解。この段階では、このモジュールは準備中であり、今後数ヶ月で開発される予定です。

パーソナライズされたガイド付き瞑想によるバランス調整

「バランス調整」セクションは、私たちの方法の重要な部分であり、各個人に必要な周波数を統合したガイド付き瞑想またはオーディオファイルの作成に専念しています。この原則は、タマネギの皮をむくことに似た段階的アプローチに基づいています：私たちに最も近い問題は最も簡単に対処できる一方で、より遠くの問題はより深い治療を必要とします。このプロセスは、特定の順序でさまざまな優先要素を通過するために定義された理想的な道に従って、一步一步実施されます。



biocoherence.net/n82.110

瞑想のパラメータ

1. **瞑想速度:** 録音中に検出されたパラメータに応じて、個人が瞑想に入る速度が決定されます。
2. **性格タイプ:** この要因は瞑想の構成に影響を与えます。
3. **音楽:** 人のレベルで開始するための和音と一般的なスケールが特定されます。

リソース選択

リソースは、それぞれのカテゴリで最も強力なアイテムを活用するように設計されています。関連するリソースは、日々の優先事項に対処するために呼ばれます。

優先事項の選択

選択された各タイプの優先事項について、さまざまなガイド付き瞑想のシリーズが含まれています。これらのシリーズには、異なるプロファイルに適応した異なるタイプのガイド付き瞑想が含まれています。アプリケーションは、最初に

開始するのに最も適切なガイド付き瞑想を決定し、次に、優先事項に対処するために生成された周波数または声に基づいた第二部へと進みます。

録音とフォローアップ

パーソナライズされたガイダンスが設計されると、それはユーザーのアカウントに保存されます。プロによって作成された場合、ユーザーはBiocoherenceアプリケーションをインストールし、メールアドレスを入力して、自分のパーソナライズされた瞑想にアクセスできます。また、アプリを通じて各瞑想セッションの前に定期的に再評価することも可能です。再評価は、センサーを登録するよう促し、新しい評価のために接続します。

進捗のモニタリング

進捗は、各優先事項に対応する曲線の形で表示され、進捗状況やまだ対処すべきポイントを視覚化できるようにします。初期およびフォローアップの質問票など、他のトラッキング方法も利用可能です。

プランと期間

プランが策定され、パーソナライズされた瞑想が作成されると、それはユーザーのプロフィールに利用可能になります。ユーザーは、アプリケーションを介してインストールするように招待され、直接ガイド付き瞑想を開始できます。完全なバランスセッションは、3週間続く予定です。

詳細ガイド：BioCoherenceにおけるハーモニックブーストとパーソナルガイドの使用

ハーモニックブーストとパーソナルガイドは、ユーザーがパーソナライズされた周波数プログラムに取り組むことを可能にするBioCoherenceアプリの2つの重要な機能です。これらのツールは、ユーザーが生物活性周波数を日常生活に統合し、エネルギー的および生理的なバランスをサポートするのに役立ちます。このセクションでは、これらの機能を効果的に使用方法についての詳細ガイドを提供し、さまざまなシナリオにおけるベストプラクティスを含みます。

1. ハーモニックブースト

ハーモニックブーストとは何ですか？

ハーモニックブーストは、選択されたすべての優先事項を同時に再生する周波数ベースのツールです。短期間で包括的で全体的なエネルギー調和を提供するように設計されています。

ハーモニックブーストの使用法

- ハーモニックブーストへのアクセス：
 - BioCoherenceアプリを開きます。
 - アクティブなレコードに移動します（ホーム画面の中央にあります）または、リストからレコードを選択します。
 - ハーモニックブーストをクリックして、周波数の再生を開始します。
- ハーモニックブーストの再生：
 - ハーモニックブーストは、すべての選択された優先事項を一度に再生します。エネルギー、身体、心によるフィルタリングや、高優先度プログラム、プロトコルのあるプログラムなどが可能です。たとえば、エネルギーのブーストのみを希望する場合や、プロトコルのあるプログラムだけをフィルタリングして深い問題に対処する気分の場合、プログラムをフィルタリングします。
 - 日常の活動を行いながらバックグラウンドで再生できます。音量は非常に低くてもかまいません。
 - より良い共鳴のためにヘッドフォンや外部スピーカーの使用が推奨されます。ポケットに入れたインイヤーヘッドフォンを使用して、生物活性周波数を含む微小な電磁場を体に届けることもできます。そのため、周波数を聞く必要はありません。エネルギーフィールド、身体、心がそれらを電磁的に登録します。
- ハーモニックブーストのエクスポート：
 - ユーザーは、ハーモニックブーストをMP3ファイルとしてエクスポートし、オフラインで使用できます。
 - Mac、iPhone、iPad、およびAndroidでは、ファイルを保存またはSMS、AirDrop、WhatsApp、またはメールで直接共有できます。
 - Windowsでは、ファイルを手動で保存し、その後共有する必要があります。
- ベストプラクティス：
 - 日常的な使用：ハーモニックブーストを1日1回または2回再生します。
 - パッシブリスニング：低音量でバックグラウンドで再生できます。
 - 集中セッション：より深い効果を得るために、最小限の気晴らしで静かな環境で聞いてください。

2. パーソナルガイド

パーソナルガイドとは何ですか？

パーソナルガイドは、パーソナライズされた周波数を音声ガイダンスと統合したガイド付き瞑想です。構造化された視覚化とリラクゼーション技術を通じて、ユーザーがエネルギー的および生理的なバランスに集中するのを助けます。このガイダンスの目標は、日常生活に集中した癒しの意識を統合することです。

パーソナルガイドの使用方法

- パーソナルガイドへのアクセス:
 - BioCoherenceアプリを開きます。
 - アクティブなレコードに移動します（ホーム画面の中央にあります）または、リストからレコードを選択します。
 - パーソナルガイドをクリックして、セッションを開始します。
- パーソナルガイドのカスタマイズ:
 - 期間: スライダーを使って希望するセッションの長さを調整します。
 - ダイブスピード: 使用されるリラクゼーション技術の速度と強度は、測定されたバイタルに応じて事前に計算されています。
 - 性格タイプ: スキャンに基づいて自動的に選択されます。
 - 音楽コード: 共鳴分析に基づいてパーソナライズされます。
 - 終了モード:
 - ウェイクモード: ユーザーを優しく警戒状態に戻します。
 - スリープモード: ユーザーを深い睡眠に導きます。
- パーソナルガイドの再生:
 - セッションには音声ガイダンス、個別の周波数、バイノーラルビート、およびバックグラウンドノイズが含まれています。
 - ユーザーは、周波数のみを聞きたい場合は音声をミュートすることができます。
 - ホワイトノイズ、周波数、およびバイノーラルビートは、より深いリラクゼーションのために調整できます。
- ベストプラクティス
 - 日常的な使用: 1日1回使用することが推奨され、特に静かな環境で行うことが望ましいです。
 - 睡眠前: スリープモードを使用してリラクゼーションを強化します。
 - 瞑想中: 最大の利益を得るために、ガイド付き指示に集中します。
 - 音声なし: 一部のユーザーは音声をミュートし、周波数のみを聞くことを好みます。これは、特に21日間プログラムの最終日でガイダンスがすでに内面化されている場合、睡眠前のリラックスモードになることがあります。

3. ハーモニックブースト、パーソナルガイド、基本プログラムの組み合わせ

個人プログラムに加えて、いくつかの基本プログラムは、旅を通じて再生するのに役立つことがあります。

基本プログラムは、特定の使用ケースのためのプリセットプログラムです。例: デトックス、眼ケア、チャクラの調和、ストレス管理... これらの基本プログラムは、スキャンなしで一般的な使用のために専門家によって慎重に設計されています。

ユーザーは次のように選択できます:

- それらを別々に実行する（例: 朝の基本プログラム、日中のハーモニックブースト、夕方のパーソナルガイド）。
- 基本プログラムとハーモニックブースト周波数をパーソナルガイドに追加することで、組み合わせることが可能です。

両方を組み合わせる方法

1. レコードを開き、優先事項に移動します。
2. 追加の優先事項を追加するために ボタンをクリックします。
3. 基本プログラムを選択します。例えばエネルギー>デトックス（または他の関連カテゴリー）。
4. すべての優先事項を追加をクリックして、それらをセッションに統合します。

組み合わせのためのベストプラクティス

- 朝のルーチン: エネルギーのためにフィルタリングされたハーモニックブーストを使用して、迅速なエネルギーの整合を得ます。
- 朝のパワーポーズ: 即時の reliefのために簡単な基本プログラムを再生します。

- ・ 夕方のルーチン: 深いリラクゼーションと統合のために、毎日の21日間プログラムのパ

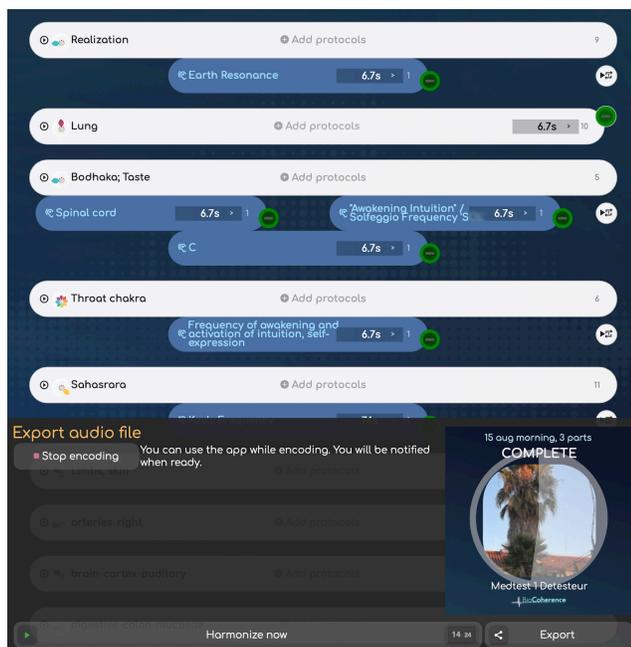
16.5. ハーモニックブースト

BioCoherenceのHarmonic Boost機能は、特定の周波数をユーザーのニーズと特定のプロトコルに合わせて統合することで、瞑想や周波数に基づく調和の効果を高めるように設計されています。この機能により、ユーザーはプリセットおよび個別化された周波数プログラムの組み合わせを使用して、さまざまなバイオマーカーを刺激し、修正することができます。

アイテムの色とその機能

Harmonic Boostインターフェースは、異なる目的を持つさまざまな色の要素で構成されています:

- ・ ホワイト要素: これらは全身の調和を表しており、特定のバイオマーカーに関連付けられています。これらは特定の臓器、鍼灸ポイント、負担 (例: 地理的ストレス)、または他のバイオマーカーに関連付けられた前算出周波数セットです。これらの周波数は固定されており、個別分析結果に基づいて変更されることはありません。
- ・ ブルー要素: これらは修正プロトコルを表します。これらは個別化されており、ユーザーのデバイス上でローカルに計算されます。これらの周波数は、ユーザーの特定のニーズに基づいて選択され、分析で検出された不調和を相殺するように設計されています。
 - ダークブルー要素: これらは生物活性個別周波数または周波数のコレクション (周波数スペクトラム) であり、電氣的または音響的に再生可能です。
 - ライトブルー要素: これらはバイノーラルビートであり、非常に低い周波数を音響的に聞かせ、脳を特定の変化した意識状態に訓練するように設計されています。これらは、両耳でわずかに異なる2つの周波数を再生することで機能し、脳内でビート周波数を生成し、望ましい治療効果に合わせます。



アクションモードと機能

前算出周波数

- ・ すべてのバイオマーカー調和周波数 (ホワイト要素) は前算出され、ローカルおよびクラウドに保存されています。これにより、低性能デバイスでもリアルタイムの計算を必要とせず、スムーズな再生が保証されます。
- ・ 同じ前算出プロセスが、必要に応じてユーザーのデバイス上でブルー要素 (非常に個別化されています) に適用され、グリッチを排除し、パフォーマンスを向上させます。

個別プロトコルのためのリアルタイム計算

- ・ ユーザーがプロトコル (ブルー要素) を追加すると、システムは再生前に必要な周波数をローカルに計算します。
- ・ これにより、周波数がユーザーの特定のニーズに合わせて調整され、最適なパフォーマンスが維持されます。

同時周波数再生

- Harmonic Boostシステムは、4つの周波数を同時に再生します。
- ホワイト要素のみが選択された場合、バイオマーカー調和セットから4つの周波数が再生されます。
- ホワイト要素とブルー要素の両方が選択された場合、システムはバイオマーカー調和と修正周波数の再生周波数を動的にバランスさせます。

周波数が同時に再生されることにより、プロトコルのターゲットアクションが可能となり、共鳴効果を介して選択されたシステムへの直接的な架け橋を確立し、プロトコル周波数を追加して、システムに特にプロトコルをターゲットにしたレーザー照射の効果を得ることができます。

バイノーラルビート統合

- バイノーラルビート（ライトブルー要素）が含まれる場合、それはバイオマーカー周波数の一つと混合されます。
- 例えば、地理的ストレス周波数が100Hzでバイノーラルビートが8Hzの場合、システムは一方の耳で100Hzを再生し、もう一方で108Hzを再生して、脳内に8Hzのビートを生成します。

持続時間とタイミング

- 各周波数サイクルのデフォルトの持続時間は6.73秒で、これはプランク時間の黄金比 (ϕ) の倍数です。
- 各ホワイトまたはブループログラムは複数のサイクルで構成されており、通常は10秒から150秒の間で持続します（リセットサイクルは6.73秒）。
- ユーザーはプログラムの持続時間を短くしたり長くしたり調整できます。
- 完全なプログラムは1つのオーディオファイルとしてエクスポートでき、サブセットは特定のエネルギー、身体、心、または最も注意を必要とする要素に対応するために直接エクスポートできます。

カスタマイズとエクスポート

プロトコルの追加

- ユーザーはHarmonic Boostセッションの効果を高めるためにプロトコルを手動で追加できます。
- システムは選択されたバイオマーカーに基づいて提案されたプロトコルを提供しますが、ユーザーは追加のプロトコルを検索することもできます。2000以上のプロトコルが含まれており、リストは新しい研究で定期的に強化されています。

MP3ファイルのエクスポート

- ユーザーはHarmonic Boostセッションをオフラインで使用するためにMP3ファイルとしてエクスポートできます。
- エクスポートされたファイルには、アルバムカバーやキーワードなどのメタデータが含まれており、音楽ライブラリで整理しやすくなっています。

実用的なアプリケーション

- パーソナルガイドの強化：ユーザーは深いリラクゼーションと癒しのために、パーソナルガイド瞑想にHarmonic Boost周波数を聞くことができます。

- ターゲット治療: 特定のバイオマーカーと修正プロトコルを選択することで、ユーザーは個別化された治療セッションを作成できます。
- エネルギーブースト: ユーザーは迅速なアクセスが必要なときに備えて、エネルギーブースト周波数セットを作成し保存できます。

BioCoherenceのHarmonic Boost機能は、周波数に基づく調和のための強力なツールを提供します。前算出されたバイオマーカー周波数と個別化された修正プロトコルを組み合わせることで、ユーザーは非常に効果的で個別化された治療セッションを作成できます。これらのセッションをオフラインでエクスポートして再生できる能力は、アクセス性と使いやすさをさらに向上させます。

付録 1.

よくある質問

アプリでヘルプを取得する方法

アプリの任意のページからヘルプを求めたり提案を送信したりするには、右上のメニューを開いて「フィードバックとアイデア」をクリックするだけです。「スクリーンショットに注釈を付ける」をクリックすると、現在いるページのスクリーンショットを追加でき、この注釈付きスクリーンショットをリクエストに追加できます。そうすれば、こちらもあなたを助けやすくなります！

家族やクライアントは、どのようにカスタマイズされた瞑想にアクセスしますか？

カスタム瞑想にアクセスするには、biocoherence.net/install からアプリをインストールするか、App Store または Play ストアからインストールする必要があります。彼らのためにアカウントを作成することで招待できますので、正しいアカウントで招待状を受け取るために、彼らのメールアドレスをアカウントに挿入してください。その後、分析に連絡先を追加することで、彼らと分析を共有できます。彼らが作成したアカウントに指定したメールアドレスでアプリにログインすると、アプリのホームページまたは「記録された分析」の下にこの分析が表示されます。

分析を受け取ったら、BioCoherence アプリの「バランス」セクションを通じてバランス瞑想を聴くことができます。ここでは、音声ガイダンスと頻度が組み合わさり、最適な結果が得られます。

BioCoherence アフィリエイトプログラム

BioCoherenceアフィリエイトプログラムへようこそ！最先端の技術の利点をあなたのオーディエンスと共有するために参加していただき、非常に嬉しく思います。このプログラムでは、他の人々に健康とウェルネスへの革新的なアプローチを発見してもらいながら、コミッションを得ることができます。

始め方

1. アカウントにログインする: <https://biocoherence.net/s0.login> にアクセスしてください。
2. アフィリエイトページにアクセスする: <https://biocoherence.net/n119> に移動してください。これはあなたの個人アフィリエイトハブです。

ここでは、次のことを含む、必要なすべてのツールと情報を見つけることができます:

- 招待コードを作成および管理する。
- コミッションを追跡する。
- アフィリエイトネットワークを成長させる。

アフィリエイトプログラムについて

当プログラムは、直接販売およびさまざまな購入タイプに対してサブスクリプションベースのコミッションを提供しています。また、新しいアフィリエイトをプログラムに紹介することで、追加のインセンティブを得ることもできます。

直接販売のためのサブスクリプションコミッション

あなたの招待コードを共有すると、そのコードで登録したユーザーが行ったサブスクリプションやその他の購入に対してコミッションを得ることができます。このプログラムは、あなたとあなたの顧客の両方に報酬を提供し、あなたのコードで参加する新しいユーザーに特典やインセンティブを提供するように設計されています。

追加購入

BioCoherenceプラットフォームを通じて、レポート、テスト、ハードウェアなどの購入に対してコミッションを得ることができます。これらの報酬により、あなたの紹介したユーザーが行ったすべての取引から利益を得ることができます。

注: 地域独占 に該当する商品については、コミッションと顧客請求書は地元の独占ディストリビューターを通じて処理されます。料金はディストリビューターの方針によって異なる場合があります。詳細については biocoherence.net/distributors を確認してください。

招待コードの管理

あなたのアフィリエイト管理ページから、ソーシャルメディア、ビデオ、ブログなどの異なるチャネルに配布するために複数のコードを作成できます。これにより、各コードのパフォーマンスを追跡し、労力を最適化することができます。

1. <https://biocoherence.net/s0.login>
 2. <https://biocoherence.net/n119>
 3. <https://biocoherence.net/distributors>

BioCoherenceアフィリエイトプログラムへようこそ！私たちは、あなたが私たちの最先端技術の利点をあなたのオーディエンスと共有することに参加してくれることを非常に嬉しく思います。私たちのプログラムは、他の人々が健康とウェルネスへの変革的アプローチを発見する手助けをしながら、コミッションを得ることを可能にします。

始めに

1. アカウントにログインします: <https://biocoherence.net/s0.login>⁴にアクセスしてください。
2. アフィリエイトページにアクセスします: <https://biocoherence.net/n119>⁵に移動してください。ここがあなたの個人アフィリエイトハブです。

ここでは、次のことを含む、必要なすべてのツールと情報が見つかります:

- 招待コードの作成と管理。
- コミッションの追跡。
- アフィリエイトネットワークの拡大。

アフィリエイトプログラムについて

当プログラムでは、直接販売およびさまざまな購入タイプに対するサブスクリプションベースのコミッションを提供しています。また、新しいアフィリエイトをプログラムで紹介すると、追加のインセンティブを獲得することもできます。

直接販売に対するサブスクリプションコミッション

招待コードを共有すると、あなたのコードで登録したユーザーによるサブスクリプションやその他の購入に対してコミッションを得ることができます。このプログラムは、あなたとお客様の両方を報いるように設計されており、あなたのコードで参加する新しいユーザーに特典やインセンティブを提供します。

追加購入

BioCoherenceプラットフォームを通じて、レポート、テスト、ハードウェアなどの購入に対して報酬を得ることができます。これらの報酬により、あなたが紹介したユーザーの行うすべての取引から利益を得ることができます。

注意: 地域独占権の対象となるアイテムについては、報酬と顧客請求書は地元の独占販売代理店を通じて処理されます。料金は代理店のポリシーによって異なる場合があります。詳細については、biocoherence.net/distributors⁶を確認してください。

招待コードの管理

アフィリエイト管理ページから、ソーシャルメディア、ビデオ、ブログなどのさまざまなチャネルで配布するために複数のコードを作成できます。これにより、各コードのパフォーマンスを追跡し、努力を最適化することができます。

BioCoherenceのアフィリエイトプログラムへようこそ！私たちは、あなたが私たちの最先端技術の利点をあなたの聴衆と共有するために参加してくれたことを嬉しく思います。このプログラムでは、他の人が健康とウェルネスの変革的アプローチを発見するのを助けながら、報酬を得ることができます。

始めに

1. アカウントにログインする: <https://biocoherence.net/s0.login>⁷にアクセスしてください。
2. あなたの個人アフィリエイトページにアクセスする: <https://biocoherence.net/n119>⁸に移動してください。これはあなたの個人アフィリエイトセンターです。

ここでは、以下のために必要なすべてのツールと情報を見つけることができます。

- 招待コードを作成および管理する。
- コミッションを追跡する。
- アフィリエイトネットワークを拡大する。

アフィリエイトプログラムについて

当社のプログラムは、直接販売やさまざまな購入タイプに対してサブスクリプションベースのコミッションを提供します。また、新しいアフィリエイトをプログラムに推薦すると、追加のボーナスを獲得することもできます。

直接販売のサブスクリプション手数料

あなたの招待コードを共有すると、そのコードで登録したユーザーによるサブスクリプションやその他の購入に対して手数料を得ることができます。このプログラムは、あなたの顧客とあなた自身の両方に報酬を与えることを目的としており、あなたのコードで登録した新しいユーザーに特典やインセンティブを提供します。

追加購入

BioCoherenceプラットフォームを通じて、レポート、テスト、素材などの購入に対して手数料を得ることができます。これらの報酬により、あなたが紹介したユーザーが行った各取引から利益を得ることができます。

注: 地域独占に該当するアイテムについては、手数料と顧客の請求書は地元の独占販売者によって処理されます。レートは販売者のポリシーに応じて異なる場合があります。詳細についてはbiocoherence.net/distributors⁹をご覧ください。

始める

1. アカウントにログインします: <https://biocoherence.net/s0.login>¹⁰を訪問 ¹¹
2. 提携ページにアクセスします: <https://biocoherence.net/n119>¹²に移動します。ここが個人提携ハブです。

ここで、方法を含む必要なすべてのツールと情報を見つけることができます:

- 招待コードを生成および管理します。
- コミッションを追跡します。
- 提携ネットワークを成長させましょう。

4. <https://biocoherence.net/s0.login>

5. <https://biocoherence.net/n119>

6. <https://biocoherence.net/distributors>

7. <https://biocoherence.net/s0.login>

8. <https://biocoherence.net/n119>

9. <https://biocoherence.net/distributors>

アフィリエイトプログラムの紹介

当プログラムは、直接販売およびさまざまな購入タイプに対してサブスクリプションベースのコミッションを提供します。また、新しいアフィリエイトをプログラムに推薦すると、追加インセンティブを受け取ることができます。

直接販売に対するサブスクリプションコミッション

招待コードを共有すると、そのコードを登録したユーザーのサブスクリプションおよびその他の購入に対するコミッションを受け取ることができます。このプログラムは、コードを使用して加入する新規ユーザーに特典とインセンティブを提供し、販売者と顧客の両方に報酬を提供するよう設計されています。

追加購入

バイオコヒアレンスプラットフォームを通じて、レポート、テスト、ハードウェアなどの購入に対するコミッションを獲得してください。これらの報酬を通じて、推薦したユーザーのすべての取引から利益を得ることができます。

ご注意: 地域独占権が適用されるアイテムの場合、手数料および顧客請求書は現地の独占流通業者を通じて処理されます。料金は流通業者のポリシーにより異なる場合があります。詳細については、biocoherence.net/distributors¹³をご覧ください。

パートナープログラムについて

当プログラムは、サブスクリプションベースのコミッションを提供し、直接販売やさまざまな購入方法に対応しています。新しいパートナーをプログラムに招待することで、追加のインセンティブを得ることもできます。

直接販売のためのサブスクリプションコミッション

招待コードを共有すると、あなたのコードで登録したユーザーが行ったサブスクリプションやその他の購入に対してコミッションを得ることができます。このプログラムは、あなたとあなたの顧客の両方に報酬を提供するように設計されており、あなたのコードで登録する新しいユーザーに特典やインセンティブを提供します。

追加購入

BioCoherenceプラットフォームを通じて、レポート、テスト、ハードウェアなどの購入に対してコミッションを得ることができます。これらの報酬により、あなたが招待したユーザーが行った各トランザクションから利益を得ることができます。

注意: 地域独占権に該当する商品については、コミッションと顧客請求書は地元の独占販売業者を通じて処理されます。料金は販売業者の方針によって異なる場合があります。詳細については、biocoherence.net/distributors¹⁴をご覧ください。

招待コードを管理する

パートナー管理ページでは、ソーシャルメディア、ビデオ、ブログなどのさまざまなチャネルを通じて配布できる複数のコードを作成できます。これにより、各コードのパフォーマンスを追跡し、努力を最適化することができます。

BioCoherenceのアフィリエイトプログラムへようこそ！最先端の技術の利点をあなたのオーディエンスと共有するために私たちと一緒にいてくれて嬉しいです。このプログラムでは、他の人が健康とウェルネスの変革的なアプローチを発見する手助けをしながら、コミッションを獲得できます。

始め方

1. アカウントにログインする: <https://biocoherence.net/s0.login>¹⁵を訪問してください。
2. アフィリエイトページにアクセスする: <https://biocoherence.net/n119>¹⁶に移動してください。ここがあなたの個人アフィリエイトセンターです。

ここでは、次のことができるすべてのツールと情報が見つかります。

- 招待コードを作成および管理する。
- コミッションを追跡する。
- アフィリエイトネットワークを成長させる。

アフィリエイトプログラムについて

私たちのプログラムは、サブスクリプションに基づくコミッションを提供し、直接販売やさまざまな購入タイプに対応しています。また、新しいアフィリエイトをプログラムに推薦することで、追加のインセンティブを得ることもできます。

直接販売のためのサブスクリプションコミッション

招待コードを共有することで、あなたのコードで登録したユーザーが行ったサブスクリプションやその他の購入に対してコミッションを得ることができます。このプログラムは、あなたとあなたの顧客の両方に報酬を提供するように設計されており、あなたのコードで登録する新しいユーザーに特典やインセンティブを提供します。

追加購入

BioCoherenceプラットフォームを通じて、レポート、テスト、およびハードウェアなどの購入に対してコミッションを得ることができます。これらの報酬は、あなたの紹介したユーザーによる各取引から利益を得ることを可能にします。

注意: 地域独占によってカバーされるアイテムについては、コミッションおよび顧客請求書は、地元の独占ディストリビューターを通じて処理されます。手数料はディストリビューターのポリシーに応じて異なる場合があります。詳細については、biocoherence.net/distributors¹⁷をご覧ください。

アフィリエイトプログラムについて

私たちのプログラムは、サブスクリプションベースのコミッションを直接販売およびさまざまな購入タイプに提供します。新しいアフィリエイトをプログラムに紹介すると、追加のインセンティブを獲得することもできます。

10. <https://biocoherence.net/s0.login>

11. <https://biocoherence.net/s0.login>

12. <https://biocoherence.net/n119>

直接販売のサブスクリプションコミッション

あなたの招待コードを共有すると、あなたのコードで登録したユーザーによるサブスクリプションおよびその他の購入からコミッションを獲得します。このプログラムは、あなたとあなたの顧客の両方を報酬するように設計されており、あなたのコードで参加する新しいユーザーに特典やインセンティブを提供します。

追加購入

BioCoherenceプラットフォームを通じて、レポート、テスト、およびハードウェアの購入に対してコミッションを獲得します。これらの報酬により、あなたが紹介したユーザーによる各トランザクションから利益を得ることができます。

注意: 地域独占権の対象となる商品については、コミッションおよび顧客請求は現地の独占代理店を通じて処理されます。料金は代理店の方針によって異なる場合があります。詳細については、biocoherence.net/distributors¹³を確認してください。

アフィリエイトプログラムについて

私たちのプログラムは、直接販売に対するサブスクリプションベースのコミッションと、さまざまな購入タイプを提供します。新しいアフィリエイトをプログラムに紹介すると、追加のインセンティブを得ることもできます。

直接販売のためのサブスクリプションコミッション

あなたが招待コードを共有すると、あなたのコードで登録したユーザーによるサブスクリプションやその他の購入に対してコミッションを得ることができます。このプログラムは、あなたとあなたの顧客の両方に報酬を提供し、あなたのコードで参加する新しいユーザーに特典やインセンティブを提供するように設計されています。

追加購入

BioCoherenceプラットフォームを通じて、レポート、テスト、ハードウェアなどの購入に対してコミッションを得ることができます。これらの報酬により、あなたが紹介したユーザーによる各取引から利益を得ることができます。

注意: 地域独占に該当するアイテムについては、コミッションと顧客の請求書は、地元の独占代理店を通じて処理されます。料金は代理店のポリシーによって異なる場合があります。詳細についてはbiocoherence.net/distributors¹⁴をご覧ください。

招待コードを管理する

アフィリエイト管理ページから、ソーシャルメディア、動画、ブログなどの異なるチャネルで配布するために複数のコードを作成できます。これにより、各コードのパフォーマンスを追跡し、努力を最適化することができます。

BioCoherenceアフィリエイトプログラムへようこそ！私たちは、あなたが私たちの画期的な技術の利点をあなたのオーディエンスと共有するために参加してくれることを嬉しく思っています。私たちのプログラムは、他の人々が健康とウェルネスへの変革的なアプローチを発見する手助けをしながら、手数料を稼ぐことを可能にします。

始め方

1. アカウントにログインする: <https://biocoherence.net/s0.login>¹⁵にアクセスしてください。
2. アフィリエイトページにアクセスする: <https://biocoherence.net/n119>¹⁶に移動してください。これがあなたの個人的なアフィリエイトハブです。

ここでは、次のことを含むすべてのツールと情報を見つけることができます:

- 招待コードを作成および管理する方法。
- 手数料を追跡する方法。
- アフィリエイトネットワークを拡大する方法。

アフィリエイトプログラムについて

私たちのプログラムは、サブスクリプションベースの報酬を提供し、直接販売やさまざまな購入タイプに対するものです。また、新しいアフィリエイトをプログラムに紹介することで、追加のインセンティブを得ることもできます。

直接販売のためのサブスクリプション報酬

招待コードを共有することで、あなたはあなたのコードで登録したユーザーのサブスクリプションやその他の購入に対する報酬を得ることができます。このプログラムは、あなたとあなたの顧客の両方に報酬を与えるように設計されており、あなたのコードで登録する新しいユーザーに特典やインセンティブを提供します。

追加購入

BioCoherenceプラットフォームを通じて、レポート、テスト、ハードウェアなどの購入に対して報酬を得ることができます。これらの報酬により、あなたが紹介したユーザーによって行われる各取引から利益を得ることができます。

注意: 地域独占権の対象となる商品については、報酬と顧客請求書は地元の独占販売代理店を通じて処理されます。価格は代理店の方針によって異なる場合があります。詳細についてはbiocoherence.net/distributors¹⁷を確認してください。

始め方

1. アカウントにログインする: <https://biocoherence.net/s0.login>¹⁷にアクセスしてください。
2. パートナーのページに移動する: <https://biocoherence.net/n119>¹⁷のリンクをクリックしてください。ここがあなたの個人パートナーセンターです。

ここでは、以下を含む、必要なすべてのツールと情報を見つけることができます:

- 招待コードを作成し、管理する方法。

13. <https://biocoherence.net/distributors>

14. <https://biocoherence.net/distributors>

15. <https://biocoherence.net/s0.login>

16. <https://biocoherence.net/n119>

17. <https://biocoherence.net/distributors>

- ・ コミッションを追跡する方法。
- ・ パートナーネットワークを拡大する方法。

パートナーシッププログラムについて

私たちのプログラムは、直接販売およびさまざまなタイプの購入に対してサブスクリプションベースのコミッションを提供します。また、新しいパートナーをプログラムに推薦する際に追加の報酬を得ることもできます。

直接販売の手数料

招待コードを共有すると、あなたのコードで登録したユーザーによるサブスクリプションやその他の購入に対して手数料を得ることができます。このプログラムは、あなたとあなたの顧客の両方に報酬を提供するように設計されており、あなたのコードで参加する新しいユーザーに特典や報酬を提供します。

追加購入

BioCoherenceプラットフォームを通じて、レポート、テスト、機器などの購入でコミッションを獲得しましょう。これらの報酬により、推薦したユーザーによって行われた各取引から利益を得ることができます。

注意: 地域独占に該当する商品については、コミッションおよび顧客アカウントは現地の独占ディストリビューターを通じて処理されます。料金はディストリビューターのポリシーによって異なる場合があります。詳細についてはbiocoherence.net/distributors²⁵を確認してください。

始める

1. アカウントにログイン: <https://biocoherence.net/s0.login>²⁶ にアクセスしてください。
2. あなたのアフィリエイトページへのアクセス: <https://biocoherence.net/n119>²⁷ に移動してください。これがあなたの個人的なアフィリエイトハブです。

ここでは、以下を含む必要なすべてのツールと情報を見つけることができます:

- ・ 招待コードを作成し、管理する方法。
- ・ 報酬を追跡する方法。
- ・ あなたのアフィリエイトネットワークを成長させる方法。

アフィリエイトプログラムについて

私たちのプログラムは、直接販売に対するサブスクリプションベースの報酬とさまざまな購入タイプを提供します。また、プログラムに新しいアフィリエイトを紹介することで、追加のインセンティブを獲得することもできます。

直接販売のためのサブスクリプション報酬

招待コードを共有すると、あなたのコードで登録したユーザーによるサブスクリプションやその他の購入に対して報酬を得ることができます。このプログラムは、あなたとあなたの顧客の両方に報いるように設計されており、あなたのコードで参加する新しいユーザーに特典やインセンティブを提供します。

開始

1. アカウントにログインする: <https://biocoherence.net/s0.login>²⁸ を訪問してください。
2. パートナー専用ページにアクセスする: <https://biocoherence.net/n119>²⁹ に移動してください。ここがあなたの個人パートナーハブです。

ここでは、以下を含む必要なすべてのツールと情報を見つけることができます:

- ・ 招待コードを作成および管理する。
- ・ コミッションを追跡する。
- ・ パートナーネットワークを成長させる。

パートナー プログラムについて

当社のプログラムはサブスクリプションに基づくコミッションを提供し、直接販売とさまざまな購入タイプに対応しています。また、新しいパートナーをプログラムに紹介すると、追加のインセンティブを獲得できます。

ダイレクトセールスのサブスクリプション手数料

あなたの招待コードを共有すると、あなたのコードを使って登録したユーザーによるサブスクリプションやその他の購入に対して手数料を得ることができます。このプログラムは、あなたとあなたの顧客の両方に報酬を与えるように設計されており、あなたのコードを使用して参加する新しいユーザーに特典やインセンティブを提供します。

追加の操作

BioCoherenceプラットフォームを通じて、レポート、テスト、デバイスなどの購入に対してコミッションを獲得します。これらの報酬により、紹介したユーザーが行うすべての取引から利益を得ることができます。

注意: 地域のプライバシーでカバーされるアイテムについては、コミッションと顧客請求書は地元の独占的なディストリビューターを通じて処理されます。価格はディストリビューターのポリシーによって異なる場合があります。詳細についてはbiocoherence.net/distributors³⁰を確認してください。

あなたの招待コードの管理

パートナー管理ページから、ソーシャルメディア、動画、ブログなどのさまざまなチャネルを通じて配布するための複数のコードを作成できます。これにより、各コードのパフォーマンスを追跡し、努力を改善できます。

BioCoherence アフィリエイトプログラムへようこそ！私たちは、あなたが私たちの最先端技術の利点をあなたのオーディエンスと共有するために参加してくれたことを非常に嬉しく思います。私たちのプログラムは、他の人々に健康と幸福の変革的な方法を発見する手助けをしながら報酬を得ることができます。

18. <https://biocoherence.net/distributors>
 19. <https://biocoherence.net/distributors>
 20. <https://biocoherence.net/s0.login>
 21. <https://biocoherence.net/n119>
 22. <https://biocoherence.net/distributors>
 23. <https://biocoherence.net/s0.login>
 24. <https://biocoherence.net/n119>
 25. <https://biocoherence.net/distributors>

使用を開始する

1. アカウントにログイン: <https://biocoherence.net/s0.login³¹>にアクセスしてください。
2. アフィリエイトページにアクセス: <https://biocoherence.net/n119³²>に移動してください。ここがあなたの個人アフィリエイトセンターです。

ここでは、次のことに関する必要なツールと情報を見つけることができます:

- 招待コードの作成と管理。
- コミッションの追跡。
- アフィリエイトネットワークの拡大。

アフィリエイトプログラムについて

私たちのプログラムはサブスクリプションベースのコミッションを提供しており、直接販売やさまざまな購入タイプに適用されます。新しいアフィリエイトメンバーをこのプログラムに推薦すると、追加の報酬も得られます。

直接販売のサブスクリプションコミッション

あなたの招待コードを共有すると、あなたのコードを使用して登録したユーザーのサブスクリプションやその他の購入に対してコミッションを獲得します。このプログラムは、あなたとあなたの顧客を報酬することを目的としており、あなたのコードを使用して参加する新しいユーザーに特典や報酬を提供します。

追加購入

BioCoherenceプラットフォームを通じて、レポート、テスト、ハードウェアなどの購入に対してコミッションを獲得できます。これらの報酬は、あなたが推薦したユーザーの各取引から利益を得ることを可能にします。

注意: 地域独占でカバーされているアイテムについては、コミッションと顧客請求書は地域の独占ディストリビューターを通じて処理されます。レートはディストリビューターポリシーによって異なる場合があります。詳細についてはbiocoherence.net/distributors³³を参照してください。

招待コードを管理する

あなたのアフィリエイト管理ページでは、ソーシャルメディア、ビデオ、ブログなどの異なるチャネルで配布するために複数のコードを作成できます。これにより、各コードのパフォーマンスを追跡し、努力を最適化することができます。

BioCoherence アフィリエイトプログラムへようこそ！私たちは、あなたが私たちの先進的な技術の利点をあなたのオーディエンスと共有するために参加してくれることを嬉しく思います。私たちのプログラムは、他の人々が健康とウェルネスに対する変革的なアプローチを発見する手助けをしながら、手数料を稼ぐことを可能にします。

始めましょう

1. アカウントにログインする: <https://biocoherence.net/s0.login³⁴>を訪問してください。
2. アフィリエイトページにアクセスする: <https://biocoherence.net/n119³⁵>に移動します。これがあなたの個人的なアフィリエイトハブです。

ここでは、以下を含む必要なすべてのツールと情報を見つけることができます:

- 招待コードを作成および管理する方法。
- 手数料を追跡する方法。
- アフィリエイトネットワークを成長させる方法。

アフィリエイトプログラムについて

当社のプログラムは、サブスクリプションベースのコミッションを提供し、直接販売およびさまざまな購入タイプに対して報酬を得ることができます。新しいアフィリエイトをプログラムに紹介することで、追加のインセンティブを獲得することもできます。

直接販売に対するサブスクリプションコミッション

招待コードを共有すると、あなたのコードで登録したユーザーによるサブスクリプションやその他の購入に対してコミッションを獲得できます。このプログラムは、あなたとあなたの顧客の両方に報酬を与えるように設計されており、あなたのコードで登録した新しいユーザーに対する特典やインセンティブがあります。

追加購入

BioCoherenceプラットフォームを通じて、レポート、テスト、ハードウェアなどの購入に対してコミッションを獲得できます。これらの報酬は、あなたの紹介ユーザーによって行われた各取引から利益を得ることを可能にします。

注意: 地域独占に該当する商品の場合、コミッションおよび顧客請求書は、地域の独占的ディストリビューターを通じて処理されます。料金はディストリビューターの方針によって異なる場合があります。詳細はbiocoherence.net/distributors³⁶を確認してください。

招待コードを管理する

アフィリエイト管理ページから、ソーシャルメディア、動画、ブログなどの異なるチャネルで配布するための複数のコードを作成できます。これにより、各コードのパフォーマンスを追跡し、努力を最適化することができます。

BioCoherenceは素晴らしい体験を提供します！私たちは幸せです。

アプリのインストールと初回起動

- Windows、Mac、またはLinuxの場合: biocoherence.net/install³⁷からインストールファイルをダウンロードしてください。
- iPad、iPhone、またはAndroidの場合: biocoherence.net/install³⁸の指示に従ってください。インストールはApp Storeからワンクリックで行えます。

26. <https://biocoherence.net/s0.login>

27. <https://biocoherence.net/n119>

28. <https://biocoherence.net/s0.login>

29. <https://biocoherence.net/n119>

30. <https://biocoherence.net/distributors>

31. <https://biocoherence.net/s0.login>

32. <https://biocoherence.net/n119>

33. <https://biocoherence.net/distributors>

インストール後

インストールが完了しても、問題が発生することがあります。

1. アプリが見つからない? "BioCoherence"と呼ばれています。Macでは「アプリケーション」にあります。WindowsとLinuxではスタートメニューにあります。iPad、iPhone、Androidではホーム画面に追加されており、検索でも見つけることができます。
2. アプリが起動しない? コンピュータまたはタブレットが遅すぎるか、互換性の問題があります。
3. ログインできない? アカウントがある場合は、ログイン画面で「パスワードを忘れた」をクリックしてください。パスワードをリセットするためのリンクが送られます。アカウントがない場合は、アプリ内で作成できます。

BioCoherenceはSpookyの周波数プロトコルを使用できますか?

はい、BioCoherenceは、Spookyや他のデバイスで使用されるRifeベースのテーブルを含む、さまざまなソースからの多くの周波数プロトコルを統合しています。将来的には、BioCoherenceがSpookyデバイスをエミッターとして機能させ、BioCoherenceからのオーディオをエクスポートして直接Spookyに供給できるようにすることを目指しています。私たちは、できるだけ多くのデバイスにオープンであり、それらがオープンな場合には直接インターフェースを持つことを計画しています。いずれにせよ、周波数プログラムのオーディオエクスポートにより、周波数をさまざまなデバイスで再生できるようになります。

現在使用している技術を「置き換える」ことができるのでしょうか?

BioCoherenceは、特定のニーズに応じて他のバイオフィードバックおよび健康分析ツールを置き換えたり、補完したりする可能性があります。特にランダム番号生成器に基づくデバイスのほとんどを置き換えることができますが、異なる証明されたアクションモードを持つデバイスを完全に置き換えることはできないかもしれません。

クライアントのスキャン結果が異なる場合、中心的なテーマに関する情報をどのように取得できますか?

クライアントの中央テーマに関する情報を取得するには、複数のスキャンを比較することが役立ちます。スキャン全体で一貫したパターンや繰り返される問題を探して、中央テーマを特定してください。メトリックは、クライアントの中心の問題をより包括的に理解するために、スキャンのトレンドを探ることが重要であると述べました。

結果は一般的にスキャン全体で非常に一貫しており、リンクやシステムの相対的なエネルギーまたは動揺の変動があります。これらの変動は健康的であり、進展を示しています。

実際、アプリケーション内でいくつかのスキャンを横に並べて比較することで、特定のバイオマーカーがどのように進化するかを見ることができます。たとえば、特定の治療が適用される前後での変化を確認できます。

クライアントは、施術者のオフィスの外でどのようにレポートにアクセスできますか? 彼らはどのようにレポートを確認し、瞑想にアクセスしますか?

クライアントはアプリを通じてレポートや瞑想にアクセスできます。以下は、プラクティショナーがクライアントのアクセスを有効にする方法です:

- アプリにクライアントを新しい連絡先として追加します:
 - プロフィール写真の隣にある2つの矢印をクリックして「連絡先」にアクセスします。
 - クライアントのメールアドレスを含めて、新しい連絡先を作成します。
- クライアントのプロフィールの下でスキャンを実行します。
- レポートを共有します:
 - 完了したレポートを開き、「...と共有」オプションを選択します。
 - アプリのダウンロードリンクとログイン情報を含む招待メールをクライアントに送信します。

クライアントがログインすると、レポートを確認し、アプリ内で瞑想に直接アクセスできます。また、リモートテストを実施することもでき(彼らにとってはローカルテスト、センサーを使用)、結果はあなたのソフトウェアに戻されます。

家族やクライアントは、彼らのために生成されたカスタム周波数をどのように使用できますか?

カスタム周波数を家族やクライアントと共有するには、次の手順に従ってください:

- BioCoherenceアプリで周波数レポートを表示しているときに、周波数セッションのオーディオファイルをエクスポートします。
- その後、メッセージング、メール、またはその他の通信方法を通じて、オーディオファイルを共有できます。

クライアントや家族にアプリのインストールを招待し、分析を共有することもできます。そのためには、彼らのメールアドレスでクライアントアカウントを作成できます。

BioCoherenceはどのようにユニークですか?

BioCoherenceは、高度な数学アルゴリズムとECG技術を組み合わせて、詳細な健康インサイトを提供します。これは、体の電気信号の多層分析を提供し、エネルギー/身体/心のアプローチ、複数のグラフィカルディスプレイ、およびバイオマーカー間のリンクを含むことで際立っています。また、バイオフィードバックに最適化した瞑想と周波数も含まれています。

アプリを更新する方法

常に最新のアップデートを使用してください。問題がすでに解決されているか、アイデアがすでに実装されているかもしれません!

使用しているプラットフォームによって、アップデートの方法は異なります:

ベータ版

- TestFlightを使用してベータ版を利用している場合: 各アップデートごとに通知が届くはずですが、TestFlightを起動し、「アップデート」をクリックしてください。
- TestFlightの外でMac、Windows、またはLinux用のベータ版をインストールした場合: biocoherence.net/beta³⁹にアクセスし、最新バージョンのインストーラーをダウンロードして実行してください。すべてのデータは保持されます。

パブリック版

- TestFlightの外でMac、Windows、またはLinux用のパブリック版をインストールした場合: biocoherence.net/install⁴⁰にアクセスし、最新バージョンのインストーラーをダウンロードして実行してください。すべてのデータは保持されます。
- App StoreまたはPlay Storeからパブリック版を使用している場合: App StoreまたはPlay Storeを開き、アプリのページからアップデートしてください。

34. <https://biocoherence.net/s0/login>

35. <https://biocoherence.net/n119>

36. <https://biocoherence.net/distributors>

37. <https://biocoherence.net/install>

38. <https://biocoherence.net/install>

BioCoherenceによるBluetooth接続の問題の解決

BioCoherenceでBluetooth接続に問題が発生している場合は、スムーズな設定を確保するために以下のトラブルシューティング手順に従ってください:

一般的なガイドライン

- まずプロセスを開始してください:
 - BioCoherenceアプリで録音やテストを開始してください。センサーを早すぎる段階で接続しようとすると、多くの接続問題が発生します。
 - アプリは録音やテストを開始すると、自動的に接続プロセスを管理するように設計されています。
- システム設定を避ける:
 - デバイスのシステム設定を通じてBluetoothセンサーを接続しようとししないでください。中断を避けるために、アプリにこのプロセスを任せてください。
- Bluetoothがアクティブであることを確認する:
 - Windows:** 設定パネルまたは右下のタスクバーにあるBluetoothショートカットからBluetoothをオンにします。
 - Mac:** 右上のメニューバーからBluetoothを有効にします。システム設定でBioCoherenceにBluetoothの権限が付与されていることを確認してください。
 - iOS/Android:** 通常はWi-Fiオプションの近くにあるデバイスの設定メニューからBluetoothをオンにします。
- 親指を湿らせる:
 - 重要:** 親指が水または導電性ゲルで適切に湿っていることを確認してください。これにより接続が強化され、センサーの読み取りが正確になります。

ステップバイステップのトラブルシューティング

- Bluetoothを有効にする:
 - このステップで停止した場合は、以下を確認してください:
 - デバイスにアクティブなBluetoothチップがあること。
 - Bluetoothがオンになっていて機能していること。
- センサーをオンにする:
 - センサーはクレードルから取り外すと自動的に電源が入ります。湿らせた親指をセンサーに置いてください。通常、1~2秒で接続されます。接続されない場合は:
 - アプリでBluetoothを再起動をクリックしてください。
 - 親指を取り外し、再度センサーに置いてみてください。
- 接続状況:
 - アプリはBluetoothパネルで段階的な指示を提供します:
 - Bluetoothを有効にする: Bluetoothがオンになっていることを確認してください。
 - センサーをオンにする: アプリはセンサーの接続を準備しています。
 - センサーが接続されました: センサーが正常にリンクされ、準備が整いました。
 - 初期データの交換: アプリはバッテリーの状態やシリアル番号などの初期データを受信しました。
 - アクティブデータ: ECGデータが受信され、記録またはテストが開始されます。
- 複数デバイスの接続を管理する:
 - センサーが以前に複数のデバイスとペアリングされている場合は、干渉を避けるために未使用のデバイスでBluetoothを無効にしてください。

追加の注意事項

- 初回認証:
 - アプリを初めて起動する際、プロンプトが表示されたらBluetoothの権限を付与してください。誤ってこれらの権限を拒否した場合:
 - システム設定で調整してください。
 - または、アプリをアンインストールして再インストールし、権限をリセットしてください。
- センサーの接続解除:
 - 使用中にセンサーが接続解除された場合は、以下を確認してください:
 - バッテリーの残量。
 - 親指がセンサーに適切に置かれていること。

これらの手順に従い、親指が適切に湿っていることを確認することで、ほとんどのBluetooth接続の問題を解決し、BioCoherenceでスムーズな体験を楽しむことができます。問題が解決しない場合は、追加のサポートを求めることを検討してください。

BioCoherenceの価格は何ですか?

BioCoherenceは、価格において最大の柔軟性を提供します。無料で始めて、自分に最適なプランを選択できます。すべてのプランは、biocoherence.net/price³⁹にて詳細に説明されています。

無料プラン

無料プランでは、無制限の録音を行い、プロと接続し、1つのカスタム瞑想を受け取ることができます。スキャンに関しては、いくつかの一般情報ページを開くことができますが、ほとんどのページはぼやけています。1つのレポートを購入することで、それを解除できます。Apple Watchや私たちのセンサーを使って録音することができます。また、テストカテゴリーにアクセスし、希望するテストの支払いを選択できます。

無料プランを利用するには、[アプリをインストール](#)⁴⁰し、無料アカウントを作成するだけです。

さらに進みたい場合、こちらが私たちの有料プランです:

個人用の有料プラン

価格は私たちのウェブサイトを確認してください。価格は月ごと(契約なし)から生涯ライセンスまで、すべての更新が生涯含まれています。また、割引付きの年次プランもあります。

- Me Playは、周波数と瞑想の無制限再生を許可します。
- Me Essentialは、最大2つのアカウントの無制限スキャンとバランス(瞑想と周波数)を許可し、レポートの重要な画面と無料テストにアクセスできます。必要に応じて、完全なレポートや有料テストを購入できます。
- Me Customは、選択した3つの常に解除された画面を許可します。
- Me Plusは、最大6人のための無制限のフルスキャン画面、編集可能なリソースと優先順位、カスタムバランスを提供します。

プロ用の有料プラン

- Pro Essentialは、無制限のスキャン(ローカルまたはリモート)と無制限のクライアントのためのバランスを許可し、レポートの重要な画面と基本テスト作成にアクセスできます。必要に応じて、完全なレポートや有料テストを購入できます。
- Pro Customは、選択した3つの常に解除された画面を許可します。
- Pro Plusは、無制限のフルスキャン(ローカルまたはリモート)、無限のクライアントのためのすべての画面、編集可能なリソースと優先順位、カスタムバランス、および収益化を含む完全なテスト作成を提供します。
- Medは、ECGにおける医療的に検証されたバイオマーカーのみに焦点を当てています。

プランの詳細については、biocoherence.net/price⁴¹にアクセスしてください。

39. <https://biocoherence.net/beta>

40. <https://biocoherence.net/install>

BioCoherenceは何を最も得意としていますか？

BioCoherenceソフトウェアは、体の電気的および磁気的活動の包括的な分析を提供し、さまざまなバイオマーカーと全体的な健康状態についての洞察を与えます。リソース、優先事項、および臓器間のリンクを強調し、さまざまな分野からの複雑なデータを、セラピストの日常的使用のためにシンプルでグラフィックな方法で提示します。高度な数学的操作を独占的に使用して多層分析を行い、体の電気センサー（心電図）から直接意味のあるデータを抽出します。これらの特定されたリソースと優先事項に基づいて、カスタマイズされたガイド付き瞑想やバランス調整プロトコルを提案することができます。

BioCoherenceは何をするために設計されていませんか？

BioCoherenceは特定の医療条件を診断したり、従来の医療アドバイスを置き換えることを目的としていません。一部のバイオマーカーは公式の学術医療研究から来ていますが、その主な目的は迅速な理解と根本原因の特定のためのツールを提供することです。これは家庭ユーザーの自己支援をサポートし、必要に応じて高度な治療者とつなげます。

スキャンプロセスが完了したことを確認する最良の方法は、分析に少なくとも130秒かかることを考慮することです。

分析は正確な結果を得るために少なくとも約130秒かかる必要があります（少なくとも128回の有効な心拍が必要です）。スキャンの下部には各タイプの分析に必要な時間を示すプログレスバーがあります。バーが緑で満たされているときに完了しているように見えても、スキャンが完全な期間を実行するようにしてください。スキャンの全期間を完了することは、結果の正確性にとって重要です。

生成されたファイルの品質はどうですか？

アプリ内での高品質な音生成の開発に重点を置いており、フル機能のリアルタイムシンセサイザーとシーケンサーが含まれています。これらのツールは、ノイズ、周波数、録音されたガイド付き瞑想のためにアプリ内ですでに利用可能です。生成されたパラメータは常に開発中です。音楽は瞑想や同時グループセッションの調整をサポートします。

どのような結果が測定または報告されていますか？

まだベータ版の段階ですが、BioCoherenceはその効果を検証する初期テストから非常に好意的なフィードバックを受けています。私たちは、さらなる検証と使用の拡大のために多様なフィードバックを収集しています。顧客の証言や特定のケーススタディは、より多くのデータが収集されるにつれて利用可能になります。

BioCoherenceには、すべてのバイオマーカーとバランスモードを科学的に検証するために、匿名化されたデータ（オプトインあり）を収集する方法が含まれています。このデータは、信頼できる機関からのリクエストに応じて、匿名化された生データへのアクセスと共に科学的記事を発表するための基礎となります。

エントリーレベルの使用例と高度な使用例は何ですか？

エントリーレベルの使用: Me Play（自動スキャンまたはテスト、および自動カスタマイズバイオフィードバック強化瞑想）。高度な使用: Pro（40のグラフィックページ、リンク、リソース、および優先順位の特定と変更、ユーザーとセラピストの接続のためのProディレクトリ）。将来的な機能には、比較スキャンや複数ユーザーのための同時瞑想も含まれます。

なぜスキャンを完了した後もセンサーが青または緑に点滅し続けるのですか？

センサーをセンサーケースに戻す必要があります。そうすると、自動的にオフになります。使用面に関して非常にシンプルに設計されているため、オンとオフを切り替えることを心配する必要はありません。自動的に行います。スキャンが完了した後、数秒から最大1分間、緑または青が点滅し続けることがありますが、その後はシャットダウンして次のスキャンが始まるのを待ちます。

Bluetoothがスキャン中に接続に失敗する理由は何ですか？

Bluetooth接続中にスキャンに問題が発生している場合、それはBioCoherenceスキヤナーが複数のデバイスとペアリングされている可能性があります。このような場合、スキヤナーは現在使用されていないデバイスに接続しようとする場合があります。この問題を解決するには、BioCoherenceスキヤナーに以前接続されていた他のデバイスのBluetoothを完全にオフにしてください。これにより、スキヤナーは正しいデバイスにスムーズに接続し、スキャンが中断されることなく進行することができます。

トラブルを避けるために、アプリでBluetooth接続プロセスを最初に新しい録音やテストを開始することで立ち上げ、その後センサーをつかむことが非常に重要です。センサーに親指を置くことで、センサーが起動し、この時点で既にリサーチモードにあるアプリに自動的に接続されます。

どのアカウントタイプを使用して寄生虫を検出できますか？

この機能は専門のユーザーにのみ提供されています。この情報は専門家によって解釈される必要があり、私たちはそれが正確かつ責任を持って使用されることを目指しています。これはエネルギー評価の範囲内に留まり、寄生虫の存在の直接的な観察ではありません。

追加文 2。

関連研究のリスト

すべてのリンクにアクセスできます。 biocoherence.net/studieslist

鍼灸、経絡

H. M. Langevin and J. A. Yandow, *Anat. Rec. (New Anat.)* 269, 257 (2002). [DOI^L](#), [Crossref^S](#)

Banes AJ, Tsuzaki M, Yamamoto J, et al. 1995. Mechanoreception at the cellular level: The detection, interpretation and diversity of responses to mechanical signals. *Biochem Cell Biol* 73:349–365. [Crossref^P](#) [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Bonassar LJ, Stinn JL, Paguio CG, et al. 1996. Activation and inhibition of endogenous matrix metalloproteinases in articular cartilage: Effects on composition and biophysical properties. *Arch Biochem Biophys* 333: 359–367. [Crossref^P](#) [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Murugan NJ, Cariba S, Abeygunawardena S, Rouleau N, Payne SL. Biophysical control of plasticity and patterning in regeneration and cancer. *Cell Mol Life Sci.* 2023 Dec 15;81(1):9. doi: 10.1007/s00018-023-05054-6. PMID: 38099951; PMCID: PMC10724343. [DOI^P](#)

Brand RA. 1997. What do tissues and cells know of mechanics? *Ann Med* 29: 267–269. [Crossref^P](#) [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Bossy J. 1984. Morphological data concerning the acupuncture points and channel network. *Acupunct Electrother Res* 9: 79–106. [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Cheng X. 1987. Chinese acupuncture and moxibustion. Beijing: Foreign Language Press.

Chicurel ME, Chen CS, Ingber DE. 1998. Cellular control lies in the balance of forces. *Curr Opin Cell Biol* 10: 232–239. [Crossref^S](#) [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Chiquet M. 1999. Regulation of extracellular matrix gene expression by mechanical stress. *Matrix Biol* 18: 417–426. [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Ciczek LSW, Szopinski J, Skrzypulec V. 1985. Investigations of morphological structures of acupuncture points and meridians. *J Trad Chin Med* 5: 289–292.

Comunetti A, Laage S, Schiessl N, Kistler A. 1995. Characterization of human skin conductance at acupuncture points. *Experientia* 51: 328–331. [Crossref^S](#) [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Dung HC. 1984. Anatomical features contributing to the formation of acupuncture points. *Am J Acupunct* 12: 139–143. [Web of Science^R](#)

1. <https://doi.org/10.1002/ar.10185>
2. https://aip.scitation.org/serve/linkout?suffix=c26/c26_1&dbid=16&doi=10.1063/1.4991499&key=10.1002/ar.10185
3. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1139/095-043>
4. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=8703408>
5. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=A1995T760300006>
6. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1006/abbi.1996.0402>
7. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=8809074>
8. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=A1996V177600006>
9. <https://doi.org/10.1007/s00018-023-05054-6>
10. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.3109/0785389708999346>
11. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=9375981>
12. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=A1997X210400003>
13. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=6148847>
14. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=A1984TF83000001>
15. [https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1016/S0955-0674\(98\)80145-2](https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1016/S0955-0674(98)80145-2)
16. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=9561847>
17. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=000073043200010>
18. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=10601729>
19. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=000084085600001>
20. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1007/BF01928888>
21. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=7729497>
22. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=A1995QU26800004>
23. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/>

Giancotti FG, Ruoslahti E. 1999. Integrin signaling. *Science* 285: 1028–1032. [Crossref^S](#) [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Gunn CC, Ditchburn FG, King MH, Renwick GJ. 1976. Acupuncture loci: A proposal for their classification according to their relationship to known neural structures. *Am J Chin Med* 4: 183–195. [Crossref^S](#) [PubMed^L](#)

Ho MW, Knight DP. 1998. The acupuncture system and the liquid crystalline collagen fibers of the connective tissues. *Am J Chin Med* 26: 251–263. [Crossref^S](#) [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Huan ZY, Rose K. 2001. A brief history of Qi. Brookline, MA: Paradigm Publications.

Kapthchuk TJ. 2000. The web that has no weaver. Understanding Chinese medicine. Chicago: Contemporary Publishing Group, Inc.

Lai WM, Mow VC, Sun DD, Atesian GA. 2000. On the electric potentials inside a charged soft hydrated biological tissue: Streaming potential versus diffusion potential. *J Biomech Eng* 122: 336–346. [Crossref^S](#) [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Langevin HM, Churchill DL, Cipolla MJ. 2001a. Mechanical signaling through connective tissue: A mechanism for the therapeutic effect of acupuncture. *FASEB J* 15: 2275–2282. [Wiley Online Library^S](#) [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Langevin HM, Churchill DL, Fox JR, Badger GJ, Garra BS, Krag MH. 2001b. Biomechanical response to acupuncture needling in humans. *J Appl Physiol* 91: 2471–2478. [Crossref^S](#) [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Langevin HM, Churchill DL, Wu J, Badger GJ, Yandow JA, Fox JR, Krag MH. 2002. Evidence of connective tissue involvement in acupuncture. *FASEB J* 16: 872–874. [Wiley Online Library^S](#) [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

Liu KY, Varela M, Oswald R. 1975. The correspondence between some motor points and acupuncture loci. *Am J Chin Med* 3: 347–358. [Crossref^S](#) [PubMed^L](#)

Matsumoto K, Birch S. 1988. Hara diagnosis: Reflections of the sea. Brookline: Paradigm Publications.

McCarroll GD, Rowley BA. 1979. An investigation of the existence of electrically located acupuncture points. *IEEE Trans Biomed Eng* 26: 177–182. [Crossref^S](#) [PubMed^L](#) [Web of Science^R](#)

24. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1126/science.285.5430.1028>
25. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=10446041>
26. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=000082033100034>
27. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1142/S0192415X76000238>
28. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=937240>
29. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1142/S0192415X98000294>
30. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=9862013>
31. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=000077302300001>
32. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1115/1.1286316>
33. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=11036556>
34. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=000167111100006>
35. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1096/fj.01-0015hnp>
36. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=11641255>
37. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=000171920400040>
38. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1152/jappl.2001.91.6.2471>
39. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=11717207>
40. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=000172484200008>
41. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1096/fj.01-0925fje>
42. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=11967233>
43. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=000175425900017>
44. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1142/S0192415X75000426>
45. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=1202933>

- Science®⁶⁸
- Noordegraaf A, Silage D. 1973. Electroacupuncture. *IEEE Trans Biomed Eng* 20: 364–366. [Crossref⁶⁹](#) [PubMed⁷⁰](#) [Web of Science®⁷¹](#)
- NIH Consensus Statement. 1997. Acupuncture. Bethesda, MD: NIH. 15: 1–34.
- O'Connor J, Bensky D. 1981. *Acupuncture, a comprehensive text* (Shanghai College of Traditional Medicine) Seattle: Eastland Press.
- Oschman JL. 1993. A biophysical basis for acupuncture. *Proceedings of the First Symposium of the Committee for Acupuncture Research*.
- Pomeranz B. 2001. Acupuncture analgesia-basic research. In: G Stux, R Hammerschlag, editors. *Clinical acupuncture-scientific basis*. Berlin: Springer-Verlag.
- Rabischong P, Niboyet JEH, Terral C, Senelar R, Casez R. 1975. Bases experimentales de l'analgésie acupunctureale. *Nouv Presse Med* 4: 2021–2026. [PubMed⁷²](#) [Web of Science®⁷³](#)
- Reishmanis M, Marino AA, Becker RO. 1975. Electrical correlates of acupuncture points. *IEEE Trans Biomed Eng* 22: 533–535. [Crossref⁷⁴](#) [PubMed⁷⁵](#) [Web of Science®⁷⁶](#)
- Senelar R. 1979. Les caractéristiques morphologiques des points chinois. In: JEH Niboyet, editor. *Nouveau traité d'acupuncture*. Paris: Maisonneuve.
- Shanghai Medical University, Human Anatomy Department. 1973. A relationship between points of meridians and peripheral nerves: Acupuncture anaesthetic theory study. Shanghai: People's Republic Publishing House.
- Swartz MA, Tschumperlin DJ, Kamm RD, Drazen JM. 2001. Mechanical stress is communicated between different cell types to elicit matrix remodeling. *Proc Natl Acad Sci USA* 98: 6180–6185. [Crossref⁷⁷](#) [PubMed⁷⁸](#) [Web of Science®⁷⁹](#)
- Ulett GA, Han S, Han JS. 1998. Electroacupuncture: mechanisms and clinical applications. *Biol Psych* 44: 129–138. [PubMed⁸⁰](#) [Web of Science®⁸¹](#)
- Veith I. 1949. *The yellow emperor's classic of internal medicine*. Berkeley: University of California Press.
- Yang J. 1601. *The golden needle and other odes of traditional acupuncture, 1601*. Translated by R Bertschinger. Edinburgh: Churchill Livingstone.
- Quyen Manh Nguyen, Tuan Hoang Nguyen, Lam Van Tran, Tin Thanh Dang, Anh Dinh, Device to Detect Acupuncture Points in the Feet Soles for Massage Treatment, 8th International Conference on the Development of Biomedical Engineering in Vietnam, 10.1007/978-3-030-75506-5_1, (3-13), (2022). [Crossref⁸²](#)
- Yung-Sheng Yen, Han-Yi Cheng, Hung-Ta Lin, Evaluation of Stress on Acupuncture with Nano-Etched and Diamond-Like Carbon (DLC) Coating Surface Modifications, *Journal of Biomaterials and Tissue Engineering*, 10.1166/jbt.2022.2928, 12, 3, (489-493), (2022). [Crossref⁸³](#)
- Gregory P. Casey, Anatomical characterization of acupoint large intestine 4, *The Anatomical Record*, 10.1002/ar.24681, 305, 1, (144-155), (2021). [Wiley Online Library⁸⁴](#)
- Ajit B. Pai, Lori V. Shuart., David F. Drake, Integrative Medicine in Rehabilitation, *Braddom's Physical Medicine and Rehabilitation*, 10.1016/B978-0-323-62539-5.00018-7, (364-373.e3), (2021). [Crossref⁸⁵](#)
- Tongju Li, Bruce Qing Tang, Wei-Bo Zhang, Minyi Zhao, Qingchuan Hu, Andrew Ahn, In Vivo Visualization of the Pericardium Meridian with Fluorescent Dyes, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine, 10.1155/2021/5581227, 2021, (1-10), (2021). [Crossref⁸⁶](#)
- Chao Sun, Changchun Ji, Ying Li, Juijie Kuang, Jiangtao Wu, A comparison study of photothermal effect between moxibustion therapy and laser irradiation on biological tissue, *International Journal of Thermal Sciences*, 10.1016/j.ijthermalsci.2021.106924, 164, (106924), (2021). [Crossref⁸⁷](#)
- Nikolay Dimitrov, Nikola Tomov, Dimitrinka Atanasova, Stilyan Iliev, Tatyana Tomova, Dimitar Sivrev, Zoya Goranova, Visible Meridian Phenomena after Acupuncture: A Series of
46. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1109/TBME.1979.326392>
47. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=521032>
48. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=A1979GN78800013>
49. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1109/TBME.1973.324289>
50. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=4727423>
51. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=A1973Q497200007>
52. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=1178444>
53. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=A1975AP43900003>
54. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1109/TBME.1975.324477>
55. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=1184029>
56. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=A1975AU02000013>
57. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=16&doi=10.1002/ar.10185&key=10.1073/pnas.111133298>
58. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=11353845>
59. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=000168883700045>
60. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=8&doi=10.1002/ar.10185&key=9646895>
61. <https://onlinelibrary.wiley.com/serve/linkout?suffix=null&dbid=128&doi=10.1002/ar.10185&key=000074292400008>
62. https://doi.org/10.1007/978-3-030-75506-5_1
63. <https://doi.org/10.1166/jbt.2022.2928>
64. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/ar.24681>
65. <https://doi.org/10.1016/B978-0-323-62539-5.00018-7>
66. <https://doi.org/10.1155/2021/5581227>
67. <https://doi.org/10.1016/j.ijthermalsci.2021.106924>
- Case Reports, *Journal of Acupuncture and Meridian Studies*, 10.51507/j.jams.2021.14.2.50, 14, 2, (50-57), (2021). [Crossref⁸⁸](#)
- Nasim Bahadorani, Jerry W. Lee, Leslie R. Martin, Implications of Tamarkoz on stress, emotion, spirituality and heart rate, *Scientific Reports*, 10.1038/s41598-021-93470-8, 11, 1, (2021). [Crossref⁸⁹](#)
- Maojun Li, Huawen Peng, Binxiu Wei, Qiuxia Deng, Fen Qian, Xin Liu, Jian Wang, Xiaodong Zhu, Effect of acupuncture anesthesia based on nanometer sensor on cognitive function after one-lung ventilation thoracotomy, *Materials Express*, 10.1166/mex.2021.2027, 11, 7, (1051-1056), (2021). [Crossref⁹⁰](#)
- Jaliya Kumaratilake, Teghan Lucas, Maciej Henneberg, Possible relationship of upper limb arteries, median and brachial to the twelfth meridian of the human upper limb, *Journal of Anatomy*, 10.1111/joa.13401, 238, 6, (1492-1493), (2021). [Wiley Online Library⁹¹](#)
- Yong Ming Li, Three hand yin meridians in ancient Chinese medicine were established initially based on arterial structures, *Journal of Anatomy*, 10.1111/joa.13400, 238, 6, (1494-1496), (2021). [Wiley Online Library⁹²](#)
- Yi Zhang, Interpretation of acupoint location in traditional Chinese medicine teaching: Implications for acupuncture in research and clinical practice, *The Anatomical Record*, 10.1002/ar.24618, 304, 11, (2372-2380), (2021). [Wiley Online Library⁹³](#)
- Sanghun Lee, Prospects for the Development of Acupuncture Treatment Led by the Use of Ultrasound Imaging Devices, *Journal of Korean Medical Society of Soft Tissue*, 10.54461/JKMST.2021.5.1.8, 5, 1, (8-11), (2021). [Crossref⁹⁴](#)
- Xiao Ye, Yu-lan Ren, Yun-hui Chen, Ji Chen, Xiao-jiao Tang, Zong-ming Zhang, A “4D” systemic view on meridian essence: Substantial, functional, chronological and cultural attributes, *Journal of Integrative Medicine*, 10.1016/j.joim.2021.11.006, (2021). [Crossref⁹⁵](#)
- Berna Dincer, Demet İnangil, Gökhan İnangil, Nefise Bahçecik, Elif Yıldırım Ayaz, Ali Arslanoğlu, Miraç Vural Keskinler, Ayşe Kabuk, Gamze Özkan, The effect of acupuncture on sleep quality of older people: A systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials, *EXPLORE*, 10.1016/j.explore.2021.11.010, (2021). [Crossref⁹⁶](#)
- Marianna de Melo Salemi, Vanessa Maria da Silva Alves Gomes, Laylla Marjorye Reboças Bezerra, Thania Maion de Souza Melo, Geisa Guimarães de Alencar, Iracema Hermes Pires de Mélo Montenegro, Alessandra Paula de Melo Calado, Eduardo José Nepomuceno Montenegro, Gisela Rocha de Siqueira, Effect of Dry Cupping Therapy on Pain and Functional Disability in Persistent Non-Specific Low Back Pain: A Randomized Controlled Clinical Trial, *Journal of Acupuncture and Meridian Studies*, 10.51507/j.jams.2021.14.6.219, 14, 6, (219-230), (2021). [Crossref⁹⁷](#)
- Luís Carlos Matos, Jorge Pereira Machado, Fernando Jorge Monteiro, Henry Johannes Greten, Understanding Traditional Chinese Medicine Therapeutics: An Overview of the Basics and Clinical Applications, *Healthcare*, 10.3390/healthcare9030257, 9, 3, (257), (2021). [Crossref⁹⁸](#)
- Jingwen Cui, Wanrong Song, Yipeng Jin, Huihao Xu, Kai Fan, Degui Lin, Zhihui Hao, Jiahao Lin, Research Progress on the Mechanism of the Acupuncture Regulating Neuro-Endocrine-Immune Network System, *Veterinary Sciences*, 10.3390/vetsci8080149, 8, 8, (149), (2021). [Crossref⁹⁹](#)
- İñigo Ongay de Felipe, The Universality of Science and Traditional Chinese Medicine, *Science & Education*, 10.1007/s11191-021-00249-4, (2021). [Crossref¹⁰⁰](#)
- Ningcen Li, Yi Guo, Yan Gong, Yue Zhang, Wen Fan, Kaifang Yao, Zhihan Chen, Baomin Dou, Xiaowei Lin, Bo Chen, Zelin Chen, Zhifang Xu, Zhongxi Lyu, The Anti-Inflammatory Actions and Mechanisms of Acupuncture from Acupoint to Target Organs via Neuro-Immune Regulation, *Journal of Inflammation Research*, 10.2147/JIR.S341581, Volume 14, (7191-7224), (2021). [Crossref¹⁰¹](#)
- 魏云 冯, Bridging Medicine East and West—Pursuit on the Relation between Biomedical Consequence of Stimulating the Acupoints of the Lung Meridian and Somatosensory Reflexes, Aiming to Treat Chronic Obstruction Pulmonary Diseases, *Traditional Chinese Medicine*, 10.12677/TCM.2020.92022, 09, 02, (145-176), (2020). [Crossref¹⁰²](#)
- Manon te Dorsthorst, Michael van Balken, John Heesakkers, Tibial nerve stimulation in the treatment of overactive bladder syndrome, *Current Opinion in Urology*, 10.1097/MOU.0000000000000781, 30, 4, (513-518), (2020). [Crossref¹⁰³](#)
- Peter I-Kung Wu, Lucy Chen, Integrative Medicine, *Spine Pain Care*, 10.1007/978-3-030-27447-4, (473-489), (2020). [Crossref¹⁰⁴](#)
- I. Giralt Sampedro, G. Carvajal, A. Garcia-Janeras, A. Fabà, M.B. Nishishinya Aquino, A severe case of Ramsay Hunt Syndrome treated with acupuncture and related techniques, *Complementary Therapies in Clinical Practice*, 10.1016/j.ctcp.2020.101119, (101119), (2020). [Crossref¹⁰⁵](#)
- Eric Leskowitz, A Cartography of Energy Medicine: From Subtle Anatomy to Energy
68. <https://doi.org/10.51507/j.jams.2021.14.2.50>
69. <https://doi.org/10.1038/s41598-021-93470-8>
70. <https://doi.org/10.1166/mex.2021.2027>
71. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/joa.13401>
72. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/joa.13400>
73. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/ar.24618>
74. <https://doi.org/10.54461/JKMST.2021.5.1.8>
75. <https://doi.org/10.1016/j.joim.2021.11.006>
76. <https://doi.org/10.1016/j.explore.2021.11.010>
77. <https://doi.org/10.51507/j.jams.2021.14.6.219>
78. <https://doi.org/10.3390/healthcare9030257>
79. <https://doi.org/10.3390/vetsci8080149>
80. <https://doi.org/10.1007/s11191-021-00249-4>
81. <https://doi.org/10.2147/JIR.S341581>
82. <https://doi.org/10.12677/TCM.2020.92022>
83. <https://doi.org/10.1097/MOU.0000000000000781>
84. <https://doi.org/10.1007/978-3-030-27447-4>
85. <https://doi.org/10.1016/j.ctcp.2020.101119>

- Physiology, EXPLORE, 10.1016/j.explore.2020.09.008, (2020). [Crossref⁶⁶](#)
- Hantong Hu, Yongliang Jiang, Xiaoyu Li, Jiali Lou, Yajun Zhang, Xiaofen He, Junfan Fang, Yuanyuan Wu, Xiaomei Shao, Jianqiao Fang, The microcirculatory characteristics of the heart and lung meridians, *Medicine*, 10.1097/MD.0000000000001954, 99, 14, (e1954), (2020). [Crossref⁶⁷](#)
- Sheikh Faruque Elahee Bangladesh, Hui-juan Mao, Ling Zhao, Xue-yong Shen, Meridian system and mechanism of acupuncture action: A scientific evaluation 经络系统与针刺效应机制的科学评价, *World Journal of Acupuncture - Moxibustion*, 10.1016/j.wjam.2020.05.003, (2020). [Crossref⁶⁸](#)
- Mário Gonçalves, Luís Carlos Matos, Leonel Duarte, Jorge Machado, Henry Johannes Greten, Giovanna Franconi, PROBLEMS OF SCIENTIFIC METHODOLOGY RELATED TO PLACEBO CONTROL IN QIGONG STUDIES: A SYSTEMATIC REVIEW, *Journal of Bodywork and Movement Therapies*, 10.1016/j.jbmt.2020.06.035, (2020). [Crossref⁶⁹](#)
- Hans-Udo Richarz, Uwe Schütz, Werner Klingler, Das fasziale Bindegewebe – ein Medium für die Akupunktur? The fascial connective tissue—a medium for acupuncture?, *Deutsche Zeitschrift für Akupunktur*, 10.1007/s42212-019-00228-5, (2020). [Crossref⁷⁰](#)
- Shi Yonghong, Wu Ruizhi, Zhang Yue, Bai Xuebing, Imran Tarique, Liang Chunhua, Yang Ping, Chen Qisheng, Telocytes in Different Organs of Vertebrates: Potential Essence Cells of the Meridian in Chinese Traditional Medicine, *Microscopy and Microanalysis*, 10.1017/S1431927620001518, (1-14), (2020). [Crossref⁷¹](#)
- Jinglan Mu, Andrea D Furlan, Wai Yee Lam, Marcos Y Hsu, Zhipeng Ning, Lixing Lao, Acupuncture for chronic nonspecific low back pain, *Cochrane Database of Systematic Reviews*, 10.1002/14651858.CD013814, (2020). [Crossref⁷²](#)
- Kimia Grace Ganjaei, Jeremiah W. Ray, Brandee Waite, Kevin J. Burnham, The Fascial System in Musculoskeletal Function and Myofascial Pain, *Current Physical Medicine and Rehabilitation Reports*, 10.1007/s40141-020-00302-3, (2020). [Crossref⁷³](#)
- Christina L Ross, Energy Medicine: Current Status and Future Perspectives, *Global Advances in Health and Medicine*, 10.1177/2164956119831221, 8, (2164956119831221), (2019). [Crossref⁷⁴](#)
- Phil Trabulsky, COMPLEMENTARY AND ALTERNATIVE MEDICINE, *Cancer*, 10.1002/9781119645214, (499-530), (2019). [Wiley Online Library⁷⁵](#)
- Younbyoung Chae, Yeonhee Ryu, Won-Mo Jung, An Analysis of Indications of Meridians in DongUBoGam Using Data Mining, *Korean Journal of Acupuncture*, 10.14406/acu.2019.034, 36, 4, (292-299), (2019). [Crossref⁷⁶](#)
- Wei-bo ZHANG, Xiao-jing SONG, Ze WANG, Guang-jun WANG, Shu-yong JIA, Yu-ying TIAN, Hong-yan LI, Longitudinal Directional Movement of Alcian Blue in Gephyrocharax Melanocheir Fish: Revealing Interstitial Flow and Related Structure ☆ 阿尔新蓝在黑裙鱼中的纵向定向运动-组织液流动与相关结构的揭示, *World Journal of Acupuncture - Moxibustion*, 10.1016/j.wjam.2019.05.008, (2019). [Crossref⁷⁷](#)
- Nicholas Alexander Wise, Action at a distance: laser acupuncture and the brain, *Photobiomodulation in the Brain*, 10.1016/B978-0-12-815305-5.00036-1, (489-501), (2019). [Crossref⁷⁸](#)
- Liangjun Xia, Qingyu Meng, Jin Xi, Qin Han, Jie Cheng, Jie Shen, Youbing Xia, Liyun Shi, The synergistic effect of electroacupuncture and bone mesenchymal stem cell transplantation on repairing thin endometrial injury in rats, *Stem Cell Research & Therapy*, 10.1186/s13287-019-1326-6, 10, 1, (2019). [Crossref⁷⁹](#)
- Dha-Hyun Choi, Younbyoung Chae, Minimisation of variations in locating an acupuncture point using a laser-device, *Integrative Medicine Research*, 10.1016/j.imr.2019.11.005, (2019). [Crossref⁸⁰](#)
- Doohan Oh, Jong-hyun Kim, Youn-Sub Kim, Song-Yi Kim, Analysis of Tonification and Sedation Methods in the 『Yeongsochimgyeong』, *Korean Journal of Acupuncture*, 10.14406/acu.2019.021, 36, 3, (171-180), (2019). [Crossref⁸¹](#)
- Aleksandar Zivaljevic, Bin Shi, Elisa M S. Tam, Vahideh Toossi, Treatment of visceral pain associated with irritable bowel syndrome using acupuncture: Mechanism of action, *World Journal of Traditional Chinese Medicine*, 10.4103/wjtem.wjtem_24_19_5, 4, (181), (2019). [Crossref⁸²](#)
- Suchan Chang, O. Sang Kwon, Se Kyun Bang, Do-Hee Kim, Min Won Baek, Yeonhee Ryu, Jong Han Bae, Yu Fan, Soo Min Lee, Hyung Kyu Kim, Bong Hyo Lee, Chae Ha Yang, Hee Young Kim, Peripheral Sensory Nerve Tissue but Not Connective Tissue Is Involved in the Action of Acupuncture, *Frontiers in Neuroscience*, 10.3389/fnins.2019.00110, 13, (2019). [Crossref⁸³](#)
- Junaid Wazir, Rahat Ullah, Shihong Li, Md Amir Hossain, Maladho Tanta Diallo, Farhan Ullah Khan, Awais Ullah Ihsan, Xiaohui Zhou, Efficacy of acupuncture in the treatment of chronic prostatitis-chronic pelvic pain syndrome: a review of the literature, *International Urology and Nephrology*, 10.1007/s11255-019-02267-2, (2019). [Crossref⁸⁴](#)
- Noa Schwartz, Madhavi Latha S. Chalasani, Thomas M. Li, Zhonghui Feng, William D. Shipman, Theresa T. Lu, Lymphatic Function in Autoimmune Diseases, *Frontiers in Immunology*, 10.3389/fimmu.2019.00519, 10, (2019). [Crossref⁸⁵](#)
- Sarah Ely, Panos Barlas, Transcutaneous electrical acupoint stimulation for people with chronic musculoskeletal pain: an exploratory review, *Physical Therapy Reviews*, 10.1080/10833196.2019.1648728, (1-12), (2019). [Crossref⁸⁶](#)
- Koh-Woon Kim, Sanhwa Hong, Hong Soo Kim, Taehun Kim, Jaeha Ahn, Hyun-Seo Song, Yu-Kang Kim, Ju-Young Oh, Tae-Yeon Hwang, Hyangsook Lee, Su-Il In, Hi-Joon Park, Physiological impact of nanoporous acupuncture needles: Laser Doppler perfusion imaging in healthy volunteers, *PLOS ONE*, 10.1371/journal.pone.0226304, 14, 12, (e0226304), (2019). [Crossref⁸⁷](#)
- Chang-zhen Gong, Wei Liu, Convergence of Medicines: West Meets East in Newly-Discovered Organs and Functions, *Chinese Journal of Integrative Medicine*, 10.1007/s11655-018-2570-9, 25, 5, (323-326), (2018). [Crossref⁸⁸](#)
- Jeanne Adiwinata Pawitan, Various stem cells in acupuncture meridians and points and their putative roles, *Journal of Traditional and Complementary Medicine*, 10.1016/j.jtcm.2017.08.004, (2018). [Crossref⁸⁹](#)
- Chungda Lee, How can mindfulness-led breathing of qigong/Tai Chi work on qi and the meridian network?, *Advances in Integrative Medicine*, 10.1016/j.aimed.2018.07.002, 5, 3, (122-127), (2018). [Crossref⁹⁰](#)
- Patrick Roynard, Lauren Frank, Huisheng Xie, Margaret Fowler, Acupuncture for Small Animal Neurologic Disorders, *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 10.1016/j.cvsm.2017.08.003, 48, 1, (201-219), (2018). [Crossref⁹¹](#)
- Meng Huang, Xuezhi Wang, Beibei Xing, Hongwei Yang, Zheyang Sa, Di Zhang, Wei Yao, Na Yin, Ying Xia, Guanghong Ding, Critical roles of TRPV2 channels, histamine H1 and adenosine A1 receptors in the initiation of acupoint signals for acupuncture analgesia, *Scientific Reports*, 10.1038/s41598-018-24654-y, 8, 1, (2018). [Crossref⁹²](#)
- Ruining Liang, Peishuang Li, Xuemei Peng, Ling Xu, Pei Fan, Jiahua Peng, Xu Zhou, Chunlin Xiao, Miao Jiang, Efficacy of acupuncture on pelvic pain in patients with endometriosis: study protocol for a randomized, single-blind, multi-center, placebo-controlled trial, *Trials*, 10.1186/s13063-018-2684-6, 19, 1, (2018). [Crossref⁹³](#)
- Wei-gu Zhang, De-xian Jia, Hong-yan Li, Yu-long Wei, Huang Yan, Peng-na Zhao, Fei-fei Gu, Guang-jun Wang, Yan-ping Wang, Understanding Qi Running in the Meridians as Interstitial Fluid Flowing via Interstitial Space of Low Hydraulic Resistance, *Chinese Journal of Integrative Medicine*, 10.1007/s11655-017-2791-3, 24, 4, (304-307), (2018). [Crossref⁹⁴](#)
- Conner E. Liddle, Richard E. Harris, Cellular Reorganization Plays a Vital Role in Acupuncture Analgesia, *Medical Acupuncture*, 10.1089/acu.2017.1258, 30, 1, (15-20), (2018). [Crossref⁹⁵](#)
- 骞云 冯, Relationship among the Meridians, Sinew Channels and Integrative Five Fluid Circulation System, *Traditional Chinese Medicine*, 10.12677/TCM.2018.71013, 07, 01, (74-92), (2018). [Crossref⁹⁶](#)
- David Feinstein, Energy Psychology: Efficacy, Speed, Mechanisms, EXPLORE, 10.1016/j.explore.2018.11.003, (2018). [Crossref⁹⁷](#)
- Hiroie MOTOYAMA, Hirohisa ISOGAI, Yoshito MUKAINO, Relaxing Effect Achieved by Acupuncture Stimulation in Different Postures for University Students Living a Sedentary Lifestyle/Sedentary Lifestyle を送る大学生を対象とした異なる姿勢への鍼刺激によるリラクゼーション効果, *Kampo Medicine*, 10.3937/kampomed.69.225, 69, 3, (225-238), (2018). [Crossref⁹⁸](#)
- Alexander Waits, You-Ren Tang, Hao-Min Cheng, Chen-Jei Tai, Li-Yin Chien, Acupressure effect on sleep quality: A systematic review and meta-analysis, *Sleep Medicine Reviews*, 10.1016/j.smrv.2016.12.004, 37, (24-34), (2018). [Crossref⁹⁹](#)
- Chenglin Liu, Qinghua Liu, Dongming Zhang, Wei Liu, Xiaohui Yan, Xinyi Zhang, Hiroyuki Oyanagi, Zhiyun Pan, Fengchun Hu, Shiqiang Wei, Insight into the biological effects of acupuncture points by X-ray absorption fine structure, *Analytical and Bioanalytical Chemistry*, 10.1007/s00216-018-1146-z, 410, 20, (4959-4965), (2018). [Crossref¹⁰⁰](#)
- Eric Leskowitz, How Tapping into “Energy” Can Trigger a Paradigm Shift in Biomedicine, *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/acm.2018.0073, 24, 6, (525-527), (2018). [Crossref¹⁰¹](#)
- Johannes Fleckenstein, Robert Schleip, Cornelia Sachs, Mark Driscoll, Susan Shockett, Thomas Findley, Werner Klingler, Faszienforschung: Quo vadis? Fascia research: Quo vadis?, *Deutsche Zeitschrift für Akupunktur*, 10.1007/s42212-018-0037-8, 61, 2, (69-74), (2018). [Crossref¹⁰²](#)
86. <https://doi.org/10.1016/j.explore.2020.09.008>
87. <https://doi.org/10.1097/MD.0000000000001954>
88. <https://doi.org/10.1016/j.wjam.2020.05.003>
89. <https://doi.org/10.1016/j.jbmt.2020.06.035>
90. <https://doi.org/10.1007/s42212-019-00228-5>
91. <https://doi.org/10.1017/S1431927620001518>
92. <https://doi.org/10.1002/14651858.CD013814>
93. <https://doi.org/10.1007/s40141-020-00302-3>
94. <https://doi.org/10.1177/2164956119831221>
95. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/9781119645214>
96. <https://doi.org/10.14406/acu.2019.034>
97. <https://doi.org/10.1016/j.wjam.2019.05.008>
98. <https://doi.org/10.1016/B978-0-12-815305-5.00036-1>
99. <https://doi.org/10.1186/s13287-019-1326-6>
100. <https://doi.org/10.1016/j.imr.2019.11.005>
101. <https://doi.org/10.14406/acu.2019.021>
102. https://doi.org/10.4103/wjtem.wjtem_24_19_5
103. <https://doi.org/10.3389/fnins.2019.00110>
104. <https://doi.org/10.1007/s11255-019-02267-2>
105. <https://doi.org/10.3389/fimmu.2019.00519>
106. <https://doi.org/10.1080/10833196.2019.1648728>
107. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0226304>
108. <https://doi.org/10.1007/s11655-018-2570-9>
109. <https://doi.org/10.1016/j.jtcm.2017.08.004>
110. <https://doi.org/10.1016/j.aimed.2018.07.002>
111. <https://doi.org/10.1016/j.cvsm.2017.08.003>
112. <https://doi.org/10.1038/s41598-018-24654-y>
113. <https://doi.org/10.1186/s13063-018-2684-6>
114. <https://doi.org/10.1007/s11655-017-2791-3>
115. <https://doi.org/10.1089/acu.2017.1258>
116. <https://doi.org/10.12677/TCM.2018.71013>
117. <https://doi.org/10.1016/j.explore.2018.11.003>
118. <https://doi.org/10.3937/kampomed.69.225>
119. <https://doi.org/10.1016/j.smrv.2016.12.004>
120. <https://doi.org/10.1007/s00216-018-1146-z>
121. <https://doi.org/10.1089/acm.2018.0073>
122. <https://doi.org/10.1007/s42212-018-0037-8>

- FA Phan, A Srilestari, H Mihardja, MBH Marbun, Effects of acupuncture on uremic pruritus in patients undergoing hemodialysis, *Journal of Physics: Conference Series*, 10.1088/1742-6596/1073/6/062049, 1073, (062049), (2018). [Crossref¹²³](#)
- Kwang-Sup Soh, Sistema circulatorio de Bonghan como una extensión de los meridianos de acupuntura, *Revista Internacional de Acupuntura*, 10.1016/j.acu.2018.02.001, 12, 1, (15-28), (2018). [Crossref¹²⁴](#)
- Helene M. Langevin, Peter M. Wayne, What Is the Point? The Problem with Acupuncture Research That No One Wants to Talk About, *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/acm.2017.0366, 24, 3, (200-207), (2018). [Crossref¹²⁵](#)
- Chun-Yi Lin, Tze-Taur Wei, Chen-Chen Wang, Wan-Chen Chen, Yu-Min Wang, Song-Yen Tsai, Acute Physiological and Psychological Effects of Qigong Exercise in Older Practitioners, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine, 10.1155/2018/4960978, 2018, (1-10), (2018). [Crossref¹²⁶](#)
- Kanae Umemoto, Toshiyuki Saito, Munekazu Naito, Shogo Hayashi, Tomiko Yakura, Hanno Steinke, Takashi Nakano, Anatomical Relationship between BL23 and the Posterior Ramus of the L2 Spinal Nerve, *Acupuncture in Medicine*, 10.1136/acupmed-2015-010847, 34, 2, (95-100), (2018). [Crossref¹²⁷](#)
- Krista Lynne Paulson, Barbara L Shay, Sympathetic Nervous System Responses to Acupuncture and Non-Penetrating Sham Acupuncture in Experimental Forearm Pain: A Single-Blind Randomised Descriptive Study, *Acupuncture in Medicine*, 10.1136/acupmed-2012-010223, 31, 2, (178-184), (2018). [Crossref¹²⁸](#)
- Marc Amand, Florence Nguyen-Huu, Costantino Balestra, Acupuncture Effect on Thermal Tolerance and Electrical Pain Threshold: A Randomised Controlled Trial, *Acupuncture in Medicine*, 10.1136/aim.2010.002485, 29, 1, (47-50), (2018). [Crossref¹²⁹](#)
- Michele Alem, Maria Salette Costa Gurgel, Acupuncture in the Rehabilitation of Women after Breast Cancer Surgery – a Case Series, *Acupuncture in Medicine*, 10.1136/aim.26.2.86, 26, 2, (86-93), (2018). [Crossref¹³⁰](#)
- Avijgan Majid, Rouh/Qi before and after production; basic concept of life, *International Journal of Complementary & Alternative Medicine*, 10.15406/ijcam.2018.11.00363, 11, 2, (2018). [Crossref¹³¹](#)
- Tiaw-Kee Lim, Yan Ma, Frederic Berger, Gerhard Litscher, Acupuncture and Neural Mechanism in the Management of Low Back Pain—An Update, *Medicines*, 10.3390/medicines5030063, 5, 3, (63), (2018). [Crossref¹³²](#)
- Anna Esparham, Anne Herbert, Emily Pierzchalski, Catherine Tran, Jennifer Dilts, Madeline Boorigie, Tammie Wingert, Mark Connelly, Jennifer Bickel, Pediatric Headache Clinic Model: Implementation of Integrative Therapies in Practice, *Children*, 10.3390/children5060074, 5, 6, (74), (2018). [Crossref¹³³](#)
- Elizabeth R. Magden, Chapter 13 Positive Reinforcement Training and Health Care, *Handbook of Primate Behavioral Management*, 10.1201/9781315120652, (201-216), (2017). [Crossref¹³⁴](#)
- Faria Sanjana, Hans Chaudhry, Thomas Findley, Effect of MELT method on thoracolumbar connective tissue: The full study, *Journal of Bodywork and Movement Therapies*, 10.1016/j.jbmt.2016.05.010, 21, 1, (179-185), (2017). [Crossref¹³⁵](#)
- Peter T. Dorsher, Neuroembryology of the Acupuncture Principal Meridians: Part I. The Extremities, *Medical Acupuncture*, 10.1089/acu.2016.1210, 29, 1, (10-19), (2017). [Crossref¹³⁶](#)
- Jordi Gascon-Garcia, Caridad Bagur-Calafat, Montserrat Girabent-Farrés, Ramon Balius, Validation of the range of dry needling with the fascial winding technique in the carpal tunnel using ultrasound, *Journal of Bodywork and Movement Therapies*, 10.1016/j.jbmt.2017.10.013, (2017). [Crossref¹³⁷](#)
- Ana Paula A. Ferreira, Luciana C. Póvoa, José F.C. Zanier, Arthur S. Ferreira, Locating the Seventh Cervical Spinous Process: Accuracy of the Thorax-Rib Static Method and the Effects of Clinical Data on Its Performance, *Journal of Manipulative and Physiological Therapeutics*, 10.1016/j.jmpt.2016.10.011, 40, 2, (98-105), (2017). [Crossref¹³⁸](#)
- Arya Nielsen, Acupuncture for the Prevention of Tension-Type Headache (2016), *EXPLORE: The Journal of Science and Healing*, 10.1016/j.explore.2017.03.007, 13, 3, (228-231), (2017). [Crossref¹³⁹](#)
- Fan Wang, Guang-wei Cui, Le Kuai, Jian-min Xu, Ting-ting Zhang, Huai-jin Cheng, Hong-sheng Dong, Gui-rong Dong, Role of Acupoint Area Collagen Fibers in Anti-Inflammation of Acupuncture Lifting and Thrusting Manipulation, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine, 10.1155/2017/2813437, 2017, (1-8), (2017). [Crossref¹⁴⁰](#)
- Wei-Chia Chen, Hsiang-Ying Chen, Yu-Sheng Chen, Yong Tian, Lin I, Self-excited multiscale skin vibrations probed by optical tracking micro-motions of tracers on arms, *Journal of Applied Physics*, 10.1063/1.4991499, 122, 2, (024701), (2017). [Crossref¹⁴¹](#)
- Fletcher Kovich, A Curious Oversight in Acupuncture Research, *Journal of Acupuncture and Meridian Studies*, 10.1016/j.jams.2017.10.004, 10, 6, (411-415), (2017). [Crossref¹⁴²](#)
- David F. Drake, Anne M. Hudak, William Robbins, Integrative Medicine in Traumatic Brain Injury, *Physical Medicine and Rehabilitation Clinics of North America*, 10.1016/j.pmr.2016.12.011, 28, 2, (363-378), (2017). [Crossref¹⁴³](#)
- Helene M. Langevin, Rosa N. Schnyer, Reconnecting the Body in Eastern and Western Medicine, *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/acm.2017.0028, 23, 4, (238-241), (2017). [Crossref¹⁴⁴](#)
- Salvador Quiroz-González, Sergio Torres-Castillo, Rosa Estela López-Gómez, Ismael Jiménez Estrada, Acupuncture Points and Their Relationship with Multireceptive Fields of Neurons, *Journal of Acupuncture and Meridian Studies*, 10.1016/j.jams.2017.01.006, 10, 2, (81-89), (2017). [Crossref¹⁴⁵](#)
- Sharon Jiyeon Jung, Haim Song, Yu Yeon Kim, Jungdae Kim, Sungchul Kim, Yoon-Kyu Song, Kwang-Sup Soh, Distribution of Mast Cells and Locations, Depths, and Sizes of the Putative Acupoints CV 8 and KI 16, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine, 10.1155/2017/2953278, 2017, (1-10), (2017). [Crossref¹⁴⁶](#)
- Benjamin CW. Chant, Jeanne Madison, Paul Coop, Gudrun Dieberg, Contact Tools in Japanese Acupuncture: An Ethnography of Acupuncture Practitioners in Japan, *Journal of Acupuncture and Meridian Studies*, 10.1016/j.jams.2017.08.006, 10, 5, (331-339), (2017). [Crossref¹⁴⁷](#)
- Hugh MacPherson, Andrew Vickers, Martin Bland, David Torgerson, Mark Corbett, Eldon Spackman, Pedro Saramago, Beth Woods, Helen Weatherly, Mark Sculpter, Andrea Manca, Stewart Richmond, Ann Hopton, Janet Eldred, Ian Watt, Acupuncture for chronic pain and depression in primary care: a programme of research, *Programme Grants for Applied Research*, 10.3310/pgfar05030, 5, 3, (1-316), (2017). [Crossref¹⁴⁸](#)
- Benjamin Kligler, Arya Nielsen, Corinne Kohrher, Tracy Schmid, Eve Waltermaurer, Elidania Perez, Woodson Merrell, Acupuncture Therapy in a Group Setting for Chronic Pain, *Pain Medicine*, 10.1093/pm/pnx134, (2017). [Crossref¹⁴⁹](#)
- Alexander Macdonald, Acupuncture Main Channels or Meridians: Visible Surfaces, *International Journal of Complementary & Alternative Medicine*, 10.15406/ijcam.2017.07.00233, 7, 4, (2017). [Crossref¹⁵⁰](#)
- Roshanak Ghods, Nasrin Sayfour, Mohammad Hossein Ayati, Anatomical Features of the Interscapular Area Where Wet Cupping Therapy Is Done and Its Possible Relation to Acupuncture Meridians, *Journal of Acupuncture and Meridian Studies*, 10.1016/j.jams.2016.06.004, 9, 6, (290-296), (2016). [Crossref¹⁵¹](#)
- Laura Quiles, Electra Peluffo, Meridianos tendinomusculares (Jing Jin) y tejido fascial, comparativa anatómica y funcional, *Revista Internacional de Acupuntura*, 10.1016/j.acu.2016.01.002, 10, 1, (20-24), (2016). [Crossref¹⁵²](#)
- Tian Tian, Yanhong Sun, Huangan Wu, Jian Pei, Jing Zhang, Yi Zhang, Lu Wang, Bin Li, Lihua Wang, Jiye Shi, Jun Hu, Chunhai Fan, Acupuncture promotes mTOR-independent autophagic clearance of aggregation-prone proteins in mouse brain, *Scientific Reports*, 10.1038/srep19714, 6, 1, (2016). [Crossref¹⁵³](#)
- Eric Leskowitz, Integrative Medicine for PTSD and TBI: Two Innovative Approaches, *Medical Acupuncture*, 10.1089/acu.2016.1168, 28, 4, (181-183), (2016). [Crossref¹⁵⁴](#)
- Sarah le Jeune, Kimberly Henneman, Kevin May, Acupuncture and Equine Rehabilitation, *Veterinary Clinics of North America: Equine Practice*, 10.1016/j.cveq.2015.12.004, 32, 1, (73-85), (2016). [Crossref¹⁵⁵](#)
- Charlotte H. Y. Lau, Xinyin Wu, Vincent C. H. Chung, Xin Liu, Edwin P. Hui, Holger Cramer, Romy Lauche, Samuel Y. S. Wong, Alexander Y. L. Lau, Regina W. S. Sit, Eric T. C. Ziea, Bacon F. L. Ng, Justin C. Y. Wu, Acupuncture and Related Therapies for Symptom Management in Palliative Cancer Care, *Medicine*, 10.1097/MD.0000000000002901, 95, 9, (e2901), (2016). [Crossref¹⁵⁶](#)
- Li Chen, Hai-Xiang Sun, You-Bing Xia, Liu-Cai Sui, Ji Zhou, Xuan Huang, Jing-Wei Zhou, Yi-Dan Shao, Tao Shen, Qin Sun, Yuan-Jiao Liang, Bing Yao, Electroacupuncture decreases the progression of ovarian hyperstimulation syndrome in a rat model, *Reproductive BioMedicine Online*, 10.1016/j.rbmo.2016.02.006, 32, 5, (538-544), (2016). [Crossref¹⁵⁷](#)
- Suzanne B. Hanser, Suzanne B. Hanser, Holistic Healing, Integrative Health through Music Therapy, 10.1057/978-1-137-38477-5, (35-54), (2016). [Crossref¹⁵⁸](#)
- Laurent Misery, Acupuncture, Pruritus, 10.1007/978-3-319-33142-3, (437-441), (2016). [Crossref¹⁵⁹](#)
- Jing-Ke Guo, Ming-Ming Xu, Mei-Feng Zheng, Shu-Tao Liu, Jian-Wu Zhou, Li-Jing Ke, Tian-Bao Chen, Ping-Fan Rao, Topical Application of TAT-Superoxide Dismutase in Acupoints LI 20 on Allergic Rhinitis, Evidence-Based Complementary and Alternative

123. <https://doi.org/10.1088/1742-6596/1073/6/062049>
 124. <https://doi.org/10.1016/j.acu.2018.02.001>
 125. <https://doi.org/10.1089/acm.2017.0366>
 126. <https://doi.org/10.1155/2018/4960978>
 127. <https://doi.org/10.1136/acupmed-2015-010847>
 128. <https://doi.org/10.1136/acupmed-2012-010223>
 129. <https://doi.org/10.1136/aim.2010.002485>
 130. <https://doi.org/10.1136/aim.26.2.86>
 131. <https://doi.org/10.15406/ijcam.2018.11.00363>
 132. <https://doi.org/10.3390/medicines5030063>
 133. <https://doi.org/10.3390/children5060074>
 134. <https://doi.org/10.1201/9781315120652>
 135. <https://doi.org/10.1016/j.jbmt.2016.05.010>
 136. <https://doi.org/10.1089/acu.2016.1210>
 137. <https://doi.org/10.1016/j.jbmt.2017.10.013>
 138. <https://doi.org/10.1016/j.jmpt.2016.10.011>
 139. <https://doi.org/10.1016/j.explore.2017.03.007>
 140. <https://doi.org/10.1155/2017/2813437>

- Medicine, 10.1155/2016/3830273, 2016, (1-9), (2016). [Crossref⁶⁰](#)
- James L. Oschman, Acupuncture, Acupressure, Shiatsu, and Related Therapies, Energy Medicine, 10.1016/B978-0-443-06729-7.00014-4, (221-239), (2016). [Crossref⁶¹](#)
- Motti Ratmansky, Adi Levy, Aviv Messinger, Alla Birg, Lilach Front, Iuly Treger, The Effects of Acupuncture on Cerebral Blood Flow in Post-Stroke Patients: A Randomized Controlled Trial, The Journal of Alternative and Complementary Medicine, 10.1089/acm.2015.0066, 22, 1, (33-37), (2016). [Crossref⁶²](#)
- Marzio Vanzini, Michele Gallamini, Amblyopia: Can Laser Acupuncture be an Option?, Journal of Acupuncture and Meridian Studies, 10.1016/j.jams.2016.01.017, 9, 5, (267-274), (2016). [Crossref⁶³](#)
- Bo M. Rowan†, J. Bryan Dixon, Complementary Medicine Practices for Muscular Injuries of the Posterior Leg, Muscular Injuries in the Posterior Leg, 10.1007/978-1-4899-7651-2, (153-168), (2016). [Crossref⁶⁴](#)
- HyunSuk Jang, Joohwan Yoon, HyunJi Gil, Sharon Jiyeon Jung, Min-Suk Kim, Jin-Kyu Lee, Young-Jae Kim, Kwang-Sup Soh, Observation of a Flowing Duct in the Abdominal Wall by Using Nanoparticles, PLOS ONE, 10.1371/journal.pone.0150423, 11, 3, (e0150423), (2016). [Crossref⁶⁵](#)
- Richard Cha, Detecting Intrinsic Movements through Needle Tips Pinned at Zusanli ST-36 Point - a New Method for Characterizing Structures for Acupuncture Treatments, International Journal of Complementary & Alternative Medicine, 10.15406/ijcam.2016.03.00100, 3, 6, (2016). [Crossref⁶⁶](#)
- Raphael J. Hochstrasser, P. Christian Endler, Sabine D. Klein, Perception of Therapeutic Qi, a Nonmechanical, Nonpsychological Factor in Acupuncture That Originates from the Therapist, Journal of Acupuncture and Meridian Studies, 10.1016/j.jams.2014.11.009, 8, 4, (203-208), (2015). [Crossref⁶⁷](#)
- Carla Stecco, Warren Hammer, Andry Vleeming, Raffaele De Caro, Fasciae of the Upper Limb, Functional Atlas of the Human Fascial System, 10.1016/B978-0-7020-4430-4.00007-5, (217-287), (2015). [Crossref⁶⁸](#)
- Shu-Ming Wang, Acupuncture as a Treatment for Substance Abuse in Pediatric Patients, Substance Abuse, 10.1007/978-1-4939-1951-2, (349-357), (2015). [Crossref⁶⁹](#)
- Mei-Ling Wu, Dong-Sheng Xu, Wan-Zhu Bai, Jing-Jing Cui, Hong-Ming Shu, Wei He, Xiao-Yu Wang, Hong Shi, Yang-Shuai Su, Ling Hu, Bing Zhu, Xiang-Hong Jing, Local cutaneous nerve terminal and mast cell responses to manual acupuncture in acupoint LI4 area of the rats, Journal of Chemical Neuroanatomy, 10.1016/j.jchemneu.2015.06.002, 68, (14-21), (2015). [Crossref⁷⁰](#)
- Mark J. McDonald, Will the Primo Vascular System Finally Solve the Mystery of Acupuncture?, Medical Acupuncture, 10.1089/acu.2014.1075, 27, 1, (33-37), (2015). [Crossref⁷¹](#)
- Wei-Bo Zhang, Guang-Jun Wang, Kjell Fuxe, Classic and Modern Meridian Studies: A Review of Low Hydraulic Resistance Channels along Meridians and Their Relevance for Therapeutic Effects in Traditional Chinese Medicine, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine, 10.1155/2015/410979, 2015, (1-14), (2015). [Crossref⁷²](#)
- Xiaqiu Wu, Jin Peng, Guoqin Li, Wei Zhang, Guangxia Liu, Baoyan Liu, Efficacy evaluation of summer acupoint application treatment on asthma patients: a two-year follow-up clinical study, Journal of Traditional Chinese Medicine, 10.1016/S0254-6272(15)30004-2, 35, 1, (21-27), (2015). [Crossref⁷³](#)
- Won-Mo Jung, Taehyung Lee, In-Seon Lee, Sanghyun Kim, Hyunchul Jang, Song-Yi Kim, Hi-Joon Park, Younbyoung Chae, Spatial Patterns of the Indications of Acupoints Using Data Mining in Classic Medical Text: A Possible Visualization of the Meridian System, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine, 10.1155/2015/457071, 2015, (1-7), (2015). [Crossref⁷⁴](#)
- Kwang-Sup Soh, Hypothesis on the Treatment of Gliomas with Acupuncture at the Primo Node Corresponding to Zusanli (ST 36), Medical Acupuncture, 10.1089/acu.2014.1089, 27, 3, (144-150), (2015). [Crossref⁷⁵](#)
- Marco Gemma, Elisa Nicelli, Luigi Gioia, Elena Moizo, Luigi Beretta, Maria Rosa Calvi, Acupuncture accelerates recovery after general anesthesia: a prospective randomized controlled trial, Journal of Integrative Medicine, 10.1016/S2095-4964(15)60159-5, 13, 2, (99-104), (2015). [Crossref⁷⁶](#)
- Michele Gallamini, Giovanni D'Angelo, Gabriele Belloni, Biolite: A Patented Ultra-Low-Level Laser-Therapy Device for Treating Musculoskeletal Pain and Associated Impairments, Journal of Acupuncture and Meridian Studies, 10.1016/j.jams.2015.02.001, 8, 4, (167-174), (2015). [Crossref⁷⁷](#)
- Poney Chiang, What is the Point of Acupuncture?, Medical Acupuncture, 10.1089/acu.2015.1093, 27, 2, (67-80), (2015). [Crossref⁷⁸](#)
160. <https://doi.org/10.1155/2016/3830273>
161. <https://doi.org/10.1016/B978-0-443-06729-7.00014-4>
162. <https://doi.org/10.1089/acm.2015.0066>
163. <https://doi.org/10.1016/j.jams.2016.01.017>
164. <https://doi.org/10.1007/978-1-4899-7651-2>
165. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0150423>
166. <https://doi.org/10.15406/ijcam.2016.03.00100>
167. <https://doi.org/10.1016/j.jams.2014.11.009>
168. <https://doi.org/10.1016/B978-0-7020-4430-4.00007-5>
169. <https://doi.org/10.1007/978-1-4939-1951-2>
170. <https://doi.org/10.1016/j.jchemneu.2015.06.002>
171. <https://doi.org/10.1089/acu.2014.1075>
172. <https://doi.org/10.1155/2015/410979>
173. [https://doi.org/10.1016/S0254-6272\(15\)30004-2](https://doi.org/10.1016/S0254-6272(15)30004-2)
174. <https://doi.org/10.1155/2015/457071>
175. <https://doi.org/10.1089/acu.2014.1089>
176. [https://doi.org/10.1016/S2095-4964\(15\)60159-5](https://doi.org/10.1016/S2095-4964(15)60159-5)
177. <https://doi.org/10.1016/j.jams.2015.02.001>
178. <https://doi.org/10.1089/acu.2015.1093>
- Richard F. Hobbs, Acupuncture—Biophysics or Metaphysics?, Medical Acupuncture, 10.1089/acu.2015.1097, 27, 2, (62-66), (2015). [Crossref⁷⁹](#)
- Ali Khorsand, Jiang Zhu, Hamidreza Bahrami-Taghanaki, Sara Baghani, Liangxiao Ma, Shima Rezaei, Investigation of the electrical impedance of acupoint points and non-acupoint points before and after acupuncture, using a four-electrode device, Acupuncture in Medicine, 10.1136/acupmed-2014-010697, 33, 3, (230-236), (2015). [Crossref⁸⁰](#)
- Fang Li, Tian He, Qian Xu, Li - Ting Lin, Hui Li, Yan Liu, Guang - Xia Shi, Cun - Zhi Liu, What is the Acupoint? A preliminary review of Acupoints, Pain Medicine, 10.1111/pme.12761, 16, 10, (1905-1915), (2015). [Wiley Online Library⁸¹](#)
- Song-Yi Kim, Sang-Woo Kim, Hi-Joon Park, Different Responses to Acupuncture in Electroencephalogram according to Stress Level: A Randomized, Placebo-Controlled, Cross-Over Trial, Korean Journal of Acupuncture, 10.14406/acu.2014.022, 31, 3, (136-145), (2014). [Crossref⁸²](#)
- Heming Zhu, Acupoints Initiate the Healing Process, Medical Acupuncture, 10.1089/acu.2014.1057, 26, 5, (264-270), (2014). [Crossref⁸³](#)
- G. Ding, Z. Wu, D. Zhang, Z. Sa, K. Cheng, Biophysical Bases of Acupuncture, Comprehensive Biomedical Physics, 10.1016/B978-0-444-53632-7.01018-2, (299-316), (2014). [Crossref⁸⁴](#)
- Yuan-yuan Lin, Yin-ping Wang, Hao-yang Lu, Xiu-cai Guo, Xia Liu, Chuan-bin Wu, Yue-hong Xu, Plasma pharmacokinetics and lung distribution of tetrahydropalmatine after topical application of cold asthma recipe extract: Feishu (BL 13) versus Non-Feishu acupoint, Journal of Ethnopharmacology, 10.1016/j.jep.2014.03.009, 153, 2, (454-460), (2014). [Crossref⁸⁵](#)
- Yiu Ming Wong, Electrical Property of Acupoints, The Journal of Alternative and Complementary Medicine, 10.1089/acm.2013.0169, 20, 2, (145-146), (2014). [Crossref⁸⁶](#)
- Nadia Elisabeth Haddad, Oxana Palesh, Acupuncture in the Treatment of Cancer-Related Psychological Symptoms, Integrative Cancer Therapies, 10.1177/1534735413520181, 13, 5, (371-385), (2014). [Crossref⁸⁷](#)
- Soo-Byeong Kim, Kyung-Yul Chung, Mi-Seon Jeon, Tae-Min Shin, Yong-Heum Lee, Body Composition Factor Comparisons of the Intracellular Fluid (ICW), Extracellular Fluid (ECW) and Cell Membrane at Acupuncture Points and Non-Acupuncture Points by Inducing Multiple Ionic Changes, Korean Journal of Acupuncture, 10.14406/acu.2014.005, 31, 2, (66-78), (2014). [Crossref⁸⁸](#)
- Martha Lilianna Beltrán Molano, Laura Bibiana Pinilla Bonilla, Eduardo Humberto Beltrán Dussan, Carlos Alberto Vásquez Londoño, Anatomic-Functional Correlation between Head Zones and Acupuncture Channels and Points: A Comparative Analysis from the Perspective of Neural Therapy, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine, 10.1155/2014/836392, 2014, (1-12), (2014). [Crossref⁸⁹](#)
- Evan H. Kwong, Thomas W. Findley, Fascia—Current knowledge and future directions in physiology: Narrative review, Journal of Rehabilitation Research and Development, 10.1682/JRRD.2013.10.0220, 51, 6, (875-884), (2014). [Crossref⁹⁰](#)
- Kwokming James Cheng, Neurobiological Mechanisms of Acupuncture for Some Common Illnesses: A Clinician's Perspective, Journal of Acupuncture and Meridian Studies, 10.1016/j.jams.2013.07.008, 7, 3, (105-114), (2014). [Crossref⁹¹](#)
- Jing-Wen Yang, Qian-Qian Li, Fang Li, Qing-Nan Fu, Xiang-Hong Zeng, Cun-Zhi Liu, The Holistic Effects of Acupuncture Treatment, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine, 10.1155/2014/739708, 2014, (1-10), (2014). [Crossref⁹²](#)
- Shu-Yih Wu, Wei-Hsin Chen, Ching-Liang Hsieh, Yi-Wen Lin, Abundant expression and functional participation of TRPV1 at Zusanli acupoint (ST36) in mice: mechanosensitive TRPV1 as an "acupuncture-responding channel", BMC Complementary and Alternative Medicine, 10.1186/1472-6882-14-96, 14, 1, (2014). [Crossref⁹³](#)
- Morry Silberstein, Is acupuncture "stimulation" a misnomer? A case for using the term "blockade", BMC Complementary and Alternative Medicine, 10.1186/1472-6882-13-68, 13, 1, (2013). [Crossref⁹⁴](#)
- In-Seon Lee, Soon-Ho Lee, Song-Yi Kim, Hyejung Lee, Hi-Joon Park, Younbyoung Chae, Visualization of the Meridian System Based on Biomedical Information about Acupuncture Treatment, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine, 10.1155/2013/872142, 2013, (1-5), (2013). [Crossref⁹⁵](#)
- Helene M. Langevin, Part 1, Trigger Point Dry Needling, 10.1016/B978-0-7020-4601-8.10008-8, (29-33), (2013). [Crossref⁹⁶](#)
- Byung-Cheon Lee, Walter J. Akers, Xianghong Jing, M. Isabel Miguel Perez, Yeonhee Ryu, Primo Vascular System: Past, Present, and Future, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine, 10.1155/2013/240168, 2013, (1-2), (2013). [Crossref⁹⁷](#)
179. <https://doi.org/10.1089/acu.2015.1097>
180. <https://doi.org/10.1136/acupmed-2014-010697>
181. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/pme.12761>
182. <https://doi.org/10.14406/acu.2014.022>
183. <https://doi.org/10.1089/acu.2014.1057>
184. <https://doi.org/10.1016/B978-0-444-53632-7.01018-2>
185. <https://doi.org/10.1016/j.jep.2014.03.009>
186. <https://doi.org/10.1089/acm.2013.0169>
187. <https://doi.org/10.1177/1534735413520181>
188. <https://doi.org/10.14406/acu.2014.005>
189. <https://doi.org/10.1155/2014/836392>
190. <https://doi.org/10.1682/JRRD.2013.10.0220>
191. <https://doi.org/10.1016/j.jams.2013.07.008>
192. <https://doi.org/10.1155/2014/739708>
193. <https://doi.org/10.1186/1472-6882-14-96>
194. <https://doi.org/10.1186/1472-6882-13-68>
195. <https://doi.org/10.1155/2013/872142>
196. <https://doi.org/10.1016/B978-0-7020-4601-8.10008-8>
197. <https://doi.org/10.1155/2013/240168>

- Andrew Bannan, Acupuncture in physiotherapy, Tidy's Physiotherapy, 10.1016/B978-0-7020-4344-4.00018-3, (403-415), (2013). [Crossref¹⁹⁸](#)
- Im Quah-Smith, Caroline Smith, John D. Crawford, Janice Russell, Laser acupuncture for depression: A randomised double blind controlled trial using low intensity laser intervention, *Journal of Affective Disorders*, 10.1016/j.jad.2012.11.058, 148, 2-3, (179-187), (2013). [Crossref¹⁹⁹](#)
- C. Will Chen, Chen-Jei Tai, Cheuk-Sing Choy, Chau-Yun Hsu, Shoen-Loong Lin, Wing P. Chan, Han-Sun Chiang, Chang-An Chen, Ting-Kai Leung, Wave-Induced Flow in Meridians Demonstrated Using Photoluminescent Bioceramic Material on Acupuncture Points, *Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine*, 10.1155/2013/739293, 2013, (1-11), (2013). [Crossref²⁰⁰](#)
- Raphael J. Hochstrasser, P. Christian Endler, Sabine D. Klein, Introduction of two novel devices for investigating the influence of non-mechanical components such as therapeutic qi in acupuncture, *Journal of Integrative Medicine*, 10.3736/jintegrated2013030, 11, 3, (168-174), (2013). [Crossref²⁰¹](#)
- W. Evan Rivers, Felise Zollman, Reliability of Surface Acupuncture Point Location, *Medical Acupuncture*, 10.1089/acu.2012.0929, 25, 2, (134-140), (2013). [Crossref²⁰²](#)
- Stefano Marcelli, Gross Anatomy and Acupuncture: A Comparative Approach to Reappraise the Meridian System, *Medical Acupuncture*, 10.1089/acu.2012.0875, 25, 1, (5-22), (2013). [Crossref²⁰³](#)
- Jaung-Geng Lin, Pei-Chi Chou, Heng-Yi Chu, An Exploration of the Needling Depth in Acupuncture: The Safe Needling Depth and the Needling Depth of Clinical Efficacy, *Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine*, 10.1155/2013/740508, 2013, (1-21), (2013). [Crossref²⁰⁴](#)
- DARCY A. UMPHRED, CAROL M. DAVIS, MARY LOU GALANTINO, Complementary and alternative therapies: beyond traditional approaches to intervention in neurological diseases and movement disorders, *Neurological Rehabilitation*, 10.1016/B978-0-323-07586-2.00048-0, (1173-1214), (2013). [Crossref²⁰⁵](#)
- Alessandra de Almeida Fagundes, Mariana César Ribeiro Reis, Maira Salles, Maria Graças Bastos Licurci, Immediate Effects of Acupuncture for Managing Myofascial Trigger-Point Pain: A Pilot Study, *Medical Acupuncture*, 10.1089/acu.2012.0902, 25, 1, (55-60), (2013). [Crossref²⁰⁶](#)
- Yi Zhuang, Jing-jing Xing, Juan Li, Bai-Yun Zeng, Fan-rong Liang, History of Acupuncture Research, *Neurobiology of Acupuncture*, 10.1016/B978-0-12-411545-3.00001-8, (1-23), (2013). [Crossref²⁰⁷](#)
- Arya Nielsen, Ted J. Kaptchuk, Sha syndrome and Gua sha, cao gio, coining, scraping, Gua Sha, 10.1016/B978-0-7020-3108-3.00005-4, (39-44), (2013). [Crossref²⁰⁸](#)
- Arya Nielsen, Ted J. Kaptchuk, Physiology of Gua sha, Gua Sha, 10.1016/B978-0-7020-3108-3.00003-0, (21-30), (2013). [Crossref²⁰⁹](#)
- Shirley P.C. Ngai, Alice Y.M. Jones, Changes in Skin Impedance and Heart Rate Variability with Application of Acu-TENS to BL 13 (Feishu) , *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/acm.2012.0097, 19, 6, (558-563), (2013). [Crossref²¹⁰](#)
- Isabelle Nègre, Méthodes non médicamenteuses : compréhension actuelle des mécanismes d'action, Douleurs : Evaluation - Diagnostic - Traitement, 10.1016/j.douleur.2013.01.007, 14, 3, (111-118), (2013). [Crossref²¹¹](#)
- Guanghong Ding, Di Zhang, Meng Huang, Lina Wang, Wei Yao, Function of Collagen and Mast Cells in Acupuncture Points, *Current Research in Acupuncture*, 10.1007/978-1-4614-3357-6, (53-87), (2013). [Crossref²¹²](#)
- Sung - Ho Lee, Geon - Ho Jahng, Il - Hwan Choe, Chi - Bong Choi, Dae - Hyun Kim, Hwi - Yool Kim, Neural Pathway Interference by Retained Acupuncture: A Functional MRI Study of a Dog Model of Parkinson's Disease, *CNS Neuroscience & Therapeutics*, 10.1111/cns.12108, 19, 8, (585-595), (2013). [Wiley Online Library²¹³](#)
- Hee Young Kim, Sung Tae Koo, Jae Hyo Kim, Kyungeh An, Kyungsoon Chung, Jin Mo Chung, Electroacupuncture analgesia in rat ankle sprain pain model: neural mechanisms, *Neurological Research*, 10.1179/016164109X12537002793689, 32, suppl, (10-17), (2013). [Crossref²¹⁴](#)
- ChangShik Yin, ByungKwan Seo, Hi-Joon Park, Miran Cho, WooSang Jung, Ryowon Choue, ChangHwan Kim, Hun-Kuk Park, Hyejung Lee, HyeongGyun Koh, Acupuncture, a promising adjunctive therapy for essential hypertension: a double-blind, randomized, controlled trial, *Neurological Research*, 10.1179/016164107X172220, 29, suppl, (98-103), (2013). [Crossref²¹⁵](#)
- Gary Deng, Barrie Cassileth, Complementary or alternative medicine in cancer care—myths and realities, *Nature Reviews Clinical Oncology*, 10.1038/nrclinonc.2013.125, 10, 11, (656-664), (2013). [Crossref²¹⁶](#)
- James L. Oschman, Fascia as a body-wide communication system, *Fascia: The Tensional Network of the Human Body*, 10.1016/B978-0-7020-3425-1.00049-0, (103-110), (2012). [Crossref²¹⁷](#)
- David Feinstein, Acupoint Stimulation in Treating Psychological Disorders: Evidence of Efficacy, *Review of General Psychology*, 10.1037/a0028602, 16, 4, (364-380), (2012). [Crossref²¹⁸](#)
- Jun J. Mao, Malini M. Khanna, Integrating Acupuncture with Western Medicine in Cancer Treatment, *Acupuncture and Moxibustion as an Evidence-based Therapy for Cancer*, 10.1007/978-94-007-4833-0_14, (313-328), (2012). [Crossref²¹⁹](#)
- Alex Benham, Mark I. Johnson, Characterization of Painful and Non-painful Acupuncture Needle Sensations During Bidirectional Rotation of a Single Needle Inserted 15–25 mm at Large Intestine 10, *Medical Acupuncture*, 10.1089/acu.2011.0861, 24, 3, (172-180), (2012). [Crossref²²⁰](#)
- Li-Ling Lin, Ya-Hui Wang, Chi-Yu Lai, Chan-Lao Chau, Guan-Chin Su, Chun-Yi Yang, Shu-Ying Lou, Szu-Kai Chen, Kuan-Hao Hsu, Yen-Ling Lai, Wei-Ming Wu, Jian-Long Huang, Chih-Hsin Liao, Hsueh-Fen Juan, Systems Biology of Meridians, Acupoints, and Chinese Herbs in Disease, *Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine*, 10.1155/2012/372670, 2012, (1-13), (2012). [Crossref²²¹](#)
- Arya Nielsen, Gua sha, *Fascia: The Tensional Network of the Human Body*, 10.1016/B978-0-7020-3425-1.00009-X, (359-365), (2012). [Crossref²²²](#)
- Hugh MacPherson, Richard Hammerschlag, Acupuncture and the Emerging Evidence Base: Contrived Controversy and Rational Debate, *Journal of Acupuncture and Meridian Studies*, 10.1016/j.jams.2012.05.001, 5, 4, (141-147), (2012). [Crossref²²³](#)
- Yejin Ha, Misun Kim, Jiseon Nah, Minah Suh, Youngmi Lee, Measurements of Location-Dependent Nitric Oxide Levels on Skin Surface in relation to Acupuncture Point, *Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine*, 10.1155/2012/781460, 2012, (1-7), (2012). [Crossref²²⁴](#)
- Elisabeth Hsu, “Feeling lighter”: Why the patient's treatment evaluation matters to the health scientist, *Integrative Medicine Research*, 10.1016/j.imr.2012.10.003, 1, 1, (5-12), (2012). [Crossref²²⁵](#)
- Petra I. Bäumlner, Michael Simang, Sybille Kramer, Dominik Irnich, Acupuncture Point Localization Varies Among Acupuncturists, *Forschende Komplementärmedizin / Research in Complementary Medicine*, 10.1159/000335825, 19, 1, (31-37), (2012). [Crossref²²⁶](#)
- Belinda Anderson, Arya Nielsen, Diane McKee, Anne Jeffres, Ben Kligler, Acupuncture and Heart Rate Variability: A Systems Level Approach to Understanding Mechanism, *EXPLORE: The Journal of Science and Healing*, 10.1016/j.explore.2011.12.002, 8, 2, (99-106), (2012). [Crossref²²⁷](#)
- Xiaoyu Wang, Hong Shi, Hongyan Shang, Yangshuai Su, Juanjuan Xin, Wei He, Xianghong Jing, Bing Zhu, Are Primo Vessels (PVs) on the Surface of Gastrointestine Involved in Regulation of Gastric Motility Induced by Stimulating Acupoints ST36 or CV12?, *Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine*, 10.1155/2012/787683, 2012, (1-8), (2012). [Crossref²²⁸](#)
- Dominik Irnich, Johannes Fleckenstein, Acupuncture as a fascia-oriented therapy, *Fascia: The Tensional Network of the Human Body*, 10.1016/B978-0-7020-3425-1.00010-6, (349-357), (2012). [Crossref²²⁹](#)
- Byung-Cheon Lee, Zhendong Su, Baekkyoung Sung, Ki Woo Kim, Jin-Myung Cha, Jin-Kyu Lee, Byung-Joon Chang, Kwang-Sup Soh, Network of the Primo Vascular System in the Rat Hypodermis, *The Primo Vascular System*, 10.1007/978-1-4614-0601-3, (139-146), (2012). [Crossref²³⁰](#)
- Kyoung-Hee Bae, Zhendong Su, Kwang-Sup Soh, Hee Min Kwon, Histological Comparison of Primo Nodes in Abdominal Membrane and Lymph Nodes of Rat, *The Primo Vascular System*, 10.1007/978-1-4614-0601-3, (127-131), (2012). [Crossref²³¹](#)
- Yu Bai, Lin Yuan, Yong Huang, Chun-lei Wang, Jun Wang, Jin-peng Wu, Jing-xing Dai, Dong-fei Li, Chun Yang, Mei-chun Yu, Hui-ying Yang, Hui Tao, Ou Sha, David Tai Wai Yew, From the Anatomical Discovery of Meridians and Collaterals to Fasciology Theory, *The Primo Vascular System*, 10.1007/978-1-4614-0601-3, (305-318), (2012). [Crossref²³²](#)
- Wei Yao, Yabei Li, Guanghong Ding, Interstitial Fluid Flow: The Mechanical Environment of Cells and Foundation of Meridians, *Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine*, 10.1155/2012/853516, 2012, (1-9), (2012). [Crossref²³³](#)
- Jungdae Kim, Dae-In Kang, Kwang-Sup Soh, Sungchul Kim, Analysis on Postmortem Tissues at Acupuncture Points in the Image Datasets of Visible Human Project, *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/acm.2010.0850, 18, 2, (120-129), (2012). [Crossref²³⁴](#)
198. <https://doi.org/10.1016/B978-0-7020-4344-4.00018-3>
199. <https://doi.org/10.1016/j.jad.2012.11.058>
200. <https://doi.org/10.1155/2013/739293>
201. <https://doi.org/10.3736/jintegrated2013030>
202. <https://doi.org/10.1089/acu.2012.0929>
203. <https://doi.org/10.1089/acu.2012.0875>
204. <https://doi.org/10.1155/2013/740508>
205. <https://doi.org/10.1016/B978-0-323-07586-2.00048-0>
206. <https://doi.org/10.1089/acu.2012.0902>
207. <https://doi.org/10.1016/B978-0-12-411545-3.00001-8>
208. <https://doi.org/10.1016/B978-0-7020-3108-3.00005-4>
209. <https://doi.org/10.1016/B978-0-7020-3108-3.00003-0>
210. <https://doi.org/10.1089/acm.2012.0097>
211. <https://doi.org/10.1016/j.douleur.2013.01.007>
212. <https://doi.org/10.1007/978-1-4614-3357-6>
213. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/cns.12108>
214. <https://doi.org/10.1179/016164109X12537002793689>
215. <https://doi.org/10.1179/016164107X172220>
216. <https://doi.org/10.1038/nrclinonc.2013.125>
217. <https://doi.org/10.1016/B978-0-7020-3425-1.00049-0>
218. <https://doi.org/10.1037/a0028602>
219. https://doi.org/10.1007/978-94-007-4833-0_14
220. <https://doi.org/10.1089/acu.2011.0861>
221. <https://doi.org/10.1155/2012/372670>
222. <https://doi.org/10.1016/B978-0-7020-3425-1.00009-X>
223. <https://doi.org/10.1016/j.jams.2012.05.001>
224. <https://doi.org/10.1155/2012/781460>
225. <https://doi.org/10.1016/j.imr.2012.10.003>
226. <https://doi.org/10.1159/000335825>
227. <https://doi.org/10.1016/j.explore.2011.12.002>
228. <https://doi.org/10.1155/2012/787683>
229. <https://doi.org/10.1016/B978-0-7020-3425-1.00010-6>
230. <https://doi.org/10.1007/978-1-4614-0601-3>
231. <https://doi.org/10.1007/978-1-4614-0601-3>
232. <https://doi.org/10.1007/978-1-4614-0601-3>
233. <https://doi.org/10.1155/2012/853516>
234. <https://doi.org/10.1089/acm.2010.0850>

- Marcelo L Silva, Josie RT Silva, Wiliam A Prado, The antinociceptive effect of electroacupuncture at different depths of acupoints and under the needling surface, *Chinese Medicine*, 10.1186/1749-8546-7-3, 7, 1, (2012). [Crossref²³⁵](#)
- Hong-Qin Yang, Shu-Sen Xie, Song-Hao Liu, Hui Li, Zhou-Yi Guo, Differences in Optical Transport Properties between Human Meridian and Non-meridian, *The American Journal of Chinese Medicine*, 10.1142/S0192415X07005235, 35, 05, (743-752), (2012). [Crossref²³⁶](#)
- Kaung-Ti Yung, A Birdcage Model for the Chinese Meridian System Part VI: Meridians as the Primary Regulatory System, *The American Journal of Chinese Medicine*, 10.1142/S0192415X05003302, 33, 05, (759-766), (2012). [Crossref²³⁷](#)
- Letter to the Editor, *The American Journal of Chinese Medicine*, 10.1142/S0192415X05003119, 33, 03, (513-515), (2012). [Crossref²³⁸](#)
- A. Paraskeva, A. Melemini, G. Petropoulos, I. Siafaka, A. Fassoulaki, Needling of the Extra 1 Point Decreases BIS Values and Preoperative Anxiety, *The American Journal of Chinese Medicine*, 10.1142/S0192415X04002363, 32, 05, (789-794), (2012). [Crossref²³⁹](#)
- Francisco Abad-Alegria, Carlos Pomarón, About the Neurobiological Foundations of the De-Qi — Stimulus-Response Relation, *The American Journal of Chinese Medicine*, 10.1142/S0192415X04002375, 32, 05, (807-814), (2012). [Crossref²⁴⁰](#)
- Jesse Li-Ling, Human Phenome Based on Traditional Chinese Medicine — A Solution to Congenital Syndromology, *The American Journal of Chinese Medicine*, 10.1142/S0192415X03001594, 31, 06, (991-1000), (2012). [Crossref²⁴¹](#)
- Lisa S. Lancaster, Robert M. Bowker, Acupuncture Points of the Horse's Distal Thoracic Limb: A Neuroanatomic Approach to the Transposition of Traditional Points, *Animals*, 10.3390/ani2030455, 2, 4, (455-471), (2012). [Crossref²⁴²](#)
- Houju Fu, Yuanqiao He, Ying Gao, Yicun Man, Wukun Liu, Hua Hao, Acupuncture on the Endometrial Morphology, the Serum Estradiol and Progesterone Levels, and the Expression of Endometrial Leukaemia-inhibitor Factor and Osteopontin in Rats, *Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine*, 10.1155/2011/606514, 2011, (1-9), (2011). [Crossref²⁴³](#)
- Steven Finando, Donna Finando, Fascia and the mechanism of acupuncture, *Journal of Bodywork and Movement Therapies*, 10.1016/j.jbmt.2010.03.001, 15, 2, (168-176), (2011). [Crossref²⁴⁴](#)
- Hyung-Joo Moon, Yong-Keun Lee, The Relationship Between Dental Occlusion/Temporomandibular Joint Status and General Body Health: Part 2. Fascial Connection of TMJ with Other Parts of the Body, *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/acm.2010.0740, 17, 12, (1119-1124), (2011). [Crossref²⁴⁵](#)
- Yu Bai, Jun Wang, Jin-peng Wu, Jing-xing Dai, Ou Sha, David Tai Wai Yew, Lin Yuan, Qiu-ni Liang, Review of Evidence Suggesting That the Fascia Network Could Be the Anatomical Basis for Acupoints and Meridians in the Human Body, *Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine*, 10.1155/2011/260510, 2011, (1-6), (2011). [Crossref²⁴⁶](#)
- James L. Oschman, Foreword and Special Contribution: The Living Matrix, *Energy Medicine East and West*, 10.1016/B978-0-7020-3571-5.00032-9, (x-xix), (2011). [Crossref²⁴⁷](#)
- Therapie myofaszialer Schmerzsyndrome, Myofasziale Schmerzen und Triggerpunkte, 10.1016/B978-3-437-23095-0.10004-5, (51-91), (2011). [Crossref²⁴⁸](#)
- Xiangeng Zhang, Hui Zhang, Xiaoli Liang, Qin Liu, Miqu Wang, Gynecology and Gynecological Nursing Theories and Practices in Traditional Chinese Medicine: Review on the Ancient Literatures, *Chinese Medicine*, 10.4236/cm.2011.23014, 02, 03, (77-83), (2011). [Crossref²⁴⁹](#)
- Pei-Chi Chou, Heng-Yi Chu, Jaung-Geng Lin, Safe Needling Depth of Acupuncture Points, *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/acm.2010.0192, 17, 3, (199-206), (2011). [Crossref²⁵⁰](#)
- References and further reading, *Energy Medicine East and West*, 10.1016/B978-0-7020-3571-5.00037-8, (339-382), (2011). [Crossref²⁵¹](#)
- Dongming Zhang, Xiaohui Yan, Xinyi Zhang, Chenglin Liu, Ruishan Dang, Tiquiao Xiao, Peiping Zhu, Synchrotron radiation phase-contrast X-ray CT imaging of acupuncture points, *Analytical and Bioanalytical Chemistry*, 10.1007/s00216-011-4913-7, 401, 3, (803-808), (2011). [Crossref²⁵²](#)
- Stéphane J - P. Egot - Lemaire, Marvin C. Ziskin, Dielectric properties of human skin at an acupuncture point in the 50-75 GHz frequency range: A pilot study, *Bioelectromagnetics*, 10.1002/bem.20650, 32, 5, (360-366), (2011). [Wiley Online Library²⁵³](#)
- Chi Eung Danforn Lim, Felix Wu Shun Wong, Warren Smith, Factors influencing the bio-impedance data in tissue segments along the three arm meridians: a pilot study, *TANG [HUMANITAS MEDICINE]*, 10.5667/tang.2011.0004, 1, 1, (7.1-7.9), (2011). [Crossref²⁵⁴](#)
- Luigi Baratto, Laura Calzà, Roberto Capra, Michele Gallimini, Luciana Giardino, Alessandro Giuliani, Luca Lorenzini, Silvano Traverso, Ultra-low-level laser therapy, *Lasers in Medical Science*, 10.1007/s10103-010-0837-2, 26, 1, (103-112), (2010). [Crossref²⁵⁵](#)
- Yavuz Beyazit, Murat Kekilli, Fatma Beyazit, Sticking the pieces together: A unifying hypothesis for the acupuncture meridian pathways and extracellular signalling, *Medical Hypotheses*, 10.1016/j.mehy.2010.01.022, 74, 6, (1088), (2010). [Crossref²⁵⁶](#)
- Hugh Gemmill, Peter Miller, Relative effectiveness and adverse effects of cervical manipulation, mobilisation and the activator instrument in patients with sub-acute non-specific neck pain: results from a stopped randomised trial, *Chiropractic & Osteopathy*, 10.1186/1746-1340-18-20, 18, 1, (2010). [Crossref²⁵⁷](#)
- Peter T. Dorsher, Clinical Equivalence of Laser Needle to Metal Acupuncture Needle in Treating Musculoskeletal Pain: A Pilot Study, *Medical Acupuncture*, 10.1089/acu.2009.0724, 22, 1, (11-17), (2010). [Crossref²⁵⁸](#)
- Marco Antonio Helio da Silva, A Neurosegmental Perspective of the Classical Back Shu Points, *Medical Acupuncture*, 10.1089/acu.2010.0762, 22, 4, (257-264), (2010). [Crossref²⁵⁹](#)
- Laurent Misery, Laurence Potin-Richard, Itch and Acupuncture, *Pruritus*, 10.1007/978-1-84882-322-8, (335-338), (2010). [Crossref²⁶⁰](#)
- Guang Ying Huang, Cui Hong Zheng, Yun Xia Wu, Wei Wang, Involvement of connexin 43 in the acupuncture effect of improving rat blastocyst implantation, Fertility and Sterility, 10.1016/j.fertnstert.2009.09.036, 93, 5, (1715-1717), (2010). [Crossref²⁶¹](#)
- Felix Wu Shun Wong, Chi Eung Danforn Lim, Warren Smith, A New Bioimpedance Research Device (BRD) for Measuring the Electrical Impedance of Acupuncture Meridians, *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/acm.2009.0218, 16, 3, (257-264), (2010). [Crossref²⁶²](#)
- Jennifer A. M. Stone, Peter A. S. Johnstone, Mechanisms of Action for Acupuncture in the Oncology Setting, *Current Treatment Options in Oncology*, 10.1007/s11864-010-0128-y, 11, 3-4, (118-127), (2010). [Crossref²⁶³](#)
- Yu Bai, Lin Yuan, Kwang-Sup Soh, Byung-Cheon Lee, Yong Huang, Chun-lei Wang, Jun Wang, Jin-peng Wu, Jing-xing Dai, Janos Palhalmi, Ou Sha, David Tai Wai Yew, Possible Applications for Fascial Anatomy and Fasciology in Traditional Chinese Medicine, *Journal of Acupuncture and Meridian Studies*, 10.1016/S2005-2901(10)60023-4, 3, 2, (125-132), (2010). [Crossref²⁶⁴](#)
- Peter T. Dorsher, The Languages of Healing: Linked by a Common Thread, *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/acm.2009.0527, 16, 8, (907-913), (2010). [Crossref²⁶⁵](#)
- Fei Zhou, Dengkai Huang YingXia, Neuroanatomic Basis of Acupuncture Points, *Acupuncture Therapy for Neurological Diseases*, 10.1007/978-3-642-10857-0, (32-80), (2010). [Crossref²⁶⁶](#)
- Roeland van Wijk, Jan van der Greef, Eduard van Wijk, Human Ultraweak Photon Emission and the Yin Yang Concept of Chinese Medicine, *Journal of Acupuncture and Meridian Studies*, 10.1016/S2005-2901(10)60041-6, 3, 4, (221-231), (2010). [Crossref²⁶⁷](#)
- Pierre Boutouyrie, Robert Corvisier, Kim-Than Ong, Claire Ulver, Catherine Lassalle, Michel Azizi, Brigitte Laloux, Stéphane Laurent, Acute and chronic effects of acupuncture on radial artery: A randomized double blind study in migraine, *Artery Research*, 10.1016/j.artres.2009.12.003, 4, 1, (7-14), (2010). [Crossref²⁶⁸](#)
- Jun J. Mao, Rahul Kapur, Acupuncture in Primary Care, *Primary Care: Clinics in Office Practice*, 10.1016/j.pocp.2009.09.010, 37, 1, (105-117), (2010). [Crossref²⁶⁹](#)
- Andrew C. Ahn, Min Park, Jessica R. Shaw, Claire A. McManus, Ted J. Kaptchuk, Helene M. Langevin, Electrical Impedance of Acupuncture Meridians: The Relevance of Subcutaneous Collagenous Bands, *PLoS ONE*, 10.1371/journal.pone.0011907, 5, 7, (e11907), (2010). [Crossref²⁷⁰](#)
- Kang Cheng, Chang Hua Zou, Information Models of Acupuncture Analgesia and Meridian Channels, *Information*, 10.3390/info1020153, 1, 2, (153-168), (2010). [Crossref²⁷¹](#)
- Peter T. Dorsher, Myofascial Meridians as Anatomical Evidence of Acupuncture Channels, *Medical Acupuncture*, 10.1089/acu.2009.0631, 21, 2, (91-97), (2009). [Crossref²⁷²](#)
- Kwang-Sup Soh, Bonghan Circulatory System as an Extension of Acupuncture Meridians, *Journal of Acupuncture and Meridian Studies*, 10.1016/S2005-2901(09)60041-8, 2, 2, (93-106), (2009). [Crossref²⁷³](#)
- Peter T. Dorsher, Myofascial Referred-Pain Data Provide Physiologic Evidence of Acupuncture Meridians, *The Journal of Pain*, 10.1016/j.jpain.2008.12.010, 10, 7, (723-731), (2009). [Crossref²⁷⁴](#)

235. <https://doi.org/10.1186/1749-8546-7-3>236. <https://doi.org/10.1142/S0192415X07005235>237. <https://doi.org/10.1142/S0192415X05003302>238. <https://doi.org/10.1142/S0192415X05003119>239. <https://doi.org/10.1142/S0192415X04002363>240. <https://doi.org/10.1142/S0192415X04002375>241. <https://doi.org/10.1142/S0192415X03001594>242. <https://doi.org/10.3390/ani2030455>243. <https://doi.org/10.1155/2011/606514>244. <https://doi.org/10.1016/j.jbmt.2010.03.001>245. <https://doi.org/10.1089/acm.2010.0740>246. <https://doi.org/10.1155/2011/260510>247. <https://doi.org/10.1016/B978-0-7020-3571-5.00032-9>248. <https://doi.org/10.1016/B978-3-437-23095-0.10004-5>249. <https://doi.org/10.4236/cm.2011.23014>250. <https://doi.org/10.1089/acm.2010.0192>251. <https://doi.org/10.1016/B978-0-7020-3571-5.00037-8>252. <https://doi.org/10.1007/s00216-011-4913-7>253. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/bem.20650>254. <https://doi.org/10.5667/tang.2011.0004>255. <https://doi.org/10.1007/s10103-010-0837-2>256. <https://doi.org/10.1016/j.mehy.2010.01.022>257. <https://doi.org/10.1186/1746-1340-18-20>258. <https://doi.org/10.1089/acu.2009.0724>259. <https://doi.org/10.1089/acu.2010.0762>260. <https://doi.org/10.1007/978-1-84882-322-8>261. <https://doi.org/10.1016/j.fertnstert.2009.09.036>262. <https://doi.org/10.1089/acm.2009.0218>263. <https://doi.org/10.1007/s11864-010-0128-y>264. [https://doi.org/10.1016/S2005-2901\(10\)60023-4](https://doi.org/10.1016/S2005-2901(10)60023-4)265. <https://doi.org/10.1089/acm.2009.0527>266. <https://doi.org/10.1007/978-3-642-10857-0>267. [https://doi.org/10.1016/S2005-2901\(10\)60041-6](https://doi.org/10.1016/S2005-2901(10)60041-6)268. <https://doi.org/10.1016/j.artres.2009.12.003>269. <https://doi.org/10.1016/j.pocp.2009.09.010>270. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0011907>271. <https://doi.org/10.3390/info1020153>272. <https://doi.org/10.1089/acu.2009.0631>273. [https://doi.org/10.1016/S2005-2901\(09\)60041-8](https://doi.org/10.1016/S2005-2901(09)60041-8)274. <https://doi.org/10.1016/j.jpain.2008.12.010>

- Charles Shang, Prospective Tests on Biological Models of Acupuncture, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine, 10.1093/ecam/nem122, 6, 1, (31-39), (2009). [Crossref²⁷⁵](#)
- Antonio Stecco, Veronica Macchi, Carla Stecco, Andrea Porziano, Julie Ann Day, Vincent Delmas, Raffaele De Caro, Anatomical study of myofascial continuity in the anterior region of the upper limb, Journal of Bodywork and Movement Therapies, 10.1016/j.jbmt.2007.04.009, 13, 1, (53-62), (2009). [Crossref²⁷⁶](#)
- Sang-Hyun Park, Jungdae Kim, Tae-Hoi Koo, Magneto-Acupuncture Stimuli Effects on Ultraweak Photon Emission from Hands of Healthy Persons, Journal of Acupuncture and Meridian Studies, 10.1016/S2005-2901(09)60014-5, 2, 1, (40-48), (2009). [Crossref²⁷⁷](#)
- James L. Oschman, Charge transfer in the living matrix, Journal of Bodywork and Movement Therapies, 10.1016/j.jbmt.2008.06.005, 13, 3, (215-228), (2009). [Crossref²⁷⁸](#)
- Hsiao-Neng Chen, Jaung-Geng Lin, Li-Chih Ying, Chen-Chai Huang, Chuan-Hsiung Lin, The Therapeutic Depth of Abdominal Acupuncture Points Approaches the Safe Depth in Overweight and in Older Children, The Journal of Alternative and Complementary Medicine, 10.1089/acm.2008.0582, 15, 9, (1033-1037), (2009). [Crossref²⁷⁹](#)
- Sallie Stoltz Denner, The Science of Energy Therapies and Contemplative Practice, Holistic Nursing Practice, 10.1097/HNP.0b013e3181b3784, 23, 6, (315-334), (2009). [Crossref²⁸⁰](#)
- N. Ospina-Díaz, Introducción a la acupuntura. Fundamentos e interés para el médico de Atención Primaria, SEMERGEN - Medicina de Familia, 10.1016/S1138-3593(09)72675-9, 35, 8, (380-384), (2009). [Crossref²⁸¹](#)
- Suzanne McDonough, Jongbae Park, Jing Yuan, Purepong Nithima, Daniel P. Kerr, Letters, Spine, 10.1097/BRS.0b013e31819d071c, 34, 7, (753), (2009). [Crossref²⁸²](#)
- Charles Shang, Has Basic Acupuncture Research Met the Gold Standard of Science?, Medical Acupuncture, 10.1089/acu.2009.715, 21, 3, (191-200), (2009). [Crossref²⁸³](#)
- Xiaohui Yan, Xinyi Zhang, Chenglin Liu, Ruishan Dang, Yuying Huang, Wei He, Guanghong Ding, Do acupuncture points exist?, Physics in Medicine and Biology, 10.1088/0031-9155/54/9/N01, 54, 9, (N143-N150), (2009). [Crossref²⁸⁴](#)
- Xiaojia Yu, Guanghong Ding, Hong Huang, Jun Lin, Wei Yao, Rui Zhan, Role of Collagen Fibers in Acupuncture Analgesia Therapy on Rats, Connective Tissue Research, 10.1080/03008200802471856, 50, 2, (110-120), (2009). [Crossref²⁸⁵](#)
- James J. Mao, Deborah W. Bruner, Carrie Stricker, John T. Farrar, Sharon X. Xie, Marjorie A. Bowman, Donna Pucci Xiaoyan Han, Angela DeMichele, Feasibility Trial of Electroacupuncture for Aromatase Inhibitor-Related Arthralgia in Breast Cancer Survivors, Integrative Cancer Therapies, 10.1177/1534735409332903, 8, 2, (123-129), (2009). [Crossref²⁸⁶](#)
- HongQin Yang, ShuSen Xie, Hui Li, YuHua Wang, On optics of human meridians, Science in China Series G: Physics, Mechanics and Astronomy, 10.1007/s11433-009-0080-7, 52, 4, (502-507), (2009). [Crossref²⁸⁷](#)
- Dietrich H.W. Groenemeyer, Lei Zhang, Sven Schirp, Jürgen Baier, Localization of Acupuncture Points BL25 and BL26 Using Computed Tomography, The Journal of Alternative and Complementary Medicine, 10.1089/acm.2007.7118-O, 15, 12, (1285-1291), (2009). [Crossref²⁸⁸](#)
- Mike Benjamin, The fascia of the limbs and back – a review, Journal of Anatomy, 10.1111/j.1469-7580.2008.01011.x, 214, 1, (1-18), (2008). [Wiley Online Library²⁸⁹](#)
- Jesse Li-Ling, Yiyang Wu, Congenital Syndromes Involving the Lungs: Pathogenetic Models Based on Chinese Medicine Theories, The Journal of Alternative and Complementary Medicine, 10.1089/acm.2008.0115, 14, 8, (1017-1025), (2008). [Crossref²⁹⁰](#)
- Byung-Cheon Lee, Tae-Jeong Nam, Hyeon-Min Johng, Eun-Sung Park, Ku-Youn Baik, Baec-Kyung Sung, Kyung-Soon Soh, Yeo-Sung Yoon, Kwang-Sup Soh, Argyrophilic Fibers of Intravascular Threadlike Structures in Rat, Journal of Korean Institute of Herbal Acupuncture, 10.3831/KPI.2008.11.3.005, 11, 3, (5-16), (2008). [Crossref²⁹¹](#)
- Di Zhang, Guanghong Ding, Xueying Shen, Wei Yao, Zhiying Zhang, Yuqing Zhang, Jun Lin, Quanbao Gu, Role of Mast Cells in Acupuncture Effect: A Pilot Study, EXPLORE, 10.1016/j.explore.2008.02.002, 4, 3, (170-177), (2008). [Crossref²⁹²](#)
- Stephen M. Sagar, Acupuncture as an Evidence-Based Option for Symptom Control in Cancer Patients, Current Treatment Options in Oncology, 10.1007/s11864-008-0063-3, 9, 2-3, (117-126), (2008). [Crossref²⁹³](#)
- M. Miguel-Pérez, J.C. Ortiz-Sagrístá, A. Pérez-Bellmunt, R. Ramos-Izquierdo, A. García-Fernández, Descripción anatómica de puntos de acupuntura en la extremidad inferior, Revista Internacional de Acupuntura, 10.1016/S1887-8369(08)70031-0, 2, 2, (126-131), (2008). [Crossref²⁹⁴](#)
- Marcus Bäcker, Paul Grossman, Jens Schneider, Andreas Michalsen, Nicola Knoblauch, Linda Tan, Corinna Niggemeyer, Klaus Linde, Dieter Melchart, Gustav J. Dobos, Acupuncture in Migraine, The Clinical Journal of Pain, 10.1097/AJP.0b013e318159f95e, 24, 2, (106-115), (2008). [Crossref²⁹⁵](#)
- Peter T. Dorsher, Optimal Localization of Acupuncture Points: Implications for Acupuncture Practice, Education, and Research, Medical Acupuncture, 10.1089/acu.2008.0621, 20, 3, (147-150), (2008). [Crossref²⁹⁶](#)
- Byung-Cheon Lee, Vyacheslav Ogay, Ki Woo Kim, Yuwon Lee, Jin-Kyu Lee, Kwang-Sup Soh, Acupuncture Muscle Channel in the Subcutaneous Layer of Rat Skin, Journal of Acupuncture and Meridian Studies, 10.1016/S2005-2901(09)60002-9, 1, 1, (13-19), (2008). [Crossref²⁹⁷](#)
- Agatha P. Colbert, Jinkook Yun, Adrian Larsen, Tracy Edinger, William L. Gregory, Tran Thong, Skin Impedance Measurements for Acupuncture Research: Development of a Continuous Recording System, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine, 10.1093/ecam/nem060, 5, 4, (443-450), (2008). [Crossref²⁹⁸](#)
- Hugh MacPherson, Richard Nahin, Charlotte Paterson, Claire M. Cassidy, George T. Lewith, Richard Hammerschlag, Developments in Acupuncture Research: Big-Picture Perspectives from the Leading Edge, The Journal of Alternative and Complementary Medicine, 10.1089/acm.2008.SAR-5, 14, 7, (883-887), (2008). [Crossref²⁹⁹](#)
- Vyacheslav Ogay, Min Su Kim, Hyo Jun Seok, Cheon Joo Choi, Kwang-Sup Soh, Catecholamine-storing Cells at Acupuncture Points of Rabbits, Journal of Acupuncture and Meridian Studies, 10.1016/S2005-2901(09)60027-3, 1, 2, (83-90), (2008). [Crossref³⁰⁰](#)
- J. Giebel, Mecanotransducción y transducción de señales a través del tejido conjuntivo, Revista Internacional de Acupuntura, 10.1016/S1887-8369(08)70003-6, 2, 1, (9-14), (2008). [Crossref³⁰¹](#)
- Sheng-Hsiung Hsiao, Li-Jen Tsai, A Neurovascular Transmission Model for Acupuncture-induced Nitric Oxide, Journal of Acupuncture and Meridian Studies, 10.1016/S2005-2901(09)60006-6, 1, 1, (42-50), (2008). [Crossref³⁰²](#)
- Vitaly Napadow, Andrew Ahn, John Longhurst, Lixing Lao, Elisabet Stener-Victorin, Richard Harris, Helene M. Langevin, The Status and Future of Acupuncture Mechanism Research, The Journal of Alternative and Complementary Medicine, 10.1089/acm.2008.SAR-3, 14, 7, (861-869), (2008). [Crossref³⁰³](#)
- Hong-Yi Li, Jie-Fu Yang, Min Chen, Liang Xu, Wen-Chao Wang, Fang Wang, Jia-Bin Tong, Chuan-Yu Wang, Visualized Regional Hypodermic Migration Channels of Interstitial Fluid in Human Beings: Are These Ancient Meridians?, The Journal of Alternative and Complementary Medicine, 10.1089/acm.2007.0606, 14, 6, (621-628), (2008). [Crossref³⁰⁴](#)
- Rosa N. Schnyer, Stephen Birch, Hugh MacPherson, Acupuncture practice as the foundation for clinical evaluation, Acupuncture Research, 10.1016/B978-044310029-1.50013-9, (153-179), (2008). [Crossref³⁰⁵](#)
- Richard Hammerschlag, Hélène M. Langevin, Lixing Lao, George Lewith, Physiological dynamics of acupuncture: correlations and mechanisms, Acupuncture Research, 10.1016/B978-044310029-1.50014-0, (181-197), (2008). [Crossref³⁰⁶](#)
- Paul Orrock, Eric Blake, Leon Chaitow, Roger Newman Turner, Naturopathic Physical Medicine, Naturopathic Physical Medicine, 10.1016/B978-044310390-2.50009-2, (75-100), (2008). [Crossref³⁰⁷](#)
- Andrew C. Ahn, Agatha P. Colbert, Belinda J. Anderson, Ørjan G. Martinsen, Richard Hammerschlag, Steve Cina, Peter M. Wayne, Helene M. Langevin, Electrical properties of acupuncture points and meridians: A systematic review, Bioelectromagnetics, 10.1002/bem.20403, 29, 4, (245-256), (2008). [Wiley Online Library³⁰⁸](#)
- Margaret Julias, Lowell T Edgar, Helen M Buettner, David I Shreiber, An in vitro assay of collagen fiber alignment by acupuncture needle rotation, BioMedical Engineering Online, 10.1186/1475-925X-7-19, 7, 1, (2008). [Crossref³⁰⁹](#)
- Kell N. Julliard, Claudia Citkowitz, Douglas McDaniel, Towards a Model for Planning Clinical Research in Oriental Medicine, EXPLORE, 10.1016/j.explore.2006.12.002, 3, 2, (118-128), (2007). [Crossref³¹⁰](#)
- Arya Nielsen, Nicola T.M. Knoblauch, Gustav J. Dobos, Andreas Michalsen, Ted J. Kaptchuk, The Effect of Gua Sha Treatment on the Microcirculation of Surface Tissue: A Pilot Study in Healthy Subjects, EXPLORE, 10.1016/j.explore.2007.06.001, 3, 5, (456-466), (2007). [Crossref³¹¹](#)
- Roy Moncayo, Ansgar Rudisch, Markus Diemling, Christian Kremser, In-vivo visualisation of the anatomical structures related to the acupuncture points Dai mai and Shen mai by MRI: A single-case pilot study, BMC Medical Imaging, 10.1186/1471-2342-7-4, 7, 1, (2007). [Crossref³¹²](#)
275. <https://doi.org/10.1093/ecam/nem122>
276. <https://doi.org/10.1016/j.jbmt.2007.04.009>
277. [https://doi.org/10.1016/S2005-2901\(09\)60014-5](https://doi.org/10.1016/S2005-2901(09)60014-5)
278. <https://doi.org/10.1016/j.jbmt.2008.06.005>
279. <https://doi.org/10.1089/acm.2008.0582>
280. <https://doi.org/10.1097/HNP.0b013e3181b3784>
281. [https://doi.org/10.1016/S1138-3593\(09\)72675-9](https://doi.org/10.1016/S1138-3593(09)72675-9)
282. <https://doi.org/10.1097/BRS.0b013e31819d071c>
283. <https://doi.org/10.1089/acu.2009.715>
284. <https://doi.org/10.1088/0031-9155/54/9/N01>
285. <https://doi.org/10.1080/03008200802471856>
286. <https://doi.org/10.1177/1534735409332903>
287. <https://doi.org/10.1007/s11433-009-0080-7>
288. <https://doi.org/10.1089/acm.2007.7118-O>
289. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/j.1469-7580.2008.01011.x>
290. <https://doi.org/10.1089/acm.2008.0115>
291. <https://doi.org/10.3831/KPI.2008.11.3.005>
292. <https://doi.org/10.1016/j.explore.2008.02.002>
293. <https://doi.org/10.1007/s11864-008-0063-3>
294. [https://doi.org/10.1016/S1887-8369\(08\)70031-0](https://doi.org/10.1016/S1887-8369(08)70031-0)
295. <https://doi.org/10.1097/AJP.0b013e318159f95e>
296. <https://doi.org/10.1089/acu.2008.0621>
297. [https://doi.org/10.1016/S2005-2901\(09\)60002-9](https://doi.org/10.1016/S2005-2901(09)60002-9)
298. <https://doi.org/10.1093/ecam/nem060>
299. <https://doi.org/10.1089/acm.2008.SAR-5>
300. [https://doi.org/10.1016/S2005-2901\(09\)60027-3](https://doi.org/10.1016/S2005-2901(09)60027-3)
301. [https://doi.org/10.1016/S1887-8369\(08\)70003-6](https://doi.org/10.1016/S1887-8369(08)70003-6)
302. [https://doi.org/10.1016/S2005-2901\(09\)60006-6](https://doi.org/10.1016/S2005-2901(09)60006-6)
303. <https://doi.org/10.1089/acm.2008.SAR-3>
304. <https://doi.org/10.1089/acm.2007.0606>
305. <https://doi.org/10.1016/B978-044310029-1.50013-9>
306. <https://doi.org/10.1016/B978-044310029-1.50014-0>
307. <https://doi.org/10.1016/B978-044310390-2.50009-2>
308. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/bem.20403>
309. <https://doi.org/10.1186/1475-925X-7-19>
310. <https://doi.org/10.1016/j.explore.2006.12.002>
311. <https://doi.org/10.1016/j.explore.2007.06.001>
312. <https://doi.org/10.1186/1471-2342-7-4>

- J. Giebel, Mechanotransduktion und Signaltransduktion über das Bindegewebe – Mechanismen zur Erklärung des therapeutischen Effekts der Akupunktur?, *Deutsche Zeitschrift für Akupunktur*, 10.1078/0415-6412-00281, 50, 3, (6-10), (2007). [Crossref³¹³](#)
- Roy Moncayo, Ansgar Rudisch, Christian Kremser, Helga Moncayo, 3D-MRI rendering of the anatomical structures related to acupuncture points of the Dai mai, Yin qiao mai and Yang qiao mai meridians within the context of the WOMED concept of lateral tension: implications for musculoskeletal disease, *BMC Musculoskeletal Disorders*, 10.1186/1471-2474-8-33, 8, 1, (2007). [Crossref³¹⁴](#)
- Helene M. Langevin, Nicole A. Bouffard, David L. Churchill, Gary J. Badger, Connective Tissue Fibroblast Response to Acupuncture: Dose-Dependent Effect of Bidirectional Needle Rotation, *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/acm.2007.6351, 13, 3, (355-360), (2007). [Crossref³¹⁵](#)
- Yong-Hui Han, Joon-Mo Yang, Min-Su Kim, Kwang-Sup Soh, Detection of the acupuncture points in Skin by differential path-length spectroscopy, *World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering 2006*, 10.1007/978-3-540-36841-0, (3572-3575), (2007). [Crossref³¹⁶](#)
- Min-Su Kim, Vyacheslav Ogay, Yong-Hui Han, Hak-Soo Shin, Byung-Cheon Lee, Kwang-Sup Soh, Alcian Blue Staining Technique for Tracing the Governing Vessel (GV) Meridian in Rat, *World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering 2006*, 10.1007/978-3-540-36841-0, (3576-3579), (2007). [Crossref³¹⁷](#)
- Miguel-Pérez Maribel, Ortiz-Sagrístia Joan Carles, Pérez-Bellmunt Albert, Buxeda Mónica, Cuni Laura, García-Fernández Alicia, Descripción anatómica de puntos de acupuntura en la extremidad superior, *Revista Internacional de Acupuntura*, 10.1016/S1887-8369(07)70217-X, 1, 2, (53-57), (2007). [Crossref³¹⁸](#)
- Yury P. Limansky, Serge A. Gulyar, Ivan Z. Samosyuk, Scientific basis of acupuncture, *Kontakt*, 10.32725/kont.2007.060, 9, 2, (391-402), (2007). [Crossref³¹⁹](#)
- Leon Chaitow, Fascia 2007 Congress, *Journal of Bodywork and Movement Therapies*, 10.1016/j.jbmt.2006.07.004, 10, 4, (249-250), (2006). [Crossref³²⁰](#)
- Helene M. Langevin, Connective tissue: A body-wide signaling network?, *Medical Hypotheses*, 10.1016/j.mehy.2005.12.032, 66, 6, (1074-1077), (2006). [Crossref³²¹](#)
- Albert Y. Leung, Jun Park, Gery Schulteis, Jeng-Ren Duann, Tony Yaksh, The Electrophysiology of De Qi Sensations, *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/acm.2006.12.743, 12, 8, (743-750), (2006). [Crossref³²²](#)
- Acupuncture, *Obstetrics & Gynecology*, 10.1097/01.AOG.0000239498.38595.41, 108, 4, (1024-1026), (2006). [Crossref³²³](#)
- Jeanne L. Shea, Applying Evidence-Based Medicine to Traditional Chinese Medicine: Debate and Strategy, *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/acm.2006.12.255, 12, 3, (255-263), (2006). [Crossref³²⁴](#)
- Grigory V. Chernyak, Daniel I. Sessler, Perioperative Acupuncture and Related Techniques, *Anesthesiology*, 10.1097/0000542-200505000-00024, 102, 5, (1031-1049), (2005). [Crossref³²⁵](#)
- Grigory Chernyak, Papiya Sengupta, Rainer Lenhardt, Edwin Liem, Anthony G. Doufas, Daniel I. Sessler, Ozan Ak?za, The Timing of Acupuncture Stimulation Does Not Influence Anesthetic Requirement, *Anesthesia & Analgesia*, 10.1213/01.ANE.0000142114.72117.E0, 100, 2, (387-392), (2005). [Crossref³²⁶](#)
- Gabriela E. Garcia, Sheng-Xing Ma, Lili Feng, Acupuncture and Kidney Disease, *Advances in Chronic Kidney Disease*, 10.1016/j.ackd.2005.04.002, 12, 3, (282-291), (2005). [Crossref³²⁷](#)
- Andrew C. Ahn, Junru Wu, Gary J. Badger, Richard Hammerschlag, Helene M. Langevin, Electrical impedance along connective tissue planes associated with acupuncture meridians, *BMC Complementary and Alternative Medicine*, 10.1186/1472-6882-5-10, 5, 1, (2005). [Crossref³²⁸](#)
- E.E. Konofagou, H.M. Langevin, Using ultrasound to understand acupuncture, *IEEE Engineering in Medicine and Biology Magazine*, 10.1109/EMEMB.2005.1411347, 24, 2, (41-46), (2005). [Crossref³²⁹](#)
- R. Schleip, W. Klingler, F. Lehmann-Horn, Active fascial contractility: Fascia may be able to contract in a smooth muscle-like manner and thereby influence musculoskeletal dynamics, *Medical Hypotheses*, 10.1016/j.mehy.2005.03.005, 65, 2, (273-277), (2005). [Crossref³³⁰](#)
- Paulo H. Hashimoto, The perineurial vessel: A possible candidate for the structural basis of the meridian (Jing - Luo) in Chinese medicine*, *Anatomical Science International*, 10.1111/j.1447-073X.2005.00118.x, 80, 4, (177-180), (2005). [Wiley Online Library³³¹](#)
- Dina Ralt, Intercellular communication, NO and the biology of Chinese medicine, *Cell Communication and Signaling*, 10.1186/1478-811X-3-8, 3, 1, (2005). [Crossref³³²](#)
313. <https://doi.org/10.1078/0415-6412-00281>
314. <https://doi.org/10.1186/1471-2474-8-33>
315. <https://doi.org/10.1089/acm.2007.6351>
316. <https://doi.org/10.1007/978-3-540-36841-0>
317. <https://doi.org/10.1007/978-3-540-36841-0>
318. [https://doi.org/10.1016/S1887-8369\(07\)70217-X](https://doi.org/10.1016/S1887-8369(07)70217-X)
319. <https://doi.org/10.32725/kont.2007.060>
320. <https://doi.org/10.1016/j.jbmt.2006.07.004>
321. <https://doi.org/10.1016/j.mehy.2005.12.032>
322. <https://doi.org/10.1089/acm.2006.12.743>
323. <https://doi.org/10.1097/01.AOG.0000239498.38595.41>
324. <https://doi.org/10.1089/acm.2006.12.255>
325. <https://doi.org/10.1097/0000542-200505000-00024>
326. <https://doi.org/10.1213/01.ANE.0000142114.72117.E0>
327. <https://doi.org/10.1016/j.ackd.2005.04.002>
328. <https://doi.org/10.1186/1472-6882-5-10>
329. <https://doi.org/10.1109/EMEMB.2005.1411347>
330. <https://doi.org/10.1016/j.mehy.2005.03.005>
331. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/j.1447-073X.2005.00118.x>
332. <https://doi.org/10.1186/1478-811X-3-8>
- Ai-Hui Li, Jun-Ming Zhang, Yi-Kuan Xie, Human acupuncture points mapped in rats are associated with excitable muscle/skin-nerve complexes with enriched nerve endings, *Brain Research*, 10.1016/j.brainres.2004.04.009, 1012, 1-2, (154-159), (2004). [Crossref³³³](#)
- Kaung-Ti Yung, A Birdcage Model for the Chinese Meridian System Part II: The Meridian System as a Birdcage Resonator, *The American Journal of Chinese Medicine*, 10.1142/S0192415X04002582, 32, 06, (985-997), (2004). [Crossref³³⁴](#)
- J. P. Jones, Y. K. Bae, L. Wilson, C. S. So, D. D. Kidney, Ultrasonic Imaging and Characterization of Acupuncture Points in Classical Oriental Medicine, *Acoustical Imaging*, 10.1007/978-1-4020-2402-3_66, (527-533), (2004). [Crossref³³⁵](#)
- Helene M. Langevin, Elisa E. Konofagou, Gary J. Badger, David L. Churchill, James R. Fox, Jonathan Ophir, Brian S. Garra, Tissue displacements during acupuncture using ultrasound elastography techniques, *Ultrasound in Medicine & Biology*, 10.1016/j.ultrasmedbio.2004.07.010, 30, 9, (1173-1183), (2004). [Crossref³³⁶](#)
- M. Bäcker, I.K. Gareus, N.T.M. Knoblauch, A. Michalsen, G.J. Dobos, Akupunktur in der Schmerztherapie – Hypothese zu adaptiven Prozessen, *Complementary Medicine Research*, 10.1159/000082815, 11, 6, (335-345), (2004). [Crossref³³⁷](#)
- Opher Caspi, Cari Stelhorn, Melinda Connor, Sham in CAM, *Evidence-Based Integrative Medicine*, 10.2165/01197065-200401040-00002, 1, 4, (233-240), (2004). [Crossref³³⁸](#)
- Bruce D. Curtis, J.J. Hurtak, Consciousness and Quantum Information Processing: Uncovering the Foundation for a Medicine of Light, *The Journal of Alternative and Complementary Medicine*, 10.1089/10755304322848931, 10, 1, (27-39), (2004). [Crossref³³⁹](#)
- E.E. Konofagou, G.J. Badger, B.S. Garra, H.M. Langevin, *IEEE Symposium on Ultrasonics*, 2003, 10.1109/ULTSYM.2003.1293138, (1288-1291), (2003). [Crossref³⁴⁰](#)
- Leon Chaitow, Judith DeLany, Neuromuscular Techniques in Orthopedics, *Techniques in Orthopaedics*, 10.1097/00013611-200303000-00013, 18, 1, (74-86), (2003). [Crossref³⁴¹](#)
- LiteratureWatch, *Alternative and Complementary Therapies*, 10.1089/10762800360520811, 9, 1, (49-50), (2003). [Crossref³⁴²](#)
- Michael McCarthy, Palpatory literacy, Chinese therapeutic bodywork (Tui Na) and the remediation of head, neck and shoulder pain, *Journal of Bodywork and Movement Therapies*, 10.1016/S1360-8592(03)00044-5, 7, 4, (262-277), (2003). [Crossref³⁴³](#)
- Leon Chaitow, What binds us together?, *Journal of Bodywork and Movement Therapies*, 10.1016/S1360-8592(03)00020-2, 7, 2, (69-70), (2003). [Crossref³⁴⁴](#)
- Joshi, Narahari & Mbbs, Msc & Pa'ez, Ximena & Araque, MBBS. (2012). Electroacupuncture Effects on the Disintegration of Beta Amyloid Sheets: Its Application to Alzheimer's Disease. *Medical Acupuncture*. 24. 145. 10.1089/acu.2012.0873. [ResearchGate³⁴⁵](#)
- ## HRV、アーユルヴェーダ
- Ram Manohar, P., Sorokin, O., Chacko, J., & Nampoothiri, V. (2018). An exploratory clinical study to determine the utility of heart rate variability analysis in the assessment of dosha imbalance. *Journal of Ayurveda and integrative medicine*, 9(2), 126–130. [Crossref³⁴⁶](#)
- Travis F.T., Wallace R.K. Doşa brain-types: a neural model of individual differences. *J Ayurveda Integr Med*. 2015;6(4):280–285. [PMC³⁴⁷](#) - [PubMed³⁴⁸](#)
- Tyagi A., Cohen M. Yoga and heart rate variability: a comprehensive review of the literature. *Int J Yoga*. 2016;9(2):97–113. [PMC³⁴⁹](#) - [PubMed³⁵⁰](#)
- Masel E., Huber P., Engler T., Herbert Watzke H.H. Heart rate variability during treatment of breakthrough pain in patients with advanced cancer: a pilot study. *J Pain Res*. 2016 Dec;9:1215–1220. [PMC³⁵¹](#) - [PubMed³⁵²](#)
- Kim E.-H., Park J.-H., Lee S.M., Gwak M.-S., Kim G.-S., Kim M.-H. Preoperative depressed mood and perioperative heart rate variability in patients with hepatic cancer. *J Clin Anesth*. 2016 Dec;35:332–338. [PubMed³⁵³](#)
333. <https://doi.org/10.1016/j.brainres.2004.04.009>
334. <https://doi.org/10.1142/S0192415X04002582>
335. https://doi.org/10.1007/978-1-4020-2402-3_66
336. <https://doi.org/10.1016/j.ultrasmedbio.2004.07.010>
337. <https://doi.org/10.1159/000082815>
338. <https://doi.org/10.2165/01197065-200401040-00002>
339. <https://doi.org/10.1089/10755304322848931>
340. <https://doi.org/10.1109/ULTSYM.2003.1293138>
341. <https://doi.org/10.1097/00013611-200303000-00013>
342. <https://doi.org/10.1089/10762800360520811>
343. [https://doi.org/10.1016/S1360-8592\(03\)00044-5](https://doi.org/10.1016/S1360-8592(03)00044-5)
344. [https://doi.org/10.1016/S1360-8592\(03\)00020-2](https://doi.org/10.1016/S1360-8592(03)00020-2)
345. https://www.researchgate.net/publication/236897521_Electroacupuncture_Effects_on_the_Disintegration_of_Beta_Amyloid_Sheets_Its_Application_to_Alzheimer's_Disease
346. <https://doi.org/10.1016/j.jaim.2017.06.008>
347. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc4719489/>
348. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/26834428/>
349. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc4959333/>
350. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/27512317/>
351. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc5161332/>
352. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/28003771/>
353. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/27871552/>

- Koszewicz M., Michalak S., Bilinska M., Budrewicz S., Zaborowski M., Slotwinski K. Profile of autonomic dysfunctions in patients with primary brain tumor and possible autoimmunity. *Clin Neurol Neurosurg.* 2016 Dec;151:51–54. [PubMed³⁵⁴](#)
- Rastogi, S., & Singh, R. H. (2021). Principle of Hot (Ushna) and Cold (Sheeta) and Its Clinical Application in Ayurvedic Medicine. *Advances in experimental medicine and biology*, 1343, 39–55. [Crossref³⁵⁵](#)
- Mills, P. J., Peterson, C. T., Wilson, K. L., Pung, M. A., Patel, S., Weiss, L., Kshirsagar, S. G., Tanzi, R. E., & Chopra, D. (2019). Relationships among classifications of ayurvedic medicine diagnostics for imbalances and western measures of psychological states: An exploratory study. *Journal of Ayurveda and integrative medicine*, 10 (3), 198–202. [Crossref³⁵⁶](#)
- Pandey M.M., Rastogi S., Rawat A.K. Indian traditional ayurvedic system of medicine and nutritional supplementation. *Evid Based Complement Alternat Med.* 2013;2013:376327. - [PMC³⁵⁷](#) - [PubMed³⁵⁸](#)
- Chopra A., Doiphode V.V. Ayurvedic medicine. Core concept, therapeutic principles, and current relevance. *Med Clin North Am.* 2002;86(1):75–89. vii. - [PubMed³⁵⁹](#)
- Zhou X., Ma Z., Zhang L., Zhou S., Wang J., Wang B. Heart rate variability in the prediction of survival in patients with cancer: a systematic review and meta-analysis. *J Psychosom Res.* 2016 Oct;89:20–25. - [PubMed³⁶⁰](#)
- Taffe L., Stancil K., Bond V., Pemminati S., Gorantla V.R., Kadur K. Differentiation of overweight from normal weight young adults by postprandial heart rate variability and systolic blood pressure. *J Clin Diagnostic Res.* 2016 Aug;10(8):CC01–CC06. - [PMC³⁶¹](#) - [PubMed³⁶²](#)
- Gupta J., Dube A., Singh V., Gupta R.C. Spectral analysis of heart rate variability in bronchial asthma patients. *Indian J Physiol Pharmacol.* 2012;56(4):330–336. - [PubMed³⁶³](#)
- Sorokin O.V., Subotyalov M.A. Material of the all-Russian scientific and practical conference with international presence, October 26–27, 2011 Kemerovo, Russia. 2011. Comparative medical research of VedaPulse hardware and software kit // Health maintaining activities in educational system: theory and practice; pp. 225–230.
- Kelkar P., Karamchandani S., Jinda S. Proceedings of conference on advance applications in physiological variability. BARC. 2010. Identifying tridosha for disease characterisation in morphology of an IPG pulse waveform.
- Singh Harupjit. Thapar University; Patiala: 2016. Relationship between three ayurvedic doshas and heart rate variability frequency bands: a pilot study.
- Deshpande H., Shivakumar, Kavita M.B., Tripathy T.B., Chaturvedi A. Healthcare and disease management in Ayurveda. *Altern Ther Health Med.* 2001;7(2):44–50. - [PubMed³⁶⁴](#)
- Anthony J.V., Joanne M.G. Understanding interobserver agreement: the kappa statistic. *Fam Med.* 2005 May;37(5):360–363. - [PubMed³⁶⁵](#)
- Telles S., Pathak S., Kumar A., Mishra P., Balkrishna A. Ayurvedic doshas as predictors of sleep quality. *Med Sci Monit.* 2015;21:1421–1427. - [PMC³⁶⁶](#) - [PubMed³⁶⁷](#)
- Bell C., Heidel R.E., Sunega J., Drisko J. Ancient wisdom. Can ayurvedic prakriti provide invaluable insights into integrative medicine? *Ayurveda J Health.* 2017;27:27–34.
- Cohen S., Kamarck T., Mermelstein R. A global measure of perceived stress. *J Health Soc Behav.* 1983;24(4):385–396. - [PubMed³⁶⁸](#)
- Travis F.T., Wallace R.K. Dasha brain-types: a neural model of individual differences. *J Ayurveda Integr Med.* 2015;6(4):280–285. - [PMC³⁶⁹](#) - [PubMed³⁷⁰](#)
- Dey S, Pahwa P. Prakriti and its associations with metabolism, chronic diseases, and genotypes: possibilities of new born screening and a lifetime of personalized prevention. *J Ayurveda Integr Med.* 2014;5(1):15–24. - [PMC³⁷¹](#) - [PubMed³⁷²](#)
- Purva M.C., Meena M.S. A review on role of prakriti in aging. *Ayu.* 2011;32(1):20–24. - [PMC³⁷³](#) - [PubMed³⁷⁴](#)
- Pham, T., Lau, Z. J., Chen, S. H. A., & Makowski, D. (2021). Heart Rate Variability in Psychology: A Review of HRV Indices and an Analysis Tutorial. *Sensors (Basel, Switzerland)*, 21 (12), 3998. [Crossref³⁷⁵](#)
- Lombardi F., Malliani A., Pagani M., Cerutti S. Heart Rate Variability and Its Sympatho-Vagal Modulation. *Cardiovasc. Res.* 1996;32:208–216. doi: 10.1016/0008-6363(96)00116-2. - [DOI³⁷⁶](#) - [PubMed³⁷⁷](#)
- Mccraty R., Shaffer F. Heart Rate Variability: New Perspectives on Physiological Mechanisms, Assessment of Self-regulatory Capacity, and Health Risk. *Glob. Adv. Health Med.* 2015;4:46–61. doi: 10.7453/gahmj.2014.073. - [DOI³⁷⁸](#) - [PMC³⁷⁹](#) - [PubMed³⁸⁰](#)
354. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/27788421/>
355. https://doi.org/10.1007/978-3-030-80983-6_4
356. <https://doi.org/10.1016/j.jaim.2018.02.001>
357. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3705899/>
358. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/23864888/>
359. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/11795092/>
360. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/27663106/>
361. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC5028518/>
362. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/27656434/>
363. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/23781652/>
364. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/11253416/>
365. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/15883903/>
366. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC448595/>
367. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/25982247/>
368. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/6668417/>
369. <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC4719489/>
370. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/26834428/>
371. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC4012357/>
372. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/24812471/>
373. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3215411/>
374. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/22131753/>
375. <https://doi.org/10.3390/s21123998>
376. [https://doi.org/10.1016/0008-6363\(96\)00116-2](https://doi.org/10.1016/0008-6363(96)00116-2)
377. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/8796106/>
378. <https://doi.org/10.7453/gahmj.2014.073>
- Thayer J.F., Yamamoto S.S., Brosschot J.F. The relationship of autonomic imbalance, heart rate variability and cardiovascular disease risk factors. *Int. J. Cardiol.* 2010;141:122–131. doi: 10.1016/j.ijcard.2009.09.543. - [DOI³⁸¹](#) - [PubMed³⁸²](#)
- Tiwari, R., Kumar, R., Malik, S., Raj, T., & Kumar, P. (2021). Analysis of Heart Rate Variability and Implication of Different Factors on Heart Rate Variability. *Current cardiology reviews*, 17 (5), e160721189770. [Crossref³⁸³](#)
- Roy, S., Goswami, D. P., & Sengupta, A. (2020). Geometry of the Poincaré plot can segregate the two arms of autonomic nervous system - A hypothesis. *Medical hypotheses*, 138, 109574. [Crossref³⁸⁴](#)
- Gullett, N., Zajkowska, Z., Walsh, A., Harper, R., & Mondelli, V. (2023). Heart rate variability (HRV) as a way to understand associations between the autonomic nervous system (ANS) and affective states: A critical review of the literature. *International journal of psychophysiology: official journal of the International Organization of Psychophysiology*, 192, 35–42. [Crossref³⁸⁵](#)
- Zou L., Sasaki J.E., Wei G.X., Huang T., Yeung A.S., Neto O.B., Chen K.W., Hui S.S. Effects of Mind-Body Exercises (Tai Chi/Yoga) on Heart Rate Variability Parameters and Perceived Stress: A Systematic Review with Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials. *J. Clin. Med.* 2018;7:404. doi: 10.3390/jcm7110404. - [DOI³⁸⁶](#) - [PMC³⁸⁷](#) - [PubMed³⁸⁸](#)
- Danylova T.V., Shmarhun V.M., Vertel A.V., Matyushko B.K., Bondarenko A.F., Kychkyruk T., Petersen J. Effects of the eastern mind-body practices on mental health during the COVID-19 pandemic: When east meets west. *Wiad. Lek.* 2021;74:2850–2855. doi: 10.36740/WLek202111130. - [DOI³⁸⁹](#) - [PubMed³⁹⁰](#)
- Feneberg A.C., Nater U.M. An Ecological Momentary Music Intervention for the Reduction of Acute Stress in Daily Life: A Mixed Methods Feasibility Study. *Front. Psychol.* 2022;13:927705. doi: 10.3389/fpsyg.2022.927705. - [DOI³⁹¹](#) - [PMC³⁹²](#) - [PubMed³⁹³](#)
- Breit S., Kupferberg A., Rogler G., Hasler G. Vagus Nerve as Modulator of the Brain–Gut Axis in Psychiatric and Inflammatory Disorders. *Front. Psychiatry.* 2018;9:44. doi: 10.3389/fpsyt.2018.00044. - [DOI³⁹⁴](#) - [PMC³⁹⁵](#) - [PubMed³⁹⁶](#)
- Laborde S., Mosley E., Thayer J.F. Heart rate variability and cardiac vagal tone in psychophysiological research—recommendations for experiment planning, data analysis, and data reporting. *Front. Psychol.* 2017;8:213. doi: 10.3389/fpsyg.2017.00213. - [DOI³⁹⁷](#) - [PMC³⁹⁸](#) - [PubMed³⁹⁹](#)
- Chesky K.S., Michel D.E. The Music Vibration Table (MVT): Developing a Technology and Conceptual Model for Pain Relief. *Music Ther. Perspect.* 1991;9:32–38. doi: 10.1093/mt/9.1.32. - [DOI⁴⁰⁰](#)
- Campbell E., Burger B., Ala-Ruona E. A Single-Case, Mixed Methods Study Exploring the Role of Music Listening in Vibroacoustic Treatment. *Voices World Forum Music Ther.* 2019;19:27. doi: 10.15845/voices.v19i2.2556. - [DOI⁴⁰¹](#)
- Braun Janzen T., Al Shirawi M.I., Rotzinger S., Kennedy S.H., Bartel L. A Pilot Study Investigating the Effect of Music-Based Intervention on Depression and Anhedonia. *Front. Psychol.* 2019;10:1038. doi: 10.3389/fpsyg.2019.01038. - [DOI⁴⁰²](#) - [PMC⁴⁰³](#) - [PubMed⁴⁰⁴](#)
- Karkkainen M., Mitsui J. The Effects of Sound Based Vibration Treatment on the Human Mind and Body the Physioacoustic Method. *J. Int. Soc. Life Inf. Sci.* 2006;24:155–164. doi: 10.18936/islis.24.1.155. - [DOI⁴⁰⁵](#)
- Jirakitayakorn N., Wongsawat Y. Brain Responses to 40-Hz Binaural Beat and Effects on Emotion and Memory. *Int. J. Psychophysiol.* 2017;120:96–107. doi: 10.1016/j.ijpsycho.2017.07.010. - [DOI⁴⁰⁶](#) - [PubMed⁴⁰⁷](#)
- Fooks C., Niebuhr O. Assessing Vibroacoustic Sound Massage Through The Biosignal of Human Speech: Evidence of Improved Wellbeing; Proceedings of the IEEE International Conference on Acoustics, Speech and Signal Processing (ICASSP); Seoul, Republic of Korea. 14–19 April 2024; pp. 11401–11405.
- Gitler, A., Vanacker, L., De Couck, M., De Leeuw, I., & Gidron, Y. (2022). Neuromodulation Applied to Diseases: The Case of HRV Biofeedback. *Journal of clinical medicine*, 11 (19), 5927. [Crossref⁴⁰⁸](#)
- Zhu, J., Ji, L., & Liu, C. (2019). Heart rate variability monitoring for emotion and disorders of emotion. *Physiological measurement*, 40 (6), 064004. [Crossref⁴⁰⁹](#)
379. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC4311559/>
380. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/25694852/>
381. <https://doi.org/10.1016/j.ijcard.2009.09.543>
382. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/19910061/>
383. <https://doi.org/10.2174/1573403X16999201231203854>
384. <https://doi.org/10.1016/j.mehy.2020.109574>
385. <https://doi.org/10.1016/j.ijpsycho.2023.08.001>
386. <https://doi.org/10.3390/jcm7110404>
387. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC6262541/>
388. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/30384420/>
389. <https://doi.org/10.36740/wlek202111130>
390. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35023505/>
391. <https://doi.org/10.3389/fpsyg.2022.927705>
392. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC9558284/>
393. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/36248548/>
394. <https://doi.org/10.3389/fpsyt.2018.00044>
395. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC5859128/>
396. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/29593576/>
397. <https://doi.org/10.3389/fpsyg.2017.00213>
398. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC5316555/>
399. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/28265249/>
400. <https://doi.org/10.1093/mt/9.1.32>
401. <https://doi.org/10.15845/voices.v19i2.2556>
402. <https://doi.org/10.3389/fpsyg.2019.01038>
403. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC6517496/>
404. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/31133945/>
405. <https://doi.org/10.18936/islis.24.1.155>
406. <https://doi.org/10.1016/j.ijpsycho.2017.07.010>
407. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/28739482/>
408. <https://doi.org/10.3390/jcm11195927>
409. <https://doi.org/10.1088/1361-6579/ab1887>

- Nunan, D., Sandercock, G. R., & Brodie, D. A. (2010). A quantitative systematic review of normal values for short-term heart rate variability in healthy adults. *Pacing and clinical electrophysiology : PACE*, 33(11), 1407–1417. [Crossref⁴¹⁰](#)
- Qu, X., Wu, Y., Liu, J., & Cui, L. (2020). HRV-Spark: Computing Heart Rate Variability Measures Using Apache Spark. *Proceedings. IEEE International Conference on Bioinformatics and Biomedicine*, 2020, 10.1109/bibm49941.2020.9313361. [Crossref⁴¹¹](#)
- Rahul, L. R., Sarkar, R., Sengupta, A., Chandra, B. S., & Jana, S. (2023). Novel AI-based HRV analysis (NAIHA) in healthcare automation and related applications. *Journal of electrocardiology*, 79, 112–121. [Crossref⁴¹²](#)
- Taoum, A., Bisiaux, A., Tilquin, F., Le Guillou, Y., & Carrault, G. (2022). Validity of Ultra-Short-Term HRV Analysis Using PPG-A Preliminary Study. *Sensors (Basel, Switzerland)*, 22(20), 7995. [Crossref⁴¹³](#)
- Ortega, E., Bryan, C. Y. X., & Christine, N. S. C. (2024). The Pulse of Singapore: Short-Term HRV Norms. *Applied psychophysiology and biofeedback*, 49(1), 55–61. [Crossref⁴¹⁴](#)
- Vondrasek, J. D., Riemann, B. L., Grosicki, G. J., & Flatt, A. A. (2023). Validity and Efficacy of the Elite HRV Smartphone Application during Slow-Paced Breathing. *Sensors (Basel, Switzerland)*, 23(23), 9496. [Crossref⁴¹⁵](#)
- Malik, M., Bigger J.T., Camm A.J., Kleiger R.E., Malliani A., Moss A.J., Schwartz P.J. Heart rate variability: Standards of measurement, physiological interpretation, and clinical use. *Eur. Heart J.* 1996;17:354–381. doi: 10.1093/oxfordjournals.eurheartj.a014868. - [DOI⁴¹⁶](#) - [PubMed⁴¹⁷](#)
- Shaffer F., McCraty R., Zerr C.L. A healthy heart is not a metronome: An integrative review of the heart's anatomy and heart rate variability. *Front. Psychol.* 2014;5:1040. doi: 10.3389/fpsyg.2014.01040. - [DOI⁴¹⁸](#) - [PMC⁴¹⁹](#) - [PubMed⁴²⁰](#)
- Grosicki G.J., Culver M.N., McMillan N.K., Cross B.L., Montoye A.H.K., Riemann B.L., Flatt A.A. Self-recorded heart rate variability profiles are associated with health and lifestyle markers in young adults. *Clin. Auton. Res.* 2022;32:507–518. doi: 10.1007/s10286-022-00884-z. - [DOI⁴²¹](#) - [PubMed⁴²²](#)
- Natarajan A., Pantelopoulos A., Emir-Farinas H., Natarajan P. Heart rate variability with photoplethysmography in 8 million individuals: A cross-sectional study. *Lancet Digit. Health.* 2020;2:e650–e657. doi: 10.1016/j.s2589-7500(20)30246-6. - [DOI⁴²³](#) - [PubMed⁴²⁴](#)
- Talbert, L. D., Kaelberer, Z., Gleave, E., Driggs, A., Driggs, A. S., Steffen, P. R., Baldwin, S. A., & Larson, M. J. (2023). A systematic review of heart rate variability (HRV) biofeedback treatment following traumatic brain injury (TBI). *Brain injury*, 37(7), 635–642. [Crossref⁴²⁵](#)
- Jeyhani, V., Mahdiani, S., Peltokangas, M., & Vehkaoja, A. (2015). Comparison of HRV parameters derived from photoplethysmography and electrocardiography signals. *Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society. IEEE Engineering in Medicine and Biology Society. Annual International Conference*, 2015, 5952–5955. [Crossref⁴²⁶](#)
- Brennan, M., Palaniswami, M., & Kamen, P. (2002). Poincaré plot interpretation using a physiological model of HRV based on a network of oscillators. *American journal of physiology. Heart and circulatory physiology*, 283(5), H1873–H1886. [Crossref⁴²⁷](#)
- Ken Umetani MD A B C, Donald H Singer MD, FACC A B, Rollin McCraty MS C, Mike Atkinson C, Twenty-Four Hour Time Domain Heart Rate Variability and Heart Rate: Relations to Age and Gender Over Nine Decades. [DOI⁴²⁸](#), [ScienceDirect⁴²⁹](#)
- Liberman N, Trope Y. The psychology of transcending the here and now. *Science.* 2008;322(5905):1201–5. doi: 10.1126/science.1161958. - [DOI⁴³⁴](#) - [PMC⁴³⁵](#) - [PubMed⁴³⁶](#)
- Ahani A, Wahbeh H, Nezamfar H, Miller M, Erdogmus D, Oken B. Quantitative change of EEG and respiration signals during mindfulness meditation. *J Neuroeng Rehabil.* 2014;11(1):1. doi: 10.1186/1743-0003-11-87. - [DOI⁴³⁷](#) - [PMC⁴³⁸](#) - [PubMed⁴³⁹](#)
- Ahani A, Wahbeh H, Miller M, Nezamfar H, Erdogmus D, Oken B. Change in physiological signals during mindfulness meditation. *Int IEEE EMBS Conf Neural Eng.* 2013;1378–81. - [PMC⁴⁴⁰](#) - [PubMed⁴⁴¹](#)
- Stapleton P, Dispenza J, McGill S, Sabot D, Peach M, Raynor D. Large effects of brief meditation intervention on EEG spectra in meditation novices. *IBRO Rep.* 2020;1(9):290–301. doi: 10.1016/j.ibror.2020.10.006. - [DOI⁴⁴²](#) - [PMC⁴⁴³](#) - [PubMed⁴⁴⁴](#)
- Travis F, Haaga DAF, Hagelin J, Tanner M, Nidich S, Gaylord-King C, et al. Effects of Transcendental Meditation practice on brain functioning and stress reactivity in college students. *Int J Psychophysiol.* 2009;71(2):170–176. doi: 10.1016/j.ijpsycho.2008.09.007. - [DOI⁴⁴⁵](#) - [PubMed⁴⁴⁶](#)
- Phongsuphap S, Pongsupap Y, Chandanamattha P, Lursinsap C. Changes in heart rate variability during concentration meditation. *Int J Cardiol.* 2008;130(3):481–484. doi: 10.1016/j.ijcard.2007.06.103. - [DOI⁴⁴⁷](#) - [PubMed⁴⁴⁸](#)
- Nesvold A, Fagerland MW, Davanger S, Ellingsen Ø, Solberg EE, Holen A, et al. Increased heart rate variability during nondirective meditation. *Eur J Prev Cardiol.* 2012;19(4):773–80. doi: 10.1177/1741826711414625. - [DOI⁴⁴⁹](#) - [PubMed⁴⁵⁰](#)
- Léonard A, Clément S, Kuo CD, Manto M. Changes in heart rate variability during heartfulness meditation: a power spectral analysis including the residual spectrum. *Front Cardiovasc Med.* 2019;14(6):62. doi: 10.3389/fcvm.2019.00062. - [DOI⁴⁵¹](#) - [PMC⁴⁵²](#) - [PubMed⁴⁵³](#)
- Pasquini HA, Tanaka GK, Basile LFH, Velasques B, Lozano MD, Ribeiro P. Electrophysiological correlates of long-term Soto Zen meditation. *Biomed Res Int.* 2015;2015:598496. doi: 10.1155/2015/598496. - [DOI⁴⁵⁴](#) - [PMC⁴⁵⁵](#) - [PubMed⁴⁵⁶](#)
- Cipresso P, Serino S, Borghesi F, Tartarisco G, Riva G, Pioggia G, et al. Continuous measurement of stress levels in naturalistic settings using heart rate variability: an experience-sampling study driving a machine learning approach. *Acta IMEKO.* 2021;10(4):239. doi: 10.21014/acta_imeko.v10i4.1183. - [DOI⁴⁵⁷](#)
- Berntson GG, Thomas Bigger J, Eckberg DL, Grossman P, Kaufmann PG, Malik M, et al. Heart rate variability: origins, methods, and interpretive caveats. *Psychophysiology.* 1997;34(6):623–648. doi: 10.1111/j.1469-8986.1997.tb02140.x. - [DOI⁴⁵⁸](#) - [PubMed⁴⁵⁹](#)
- Acharya UR, Joseph KP, Kannathal N, Lim CM, Suri JS. Heart rate variability: a review. *Med Biol Eng Comput.* 2006;44(12):1031–1051. doi: 10.1007/s11517-006-0119-0. - [DOI⁴⁶⁰](#) - [PubMed⁴⁶¹](#)
- Fell J, Axmacher N, Haupt S. From alpha to gamma: Electrophysiological correlates of meditation-related states of consciousness. *Med Hypotheses.* 2010;75(2):218–224. doi: 10.1016/j.mehy.2010.02.025. - [DOI⁴⁶²](#) - [PubMed⁴⁶³](#)
- Rodriguez-Larios J, Faber P, Achermann P, Tei S, Alaerts K. From thoughtless awareness to effortful cognition: alpha - theta cross-frequency dynamics in experienced meditators during meditation, rest and arithmetic. *Sci Rep.* 2020;10(1):1–11. doi: 10.1038/s41598-020-62392-2. - [DOI⁴⁶⁴](#) - [PMC⁴⁶⁵](#) - [PubMed⁴⁶⁶](#)
- Cahn BR, Delorme A, Polich J. Occipital gamma activation during Vipassana meditation. *Cogn Percept.* 2010;11(1):39–56. doi: 10.1007/s10339-009-0352-1. - [DOI⁴⁶⁷](#) - [PMC⁴⁶⁸](#) - [PubMed⁴⁶⁹](#)
- Borghesi F, Chirico A, Pedroli E, Cipriani GE, Canessa N, Amanzio M, et al. Exploring Biomarkers of mental flexibility in healthy aging: a computational psychometric study. *Sensors (Basel)* 2023;23(15):6983. doi: 10.3390/s23156983. - [DOI⁴⁷⁰](#) - [PMC⁴⁷¹](#) - [PubMed⁴⁷²](#)

心/身体

- Borghesi, F., Cremascoli, R., Chirico, A., Bianchi, L., Di Moia, A., Priano, L., Piedimonte A., Mauro, A., & Cipresso, P. (2024). Mind and body connection in expert meditators: a computational study based on central and peripheral nervous system. *BMC complementary medicine and therapies*, 24(1), 117. [Crossref⁴⁵⁰](#)
- Brandmeyer T, Delorme A, Wahbeh H. The neuroscience of meditation: classification, phenomenology, correlates, and mechanisms. *Prog Brain Res.* 2019;1(244):1–29. [PubMed⁴⁵¹](#)
- Travis F, Shear J. Focused attention, open monitoring and automatic self-transcending categories to organize meditations from Vedic, Buddhist Chinese Traditions. *Conscious Cogn.* 2010;19(4):1110–1118. doi: 10.1016/j.concog.2010.01.007. - [DOI⁴⁵²](#) - [PubMed⁴⁵³](#)
410. <https://doi.org/10.1111/j.1540-8159.2010.02841.x>
411. <https://doi.org/10.1109/bibm49941.2020.9313361>
412. <https://doi.org/10.1016/j.jelectrocard.2023.03.013>
413. <https://doi.org/10.3390/s22207995>
414. <https://doi.org/10.1007/s10484-023-09603-4>
415. <https://doi.org/10.3390/s23239496>
416. <https://doi.org/10.1093/oxfordjournals.eurheartj.a014868>
417. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/8737210/>
418. <https://doi.org/10.3389/fpsyg.2014.01040>
419. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc4179748/>
420. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/25324790/>
421. <https://doi.org/10.1007/s10286-022-00884-z>
422. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35999422/>
423. [https://doi.org/10.1016/s2589-7500\(20\)30246-6](https://doi.org/10.1016/s2589-7500(20)30246-6)
424. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33328029/>
425. <https://doi.org/10.1080/02699052.2023.2208880>
426. <https://doi.org/10.1109/EMBC.2015.7319747>
427. <https://doi.org/10.1152/ajpheart.00405.2000>
428. [https://doi.org/10.1016/S0735-1097\(97\)00534-8](https://doi.org/10.1016/S0735-1097(97)00534-8)
429. <https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0735109797005548>
430. <https://doi.org/10.1186/s12906-024-04413-5>
431. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/30732832/>
432. <https://doi.org/10.1016/j.concog.2010.01.007>
433. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/20167507/>
434. <https://doi.org/10.1126/science.1161958>
435. <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc2643344/>
436. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/19023074/>
437. <https://doi.org/10.1186/1743-0003-11-87>
438. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc4060143/>
439. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/24939519/>
440. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc3988787/>
441. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/24748422/>
442. <https://doi.org/10.1016/j.ibror.2020.10.006>
443. <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc7649620/>
444. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33204893/>
445. <https://doi.org/10.1016/j.ijpsycho.2008.09.007>
446. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/18854202/>
447. <https://doi.org/10.1016/j.ijcard.2007.06.103>
448. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/17764770/>
449. <https://doi.org/10.1177/1741826711414625>
450. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/21693507/>
451. <https://doi.org/10.3389/fcvm.2019.00062>
452. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc6527777/>
453. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/31139634/>
454. <https://doi.org/10.1155/2015/598496>
455. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc4302970/>
456. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/25632397/>
457. https://doi.org/10.21014/acta_imeko.v10i4.1183
458. <https://doi.org/10.1111/j.1469-8986.1997.tb02140.x>
459. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/9401419/>
460. <https://doi.org/10.1007/s11517-006-0119-0>
461. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/17111118/>
462. <https://doi.org/10.1016/j.mehy.2010.02.025>
463. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/20227193/>
464. <https://doi.org/10.1038/s41598-020-62392-2>
465. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc7096392/>
466. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32214173/>
467. <https://doi.org/10.1007/s10339-009-0352-1>
468. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc2812711/>
469. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/20013298/>
470. <https://doi.org/10.3390/s23156983>
471. <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc10422551/>
472. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/37571766/>

- Fang, S., & Zhang, W. (2024). Heart-Brain Axis: A Narrative Review of the Interaction between Depression and Arrhythmia. *Biomedicines*, 12 (8), 1719. [Crossref⁴⁷³](#)
- Gullett N., Zajkowska Z., Walsh A., Harper R., Mondelli V. Heart rate variability (HRV) as a way to understand associations between the autonomic nervous system (ANS) and affective states: A critical review of the literature. *Int. J. Psychophysiol.* 2023;192:35–42. doi: 10.1016/j.ijpsycho.2023.08.001. - [DOI⁴⁷⁴](#) - [PubMed⁴⁷⁵](#)
- Bassett D. A literature review of heart rate variability in depressive and bipolar disorders. *Aust. New Zealand J. Psychiatry.* 2015;50:511–519. doi: 10.1177/0004867415622689. - [DOI⁴⁷⁶](#) - [PubMed⁴⁷⁷](#)
- Zhu J., Ji L., Liu C. Heart rate variability monitoring for emotion and disorders of emotion. *Physiol. Meas.* 2019;40:064004. doi: 10.1088/1361-6579/ab1887. - [DOI⁴⁷⁸](#) - [PubMed⁴⁷⁹](#)
- Chalmers J.A., Quintana D.S., Abbott M.J., Kemp A.H. Anxiety Disorders are Associated with Reduced Heart Rate Variability: A Meta-Analysis. *Front. Psychiatry.* 2014;5:80. doi: 10.3389/fpsy.2014.00080. - [DOI⁴⁸⁰](#) - [PMC⁴⁸¹](#) - [PubMed⁴⁸²](#)
- Chang H.A., Chang C.C., Chen C.L., Kuo T.B., Lu R.B., Huang S.Y. Major depression is associated with cardiac autonomic dysregulation. *Acta Neuropsychiatr.* 2012;24:318–327. doi: 10.1111/j.1601-5215.2011.00647.x. - [DOI⁴⁸³](#) - [PubMed⁴⁸⁴](#)
- Burke J.H., Goldberger J.J., Ehlert F.A., Kruse J.T., Parker M.A., Kadish A.H. Gender differences in heart rate before and after autonomic blockade: Evidence against an intrinsic gender effect. *Am. J. Med.* 1996;100:537–543. doi: 10.1016/S0002-9343(96)00018-6. - [DOI⁴⁸⁵](#) - [PubMed⁴⁸⁶](#)
- Kittnar O. Sex Related Differences in Electrocardiography. *Physiol. Res.* 2023;72:S127–S135. doi: 10.33549/physiolres.934952. - [DOI⁴⁸⁷](#) - [PMC⁴⁸⁸](#) - [PubMed⁴⁸⁹](#)
- Kotov R., Gamez W., Schmidt F., Watson D. Linking “big” personality traits to anxiety, depressive, and substance use disorders: A meta-analysis. *Psychol. Bull.* 2010;136:768–821. doi: 10.1037/a0020327. - [DOI⁴⁹⁰](#) - [PubMed⁴⁹¹](#)
- Godin P.J., Buchman T.G. Uncoupling of biological oscillators: A complementary hypothesis concerning the pathogenesis of multiple organ dysfunction syndrome. *Crit. Care Med.* 1996;24:1107–1116. doi: 10.1097/00003246-199607000-00008. - [DOI⁴⁹²](#) - [PubMed⁴⁹³](#)
- Wang, L., Hao, J., & Zhou, T. H. (2023). ECG Multi-Emotion Recognition Based on Heart Rate Variability Signal Features Mining. *Sensors (Basel, Switzerland)*, 23 (20), 8636. [Crossref⁴⁹⁴](#)
- Cai Y., Li X., Li J. Emotion Recognition Using Different Sensors, Emotion Models, Methods and Datasets: A Comprehensive Review. *Sensors.* 2023;23:2455. doi: 10.3390/s23052455. - [DOI⁴⁹⁵](#) - [PMC⁴⁹⁶](#) - [PubMed⁴⁹⁷](#)
- Xiefeng, C., Wang, Y., Dai, S., Zhao, P., & Liu, Q. (2019). Heart sound signals can be used for emotion recognition. *Scientific reports*, 9 (1), 6486. [Crossref⁴⁹⁸](#)
- Hasnul, M. A., Ab Aziz, N. A., & Abd Aziz, A. (2023). Augmenting ECG Data with Multiple Filters for a Better Emotion Recognition System. *Arabian journal for science and engineering*, 1–22. Advance online publication. [Crossref⁴⁹⁹](#)
- Hasnul, M. A., Aziz, N. A. A., Alelyani, S., Mohana, M., & Aziz, A. A. (2021). Electrocardiogram-Based Emotion Recognition Systems and Their Applications in Healthcare-A Review. *Sensors (Basel, Switzerland)*, 21 (15), 5015. [Crossref⁵⁰⁰](#)
- Li, Y., Tan, R., Lin, T., Liu, Q., Wang, C. D., & Chen, M. (2024). ER-GET: Emotion Recognition Based on Global ECG Trajectory. *IEEE journal of biomedical and health informatics*, 28 (9), 5201–5213. [Crossref⁵⁰¹](#)
- Woods, R. A., & Hill, P. B. (2022). Myers Brigg. In *StatPearls*. StatPearls Publishing. [PubMed⁵⁰²](#)
- Wallick, M. M., & Cambre, K. M. (1999). Personality types in academic medicine. *The Journal of the Louisiana State Medical Society : official organ of the Louisiana State Medical Society*, 151 (7), 378–383. [PubMed⁵⁰³](#)
- Tobacyk, J. J., Livingston, M. M., & Robbins, J. E. (2008). Relationships between Myers-Briggs type indicator measure of psychological type and neo measure of big five personality factors in Polish University students: a preliminary cross-cultural comparison. *Psychological reports*, 103 (2), 588–590. [Crossref⁵⁰⁴](#)
- Eicke, F. J., Blake, G., & Replogle, W. (1993). A comparative view of the Myers-Briggs type indicator. *Family medicine*, 25 (3), 186–190. [PubMed⁵⁰⁵](#)
- Ranganathan VK, Siemionow V, Liu JZ, Sahgal V, Yue GH. From mental power to muscle power—gaining strength by using the mind. *Neuropsychologia.* 2004;42(7):944-56. doi: 10.1016/j.neuropsychologia.2003.11.018. PMID: 14998709. [PubMed⁵⁰⁶](#)

Electromagnetism

- Blank, Martin; Goodman, Reba . (2011). DNA is a fractal antenna in electromagnetic fields. *International Journal of Radiation Biology.* 87(4), 409–415. [Crossref⁵⁰⁷](#)
- Cantero, M.d.R., Villa Etchegoyen, C., Perez, P.L. et al. Bundles of Brain Microtubules Generate Electrical Oscillations. *Sci Rep* 8, 11899 (2018). [Crossref⁵⁰⁸](#)
- Gutierrez, B.C., Cantiello, H.F. & Cantero, M. The electrical properties of isolated microtubules. *Sci Rep* 13, 10165 (2023). [Crossref⁵⁰⁹](#)
- Meijer, Dirk. (2018). Processes of Science and Art Modeled as a Holoflux of Information Using Toroidal Geometry. *Open Journal of Philosophy.* 8. 365-400. [10.4236/ojpp.2018.84026⁵¹⁰](#)
- Kuman, Maria. (2018). Our Weak Nonlinear Electromagnetic Field (Nemf) that Rules Everything in the Body is Emotionally Sensitive. *Journal of Complementary Medicine & Alternative Healthcare.* 8. [10.19080/JCMAH.2018.08.555731⁵¹¹](#)
- Leonova-Gariaeva, & Gariaev, Peter & Friedman, Mark & Leonova-Gariaeva, Ekaterina. (2011). Principles of Linguistic-Wave Genetics. *DNA Decipher Journal.* 1. [ResearchGate⁵¹²](#)
- GuangJun Zhang and Michael Levin (2025) Bioelectricity is a universal multifaced signaling cue in living organisms. [10.1091/mbc.E23-08-0312⁵¹³](#)
- Angelo Esposito, Rafael Krichevsky, and Alberto Nicolis (2019) Gravitational Mass Carried by Sound Waves [Crossref⁵¹⁴](#)
500. [https://doi.org/10.3390/s21155015](#)
501. [https://doi.org/10.1109/JBHI.2024.3403188](#)
502. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32119483/](#)
503. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/10474985/](#)
504. [https://doi.org/10.2466/prt.103.2.588-590](#)
505. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/8458560/](#)
506. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/14998709/](#)
507. [https://doi.org/10.3109/09553002.2011.538130](#)
508. [https://doi.org/10.1038/s41598-018-30453-2](#)
509. [https://doi.org/10.1038/s41598-023-36801-1](#)
510. [https://www.researchgate.net/publication/326972894](#)
511. [https://www.researchgate.net/publication/330217977](#)
512. [https://www.researchgate.net/publication/228926241](#)
513. [https://www.molbiolcell.org/doi/full/10.1091/mbc.E23-08-0312](#)
514. [https://doi.org/10.1103/PhysRevLett.122.084501](#)

473. [https://doi.org/10.3390/biomedicines12081719](#)
474. [https://doi.org/10.1016/j.ijpsycho.2023.08.001](#)
475. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/37543289/](#)
476. [https://doi.org/10.1177/0004867415622689](#)
477. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/26698824/](#)
478. [https://doi.org/10.1088/1361-6579/ab1887](#)
479. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/30974428/](#)
480. [https://doi.org/10.3389/fpsy.2014.00080](#)
481. [http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc4092363/](#)
482. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/25071612/](#)
483. [https://doi.org/10.1111/j.1601-5215.2011.00647.x](#)
484. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/23287173/](#)
485. [https://doi.org/10.1016/s0002-9343\(96\)00018-6](#)
486. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/8644766/](#)
487. [https://doi.org/10.33549/physiolres.934952](#)
488. [http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc10660582/](#)
489. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/37565417/](#)
490. [https://doi.org/10.1037/a0020327](#)
491. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/20804236/](#)
492. [https://doi.org/10.1097/00003246-199607000-00008](#)
493. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/8674321/](#)
494. [https://doi.org/10.3390/s23052455](#)
495. [https://doi.org/10.3390/s23052455](#)
496. [http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/pmc10007272/](#)
497. [https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/36904659/](#)
498. [https://doi.org/10.1038/s41598-019-42826-2](#)
499. [https://doi.org/10.1007/s13369-022-07585-9](#)

補遺3。

参考文献

1. 「プロロジー：あなたの人生プロジェクトを実現する - 書籍1：病氣、癒し、変容：資源の道」 クリステイヌ・デゴイ 著
システムのアプローチを通じて健康と幸福を再考する革新的なガイドであり、あなたの存在を再定義し、人生プロジェクトのより深い理解にアクセスできるようにします。この本は、内なるコミュニケーションを育むために必要なツールを提供し、現実の認識を変革し、あなたの存在理由を完全に具現化する助けをします。
2. 「プロロジー：人生の意味を再発見する - 書籍2：身体の中の人生プロジェクト：理解し、解放し、変容する」 クリステイヌ・デゴイ 著
プロジカルな器官のデコーディングに飛び込み、あなたの身体の各部分がかどのように存在のより深い次元を反映しているかを発見します。この本は、あなたの人生経験と身体的健康の関連を探求し、エネルギー的なブロックの理解、解放、変容への鍵を提供します。内なる資源と隠された潜在能力に焦点を当てることによって、この本はあなたにホリスティックな視点を通じて人生プロジェクトを受け入れるよう招待し、身体と心を調和させた完全に満たされた人生を実現できるようにします。

エネルギーと電気医学

3. "ボダイ・エレクトリック：電磁気と生命の基盤" ロバート・ベッカーとゲイリー・セルデン 著
この画期的な本は、人間の体の電磁場とその治癒、エネルギーの流れ、健康への深い影響を探ります。ベッカーの生体電気に関する研究は、体のエネルギーシステムの背後にある科学を理解するための重要な洞察を提供します。
4. "機械の中の火花：鍼治療の科学が西洋医学の神秘を説明する方法" ダニエル・キオウン博士 著
キオウン博士の研究は、西洋医学の科学と古代の鍼治療の実践のギャップを埋め、エネルギーが体を通してどのように流れるか、そしてそれを治癒のためにどのように活用できるかを包括的に説明します。
5. "エネルギー医学：科学的基礎" ジェームズ・L・オシママン 著
この本は、エネルギー医学の背後にある科学を徹底的に探求し、電磁場、経絡、その他のエネルギーシステムが健康にどのように影響するかの証拠を示します。オシママンは物理学と生物学から引き出して、体のエネルギーシステムを従来の治癒法と代替治療法の両方を補完する方法で説明します。
6. "振動医学：微細エネルギー療法の第一ハンドブック" リチャード・ガーバー 著
ガーバーの古典的なテキストは、微細エネルギー医学の分野を理解するための重要なリソースです。エネルギー場、チャクラ、そして振動療法がかどのように体と心を癒すかの詳細な概要を提供します。
7. "交差電流：電気汚染の危険性、電気医学の約束" ロバート・O・ベッカー 著
ベッカーのボダイ・エレクトリックの続編として、この本は現代の電気技術の健康への影響を調査し、電磁療法が治癒にどのように役立つかを探ります。
8. "信念の生物学：意識、物質、奇跡の力を解き放つ" ブルース・H・リプトン 著
この本は、生物学と信念の交差点を掘り下げ、心が細胞レベルで体にどのように影響するかを示します。リプトンは、エネルギー場と意識が生物学的過程にどのように影響するかを説明します。
9. "フィールド：宇宙の秘密の力を求めて" リン・マクタガート 著
マクタガートは、全ての物質を結びつける普遍的なエネルギー場であるゼロポイントフィールドに関する最先端の科学を探ります。この本は、生命のエネルギーの性質と、そのエネルギーを治癒のためにどのように活用できるかに関する洞察を提供します。
10. "癒しは電圧：ハンドブック" ジェリー・テナント 著
テナント博士は、特に細胞レベルでの体内の電圧が健康にとって重要であることを説明します。彼は、適切な電氣的ポテンシャルを維持することが癒しと幸福の基本であるという包括的な見解を提供します。

現代のスピリチュアリティ

11. "私の大きなTOE（全ての理論）" トーマス・キャンベル 著
現実、意識、物理的と形而上学的なもののつながりを探求する包括的な三部作。物理学者で意識の研究者であるキャンベルは、科学とスピリチュアリティを融合させ、瞑想、変容した意識状態、宇宙におけるエネルギーの理解を支える存在のモデルを提示します。
12. "照らされた心：仏教の知恵と脳科学を統合した完全な瞑想ガイド" ジョン・イエイツ（クラーダサ） 著
クラーダサのガイドは、古代の仏教教えと現代の神経科学に根ざした瞑想の実践についての徹底的なステップバイステップの説明です。伝統的な瞑想法と現代の脳に関する科学的理解とのギャップを埋めます。
13. "変容した特性：科学が明らかにする瞑想があなたの心、脳、体をどう変えるか" ダニエル・ゴールマンとリチャード・J・デイビッドソン 著
この本は、瞑想に関する科学的研究に深く掘り下げ、脳と体に対するその深遠な影響を探求します。ゴールマンとデイビッドソンは、瞑想が持続的な心理的および生理学的変化をもたらす方法を説明するために数十年の研究から引き出しています。
14. "目覚める：宗教なしのスピリチュアリティへのガイド" サム・ハリス 著
神経科学者で哲学者のサム・ハリスは、科学と個人的な経験の両方に基づいたスピリチュアリティと瞑想への合理的なアプローチを提示します。彼の本は、瞑想が認識と意識の理解において深遠な変化をもたらす方法に特に注目していますが、宗教的枠組みを必要としません。
15. "今の力：精神的啓蒙へのガイド" エックハルト・トール 著
トールの広く読まれている本は、マインドフルネスと今この瞬間に在ることの重要性を強調しています。彼の教えは、より完全に、より意識的に生きる方法に関する実践的な洞察を提供し、*Sing the Body Electric*で議論されている健康のエネルギー的および精神的側面と一致しています。
16. "リアルマジック：古代の知恵、現代の科学、宇宙の秘密の力へのガイド" デイヴィッド・ラディン 著
ラディンは、超心理学の分野での第一人者として、テレパシー、予知、サイコキネシスのような現象に関する科学的証拠を探求し、意識、エネルギー、現実の広範な構造との関連を描きます。この本は、物理的なものを超越する他の現実を理解するための基盤を提供します。
17. "意識の物理学：量子マインドと人生の意味" エヴァン・ハリス・ウォーカー 著
この本は、量子物理学と意識との関係を掘り下げます。ウォーカーは、量子力学における観察者の役割を探求し、意識が宇宙の根本的なものであるという理論を提示し、エネルギーと存在のより広範な理解に貢献します。

18. "秘密の教義" H.P.プラバツキー著
この神智学の基礎的なテキストは、宇宙、意識、精神的進化の本質を探索します。
19. "永遠の哲学" アルドウス・ハクスリー著
ハクスリーは、さまざまな宗教におけるスピリチュアリティの共通の糸を探索し、普遍的な真実を強調します。
20. "人間の運命" ピエール・ルコント・デュノイ著
この本は、科学、哲学、宗教の交差点を探索し、人間の進化は神聖な目的によって導かれているという考えを主張します。人類の精神的な可能性と、人間の意識に伴う道徳的責任について論じます。
21. "理性への道" ピエール・ルコント・デュノイ著
この哲学的な作品では、ルコント・デュノイは宇宙を理解する上での理性と科学的思考の重要性について論じます。彼はまた、科学の進歩が道徳的および精神的発展と統合されるべきである方法について掘り下げます。
31. "発見されていない自己" カール・G・ユング著
ユングは、個人の成長の必要性和現代社会の圧力との間の対立を探索します。無意識や人格のシャドウの側面をナビゲートする上での自己認識の重要性を強調しています。
32. "自分のシャドウを受け入れる: 心理の暗い側面を理解する" ロバート・A・ジョンソン著
ユングのシャドウの概念を理解するための実用ガイドで、この本は心理的パラドクスと個人的成長のためにシャドウセルフを認識し統合する方法を説明しています。
33. "ユングの魂の地図: はじめに" マレー・スタイン著
この本は、影、無意識、個性化についてのユングの人格理論の紹介を提供します。ユング心理学に初めて触れる人々にとって良いリソースです。
34. "異なる贈り物: 人格タイプの理解" イザベル・ブリッグス・マイヤーズとピーター・B・マイヤーズ著
この本は、ユングの心理的タイプに基づいたMBTIシステムの人格タイプを説明しています。異なる人格タイプがどのように相互作用し、個人および職業生活にどのように影響を与えるかについての洞察を提供します。

デジタル信号処理

22. "デジタル信号処理の理解" リチャード・G・ライオンズ著
この本はデジタル信号処理 (DSP) への明確でアクセスしやすい入門を提供し、複雑な概念を初心者でも理解できるようにしています。フィルタリング、フリーエ解析、サンプリング理論などのトピックを実用的でわかりやすい方法で扱い、音声分析のための信号処理の基本に興味のある人に最適です。
23. "科学者とエンジニアのためのデジタル信号処理ガイド" スティーブン・W・スミス著
実用的な例と応用を通じてDSPの概念を紹介する人気のある読みやすい本です。信号処理がどのように機能するかを段階的なガイドと実世界の例で説明する無料のオンラインリソースで、特に音声や音楽信号分析に興味のある初心者にとって非常にアクセスしやすくなっています。
24. "デジタルオーディオ信号処理" ウド・ゾルツァー著
この本はデジタルフィルタ、オーディオエフェクト、時間-周波数解析などの分野に焦点を当て、デジタルオーディオ信号処理の原則と応用を紹介します。技術的ではありませんが、DSPの基本的な知識を持つ読者にとっても親しみやすい形で資料が提供されています。
25. "音声コンテンツ分析の入門: 信号処理と音楽情報学への応用" アレクサンダー・ラッシュ著
このテキストは音声と音楽の信号処理に興味のある人に特に役立ちます。音声コンテンツ (音楽の構造、リズム、ハーモニーなど) を信号処理アルゴリズムを使用して分析するための技術を紹介し、この本は実用的で、学生や専門家の両方にとってアクセスしやすいものです。
26. "C言語によるオーディオエフェクトプラグインの設計: デジタルオーディオ信号処理理論とともに" ウィル・パーク著
オーディオ信号処理の応用面に飛び込みたい人のために、この本はC言語を使用してオーディオエフェクトをコーディングおよび設計するためのユーザーフレンドリーな入門書です。リアルタイムのオーディオエフェクトを作成するためにDSPをどのように適用できるかを理解しようとする初心者にとって理想的です。

ユングと無意識

27. "思い出、夢、反省" カール・G・ユング著
半自伝的な作品であるこの本は、ユングの人生と重要なアイデアを扱っており、集合的無意識、アーキタイプ、シャドウなどの概念の発展を含んでいます。彼の心理学的理論に対する個人的な洞察を提供します。
28. "アーキタイプと集合的無意識" カール・G・ユング著
この本はユング心理学の中心的なテキストで、彼は無意識の心に関する理論、特に集合的無意識とそのアーキタイプのイメージを概説しています。ユングの人格や心理についての考えを理解するための基本的な読み物です。
29. "心理的タイプ" カール・G・ユング著
この作品でユングは心理的タイプの理論を紹介し、後にマイヤーズ・ブリッグス・タイプ指標 (MBTI) の発展に影響を与えました。彼は内向性と外向性の二分法や、人格を形成する他の心理的機能について議論しています。
30. "人間とその象徴" カール・G・ユング著
ユング思想へのアクセスしやすい紹介として書かれたこの本は、夢や芸術における象徴の使用を無意識のプロセスの表現として掘り下げています。幅広い読者を対象としており、人間の心理に関する洞察を提供します。
31. "死後の意識: 臨死体験の科学" ビム・ヴァン・ロンメル著
ヴァン・ロンメルは臨死体験の包括的な検証を行い、それらが意識や物理的存在を超えた自己の継続性に与える影響を考察します。
32. "奇跡を信じなかった男" デイヴィッド・ヴァン・コウエラート著
この小説は、意識と量子物理学のテーマを絡め、現実と信念の本質的な物語を通じて探ります。
33. "目的を持って健康に: 自己治療のためのインパルス" フォルカー・マイスナー著
マイスナーはエネルギー治療の背後にある科学的原則を調査し、その治療的可能性とメカニズムへの洞察を提供します。
34. "つながり: グローバル意識の出現" ロジャー・ネルソン著
ネルソンは人間の意識の相互関連性を考察し、集合的経験やグローバル意識を理解するための影響を探ります。
35. "形態形成的水 - 健康 - 情報と意識の場" マーク・ヘンリー著
ヘンリーは生物システムにおける水の重要性和エネルギー移動および意識の媒体としての役割について論じます。

音による癒し

35. "音の癒しの力: 音、声、音楽を使った生命を脅かす病気からの回復" ミッチェル・L・ゲイナー著
この本は、癒しのための音療法の使用について掘り下げ、振動と周波数が病気からの回復をサポートする方法に焦点を当てています。ゲイナーは、医療の見識と音の癒しの実践を組み合わせています。
36. "人間のバイオフィールドの調整: 振動音療法による癒し" エイリーン・アイマクキウス・スキップ著
マクキウス・スキップは、バイオフィールドの解剖学を探索し、音、周波数、振動が人間のエネルギーフィールドにどのように影響するかについて論じています。この本には、チューニングフォークやその他の音の道具が癒しを促進する方法に関する情報が含まれています。
37. "癒しの音: ハーモニクスの力" ジョナサン・ゴールドマン著
この本は、音とハーモクスを使って身体と心を癒す概念を説明しています。発声トーンやオーバートーンの取り扱いなど、音の癒しのための実践的な技術が含まれています。
38. "サウンドメディスン: 体と心を癒すための古代の音の科学の使い方" クリフト・チョードリー著
この本は、古代のアールヴエーダ医学と現代の音療法の実践を組み合わせています。チョードリーは、マントラから現代の音技術まで、音の周波数と振動が癒しと健康にどのように利用できるかを説明しています。

意識、エネルギー、現実

39. "水の第四のフェーズ: 固体、液体、蒸気を超えて" ジェラルド・ボラック著
ボラックは水の特性と生物学およびエネルギー医療への影響に関する画期的な研究を提示します。
40. "LSDと宇宙の心" クリストファー・ベイチャ著
ベイチャは、個人的な体験と科学的洞察を通じて、サイケデリックス、意識、現実の本質の交差点を探索します。
41. "死後の意識: 臨死体験の科学" ビム・ヴァン・ロンメル著
ヴァン・ロンメルは臨死体験の包括的な検証を行い、それらが意識や物理的存在を超えた自己の継続性に与える影響を考察します。
42. "奇跡を信じなかった男" デイヴィッド・ヴァン・コウエラート著
この小説は、意識と量子物理学のテーマを絡め、現実と信念の本質的な物語を通じて探ります。
43. "目的を持って健康に: 自己治療のためのインパルス" フォルカー・マイスナー著
マイスナーはエネルギー治療の背後にある科学的原則を調査し、その治療的可能性とメカニズムへの洞察を提供します。
44. "つながり: グローバル意識の出現" ロジャー・ネルソン著
ネルソンは人間の意識の相互関連性を考察し、集合的経験やグローバル意識を理解するための影響を探ります。
45. "形態形成的水 - 健康 - 情報と意識の場" マーク・ヘンリー著
ヘンリーは生物システムにおける水の重要性和エネルギー移動および意識の媒体としての役割について論じます。

46. "人生の後に" レイモンド・ムーディ著
ムーディの画期的な作品は、臨死体験の概念を紹介し、それを経験した人々によって報告された共通の要素を強調する多数のケーススタディを提示します。
47. "光に抱かれて" ベティ・J・ムーディ著
この回顧録は、ムーディの臨死体験を語り、彼女の洞察や旅の中で出会った深い精神的啓示を共有します。
48. "天国の証明: 神経外科医の死後の旅" エベン・アレクサンダー著
神経外科医であるアレクサンダーは、自身の臨死体験を共有し、意識と死後の世界に関する従来の科学的見解に挑戦する魅力的な説明を提供します。
49. "私になるために死ぬ: 癌から臨死、真の癒しへの私の旅" アニータ・ムールジヤニ著
ムールジヤニは、癌との闘いの中で彼女の革新的な臨死体験と、自己受容と癒しについて学んだ強力な教訓を共有します。
50. "体外への旅" ロバート・A・モンロー著
この古典的な本は、モンローの体外旅行に関する個人的な体験を記録し、物理的な体を超えた人間の意識の可能性を探ります。意識研究の基礎的なテキストの一つとして広く認識されています。
51. "遠い旅" ロバート・A・モンロー著
この「体外への旅」の続編は、物理的な次元を超えたモンローの旅をより深く掘り下げ、存在の異なる次元を探求し、意識の理解を広げます。
52. "究極の旅" ロバート・A・モンロー著
この三部作の最終巻で、モンローは意識の変容した状態での体験からの洞察を共有し、死後の世界、存在の本質、人間の目的といったテーマに焦点を当てます。
53. "宇宙の意識" リチャード・M・バツケ著
バツケは宇宙の意識の自身の体験を説明し、それが精神的進化に及ぼす影響を探ります。
54. "ヤキ族の知識の道" カルロス・カスタネダ著
この本は、ヤキ族のシャーマンとの弟子入りを通じて、シャーマニズムの実践と現実の本質を掘り下げます。

バイオ倫理学と医学

55. "バイオ倫理学: 原則、問題、および事例" 著者: ルイス・ポーン
ポーンは、医療実践における重要な倫理原則と問題を提示し、実世界の応用のためのケーススタディを提供しています。

意識研究

56. "意識と宇宙: 量子物理学、進化、脳と心" 著者: サー・ロジャー・ペンローズとスチュアート・ハメロフ
このエッセイ集は、意識の量子起源を探求し、物理学、神経科学、哲学の洞察を組み合わせて、脳内の量子プロセスが意識的経験を説明する方法を調査します。
57. "意識の説明" 著者: ダニエル・デネット
デネットは、意識の包括的な理論を提示し、従来の見解に対抗しながら心の働きについての洞察を提供します。
58. "目覚め: 宗教のない精神性へのガイド" 著者: サム・ハリス
ハリスは、意識、瞑想、精神性の本質について論じ、心を理解するための世俗的アプローチを提唱します。

量子物理学と形而上学

59. "量子と蓮: 科学と仏教が出会う最前線への旅" マチュー・リカルドとチン・シュアントワン著
この本は、量子物理学と仏教哲学の間の類似点を探求し、両方の分野からの洞察を論じています。
60. "ホログラフィック宇宙" マイケル・タルボット著
タルボットは、宇宙がホログラムのように機能し、量子物理学の洞察と形而上学的な含意を融合させるという考えを提示します。

心理学と心理療法

61. "人間の意味を求めて" ヴィクトール・E・フランクル著
フランクルは、最も厳しい状況においても目的を見出す心理的な旅を探求し、実存哲学と心理学を統合しています。
62. "体は記憶する: 脳、心、身体へのトラウマ治療" ペツセル・ヴァン・デル・コルク著
この本は、トラウマが身体と心に与える影響を論じ、治療への革新的なアプローチを強調します。
63. "コアエネルゲティクス" ジョン・C・ピエラコス著
この本は、ピエラコスのコアエネルゲティクスへのアプローチを概説しています。彼は、身体のエネルギーを解放することで感情的および心理的な癒しにつながる方法について掘り下げ、精神性と心理療法を統合します。
64. "自己変容の道作り" エヴァ・ピエラコス著
ジョン・ピエラコスの妻エヴァ・ピエラコスが著したこの本は、コアエネルゲティクスの精神のおよびエネルギー的な基盤を理解する上で不可欠です。これは、ピエラコス自身の治療的な仕事に強い影響を与えたパワークラウドからの教えのコレクションを提示します。
65. "私の声はあなたと共に行く: ミルトン・H・エリクソンの教えの物語" ミルトン・H・エリクソン著、シドニー・ローゼン編
この本は、エリクソンの治療的な物語と教えの物語のコレクションです。彼の間接的な技法やメタファーの使用を強調し、深い心理的变化を促進する方法を提供し、エリクソンが患者を癒しへと微妙に導いた方法についての洞察を提供します。
66. "非凡な療法: ミルトン・H・エリクソンの精神医学技術" ジェイ・ヘイリー著
ヘイリーは、エリクソンの短期療法における革新的な技術を詳細に見ていきます。この本は、エリクソンの非伝統的でしばしば驚くべき方法、特に数回のセッションで患者を迅速な治療的突破口に導く能力を強調しています。

システム理論とシステム思考

67. "一般システム理論: 基礎、発展、応用" ルートヴィヒ・フォン・ベルタランフィ著
システム思考の古典であるベルタランフィの作品は、一般システム理論の基本を紹介し、科学の分野における学際的研究の基盤となりました。彼のアイデアは、生物学から社会科学に至るまで、あらゆる分野に影響を与えました。
68. "心の生態学へのステップ" グレゴリー・ベイトソン著
パロアルトグループの重要な人物であるベイトソンのエッセイ集は、コミュニケーション、心理学、生態学などのテーマを扱っています。彼の作品は、人間のコミュニケーションと相互作用におけるシステム思考の基礎を築きました。
69. "心と自然: 必要な統一" グレゴリー・ベイトソン著
ベイトソンのもう一つの重要なテキストで、心と環境がどのように相互に関連しているかを探求しています。彼のアイデアは、人間の相互作用、学習、生態系におけるシステム理論を理解する上での基礎となっています。
70. "現実の社会的構築: 知識の社会学における論文" ピーター・L・バーガーとトーマス・ラッカン著
この本は、社会システムと現実がどのように構築され、維持されるかを探求することで、システム思考に結びついています。
71. "生命のシステムの観点: 統一的なビジョン" フリチョフ・カブラとピエール・ルイ・ジリ著
システム思考の重要な人物であるカブラは、生きたシステムの現代的かつ統合的な理解を提示しています。この本は、システム理論を生物学、生態学、意識に結びつけています。
72. "変化: 問題形成と問題解決の原則" ボール・ワッツラウィック、ジョン・ウィーランド、リチャード・フィッシュ著
パロアルトグループからのもう一つの重要な作品で、人間のシステム、特に家族や組織において、どのように変化が起こるかをシステム的な視点から探求しています。
73. "知識の木: 人間理解の生物学的ルーツ" ハンバート・R・マトウラーナとフランシスコ・ジャベラ著
この本は、生物学、認知、システム思考を結びつけ、自己創造システム（オートポイエシス）に焦点を当てています。これは、生きたシステムを理解する上での中心的な概念です。
74. "サイバネティクス、または動物と機械における制御とコミュニケーション" ノーバート・ウィーナー著
サイバネティクスの基礎的なテキストで、機械と生き物の両方で通信と制御のプロセスがどのように機能するかを探求しています。

75. "第五の規律：学習する組織の技術と実践" ピーター・M・センゲ著
センゲの作品は、組織の発展にシステム思考を適用しています。これは、ビジネスと教育の両方において重要なテキストと見なされており、複雑な組織が学習と適応のためにどのように構成されるかに焦点を当てています。